

さいたま市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定に係る  
基礎調査報告書

平成 31(2019)年 3 月

さいたま市



# 目 次

1. 調査の概要.....	1
1) 調査の目的.....	1
2) 調査の実施概要.....	1
3) 回収結果.....	1
2. 集計方法.....	3
1) 報告書の見方.....	3
3. 調査結果のまとめ.....	4
1) 未就学児保護者調査.....	4
2) 小学生保護者調査.....	4
3) 18歳未満調査.....	6
4) 青年調査.....	8
5) 妊婦調査.....	9
6) ひとり親調査.....	10
4. 調査結果詳細.....	11
1) 未就学児保護者調査.....	11
2) 小学生保護者調査.....	56
3) 18歳未満調査.....	66
4) 青年調査.....	95
5) 妊婦調査.....	117
6) ひとり親調査.....	137
資料編 調査票.....	157



# 1. 調査の概要

## 1) 調査の目的

さいたま市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成 27 (2015) 年 3 月に策定した「さいたま子ども・青少年のびのび希望プランーさいたま市子ども・子育て支援事業計画ー」に基づき、乳幼児期の教育・保育及び地域の子ども・子育て支援や子ども・青少年に関する施策を展開しています。

この計画は平成 31 (2019) 年度までの計画であるため、2020 年度からの 5 年間を計画期間とする「さいたま市子ども・子育て支援事業計画 (第 2 期)」を策定します。この調査は、事業計画策定の基礎資料として、乳幼児期の教育・保育や地域子ども・子育て支援事業における市民の利用状況や利用希望を把握し、「量の見込み」、「確保の方策」、「実施時期」を検討するとともに、子ども・青少年育成に関する市民ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の課題を整理することを目的として実施しました。

## 2) 調査の実施概要

各調査について、さいたま市全域を対象地域としたアンケート調査を以下の要領で実施しました。

### ●調査時期

平成 30 (2018) 年 11 月 1 日～11 月 26 日

### ●調査基準日 (無作為抽出をした日)

平成 30 (2018) 年 10 月 1 日

### ●調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
未就学児保護者	平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢が 0～5 歳の児童を無作為抽出し、その児童の保護者	8,000 人
小学生保護者	各市立小学校の 1～4 年生から 1 クラス、5、6 年生から 1 クラスを抽出し、その児童の保護者	6,682 人
18 歳未満	小学校 5、6 年生 (各市立小学校の 5、6 年生から 1 クラスを抽出し、その児童本人)	8,182 人
	中学生 (各市立中学校から 1 クラスを抽出し、その生徒本人)	
	平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢が 15～17 歳の方を無作為抽出	
青年	平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢が 18～29 歳の方を無作為抽出	1,500 人
妊婦	妊娠届提出者及び母親学級等参加者	711 人
ひとり親	児童扶養手当受給者を無作為抽出	1,500 人

### ●配布・回収方法

種類	配布・回収方法
未就学児保護者	郵送配布・郵送回収
小学生保護者	小学校を經由して配布・回収
18 歳未満	小学校 5、6 年生：小学校を經由して配布・回収
	中学生：中学校を經由して配布・回収
	15～17 歳：郵送配布・郵送回収
青年	郵送配布・郵送回収
妊婦	窓口配布・郵送回収
ひとり親	郵送配布・郵送回収

## 3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

種類	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
未就学児保護者	8,000	4,374	54.7%
小学生保護者	6,682	5,571	83.4%
18歳未満	8,182	4,713	57.6%
青年	1,500	366	24.4%
妊婦	711	209	29.4%
ひとり親	1,500	464	30.9%
全調査合計	26,575	15,697	59.1%

## 2. 集計方法

### 1) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示しています。したがって、非該当者数は構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。したがって、合計が100％にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示しています。したがって、合計値が100％にならない場合があります。
- ・未就学児保護者調査と小学生保護者調査には、以下の設問番号対応表の通り、共通の設問が含まれています。共通の設問については、未就学児保護者の調査結果において**共通設問**と表示し、両調査結果を比較しています。

#### 【設問番号対応表】

	設問番号															
未就学児保護者	1	2	3	4	5	6	10	11	12	24	25	30	32	37	38	39
小学生保護者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	30	31	28	29	25	26	27

### 3. 調査結果のまとめ

#### 1) 未就学児保護者調査

#### 2) 小学生保護者調査

##### ① 身近な子育て環境について

- 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、未就学児・小学生の保護者ともに「父母ともに」と「主に母親」がほぼ半数ずつとなっています。
- 未就学児の保護者で日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.9%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が17.7%と続いており、親族からの手助けを受けられる世帯が多くなっています。一方、「いずれもない」が16.6%に上っています。
- 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、未就学児の保護者で「いる／ある」が92.8%と高く、「いない／ない」は6.3%となっています。相談できる先については、「祖父母等の親族（82.7%）」、「友人や知人（74.8%）」が突出して高くなっています。

##### ② 保護者の就労状況と今後の意向について

- 「父親」の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が未就学児・小学生の保護者ともに多数を占めています。
- 「母親」の就労状況は、未就学児の保護者で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が37.2%と最も高く、小学生の保護者では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が44.4%と最も高くなっています。また、未就学児の保護者では産休・育休・介護休業中を含め「フルタイムで就労している」が38.5%であるのに対し、小学生では25.5%と低くなっています。
- パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」が未就学児の保護者で55.9%、小学生の保護者で66.4%と高くなっています。「フルタイムへの転換希望がある」は、未就学児の保護者で36.0%、小学生の保護者で28.7%となっていますが、このうち「フルタイムへの転換を実現できる見込みがある」のは、未就学児・小学生の保護者ともに8%未満と低くなっています。
- 現在は就労していない「母親」の就労希望は、未就学児の保護者で72.1%、小学生の保護者で64.2%となっており、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が未就学児の保護者で75.4%、小学生の保護者で82.7%と高くなっています。
- 出産を機に離職したが、子どもが小学生になるとパート・アルバイト等で就労を再開する母親が多いと考えられます。しかし、一度離職するとパート・アルバイト等での就労には復帰しやすいものの、フルタイムでの就労へ復帰することは困難な状況がうかがえます。

##### ③ 保育サービス等の利用について

- 未就学児の定期的な教育・保育の事業については、60.7%が「利用している」と回答し、平日の利用種別は「幼稚園」が43.7%と最も高く、次いで「認可保育所」が36.7%、幼稚園の預かり保育」が10.4%となっています。平日の利用意向についても、「幼稚園」が62.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が48.5%、「幼稚園の預かり保育」が44.1%となっています。
- 平成31年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴う、今後利用したいと考える教育・保育の種類の変化については、「変わらない」が62.6%と高く、次いで「幼稚園」が21.2%、「幼稚園の預かり保育」が19.8%、「認可保育所」が18.4%となっています。
- 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日



69.3%（日曜・祝日 81.5%）に対し、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計は土曜日 29.1%（日曜・祝日 16.2%）となっています。

- また、幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 30.9%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」の合計は 67.7%となっています。
- 来年度小学生になるお子さんを持つ保護者の、小学校のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」や「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が高く、「放課後児童クラブ」や「その他（公民館、公園など）」が続いています。放課後児童クラブの利用希望は、小学校低学年（1～3年生）は 39.9%となっていますが、小学校高学年（4～6年生）では 21.3%に下がります。
- 小学生の保護者の、希望する子どもの放課後の過ごし方も、「自宅」が 76.5%、「習い事・塾・スポーツ少年団など」が 73.0%と高くなっています。
- 放課後児童クラブの利用については、11.7%が「利用している」と回答し、そのうち、利用日数は週当たり「5日」が 58.1%と最も高く、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用は「ある」が 87.4%となっています。また、放課後チャレンジスクールへは 8.6%が「参加している」と回答しています。
- 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、のびのびルーム）については、「利用している」が 22.1%に対し、「利用していない」が 73.2%となっており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」も 61.4%と高くなっています。
- 子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が 68.2%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 34.6%となっています。「母親（または父親）が休んだ」と回答した方のうち、「できれば病児保育施設等を利用したい」が 37.1%に対し、「利用したいとは思わない」が 61.0%となっています。
- 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育（14.0%）」や「一時預かり（5.0%）」などの回答があるものの、「利用していない」が 75.9%と高くなっています。また、「利用したい」が 56.6%に対し、「利用する必要はない」が 40.7%となっています。

#### ④ 子育てに関する考え方・知識・情報について

- 未就学児の保護者の、お子さんに対しての育てにくさについて、「いつも感じる（2.0%）」と「ときどき感じる（32.3%）」を合わせると、約3人に1人が育てにくさを感じています。その中で、相談先や解決方法を知らない人は 29.7%となっています。全体で見ると約1割の方が育てにくさを感じているものの相談先や解決方法を知らず、このような方への支援が必要となります。
- 未就学児の保護者で妊娠中に働いていた母親は、「働いていたが、やめた」を含め 69.8%となっていますが、このうち、職場での配慮があったと回答した人が 81.4%と多くを占め、配慮の種類は、「いたわりの声かけなど良い雰囲気があった」が 75.8%と最も高く、次いで「妊婦健康診査受診のための休みをくれた」が 43.3%、「仕事の転換はなかったが、休憩の配慮や残業を減らす配慮をしてもらった」が 38.6%となっています。
- 未就学児の保護者の子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人」が 77.6%と最も高く、次いで「自分の親」が 65.7%、「その他（市が運営するWEBサイト以外）のインターネットの情報」が 64.9%となっています。それらと比較すると、「市が運営するWEBサイト（15.7%）」、「市の子育て関連情報誌（15.1%）」など市が発信する情報源の利用は少なくなっています。
- 子どもの教育やしつけについて、こころがけている（こころがけたい）ことは、未就学児・小学生の保護者ともに「子どもの話を聞くようにする」が約9割と最も高く、他に7割以上の回答は、「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」、「子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする」、「毎日、夕食を一緒にとるようにする」、「普段からよくほめるようにする（未就学児の保護者のみ）」となっています。
- 子どもの望ましいと考える姿は、未就学児・小学生の保護者ともに「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」が 65%以上で最も高く、次いで「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が 5割弱となっています。

### 3) 18歳未満調査

#### ① 家の人との関わりについて

- 家の人との会話については、「よく話す」の割合でみると、小学校高学年で79.2%、中学生で67.9%、高校生年代で64.8%と年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。
- 話さない理由については、小学校高学年で、「話しても考え方や話題があわないので、話す気にならないから（26.6%）」や「話をするのがめんどうだから（23.4%）」の割合が高く、中学生と高校生年代では「話をするのがめんどうだから」の割合が最も高く、中学生では46.2%、高校生年代では58.7%と年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。
- 家にいるとき楽しいと感じるときについては、小学校高学年で「家族と会話をしているとき」が54.4%、「家族みんなでテレビを見ているとき」が45.7%で高く、これらは年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。中学生では「自分の趣味（読書など）をしているとき」が44.8%で高く、高校生年代では「自分の趣味（読書など）をしているとき」が46.8%、「パソコンや携帯電話でインターネット、メールやSNSをしているとき」が40.0%と高くなっています。
- 家にいて楽しくないと思うことについては、すべての年代で「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いのことなどで）」や「勉強すること」が約3~4割と高くなっています。

#### ② 学校や日常生活について

- 学校に行きたくないと思ったことがあるかについては、「いつもそう思っている」と「ときどきそう思うことがある」を合わせると、小学校高学年と中学生で3割以上、高校生年代では約4割となっています。学校に行きたくない理由は、「睡眠不足や体の疲れで」の割合が最も高く、次いで「きらい（苦手）な授業や行事がある」となっており、年齢が上がるにつれて割合も高くなっています。
- 携帯電話（スマートフォンを含む）の所持については、年齢が上がるほど「持っている」の割合が高く、高校生年代では、89.6%となっています。インターネットの利用については、「よく利用する」でみると小学校高学年で35.3%、中学生で59.7%、高校生年代で80.5%と、年齢が上がるほどインターネットを利用する割合が高くなっています。また、「友だちとの会話のほとんどは、携帯電話などのメールやSNSを使っている」と回答した割合についても年齢が上がるほど割合が高くなり、小学校高学年で5.5%、中学生で25.9%、高校生年代で48.4%となっています。
- 困りごとや悩みごとについては、小学校高学年では「困りごとや悩みごとはない」が45.7%で高く、中学生、高校生年代では「勉強や進路のこと」がそれぞれ54.6%、74.3%と高くなっています。相談相手については、すべての年代で「親（保護者）」、「友だち」が高くなっていますが、一方で、「だれにも相談しない・できない」という回答も、小学校高学年で8.8%、中学生で11.1%、高校生年代で14.4%となっています。
- 最近1か月間のこころの状態については、感じた頻度で「いつも」「たいてい」を合わせた割合をみると、中学生、高校生年代ともに「神経過敏に感じた」がそれぞれ10.2%、10.7%と最も高くなっています。全体的に高校生年代の方が頻度が高い傾向にあります。
- 未成年者が非行に走る原因（背景）については、中学生、高校生年代ともに「家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること」がそれぞれ65.1%、67.1%と最も高く、次いで「家庭で過保護、または放任し過ぎること」が、それぞれ44.0%、49.6%となっています。また、中学生では「非行につながる有害情報や歓楽の場が氾濫するなど社会環境が悪化していること」が42.2%と高く、高校生年代では「子どもの模範（手本）となるべき大人自身のモラル（道徳意識）や規範意識が低下していること」も41.3%と高くなっています。なお、青年調査においても、この4つの回答の割合が高くなっています。

### ③ 将来について

- 将来の「ゆめ」や「目標」を持っている割合は、小学校高学年で83.7%、中学生で77.3%、高校生年代で74.8%と、年齢が上がるほど割合が低くなっています。
- 「ゆめ」や「目標」の内容については、すべての年代で「趣味など好きなことをしながら生活したい」が最も高く、小学校高学年で38.1%、中学生で46.7%、高校生年代で46.1%となっています。次いで、小学校高学年では「他人を思いやることができるやさしい人になりたい」が34.2%、中学生では「自分の個性や才能を生かした仕事をしたい」が39.1%、高校生年代では「社会に貢献したい（世の中のために役に立つことをしたい）」が39.6%となっています。
- 「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周りの大人から受けてみたい手助けの内容については、どの年代も『ゆめ』や『目標』を見つけたり、『ゆめ』の実現に向けて迷いやわからない事があったときにしっかりアドバイスしてほしいが最も高く、小学校高学年で41.3%、中学生で34.2%、高校生年代で37.5%となっています。次いで「大人の意見を押しつけないで、自分の考え方をきちんと聞いてほしい」が小学校高学年で18.1%、中学生で25.6%、高校生年代で19.8%となっています。
- 自分の将来（どんな仕事をしたいか、結婚するかしないか、子どもを持ちたいか等）について考えた経験については、「ある」が中学生81.9%、高校生年代が86.3%と高くなっている一方で、「ない」が中学生で18.1%、高校生年代で13.7%となっています。

### ④ 地域の愛着や活動について

- 住んでいる地域への愛着については、「好き」の割合がそれぞれ高く、小学校高学年で60.5%、中学生で45.4%、高校生年代で36.3%となっています。また、「どちらかといえば好き」と合わせると7割から8割が好きと回答しています。
- 最近1年間の地域の行事や活動への参加状況については、小学校高学年と中学生では「1, 2回程参加した」がそれぞれ48.5%、54.2%と最も高く、高校生年代では「まったく参加していない」が54.8%と最も高くなっています。年齢が低いほど地域への愛着が強く、行事や活動への参加の度合いが高くなっています。

### ⑤ 行政等のサービス（施設）について

- サービス（施設）の認知度について、中学生、高校生年代ともに「さわやか相談室」がそれぞれ92.6%、90.5%と最も高く、次いで「児童センター」、「教育相談室」となっています。利用したことがあるのは、中学生、高校生年代ともに「児童センター」と「猿花キャンプ場」が高くなっていますが、今後の利用意向については、「考えていない」が多くを占めています。

## 4) 青年調査

### ① 仕事・将来・結婚について

- 職場や働き方の希望については、「人間関係がよい職場」が82.8%で最も高く、次いで「休暇がとれ、残業が少ない職場」が69.1%、「収入が多い職場」が63.4%、「将来の不安がなく安定している職場」が44.5%となっています。一方で、「派遣社員やフリーターなど会社に縛られない自由な生き方」は3.8%と低くなっています。
- 休日の過ごし方については、「テレビやビデオを見る」が63.9%で最も高く、次いで「インターネットや携帯電話で友人とSNSやメールをしている」が57.1%、「友達と一緒に遊んだり、スポーツをする」が53.6%となっています。また、ふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人については、「中学校時代や高校時代の友だち」が67.2%で最も高く、次いで「大学・短大・専門学校等の友だち」が60.1%となっています。
- 将来の「夢」や「目標」については、「家族や友人などと円満に楽しく堅実な暮らしをしたい」が73.0%で最も高く、次いで「収入を増やし、豊かな生活をしたい」が55.2%、「好きなことをしながら気ままに生活したい」が48.4%となっています。職場や働き方の希望などと合わせて、ワーク・ライフ・バランスを重視した回答が多いことがうかがえます。
- 将来の夢や目標を実現するための行動については、「資格取得を目指している」が33.1%で最も高く、次いで「資金をためている」が26.0%となっています。
- 結婚に対する考えについては、「時期の希望はないが、いずれは結婚したい」が33.6%で最も高く、次いで「すでに結婚している」が27.6%、「いい相手と出会わなかったら無理にする必要はない」が18.6%となっています。
- 結婚後の女性の生き方について、「結婚し子どもを持っても、仕事を出来る限り続けたい(けてほしい)」が33.1%、「結婚や出産を機に一旦退職するが、子育て後には再び復職(就職)したい(してほしい)」が31.1%で高くなっています。

### ② 困りごとや悩みごとについて

- 困りごとや悩みごとについては、「お金のこと」が48.9%で高く、次いで「仕事のこと」が41.0%、「就職のこと」が25.4%となっています。相談先については、「友だち、職場の同僚」が28.7%で高く、次いで「配偶者(パートナー)」が18.9%となっています。

### ③ 地域の愛着や活動について

- 住んでいる地域について、「好きである」が39.6%、「どちらかといえば好きである」が34.2%と、合わせて7割を超える方が好きと回答しています。一方で、最近1年間の地域活動の参加経験については、「参加したことがない」が55.2%、過去のボランティア活動の参加経験についても、「参加したことがない」が47.0%となっています。

### ④ 価値観や社会のあり方について

- 本人の考え方については、「結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」、「幸せについて自分の考え方と違って、その人が幸せになろうとするのを邪魔するのは良くない」、「男の人も女の人も同じように家事や育児をするのは当然だ」がそれぞれ7割以上となっています。また、「重要なことは皆の話し合いで決めるよりも優れたリーダーの決断に任せるべきだ」は6.8%と最も低く、どんな人でも個人として平等に価値を認めるべきとの考え方がうかがえます。
- 社会のあり方については、「犯罪の防止・災害への備えに努め、安心して暮らせる社会になってほしい」が57.4%で最も高く、次いで「子育て支援や少子化対策を最優先とする社会になってほしい」が48.1%、「経済活動をもっと活性化し、だれもが希望する仕事に就ける社会になってほしい」が31.1%となっており、安心して子育てや仕事ができる社会が望まれていることがうかがえます。

## 5) 妊婦調査

### ① 不安に思うことと支援体制について

- 妊娠中、不安に思う（思った）ことは、「自分の体やお腹の中の赤ちゃんのこと」が82.3%で最も高く、次いで「出産のこと」が69.4%、「出産後の育児のこと」が62.2%となっています。
- 出産後についても「とても不安」と「少し不安」を合わせて87.1%の方が不安を感じており、その内容は、「配偶者（パートナー）等が不在の時など、自分ひとりで育児がうまくできるか」が79.7%と最も高く、次いで「子どもを通しての人間関係が上手くできるか」が51.1%、「経済的にやっていけるか」が41.8%となっています。また、配偶者（パートナー）や両親等に望むものは、「話を聞き、相談にのってほしい」が70.8%、「配偶者（パートナー）や両親自身が健康であってほしい」が66.5%となっています。
- 妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるときの相談先と、主に支援してくれる方については、いずれも「親・兄弟・姉妹などの親族」と「配偶者（パートナー）」がそれぞれ8割以上と高くなっています。
- 妊娠期間中に必要なサポートについては、「出産後の育児に関する知識等の提供」が76.1%で最も高く、次いで「親としての心構え等に関する知識等の提供」が52.6%、「経済的支援」が42.1%となっています。
- 出産後、家族以外からのサポートについては、「子どもの発育や発達、接し方など子育てのアドバイス」が65.6%で最も高く、次いで「生活圏内の子育て関連の情報提供」が52.6%、「母親の精神的な負担感を受け止める支援」が48.3%と、幅広いサポートが望まれています。
- 行政や民間等の母子保健サービスについては、「子育てに関する情報提供や学習機会の充実」が64.6%で最も高く、「育児不安や悩みに対する相談体制の充実」が58.4%、「医療体制の充実」が51.7%、「妊婦や出産に関する情報提供や学習機会の充実」が45.5%と続いています。

### ② 仕事について

- 現在の就労については、「フルタイムで働いている（または産休中）」が52.2%で最も高くなっています。出産後については「出産後も（継続して）働きたい」が54.5%、「今は働いていないが、出産後の体調をみて働く予定」が22.5%と約4人に3人が働く希望を持っています。
- 妊娠中の職場の配慮については、「ある（あった）」が59.8%となっています。
- 育児休業の取得期間の予定については、「1～2年」が56.1%で最も高く、次いで「1年未満」が33.3%となっています。

### ③ 教育・保育の利用希望について

- 定期的な教育・保育の利用希望については、「認可保育所」が57.9%、「幼稚園」が56.9%と高く、次いで「認定こども園」が33.0%、「幼稚園の預かり保育」が24.4%となっています。
- 幼児教育・保育が無償化された場合の今後利用したいと考える教育・保育の種類については、「変わらない」が46.4%と最も高く、次いで「認可保育所」が34.9%、「幼稚園」が32.1%、「幼稚園の預かり保育」が22.0%となっています。

### ④ 地域での子育て支援について

- 子育てを安心・安全にするための地域での必要な取り組みについては、「子育て中の親子が集まる場、遊べる場づくり」が68.4%で最も高く、次いで「子育て中の人と経験者が交流できる場や仕組みづくり」が48.8%となっているなど、交流の場づくりが望まれていることがうかがえます。
- 今後、地域の中でできることについては、「考えたことがない、わからない」が49.8%と最も高くなっていますが、「ある」の回答の中では「子育てサークル等の自主活動への参加」が21.5%、「自治会などの地区活動への参加」が20.6%と高くなっています。

## 6) ひとり親調査

### ① 就労状況について

- 現在の就業上の地位については、「常勤職員・正社員」が45.7%で最も高く、次いで「臨時・パート」が31.7%となっています。
- 昨年の1年間の就労によって得た収入は、「200万円～300万円未満」が25.4%で最も高く、次いで「100万円～200万円未満」が24.6%、「300万円～400万円未満」が15.5%となっています。
- 転職の希望については、「現在の仕事を続けたい」が59.9%で最も高くなっています。その一方で、「仕事を変えたい」、「仕事をやめたい」と考えている方は37.1%となっています。その理由は、「収入がよくない」が63.6%で最も高く、次いで「子どもと過ごす時間を増やしたい」が31.2%、「休みが少ない、とれない」と「身分が安定していない」がそれぞれ22.7%となっています。

### ② 養育費について

- お子さんの養育費の相談相手については、「相談していない」が52.0%となっており、相談をしている方の相談先としては、「親族」が16.9%、「家庭裁判所」が14.3%となっています。
- 養育費の取り決めの状況については「取り決めている（文書あり）」が40.4%、「取り決めている（文書なし）」が17.1%で合わせて57.5%となっている一方で、「取り決めている（文書なし）」は41.3%となっています。養育費の取り決めている理由については、「相手と関わりたくないから」が55.8%で最も高く、次いで「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が49.0%となっています。
- 子どもの養育費の受け取り状況については、「受けたことはあるが現在は受け取っていない」、「受けたことはない」を合わせると66.6%となっており、「現在も受け取っている」は29.1%となっています。
- 養育費について約6割の方が取り決めているにも関わらず、継続して受け取っているのは約3割という状況となっています。

### ③ 困っていることと支援体制について

- 現在特に困っていることについては、「収入・生計の維持」が35.3%で最も高くなっています。
- 育児や子育てなどお子さんのことで困っていることを相談する相手は、「友人・知人」が57.3%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が40.5%、「職場の仲間や先輩」が32.3%となっており、身近な人に相談している様子がうかがえますが、一方で、「いない」との回答が10.1%となっています。
- ひとり親世帯の方への支援策として、今後特に必要と思うことについては、「各種の手当や見舞い金の支給・貸与」が49.4%で最も高く、次いで「公営住宅優先選考など住宅面での支援」が31.9%、「親の経済的自立のための、技能・資格修得などへの支援」が25.0%となっています。困っていることと合わせると、経済的な支援が望まれていることがうかがえます。

## 4. 調査結果詳細

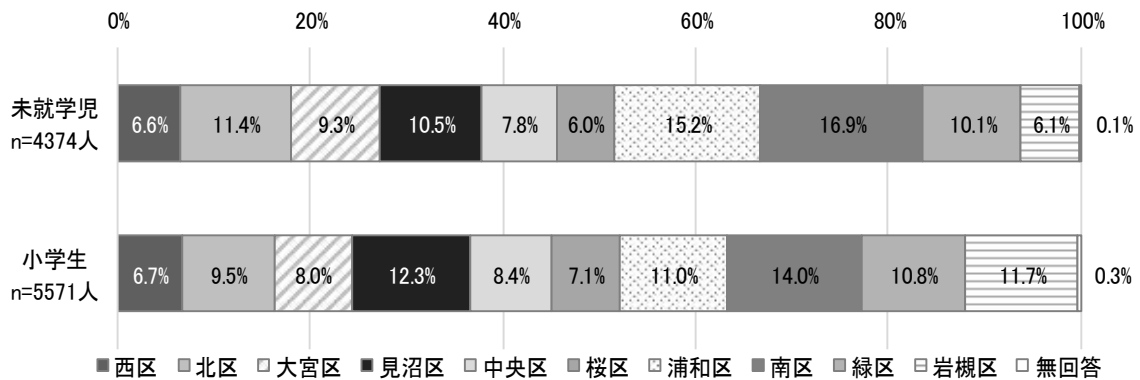
### 1) 未就学児保護者調査

#### 1 お住まいについてうかがいます。

##### 共通設問 問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住地区は、未就学児で「南区」が16.9%と最も高く、次いで「浦和区」が15.2%、「北区」が11.4%となっています。

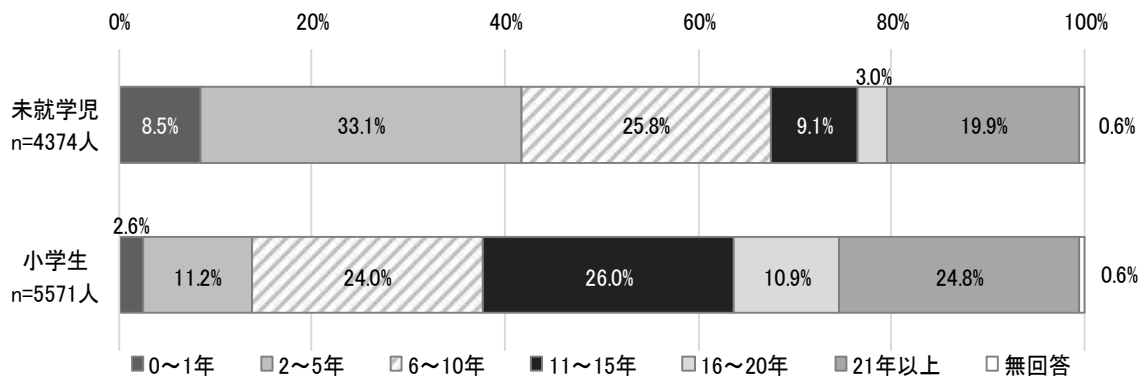
小学生では「南区」が14.0%と最も高く、次いで「見沼区」が12.3%、「岩槻区」が11.7%となっています。



##### 共通設問 問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

さいたま市の居住年数は、未就学児で「2～5年」が33.1%と最も高く、次いで「6～10年」が25.8%となっています。

小学生では「11～15年」が26.0%で最も高く、次いで「21年以上」が24.8%、「6～10年」が24.0%となっています。

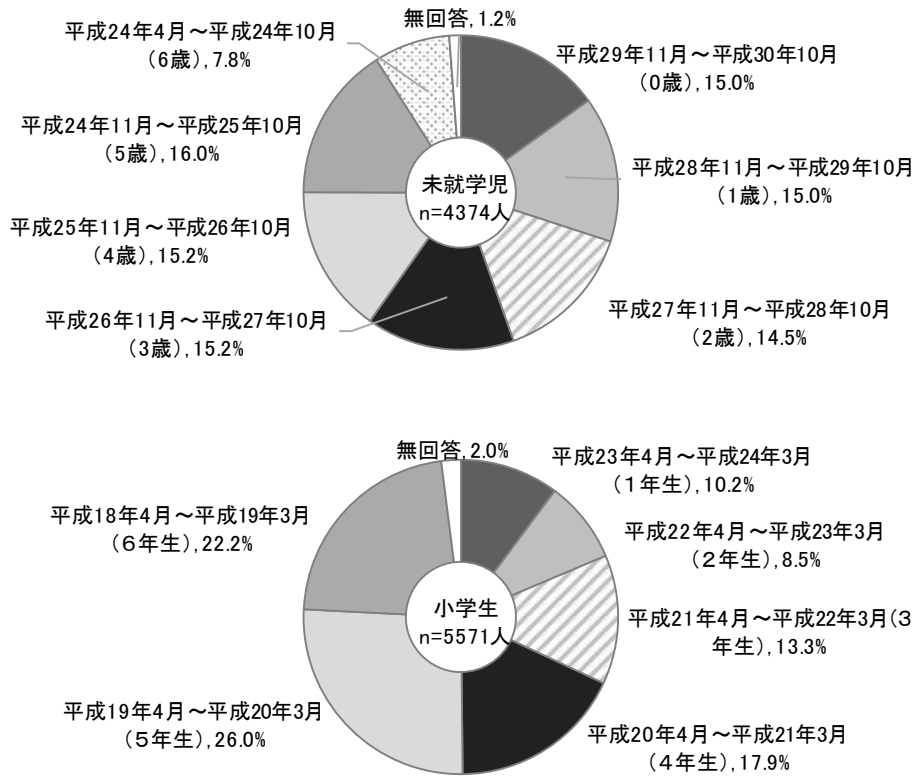


## 2 お子さんご家族の状況についてうかがいます。

**共通設問** 問3 お子さんの生年月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

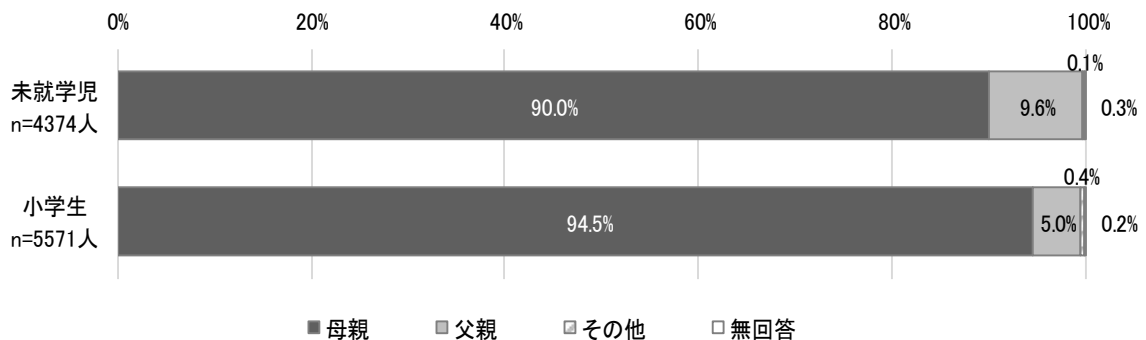
子どもの年齢（平成30年10月1日基準）は、未就学児でそれぞれ15%前後と同程度の分布となっています。

小学生では「5年生」が26.0%と最も高く、次いで「6年生」が22.2%、「4年生」が17.9%となっています。



**共通設問** 問4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

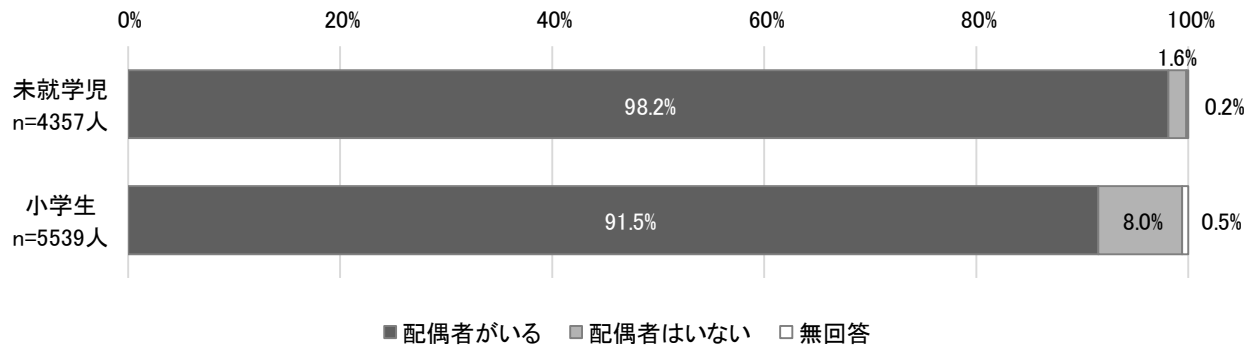
調査票の回答者は、未就学児で「母親」が90.0%に対し、「父親」が9.6%と、「母親」の割合が大きく上回っています。小学生でも同様に「母親」が94.5%に対し、「父親」が5.0%と、「母親」の割合が大きく上回っています。





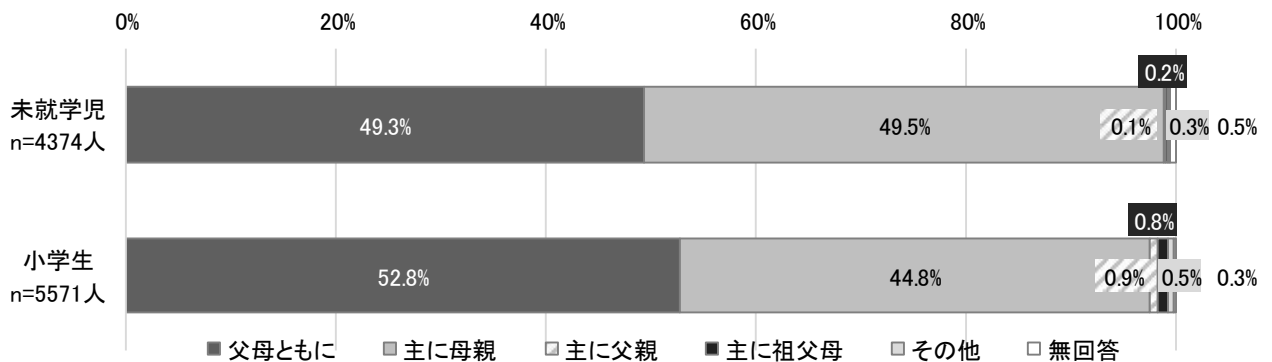
**共通設問** 問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

調査票の回答者の配偶関係は、未就学児で「配偶者がいる」が98.2%に対し、「配偶者はいない」が1.6%となっています。小学生では「配偶者がいる」が91.5%に対し、「配偶者はいない」が8.0%となっています。



**共通設問** 問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

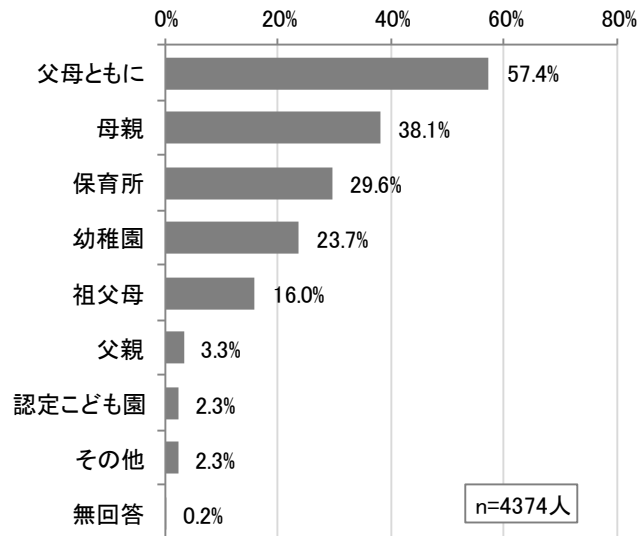
子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、未就学児で「父母ともに」が49.3%、「主に母親」が49.5%とほぼ同率となっています。小学生では「父母ともに」が52.8%と少々高くなり、「主に母親」が44.8%と続いています。



### 3 子育て環境についてうかがいます。

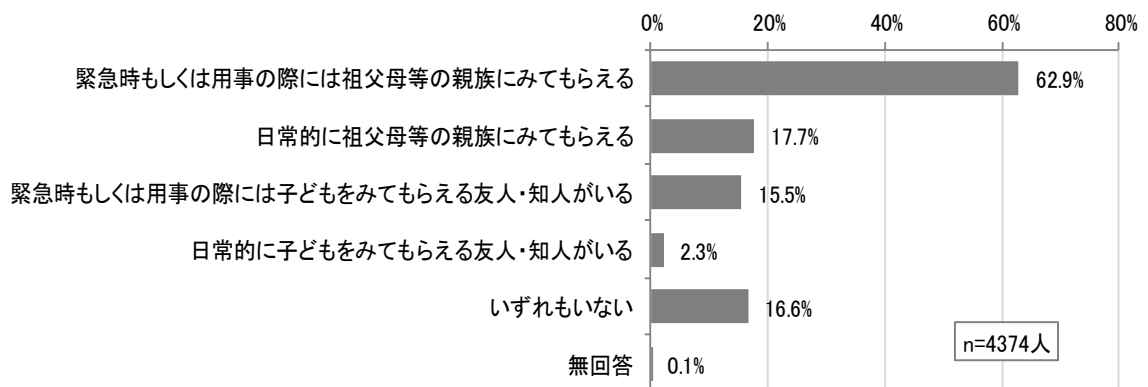
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたか、あるいはどの施設ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方や施設は、「父母ともに」が57.4%と最も高く、次いで「母親」が38.1%、「保育所」が29.6%、「幼稚園」が23.7%となっています。



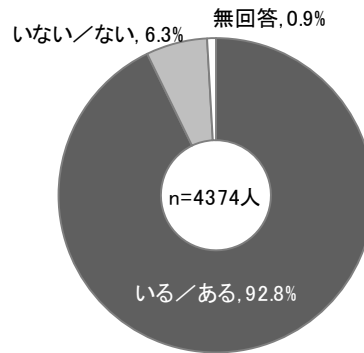
問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.9%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が17.7%と続いています。



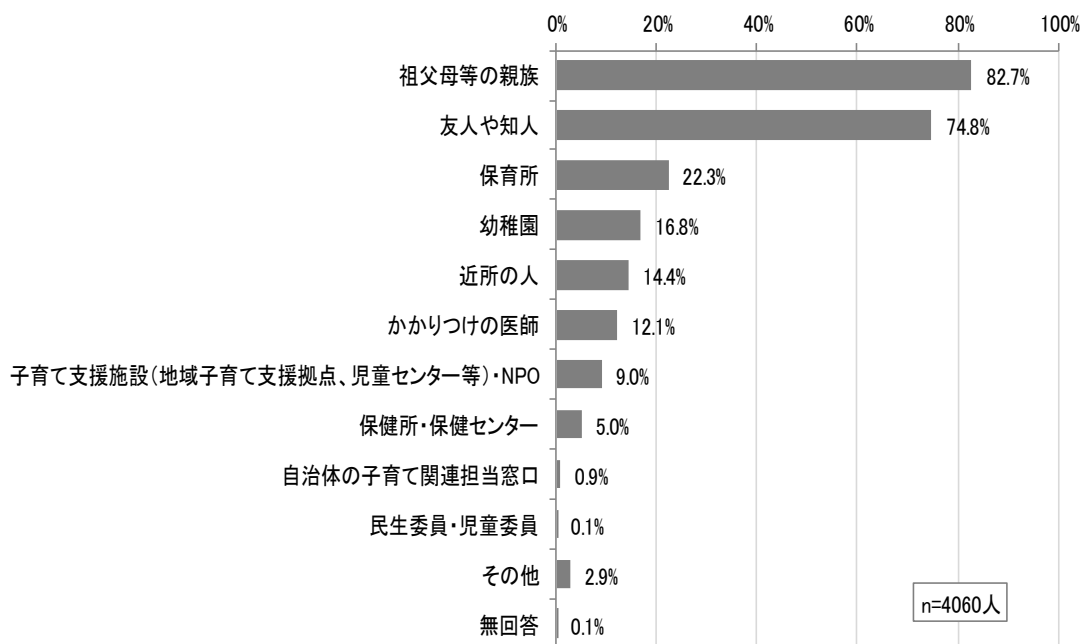
問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が92.8%に対し、「いない／ない」が6.3%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（82.7%）」、「友人や知人（74.8%）」が突出して高くなっています。

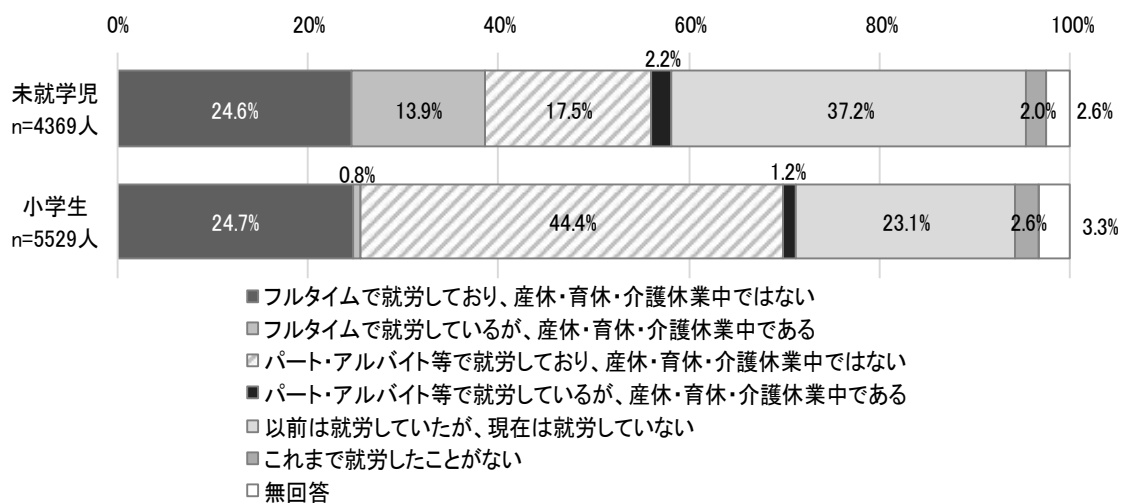


#### 4 お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

**共通設問** 問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、未就学児で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が37.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は24.6%となっています。また、産休・育休・介護休業中の方は、フルタイムとパートタイムを含め16.1%となっています。

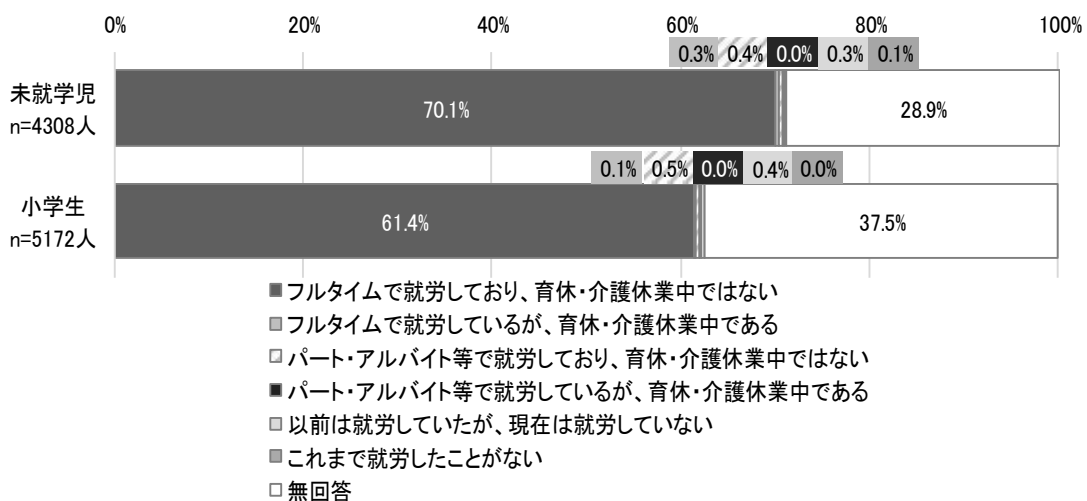
小学生では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が44.4%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.7%と続いています。また、産休・育休・介護休業中の方は、フルタイムとパートタイムを含め2.0%となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、未就学児で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が70.1%と最も高くなっています。

小学生でも「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が61.4%と最も高くなっています。

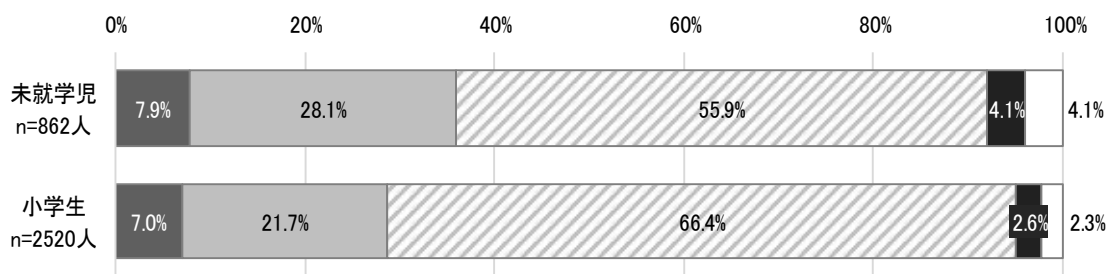


**共通設問** 問11 問10の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

### (1) 母親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、未就学児で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が55.9%と最も高く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は7.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は28.1%となっています。

小学生でも「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が66.4%と最も高く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は7.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は21.7%となっています。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

### (2) 父親

パート・アルバイト等で就労している「父親」のフルタイムへの転換希望について、回答者が多いのは、未就学児で「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が7件となっています。

小学生では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がそれぞれ7件となっています。

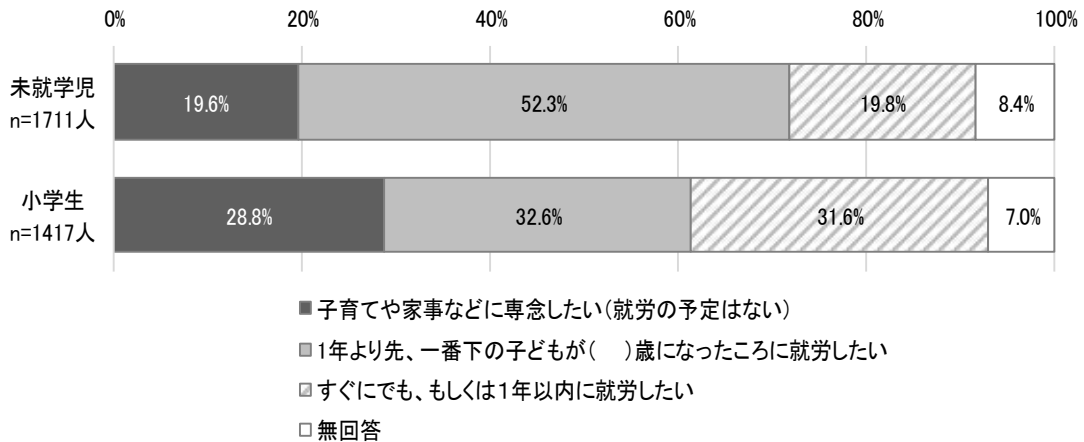
項目	未就学児n=16人		小学生n=29人	
	度数	構成比	度数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	3	18.8%	4	13.8%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	7	43.8%	7	24.1%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	4	25.0%	7	24.1%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0%	0	0%
無回答	2	12.5%	11	37.9%

**共通設問** 問12 問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

**(1) 母親**

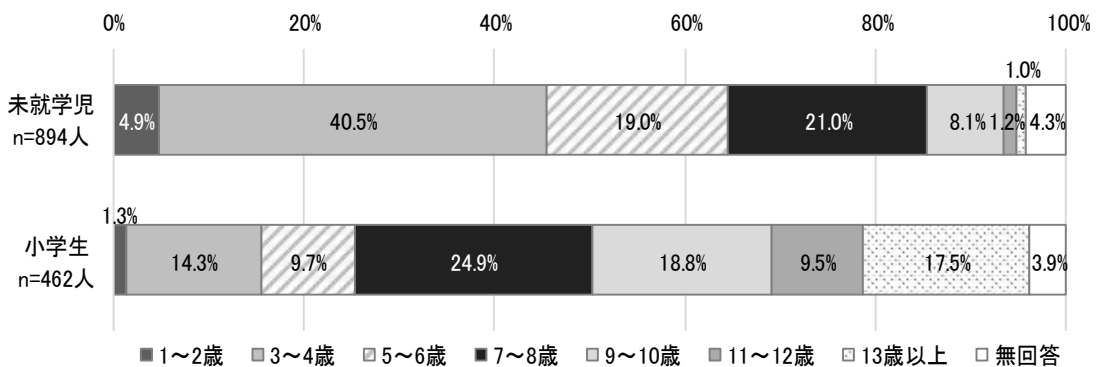
現在は就労していないと回答した「母親」の就労希望は、未就学児で「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が52.3%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が19.6%となっています。

小学生では「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が32.6%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.8%と続いています。



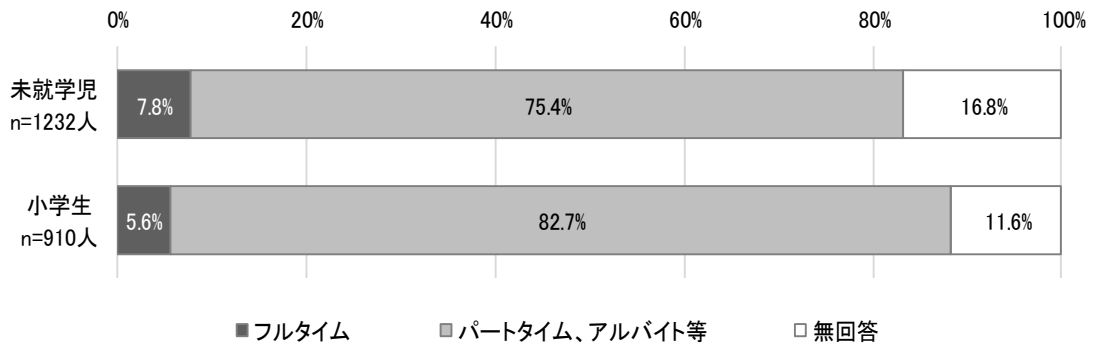
**■1年より先で就労したい子どもの年齢（一番下の子）**

就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、未就学児で「3～4歳」が40.5%と最も高く、次いで「7～8歳」が21.0%となっています。小学生では「7～8歳」が24.9%と最も高く、次いで「9～10歳」が18.8%となっています。



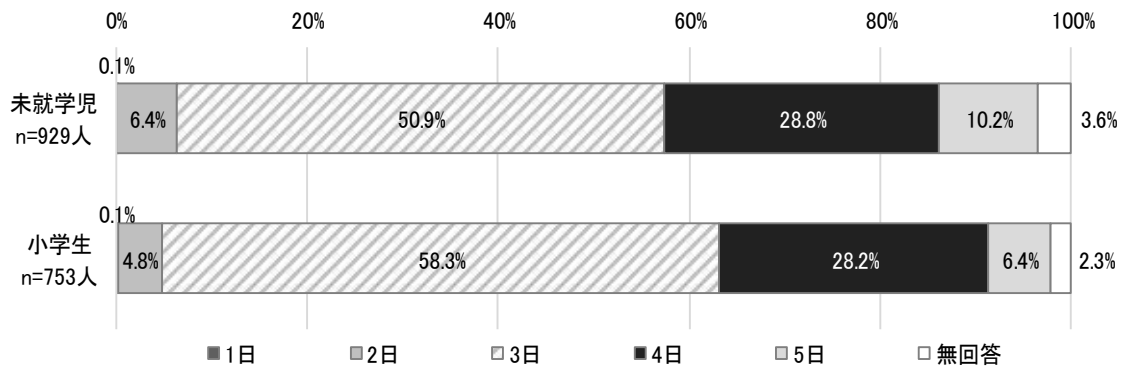
### ■希望する就労形態

現在就労していないが就労希望のある「母親」の希望する就労形態は、未就学児で「パートタイム、アルバイト等」が75.4%と高く、小学生でも「パートタイム、アルバイト等」が82.7%と高くなっています。



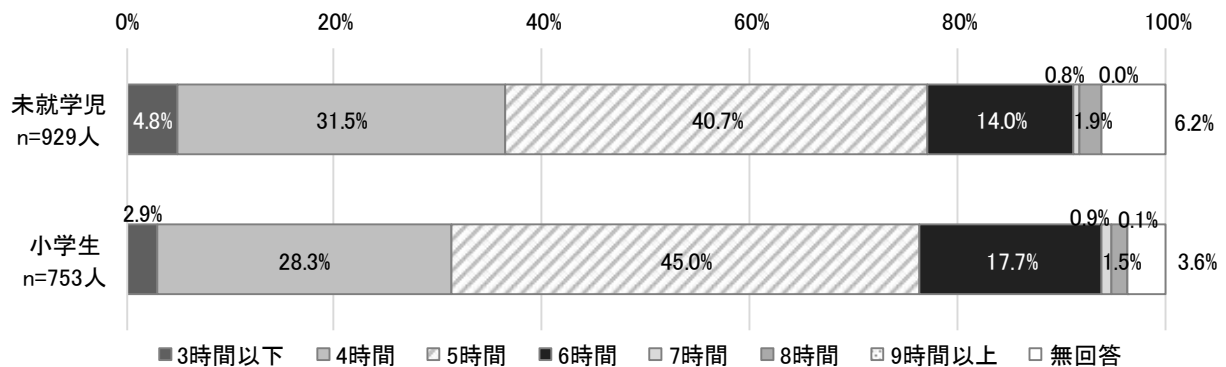
### ■パートタイム、アルバイト等で就労したい日数

現在就労していない「母親」の希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週当たりの希望勤務日数は、未就学児で「3日」が50.9%で最も高く、次いで「4日」が28.8%となっています。小学生でも「3日」が58.3%で最も高く、次いで「4日」が28.2%となっています。



### ■パートタイム、アルバイト等で就労したい時間

現在就労していない「母親」の希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1日当たりの希望勤務時間は、未就学児で「5時間」が40.7%で最も高く、次いで「4時間」が31.5%となっています。小学生でも、「5時間」が45.0%で最も高く、次いで「4時間」が28.3%となっています。



## （2）父親

現在は就労していないと回答した「父親」の就労希望について、回答数が多いのは、未就学児で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が6件となっています。小学生でも「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が8件となっています。

項目	未就学児n=17人		小学生n=19人	
	度数	構成比	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	3	17.6%	4	21.1%
1年より先、一番下の子どもが( )歳になったころに就労したい	2	11.8%	1	5.3%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	6	35.3%	8	42.1%
無回答	6	35.3%	6	31.6%

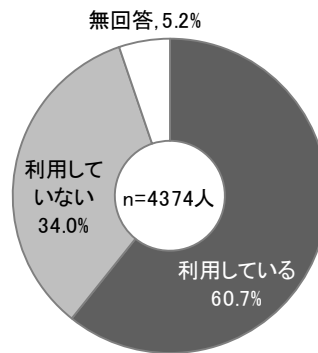


## 5 お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育所などを指し、具体的には、問 13-1 に示したものが含まれます。

問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

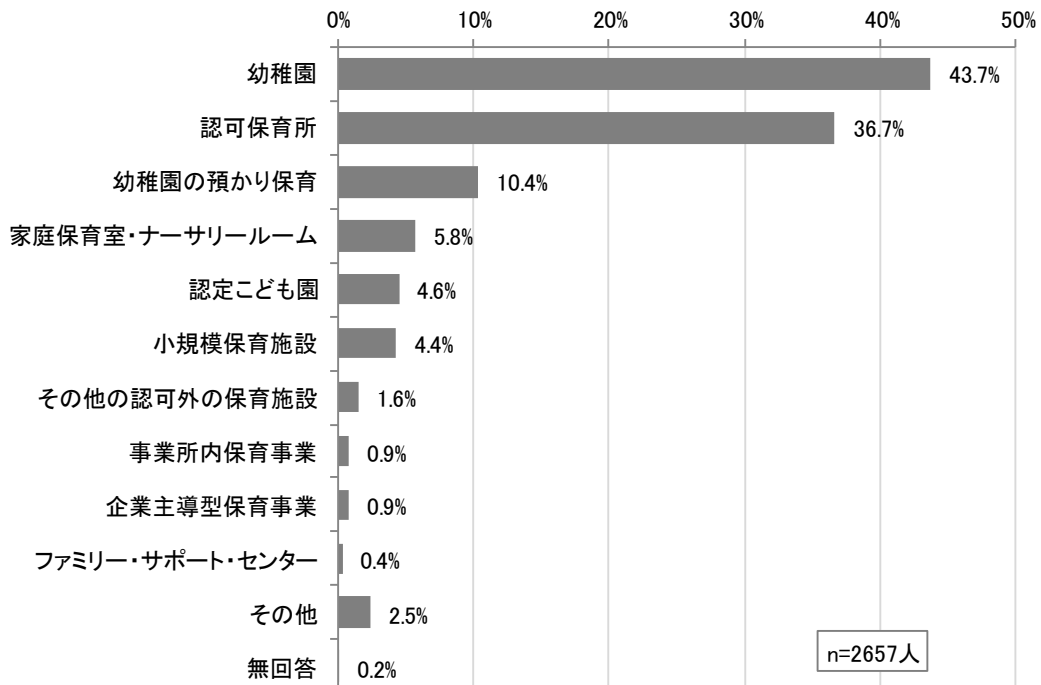
定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が 60.7%に対し、「利用していない」が 34.0%と、利用している方が上回っています。



問 13-1～問 13-5 は、問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「幼稚園」が 43.7%と最も高く、次いで「認可保育所」が 36.7%となっています。



問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間何分（何時何分から何時何分まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。時間は、必ず（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

平日の教育・保育の事業の日数などの現在の利用状況は、1週当たりの日数については、「5日」が90.9%、1日当たりの時間については、「7時間～10時間」が47.0%と、それぞれ最も高くなっています。また、利用時間帯では、開始時間については、「8時（39.9%）」、「9時（38.0%）」、終了時間については、「14時（30.0%）」、「18時（23.1%）」の割合が比較的高くなっています。

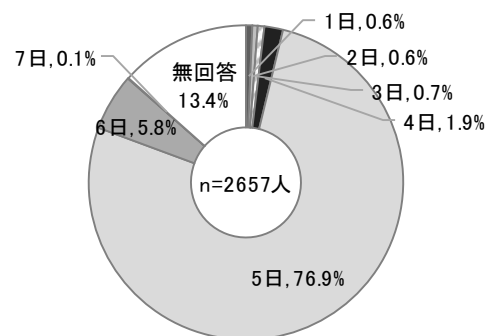
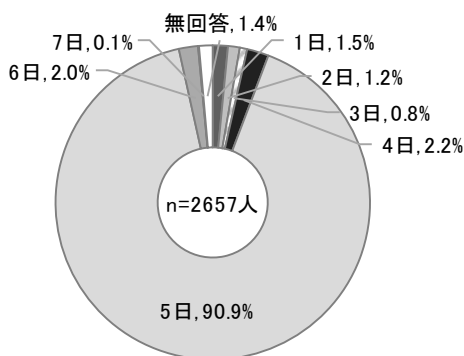
（2）希望

平日の教育・保育の事業の日数などの今後の利用希望は、1週当たりの日数については、「5日」が76.9%、1日当たりの時間については、「7時間～10時間」が51.1%と、それぞれ最も高くなっています。また、利用時間帯では、開始時間については、「8時（37.9%）」、「9時（28.8%）」、終了時間については、「18時（20.5%）」、「17時（16.7%）」、「15時（16.6%）」の割合が比較的高くなっています。

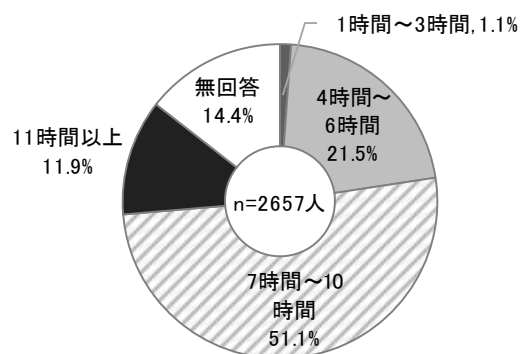
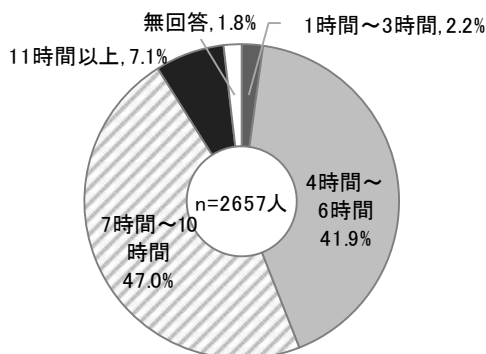
（1）現在

（2）希望

【1週当たりの日数】



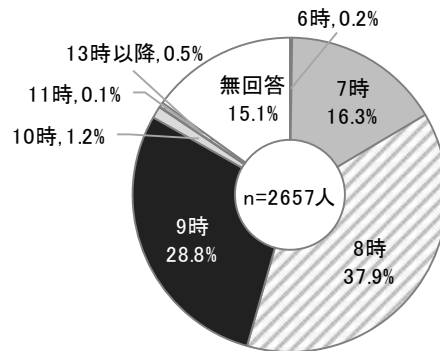
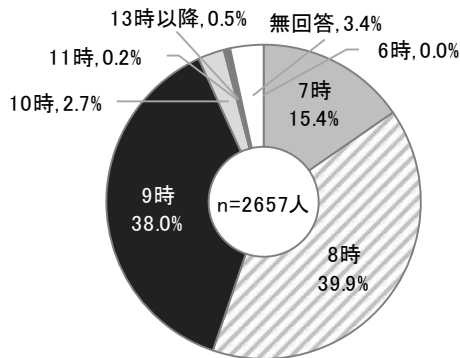
【1日当たりの時間】



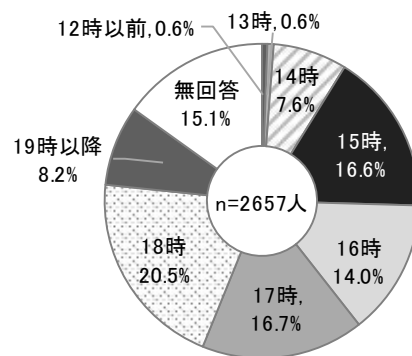
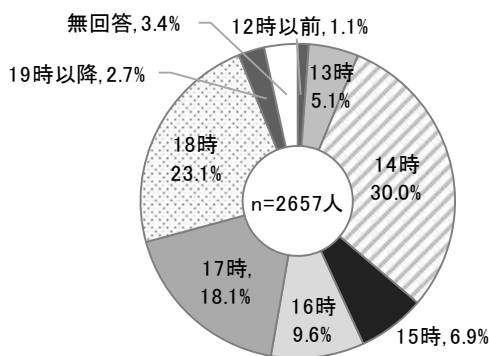
(1) 現在

(2) 希望

【利用開始時間】

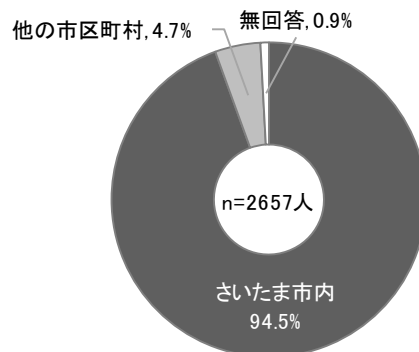


【利用終了時間】



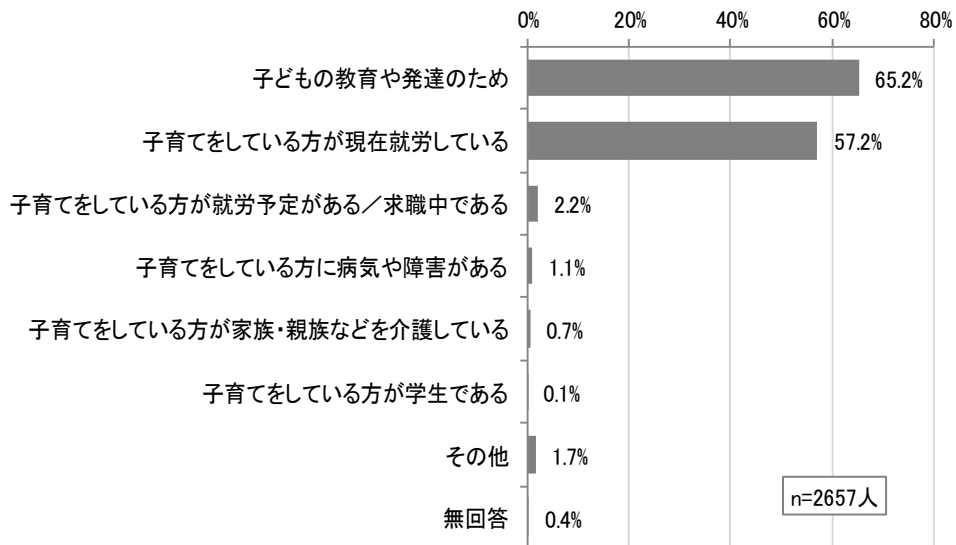
問 13-3 現在、利用している教育・保育の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「さいたま市内」が94.5%と高くなっています。なお、「他の市町村」の回答として、川口市、上尾市、戸田市が多くなっています。



問 13-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

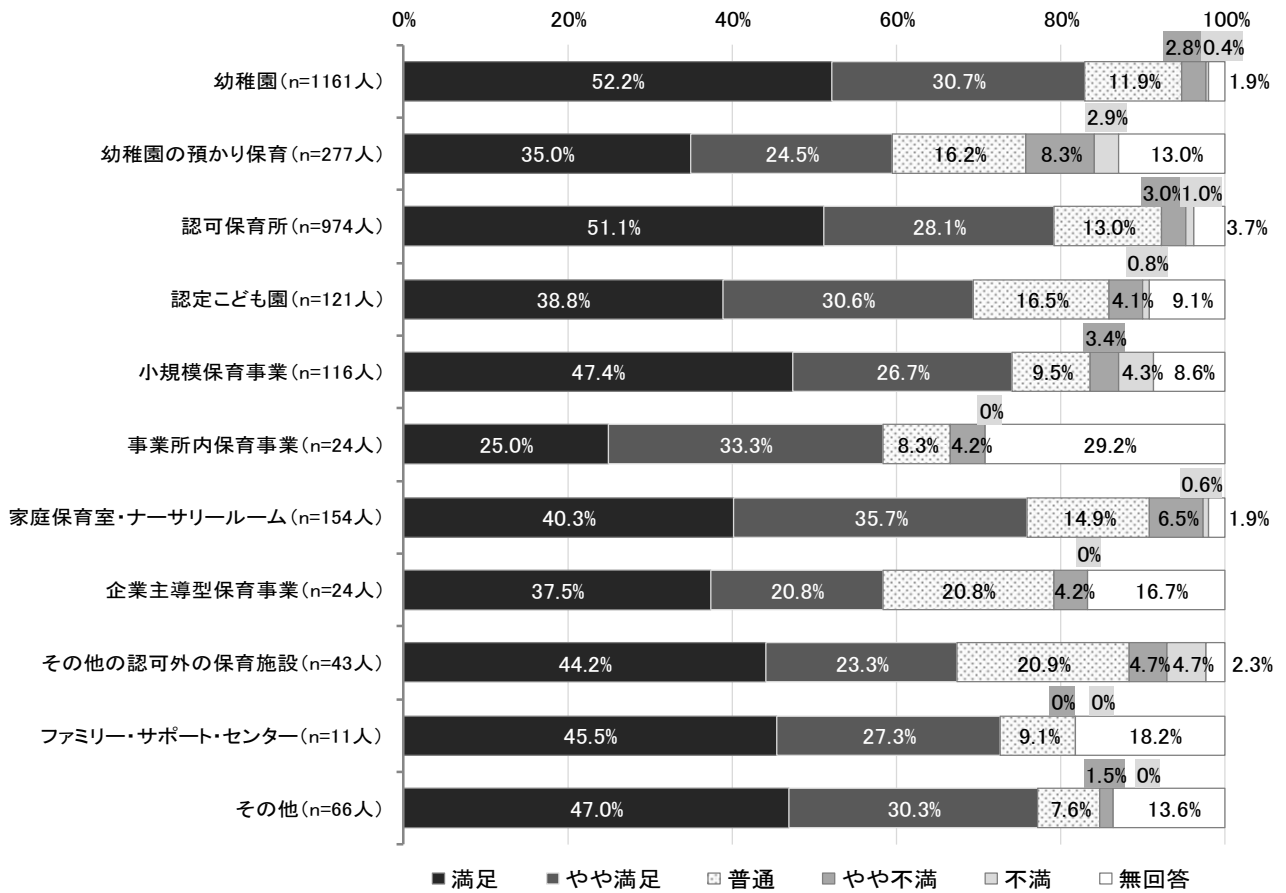
平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため（65.2%）」  
「子育てをしている方が現在就労している（57.2%）」の割合がいずれも突出して高くなっています。



問 13-5 平日に定期的に利用している教育・保育の満足度についてうかがいます。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

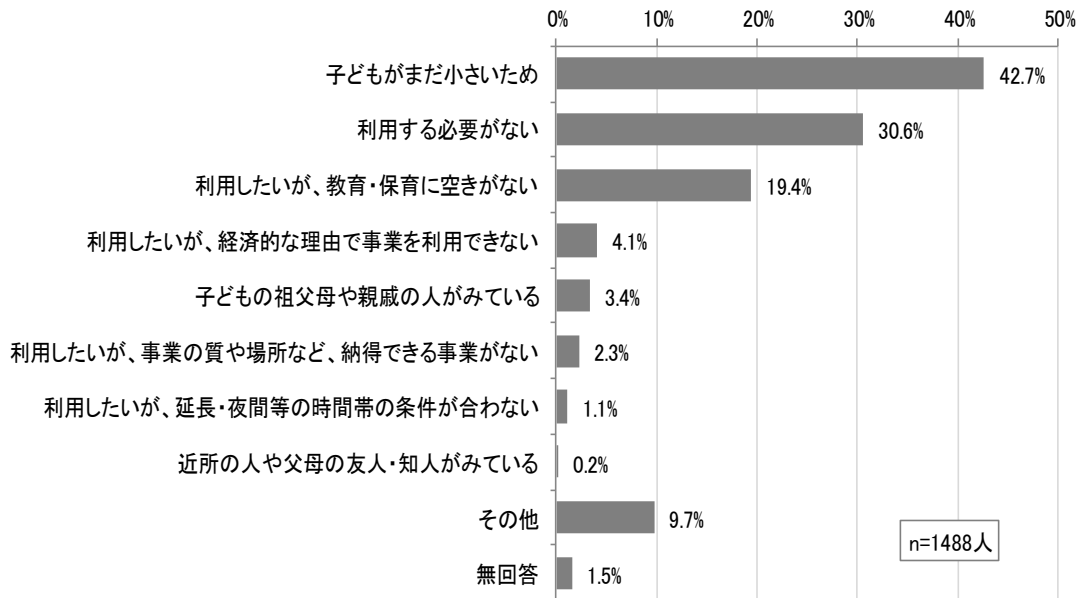
現在利用している教育・保育の満足度について、「満足」、「やや満足」を合わせた満足度が7割を超えているのは、「幼稚園」、「認可保育所」、「小規模保育事業」、「家庭保育室・ナーサリールーム」「ファミリー・サポート・センター」となっています。

※回答者数の少ない項目については、参考程度と捉える必要があります。



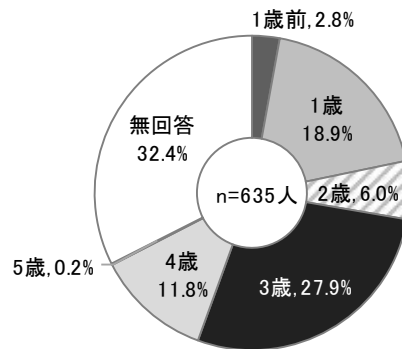
問 13-6 問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 42.7%で最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないため等）」が 30.6%、「利用したいが、教育・保育に空きがない」が 19.4%となっています。



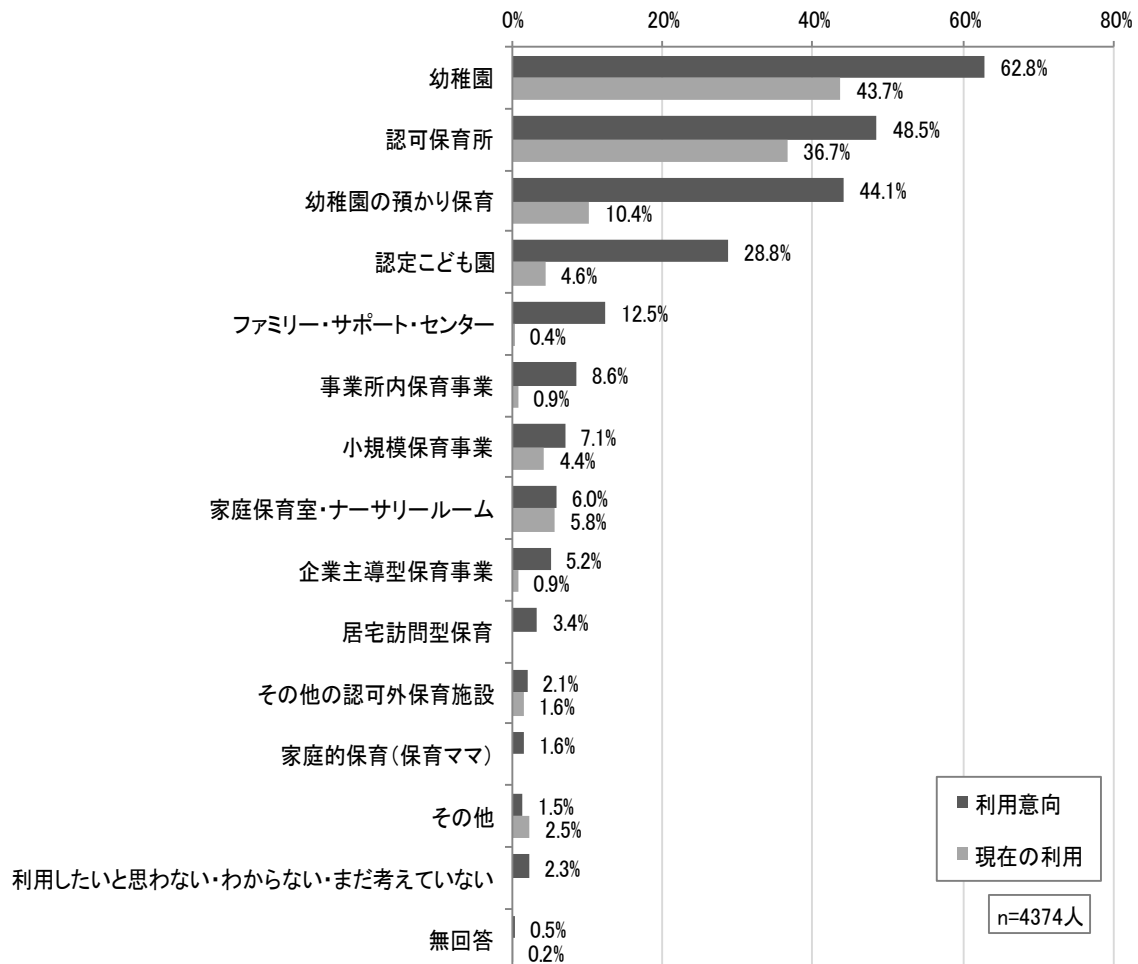
■子どもが小さいためと回答し、利用しようと考えている子どもの年齢

定期的な教育・保育事業を利用していない理由で「子どもが小さいため」と回答した方で子どもが何歳くらいになったら利用を考えているかについて、「3歳」が 27.9%で最も高く、次いで「1歳」が 18.9%となっています。



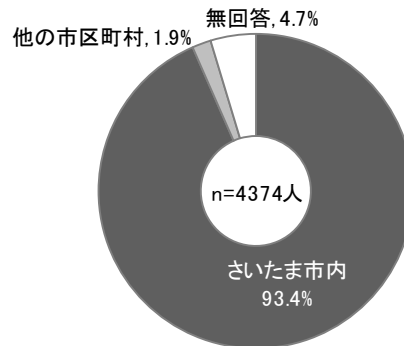
問14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

平日の教育・保育の事業の利用意向は、「幼稚園」が62.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が48.5%、「幼稚園の預かり保育」が44.1%、「認定こども園」が28.8%となっています。



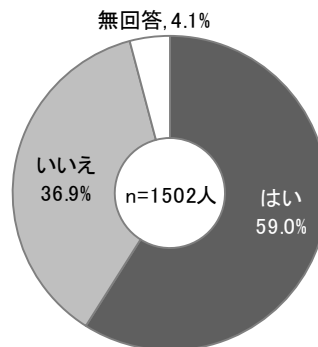
問 14-1 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

利用したい教育・保育事業の実施場所については、「さいたま市内」が93.4%と高くなっています。



問 14-2 問 14 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

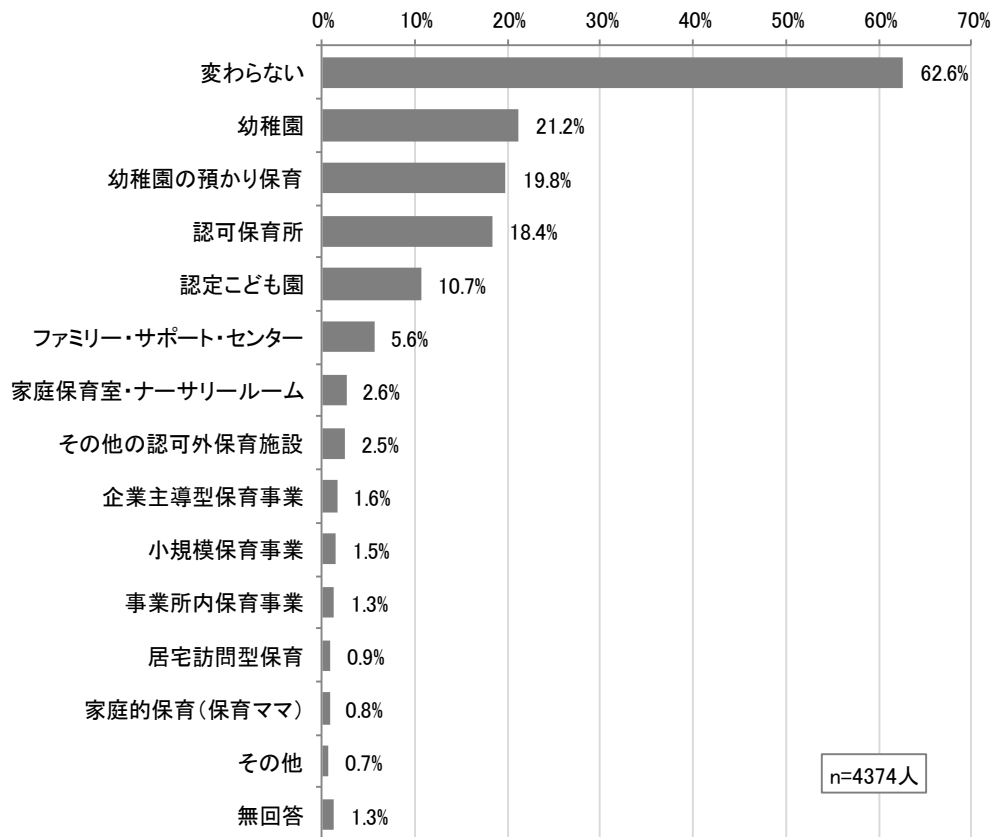
幼稚園の利用を強く希望するかどうかについては、「はい」が59.0%と、「いいえ」の36.9%を上回っています。





問 14-3 すべての方にうかがいます。平成 31 年 10 月から「幼児教育・保育の無償化」の実施が予定されていますが、幼児教育・保育が無償化された場合、今後利用したいと考える教育・保育（問 14 の回答）の種類は変わりますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

幼児教育・保育の無償化による今後利用したいと考える教育・保育事業の種類の変化については、「変わらない」が 62.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が 21.2%、「幼稚園の預かり保育」が 19.8%、「認可保育所」が 18.4%となっています。



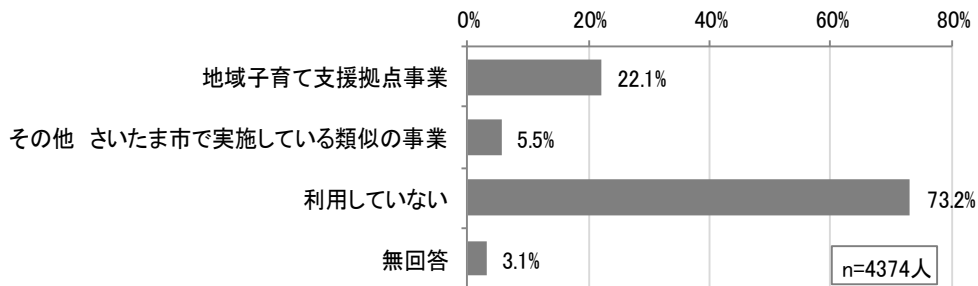
6 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「のびのびルーム」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、のびのびルーム）」を利用している割合が22.1%に対し、「利用していない」が73.2%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1週あたりでは「1回」の回答、1ヶ月あたりについては「1～3回」の回答が多くなっています。

また、その他、さいたま市で実施している類似の事業（子育てサロンなど）の利用は少なくなっています。



■地域子育て支援拠点利用回数

項目	度数
1回/週	165
2回/週	75
3回/週	41
4回/週	18
5回/週	10
6回/週	1
7回/週	0
1回～3回/月	657
4回～10回/月	95
11回以上/月	17

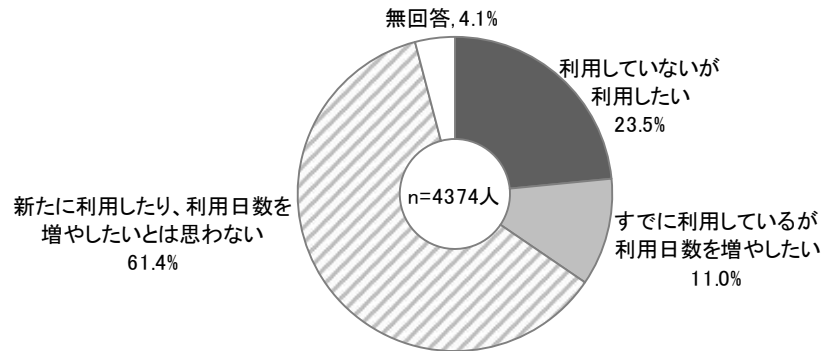
■その他、さいたま市で実施している類似事業(子育てサロンなど)の利用回数

項目	度数
1回/週	31
2回/週	10
3回/週	1
4回/週	1
5回/週	2
6回/週	0
7回/週	0
1回～3回/月	185
4回～10回/月	13
11回以上/月	0

問16 問15のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが利用したい（23.5%）」と「すでに利用しているが利用日数を増やしたい（11.0%）」の合計が34.5%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が61.4%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、新規の利用及び利用拡大ともに、1週当たりでは「1回」の回答、1ヶ月当たりでは「1回～3回」の回答が多くなっています。



■利用していないが利用したい回数

項目	度数
1回/週	332
2回/週	74
3回/週	36
4回/週	5
5回/週	4
6回/週	1
7回/週	0
1回～3回/月	642
4回～10回/月	157
11回以上/月	11

■すでに利用しているが利用日数を増やしたい回数

項目	度数
1回/週	121
2回/週	51
3回/週	25
4回/週	14
5回/週	3
6回/週	0
7回/週	0
1回～3回/月	196
4回～10回/月	98
11回以上/月	8

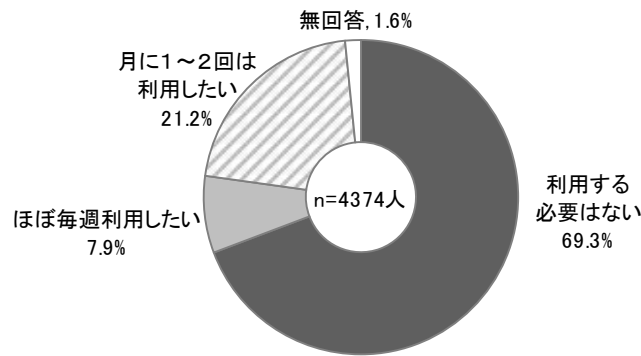
7 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の利用希望についてうかがいます。

問17 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。〔利用料：1日2,000円程度〕

(1) 土曜日

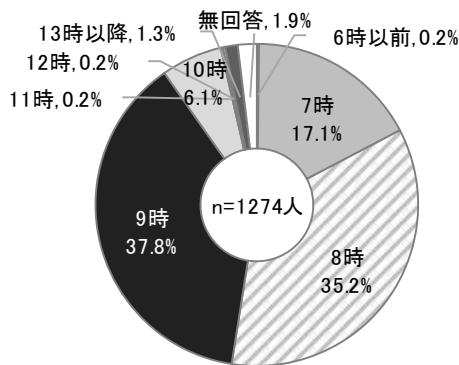
土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が69.3%に対し、「ほぼ毎週利用したい(7.9%)」と「月に1～2回は利用したい(21.2%)」の合計は29.1%となっています。

また、利用したい時間帯は、開始時間については、「9時(37.8%)」、「8時(35.2%)」、終了時間については、「18時(30.5%)」、「17時(21.4%)」の割合が比較的高くなっています。

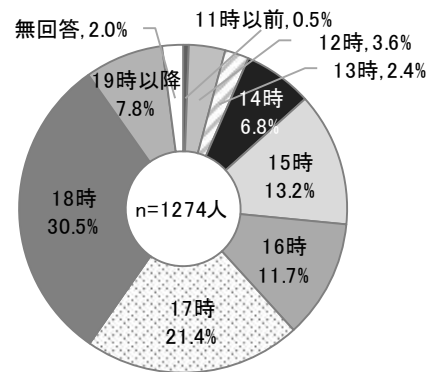


■ ほぼ毎週利用したい、月に1～2回は利用したい 利用時間

【利用開始時間】



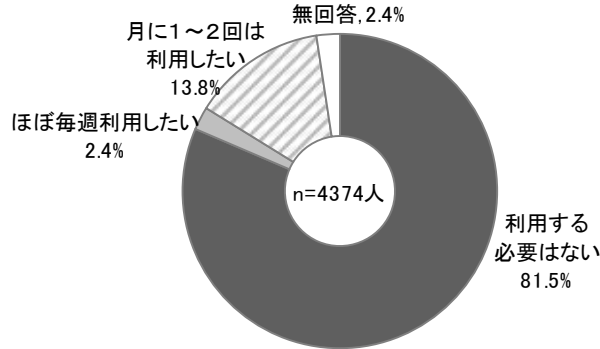
【利用終了時間】



(2) 日曜・祝日

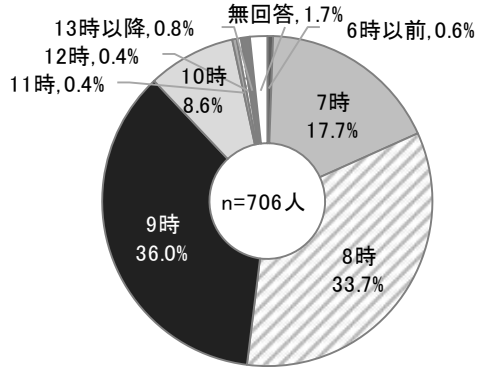
日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が81.5%に対し、「ほぼ毎週利用したい(2.4%)」と「月に1～2回は利用したい(13.8%)」の合計は16.2%となっています。

また、利用したい時間帯は、開始時間については、「9時(36.0%)」、「8時(33.7%)」、終了時間については、「18時(35.7%)」、「17時(21.4%)」の割合が比較的高くなっています。

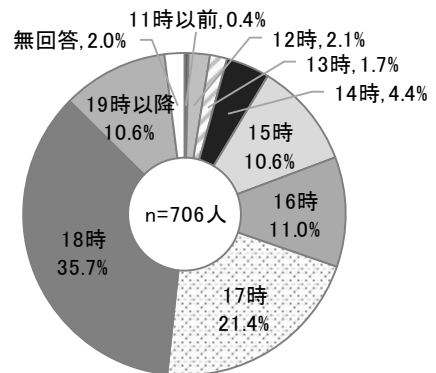


■ ほぼ毎週利用したい、月に1～2回は利用したい 利用時間

【利用開始時間】



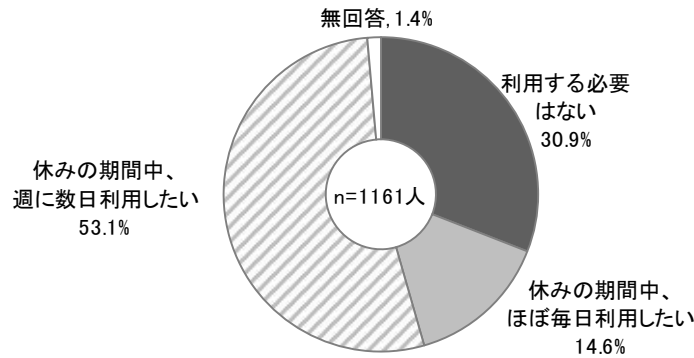
【利用終了時間】



問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。〔利用料：1時間240円程度〕

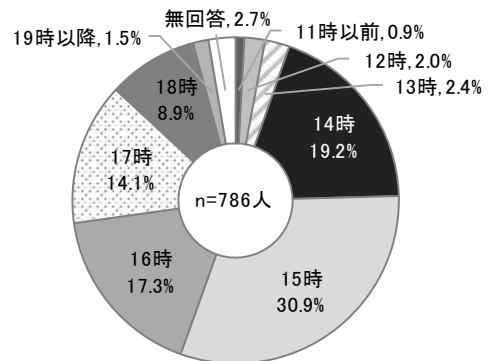
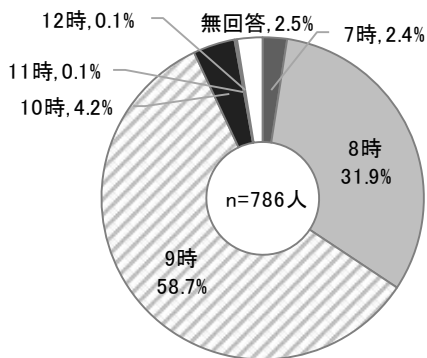
幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が30.9%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(14.6%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(53.1%)」の合計は67.7%となっています。

また、利用したい時間帯は、開始時間については、「9時(58.7%)」、「8時(31.9%)」、終了時間については、「15時(30.9%)」の割合が比較的高くなっています。



【利用開始時間】

【利用終了時間】

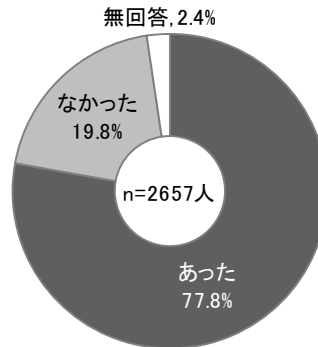


## 8 お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

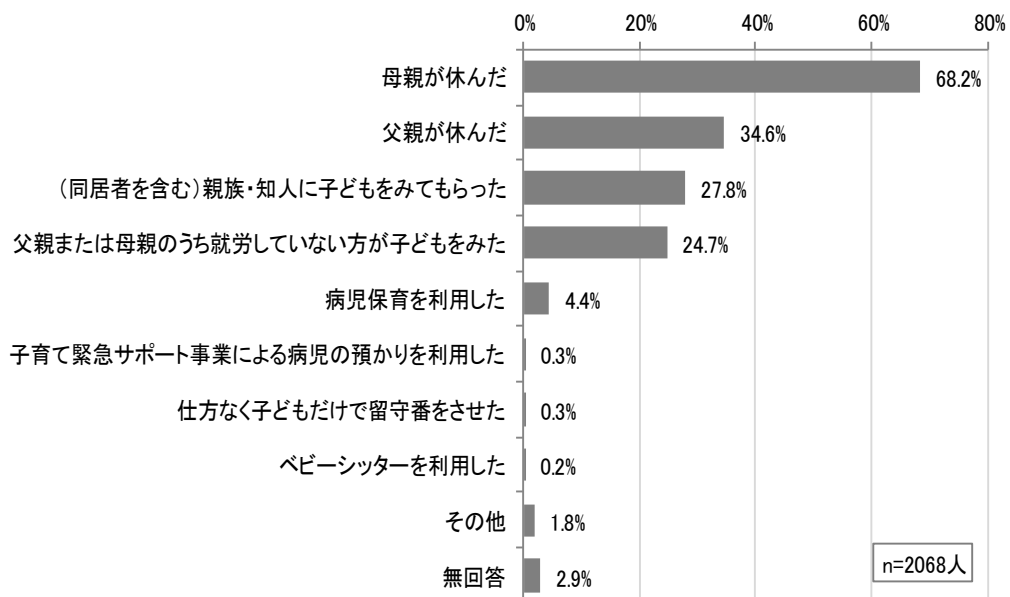
問 19 平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた保護者の方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 20 にお進みください。この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、この 1 年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」が 77.8% に対し、「なかった」が 19.8% と、「あった」の割合が大きく上回っています。



問 19-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この 1 年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が 68.2% で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 34.6%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 27.8%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 24.7% となっています。



■ 病気やけがの対処方法の日数

【父親が休んだ】 n=715人

日数	度数	構成比
1日～3日	436	61.0%
4日～7日	175	24.5%
8日～10日	59	8.3%
11日～20日	18	2.5%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	2	0.3%
無回答	25	3.5%

【母親が休んだ】 n=1411人

日数	度数	構成比
1日～3日	366	25.9%
4日～7日	397	28.1%
8日～10日	355	25.2%
11日～20日	184	13.0%
21日～30日	44	3.1%
31日以上	19	1.3%
無回答	46	3.3%

【親族・知人】 n=575人

日数	度数	構成比
1日～3日	242	42.1%
4日～7日	149	25.9%
8日～10日	96	16.7%
11日～20日	46	8.0%
21日～30日	7	1.2%
31日以上	2	0.3%
無回答	33	5.7%

【就労していない保護者】 n=510人

日数	度数	構成比
1日～3日	144	28.2%
4日～7日	157	30.8%
8日～10日	92	18.0%
11日～20日	67	13.1%
21日～30日	10	2.0%
31日以上	9	1.8%
無回答	31	6.1%

【病児・病後児保育】 n=92人

日数	度数	構成比
1日～3日	59	64.1%
4日～7日	20	21.7%
8日～10日	9	9.8%
11日～20日	2	2.2%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	2	2.2%

【ベビーシッター】 n=5人

日数	度数	構成比
1日～3日	4	80.0%
4日～7日	1	20.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【子育て緊急サポート事業】 n=6人

日数	度数	構成比
1日～3日	4	66.7%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	1	16.7%
11日～20日	1	16.7%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【子どもだけで留守番】 n=6人

日数	度数	構成比
1日～3日	6	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

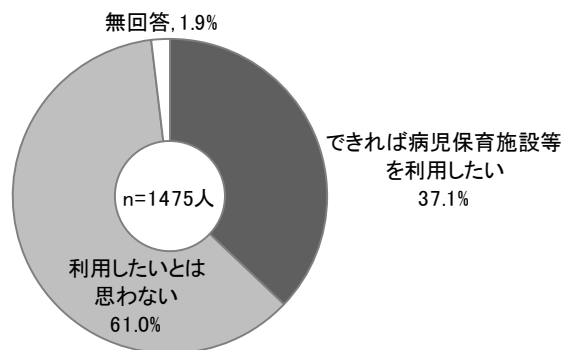
【その他】 n=38人

日数	度数	構成比
1日～3日	10	26.3%
4日～7日	10	26.3%
8日～10日	6	15.8%
11日～20日	2	5.3%
21日～30日	2	5.3%
31日以上	1	2.6%
無回答	7	18.4%

問 19-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児等のための利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。〔利用料：1日2,000円程度〕

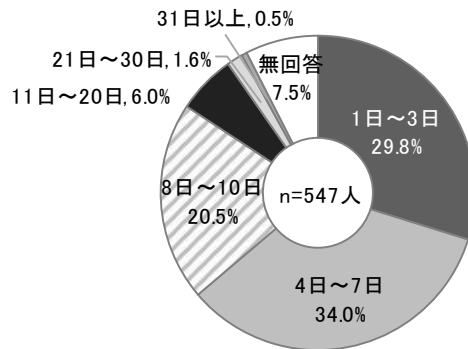
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児保育施設等の利用希望は、「できれば病児保育施設等を利用したい」が37.1%に対し、「利用したいとは思わない」が61.0%となっています。





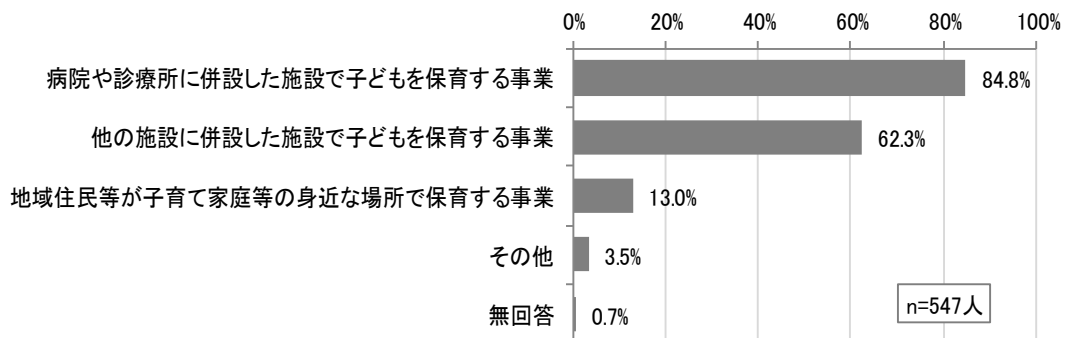
### ■できれば病児保育施設等を利用したいと回答した方の利用希望日数

利用希望日数は、「4日～7日」が34.0%で最も高く、次いで「1日～3日」が29.8%となっています。



問 19-3 問 19-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

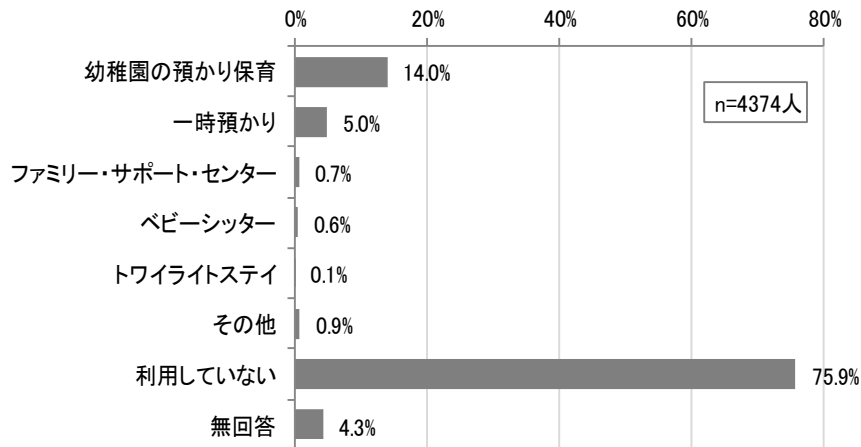
病児保育施設の望ましい事業形態は、「病院や診療所に併設した施設で子どもを保育する事業」が84.8%と最も高く、「他の施設に併設した施設（例：幼稚園・保育所等）で子どもを保育する事業」が62.3%と続いています。



9 お子さんの不特定の教育・保育や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問20 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育（14.0%）」や「一時預かり（5.0%）」などの回答があるものの、「利用していない」が75.9%と高くなっています。



■利用している年間利用回数

【一時預かり】 n=219人

日数	度数	構成比
1日～3日	106	48.4%
4日～7日	45	20.5%
8日～10日	28	12.8%
11日～20日	19	8.7%
21日～30日	14	6.4%
31日以上	4	1.8%
無回答	3	1.4%

【幼稚園の預かり保育】 n=612人

日数	度数	構成比
1日～3日	125	20.4%
4日～7日	114	18.6%
8日～10日	119	19.4%
11日～20日	109	17.8%
21日～30日	51	8.3%
31日以上	77	12.6%
無回答	17	2.8%

【ファミリー・サポート・センター】 n=32人

日数	度数	構成比
1日～3日	12	37.5%
4日～7日	9	28.1%
8日～10日	2	6.3%
11日～20日	3	9.4%
21日～30日	4	12.5%
31日以上	1	3.1%
無回答	1	3.1%

【トワイライトステイ】 n=3人

日数	度数	構成比
1日～3日	1	33.3%
4日～7日	0	0%
8日～10日	1	33.3%
11日～20日	0	0%
21日～30日	0	0%
31日以上	1	33.3%
無回答	0	0%

【ベビーシッター】 n=25人

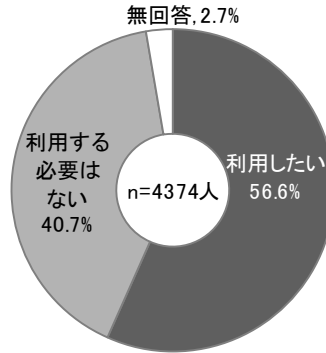
日数	度数	構成比
1日～3日	9	36.0%
4日～7日	7	28.0%
8日～10日	2	8.0%
11日～20日	1	4.0%
21日～30日	2	8.0%
31日以上	2	8.0%
無回答	2	8.0%

【その他】 n=39人

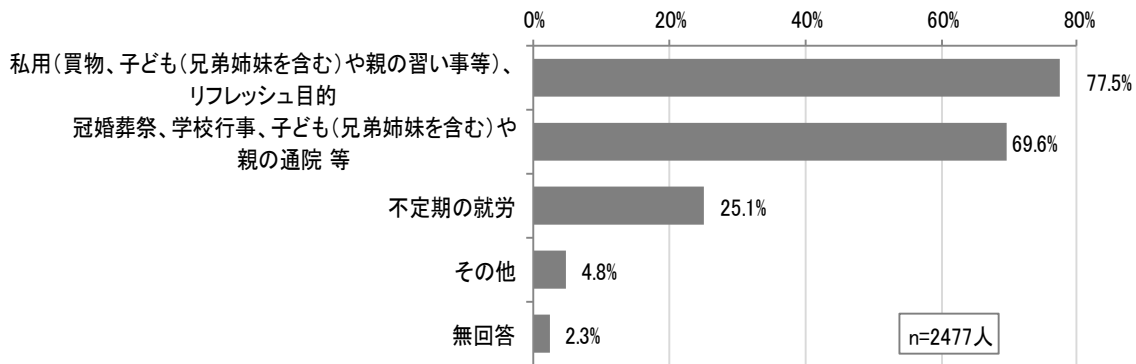
日数	度数	構成比
1日～3日	4	10.3%
4日～7日	10	25.6%
8日～10日	6	15.4%
11日～20日	6	15.4%
21日～30日	3	7.7%
31日以上	6	15.4%
無回答	4	10.3%

問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁一字。）〔施設により利用料が異なります。〕

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」が56.6%に対し、「利用する必要はない」が40.7%となっています。利用したい理由については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が77.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が69.6%と高くなっています。



■ 利用したい理由



■ 利用したい年間利用回数

【合計】 n=2477人

日数	度数	構成比
1日～3日	182	7.3%
4日～7日	380	15.3%
8日～10日	423	17.1%
11日～20日	656	26.5%
21日～30日	340	13.7%
31日以上	421	17.0%
無回答	75	3.0%

【私用、リフレッシュ目的】 n=1920人

日数	度数	構成比
1日～3日	303	15.8%
4日～7日	458	23.9%
8日～10日	341	17.8%
11日～20日	503	26.2%
21日～30日	155	8.1%
31日以上	118	6.1%
無回答	42	2.2%

【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等】 n=1725人

日数	度数	構成比
1日～3日	417	24.2%
4日～7日	574	33.3%
8日～10日	353	20.5%
11日～20日	244	14.1%
21日～30日	64	3.7%
31日以上	24	1.4%
無回答	49	2.8%

【不定期の就労】 n=622人

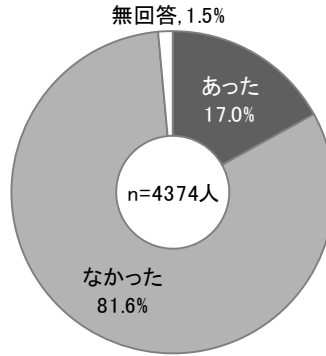
日数	度数	構成比
1日～3日	92	14.8%
4日～7日	113	18.2%
8日～10日	103	16.6%
11日～20日	122	19.6%
21日～30日	60	9.6%
31日以上	100	16.1%
無回答	32	5.1%

【その他】 n=118人

日数	度数	構成比
1日～3日	39	33.1%
4日～7日	27	22.9%
8日～10日	22	18.6%
11日～20日	10	8.5%
21日～30日	3	2.5%
31日以上	5	4.2%
無回答	12	10.2%

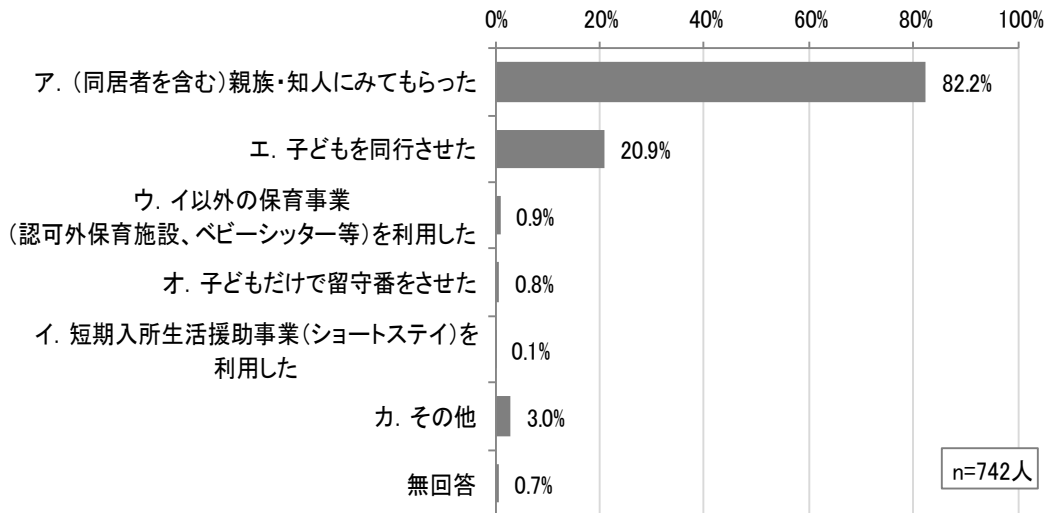
問22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁一字）。

最近1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」が17.0%に対し、「なかった」が81.6%となっています。



■保護者の用事による泊りがけの対処方法と日数

そのときの対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が82.2%と最も高く、その年間対処日数は「1泊～3泊」が27.2%と最も高くなっています。



【ア. 親族・知人】 n=610人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	166	27.2%
4泊～7泊	99	16.2%
8泊～10泊	81	13.3%
11泊～20泊	47	7.7%
21泊～30泊	74	12.1%
31泊以上	135	22.1%
無回答	8	1.3%

【イ. 短期入所生活援助事業】 n=1人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	0	0%
4泊～7泊	0	0%
8泊～10泊	0	0%
11泊～20泊	0	0%
21泊～30泊	0	0%
31泊以上	0	0%
無回答	1	100.0%

【ウ. イ以外の保育事業】 n=7人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	1	14.3%
4泊～7泊	0	0%
8泊～10泊	0	0%
11泊～20泊	1	14.3%
21泊～30泊	1	14.3%
31泊以上	3	42.9%
無回答	1	14.3%

【エ. 子どもを同行】 n=155人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	46	29.7%
4泊～7泊	30	19.4%
8泊～10泊	23	14.8%
11泊～20泊	7	4.5%
21泊～30泊	12	7.7%
31泊以上	20	12.9%
無回答	17	11.0%

【オ. 子どもだけで留守番】 n=6人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	2	33.3%
4泊～7泊	0	0%
8泊～10泊	2	33.3%
11泊～20泊	1	16.7%
21泊～30泊	0	0%
31泊以上	0	0%
無回答	1	16.7%

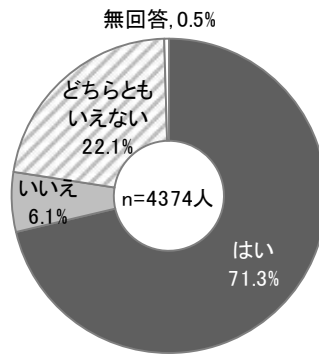
【カ. その他】 n=22人

日数	度数	構成比
1泊～3泊	3	13.6%
4泊～7泊	4	18.2%
8泊～10泊	2	9.1%
11泊～20泊	1	4.5%
21泊～30泊	2	9.1%
31泊以上	4	18.2%
無回答	6	27.3%

10 子育てなどについてうかがいます。

問 23 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

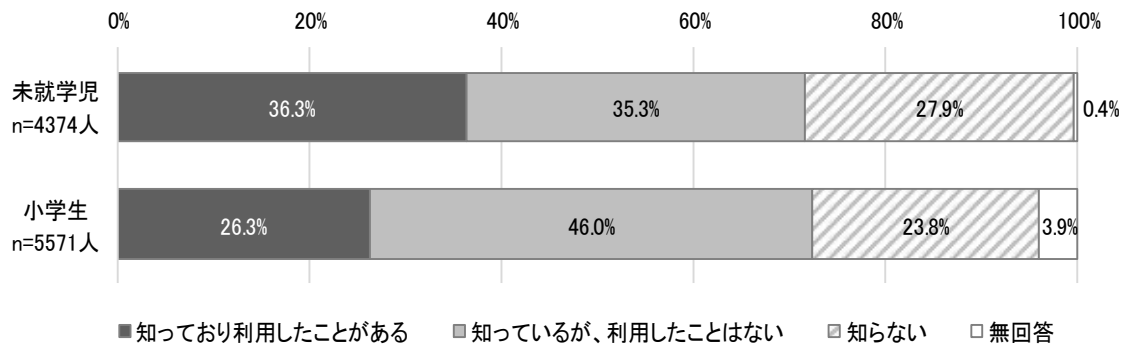
ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間の有無は、「はい」（ある）が71.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.1%となっています。



**共通設問** 問 24 さいたま市子ども急患電話相談（電話番号：048-825-5252 ファックス：03-3776-0120）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

さいたま市子ども急患電話相談の認知度は、未就学児の保護者で「知っており利用したことがある」が36.3%と最も高く、「知っているが、利用したことはない」が35.3%、「知らない」が27.9%となっています。

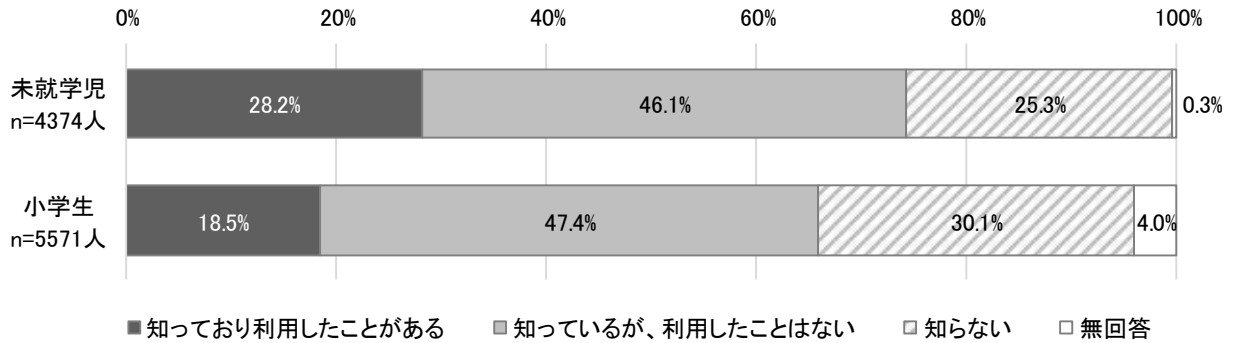
小学生の保護者では「知っているが、利用したことはない」が46.0%と最も高く、「知っており利用したことがある」が26.3%、「知らない」が23.8%となっています。



**共通設問** 問25 埼玉県救急電話相談（#7119）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

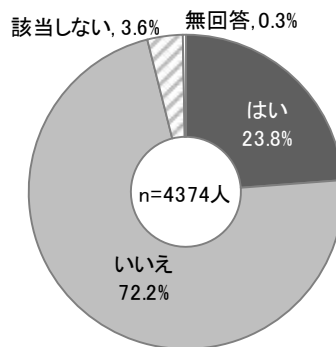
埼玉県救急電話相談の認知度は、未就学児の保護者で「知っているが、利用したことはない」が46.1%と最も高く、次いで「知っており利用したことがある」が28.2%、「知らない」が25.3%となっています。

小学生の保護者では「知っているが、利用したことはない」が47.4%と最も高く、次いで「知らない」が30.1%、「知っており利用したことがある」が18.5%となっています。



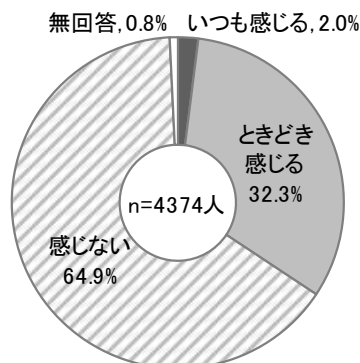
問26 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもが一人で開けることができないような浴室のドアへの工夫は、「はい」(している)が23.8%に対し、「いいえ」(していない)が72.2%と高くなっています。



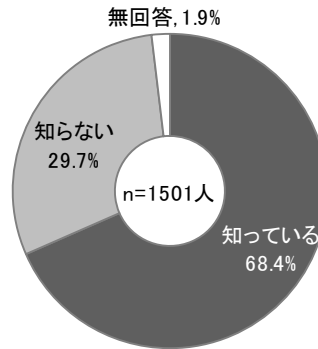
問27 あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんに対しての育てにくさは、「感じない」が64.9%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が32.3%となっています。



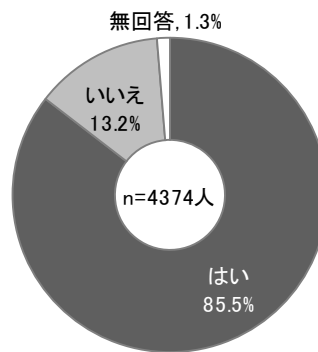
問28 問27で「1. いつも感じる」、「2. ときどき感じる」に○をつけた方にうかがいます。育てにくさを感じた時に、相談先を知っている、何らかの解決する方法を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

相談先や解決方法を知っているかについては、「知っている」が68.4%、「知らない」が29.7%となっています。



問29 生後半年から1歳になる頃までの多くの子どもは、「親の後追いをする」、1歳半から2歳になる頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時に、指差しで伝えようとする」、3歳から4歳になる頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの一般的な成長段階の認知度については、「はい」（知っている）が85.5%と多くを占め、「いいえ」（知らない）は13.2%となっています。

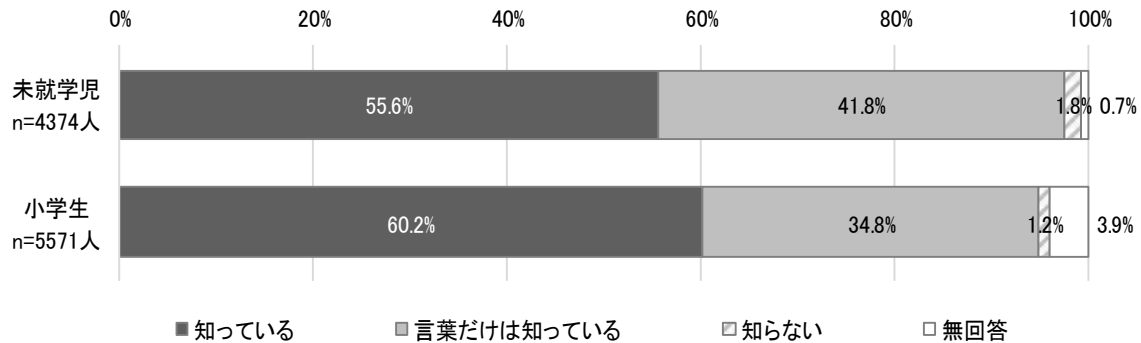




**共通設問** 問30 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などの脳機能障害のことです。あなたは発達障害について知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

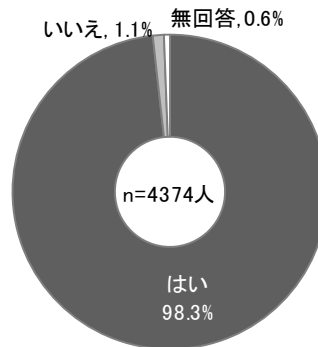
発達障害の認知度は、未就学児の保護者で「知っている」が55.6%と最も高く、次いで「言葉だけは知っている」が41.8%となっています。

小学生の保護者でも「知っている」が60.2%と最も高く、次いで「言葉だけは知っている」が34.8%となっています。



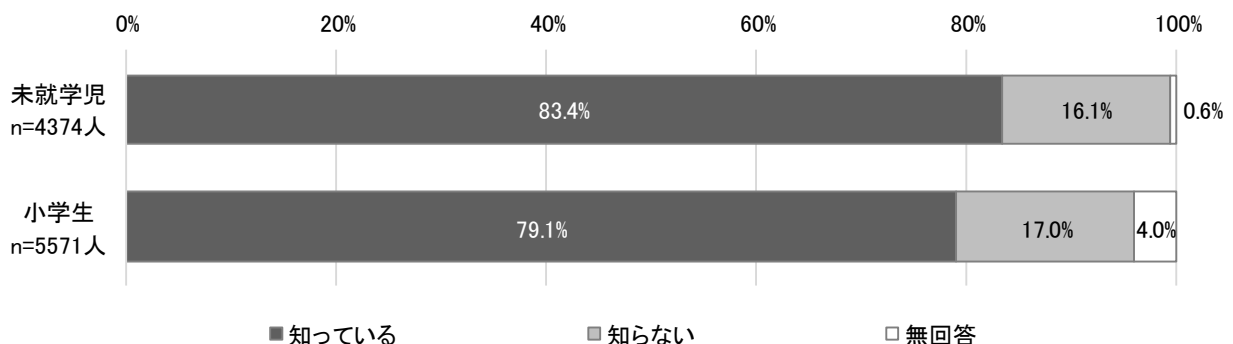
**問31** 赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること（乳児揺さぶられ症候群）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

乳児揺さぶられ症候群の認知度は、「はい」（知っている）が98.3%と高くなっています。



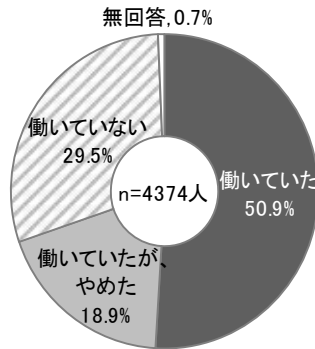
**共通設問** 問32 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童に関する通知義務の認知度は、未就学児、小学生の保護者ともに「はい」（知っている）が約8割と多くを占めています。



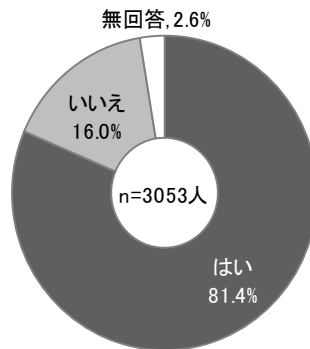
問33 お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんのお母さんの妊娠中の就労状況は、「働いていた」が50.9%と約半数を占め、次いで「働いていない」が29.5%、「働いていたが、やめた」が18.9%となっています。



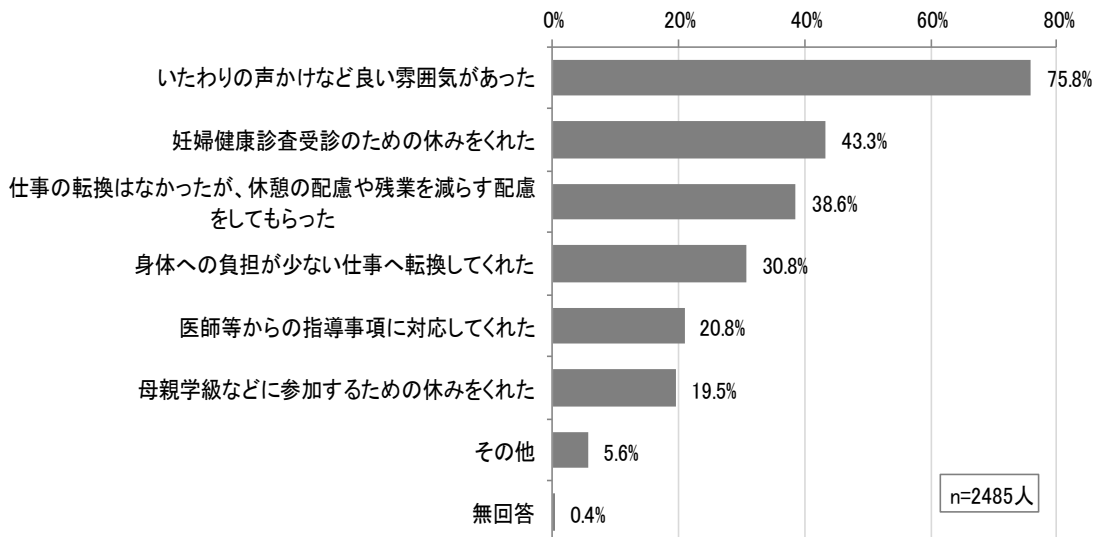
問34 問33で「1. 働いていた」、「2. 働いていたが、やめた」に○をつけた方にうかがいます。妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠中の職場での配慮の有無は、「はい」（配慮された）が81.4%と多くを占め、「いいえ」（配慮されなかった）は16.0%となっています。



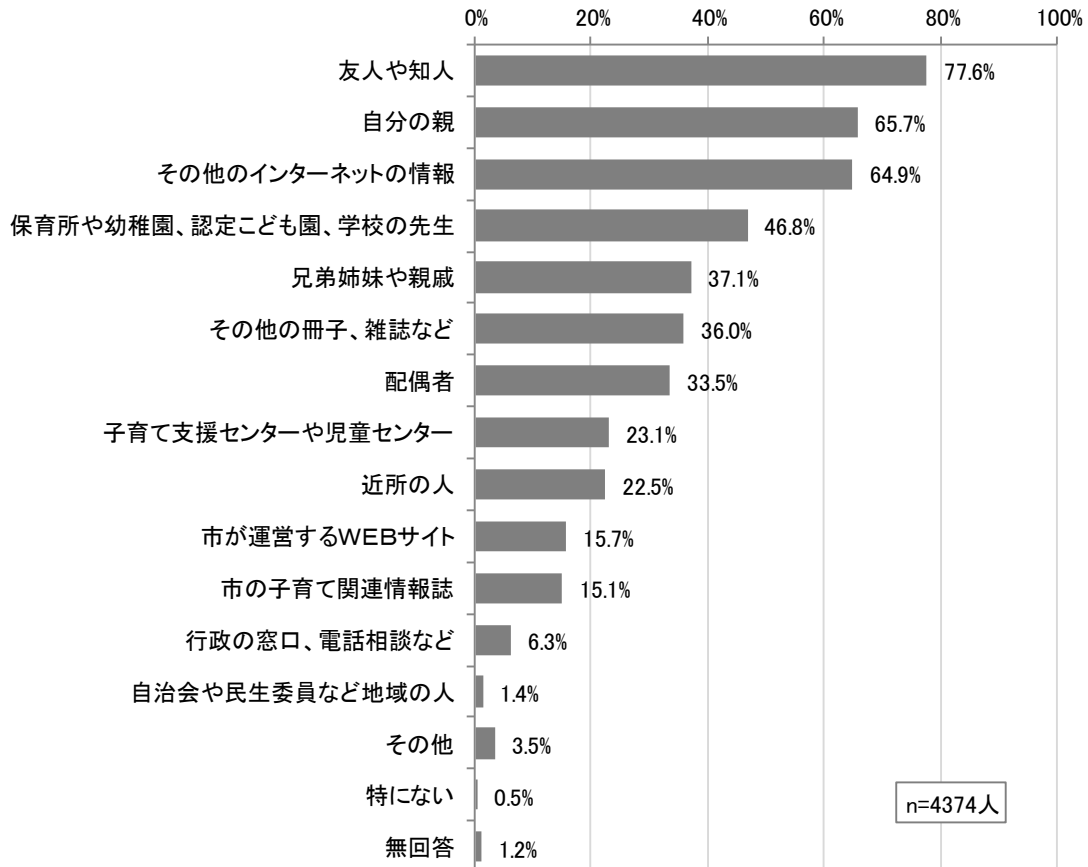
問35 問34で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。それはどのような配慮でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

配慮の種類は、「いたわりの声かけなど良い雰囲気があった」が75.8%と最も高く、次いで「妊婦健康診査受診のための休みをくれた」が43.3%、「仕事の転換はなかったが、休憩の配慮や残業を減らす配慮をもらった」が38.6%となっています。



問 36 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

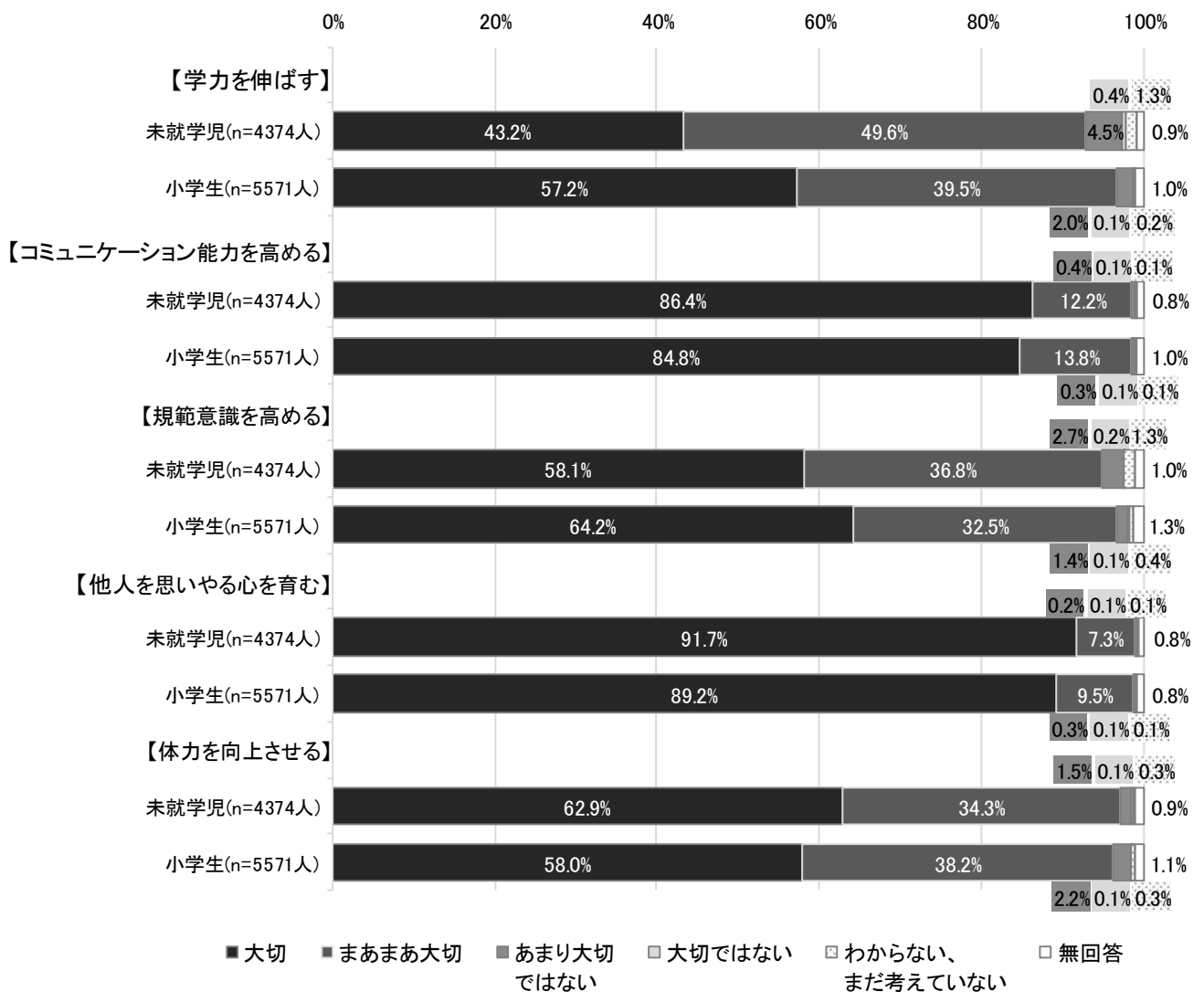
子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人」が 77.6%と最も高く、次いで「自分の親」が 65.7%、「その他（市が運営するWEBサイト以外）のインターネットの情報」が 64.9%となっています。



11 家庭教育などについてうかがいます。

**共通設問** 問 37 あなたは、今後の子どもに対する家庭での教育について、どのように思いますか。  
それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

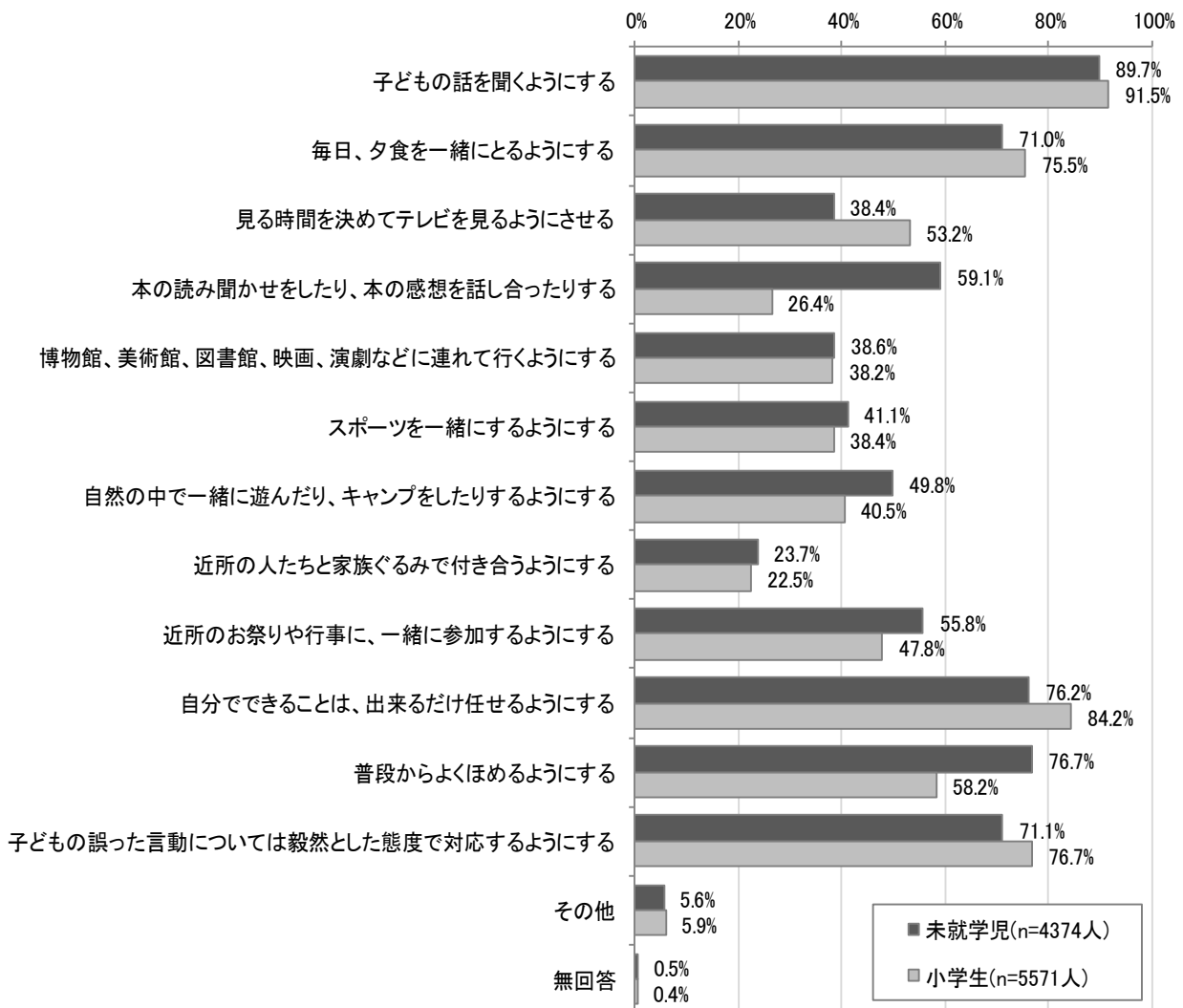
今後の子どもに対する家庭での教育については、未就学児、小学生の保護者ともにすべての項目で「大切」と「まあまあ大切」を合わせた回答が9割を超えています。中でも、「大切」の割合が高いのは、「他人を思いやる心を育む」が約9割、「コミュニケーション能力を高める」が8割以上となっています。



**共通設問** 問38 子どもの教育やしつけについて、あなたがこころがけている（こころがけたい）ことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの教育やしつけについて、こころがけている（こころがけたい）ことは、未就学児の保護者で「子どもの話を聞くようにする」が89.7%と最も高く、次いで「普段からよくほめるようにする」が76.7%、「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」が76.2%となっています。

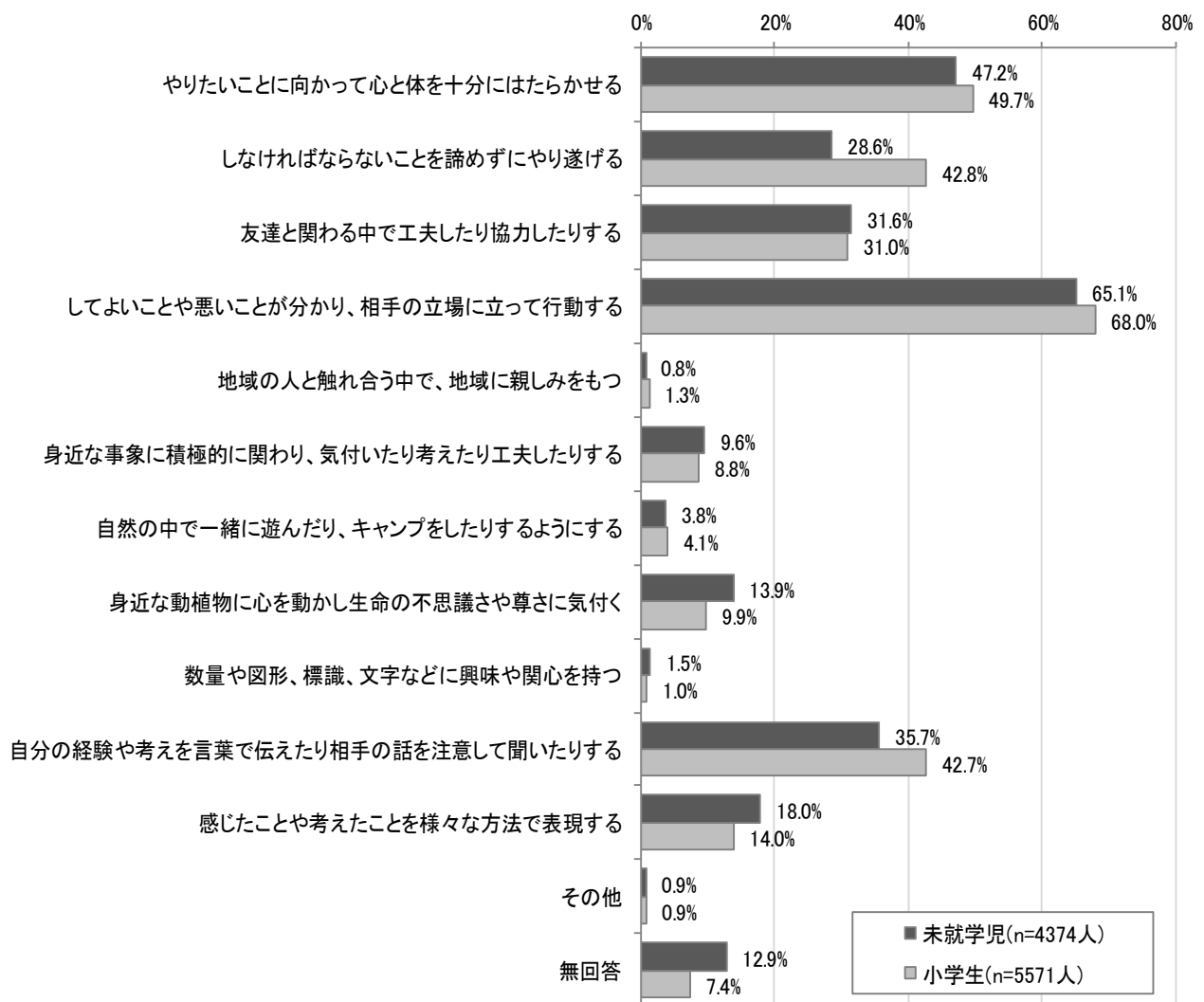
小学生の保護者では「子どもの話を聞くようにする」が91.5%と最も高く、次いで「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」が84.2%、「子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする」が76.7%となっています。



**共通設問** 問 39 あなたはどのような子どもの姿が望ましいと考えますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

子どもの望ましいと考える姿は、未就学児で「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」が65.1%と最も高く、次いで「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が47.2%、「自分の経験や考えを言葉で伝えたり相手の話を注意して聞いたりする」が35.7%となっています。

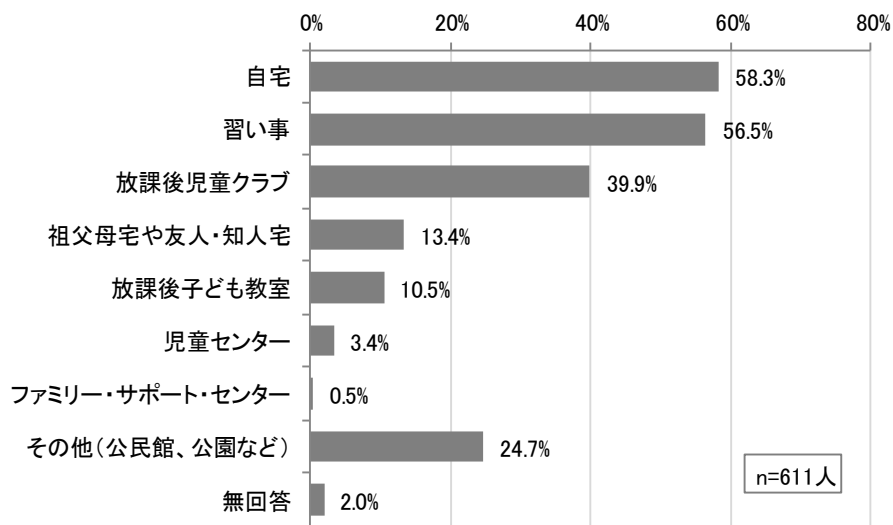
小学生では「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」が68.0%と最も高く、次いで「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が49.7%、「しなければならぬことを諦めずにやり遂げる」が42.8%、「自分の経験や考えを言葉で伝えたり相手の話を注意して聞いたりする」が42.7%となっています。



12 お子さんが来年度小学生になる方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問40 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が58.3%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」も56.5%と同程度に高くなっています。また、「放課後児童クラブ」も39.9%と比較的高くなっています。「放課後児童クラブ」の週あたりの利用希望日数は「5日」が66.4%で最も高くなっています。また、利用希望終了時間は「18時」が47.5%で最も高く、次いで「17時」が25.0%となっています。



【自宅】 n=356人

日数	度数	構成比
1日	68	19.1%
2日	83	23.3%
3日	91	25.6%
4日	20	5.6%
5日	78	21.9%
6日	1	0.3%
7日	3	0.8%
無回答	12	3.4%

【祖父母宅や友人・知人宅】 n=82人

日数	度数	構成比
1日	54	65.9%
2日	18	22.0%
3日	3	3.7%
4日	2	2.4%
5日	1	1.2%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	4	4.9%

【習い事】 n=345人

日数	度数	構成比
1日	107	31.0%
2日	147	42.6%
3日	72	20.9%
4日	10	2.9%
5日	6	1.7%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	3	0.9%

【児童センター】 n=21人

日数	度数	構成比
1日	14	66.7%
2日	2	9.5%
3日	1	4.8%
4日	0	0%
5日	3	14.3%
6日	1	4.8%
7日	0	0%
無回答	0	0%

【放課後子ども教室】 n=64人

日数	度数	構成比
1日	35	54.7%
2日	14	21.9%
3日	2	3.1%
4日	1	1.6%
5日	11	17.2%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	1	1.6%

【放課後児童クラブ】 n=244人

日数	度数	構成比
1日	3	1.2%
2日	13	5.3%
3日	37	15.2%
4日	20	8.2%
5日	162	66.4%
6日	7	2.9%
7日	1	0.4%
無回答	1	0.4%

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=244人		
時間	度数	構成比
15時	1	0.4%
16時	14	5.7%
17時	61	25.0%
18時	116	47.5%
19時	46	18.9%
20時	4	1.6%
無回答	2	0.8%

【ファミリー・サポート・センター】 n=3人		
日数	度数	構成比
1日	0	0%
2日	2	66.7%
3日	0	0%
4日	0	0%
5日	1	33.3%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	0	0%

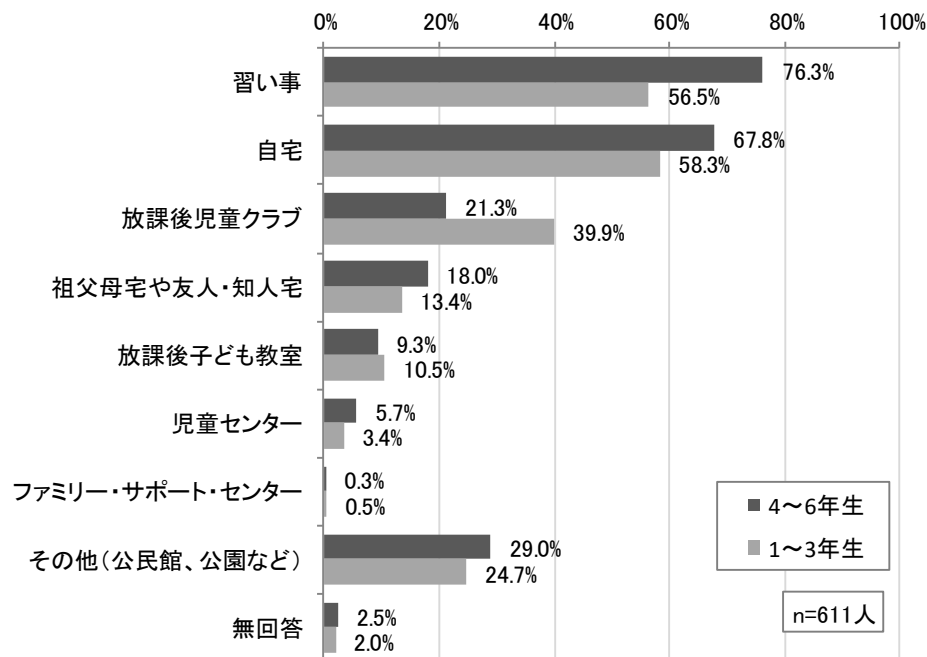
【その他(公民館、公園など)】

n=151人		
日数	度数	構成比
1日	44	29.1%
2日	61	40.4%
3日	32	21.2%
4日	5	3.3%
5日	5	3.3%
6日	0	0%
7日	1	0.7%
無回答	3	2.0%

問41 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

※問40の小学校低学年（1～3年生）と比較しています。

小学校高学年（4～6年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が76.3%と最も高く、「自宅」が67.8%と続いています。また、「放課後児童クラブ」の割合は、1～3年生のときと比べ減少し、21.3%となっています。「放課後児童クラブ」の週あたりの利用希望日数は「5日」が41.5%で最も高くなっています。また、利用希望終了時間は「18時」が41.5%で最も高く、次いで「17時」が25.4%となっています。





【自宅】 n=414人

日数	度数	構成比
1日	104	25.1%
2日	124	30.0%
3日	69	16.7%
4日	19	4.6%
5日	82	19.8%
6日	2	0.5%
7日	2	0.5%
無回答	12	2.9%

【祖父母宅や友人・知人宅】 n=110人

日数	度数	構成比
1日	66	60.0%
2日	30	27.3%
3日	4	3.6%
4日	1	0.9%
5日	5	4.5%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	4	3.6%

【習い事】 n=466人

日数	度数	構成比
1日	75	16.1%
2日	181	38.8%
3日	149	32.0%
4日	42	9.0%
5日	10	2.1%
6日	1	0.2%
7日	0	0%
無回答	8	1.7%

【児童センター】 n=35人

日数	度数	構成比
1日	24	68.6%
2日	3	8.6%
3日	2	5.7%
4日	1	2.9%
5日	2	5.7%
6日	1	2.9%
7日	0	0%
無回答	2	5.7%

【放課後子ども教室】 n=57人

日数	度数	構成比
1日	26	45.6%
2日	17	29.8%
3日	5	8.8%
4日	0	0%
5日	8	14.0%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	1	1.8%

【放課後児童クラブ】 n=130人

日数	度数	構成比
1日	6	4.6%
2日	21	16.2%
3日	33	25.4%
4日	9	6.9%
5日	54	41.5%
6日	3	2.3%
7日	0	0%
無回答	4	3.1%

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=130人

時間	度数	構成比
15時	0	0%
16時	8	6.2%
17時	33	25.4%
18時	54	41.5%
19時	31	23.8%
20時	2	1.5%
無回答	2	1.5%

【ファミリー・サポート・センター】 n=2人

日数	度数	構成比
1日	0	0%
2日	1	50.0%
3日	0	0%
4日	0	0%
5日	1	50.0%
6日	0	0%
7日	0	0%
無回答	0	0%

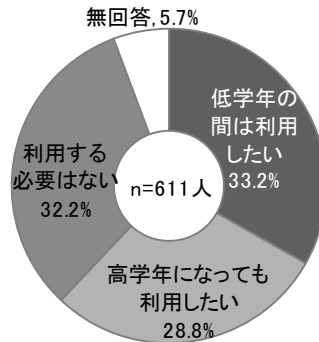
【その他(公民館、公園など)】

n=177人

日数	度数	構成比
1日	62	35.0%
2日	73	41.2%
3日	30	16.9%
4日	3	1.7%
5日	3	1.7%
6日	0	0%
7日	1	0.6%
無回答	5	2.8%

問 42 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

子どもの放課後の過ごし方で、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が33.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が28.8%、「利用する必要はない」が32.2%とそれぞれ3割前後となっています。



### ■利用したい時間帯

希望する開始時間については、低学年で「8時（48.8%）」、「9時（29.1%）」、終了時間については、「18時（30.5%）」、「17時（22.7%）」が比較的多くなっています。高学年の開始時間では「8時（46.0%）」、「9時（28.4%）」、終了時間については、「18時（33.5%）」、「19時以降（21.0%）」、「17時（19.9%）」が比較的多くなっています。

【低学年開始時間】 n=203人

時間	度数	構成比
7時	29	14.3%
8時	99	48.8%
9時	59	29.1%
10時	5	2.5%
11時以降	9	4.4%
無回答	2	1.0%

【低学年終了時間】 n=203人

時間	度数	構成比
13時	1	0.5%
14時	13	6.4%
15時	28	13.8%
16時	31	15.3%
17時	46	22.7%
18時	62	30.5%
19時以降	18	8.9%
無回答	4	2.0%

【高学年開始時間】 n=176人

時間	度数	構成比
7時	35	19.9%
8時	81	46.0%
9時	50	28.4%
10時	2	1.1%
11時以降	5	2.8%
無回答	3	1.7%

【高学年終了時間】 n=176人

時間	度数	構成比
12時以前	1	0.6%
13時	1	0.6%
14時	2	1.1%
15時	19	10.8%
16時	18	10.2%
17時	35	19.9%
18時	59	33.5%
19時以降	37	21.0%
無回答	4	2.3%

問 43 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見を集約しています。

- 0歳児の保育所を増やしてほしい。
- 病児保育の施設を増やしてほしい。できれば、普段通っている園と併設が理想的。
- のびのびルーム、支援センターが3歳までしか利用できないので、3歳の誕生日から幼稚園入園までの遊ぶ場所がなくて不便。児童センター以外にも年齢制限のない施設を増やしてほしい。
- 公園が少なく、3歳くらいの子どもでも遊びやすい遊具も少ない。
- 幼稚園に入学するまでの期間、屋内で遊べる施設があれば嬉しい。
- 夏休み、冬休み、春休み、県民の日など小学校が休みのときのみ利用できる制度がほしい。
- 放課後児童クラブの利用をいずれ考えているが、保育施設ほど情報が充実していないと感じる。放課後児童クラブも充実させてほしい。
- 戸田公園のこどもの国や与野駅のあいぱれっとのような0歳～小学生くらいの子どもが、同じ空間で遊べる施設があるといいと思う。
- 子どもはまだ幼児で、時短勤務の対象だが、時短勤務の対象でなくなる小3以降の過ごし方で悩んでいる。もっとファミサポが身近になったり、民間の放課後児童クラブの充実、放課後児童クラブの預かり時間が延長されるようになればいいと思う。
- 市の主催でのスポーツや農業体験などのイベントを行ってほしい。

#### ■意見の分類

意見	件数
未就学児保育・放課後児童クラブの量的拡大・質的向上、長期休暇・病気の際の保育サービス充実、放課後チャレンジスクール等の充実	1677
子どもがのびのびと遊べる公園づくり、安全安心な地域環境、地域の人々とのふれあい	259
子育て支援サービスの情報発信強化、子育てに関する考え方	115
全市的視点からの子育てのあり方	75
フルタイムで働くことの困難さ、子どもを預かる施設等の必要性	21
合計	2147

## 2) 小学生保護者調査

### 1 お住まいについてうかがいます。

**共通設問** 問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

→11 ページ 未就学児保護者調査 問1 参照

**共通設問** 問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

→11 ページ 未就学児保護者調査 問2 参照

### 2 お子さんのご家族の状況についてうかがいます。

**共通設問** 問3 お子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

→12 ページ 未就学児保護者調査 問3 参照

**共通設問** 問4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→12 ページ 未就学児保護者調査 問4 参照

**共通設問** 問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です）

→13 ページ 未就学児保護者調査 問5 参照

**共通設問** 問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

→13 ページ 未就学児保護者調査 問6 参照

### 3 お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

**共通設問** 問7 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

→16 ページ 未就学児保護者調査 問10 参照

**共通設問** 問8 問7の（1）または（2）で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→17 ページ 未就学児保護者調査 問11 参照

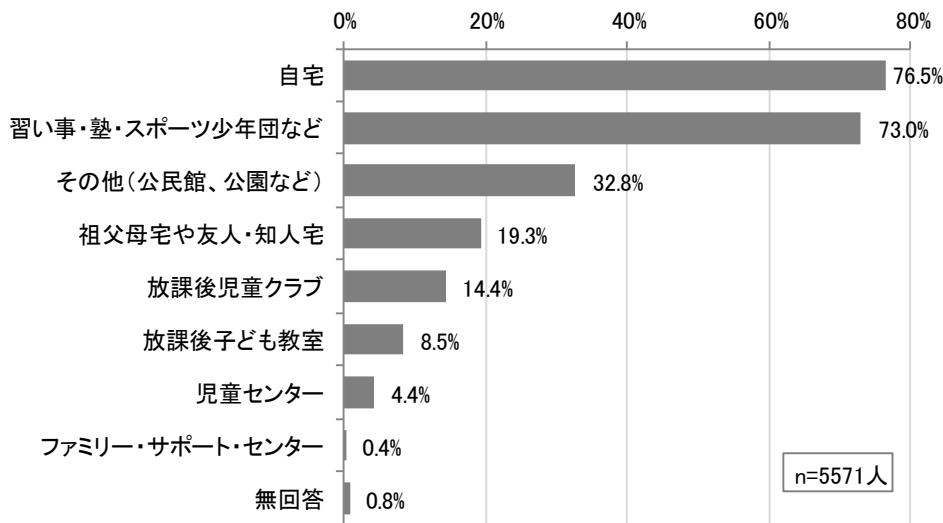
**共通設問** 問9 問7の（1）または（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

→18 ページ 未就学児保護者調査 問12 参照

4 放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）。

希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が76.5%と最も高く、「習い事・塾・スポーツ少年団など」も73.0%と同程度に高くなっています。また、「その他（公民館、公園など）」も32.8%と比較的高くなっています。「放課後児童クラブ」の週当たりの利用希望日数は「5日」が44.9%で最も高くなっています。また、利用希望終了時間は「18時」が47.9%で最も高く、次いで「17時」が21.9%、「19時」が21.7%となっています。



【自宅】 n=4264人

日数	度数	構成比
1日	821	19.3%
2日	1135	26.6%
3日	905	21.2%
4日	364	8.5%
5日	807	18.9%
6日	30	0.7%
7日	97	2.3%
無回答	105	2.5%

【習い事・塾・スポーツ少年団など】 n=4065人

日数	度数	構成比
1日	629	15.5%
2日	286	7.0%
3日	70	1.7%
4日	13	0.3%
5日	53	1.3%
6日	1	0.0%
7日	2	0.0%
無回答	21	0.5%

【祖父母宅や友人・知人宅】 n=1075人

日数	度数	構成比
1日	768	70.6%
2日	1647	153.2%
3日	1120	104.1%
4日	307	28.6%
5日	156	14.5%
6日	21	1.9%
7日	10	0.9%
無回答	36	3.3%

【児童センター】 n=245人

日数	度数	構成比
1日	164	66.9%
2日	45	18.4%
3日	10	4.1%
4日	4	1.6%
5日	10	4.1%
6日	2	0.8%
7日	0	0%
無回答	10	4.1%

【放課後子ども教室】 n=474人

日数	度数	構成比
1日	292	61.6%
2日	107	22.6%
3日	36	7.6%
4日	5	1.1%
5日	18	3.8%
6日	2	0.4%
7日	0	0%
無回答	14	3.0%

【放課後児童クラブ】 n=802人

日数	度数	構成比
1日	62	7.7%
2日	101	12.6%
3日	148	18.5%
4日	98	12.2%
5日	360	44.9%
6日	21	2.6%
7日	0	0%
無回答	12	1.5%

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=802人

時間	度数	構成比
15時	6	0.7%
16時	23	2.9%
17時	176	21.9%
18時	384	47.9%
19時	174	21.7%
20時	16	2.0%
21時	2	0.2%
無回答	21	2.6%

【ファミリー・サポート・センター】 n=23人

日数	度数	構成比
1日	12	52.2%
2日	6	26.1%
3日	1	4.3%
4日	0	0%
5日	0	0%
6日	1	4.3%
7日	0	0%
無回答	3	13.0%

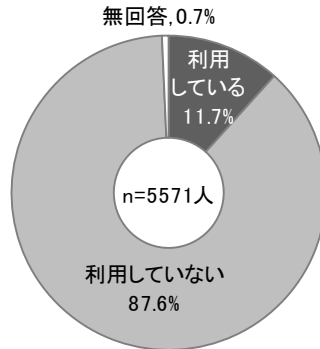
【その他】 n=1827人

日数	度数	構成比
1日	632	34.6%
2日	667	36.5%
3日	334	18.3%
4日	64	3.5%
5日	85	4.7%
6日	5	0.3%
7日	3	0.2%
無回答	37	2.0%

5 放課後児童クラブの利用についてうかがいます。

問11 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

放課後児童クラブの利用については、「利用していない」が87.6%に対し、「利用している」が11.7%となっています。

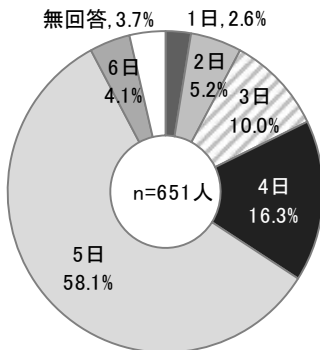


問11で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

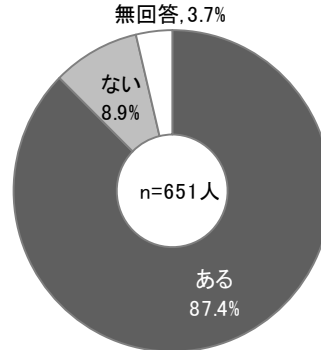
問12 お子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどのくらいですか。□内に数字でご記入ください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブの利用日数は、週当たり「5日」が58.1%と最も高く、土曜・長期休業日の利用は、「ある」が87.4%となっています。

■利用日数（週当たり）

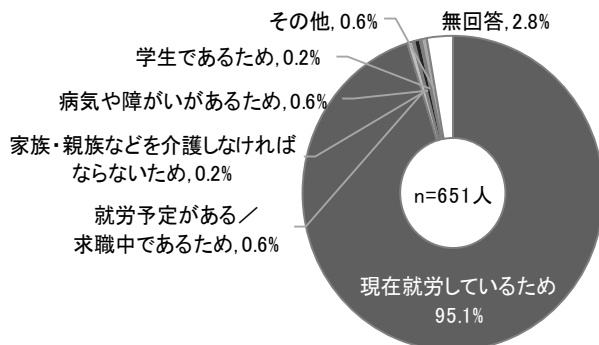


■土曜・長期休業日（夏休み等）の利用



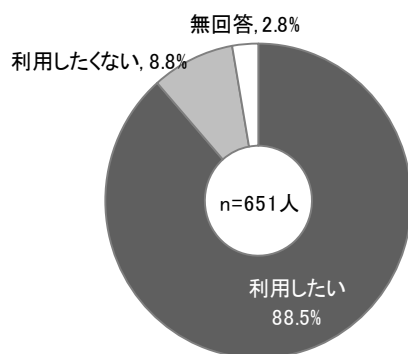
問13 利用されている主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブを利用している理由は、「現在就労しているため」が95.1%でほとんどの方となっています。



問14 今後も利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

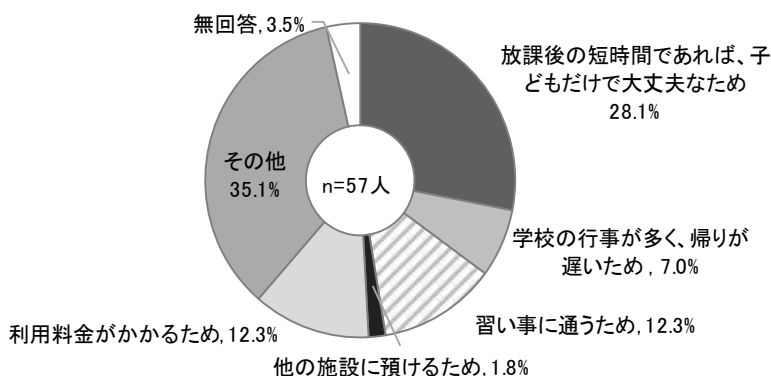
放課後児童クラブの今後の利用希望は、「利用したい」が88.5%と約9割の方が、利用したいと回答しています。



問14で「2. 利用したくない」と回答した方にうかがいます。

問15 利用したくない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

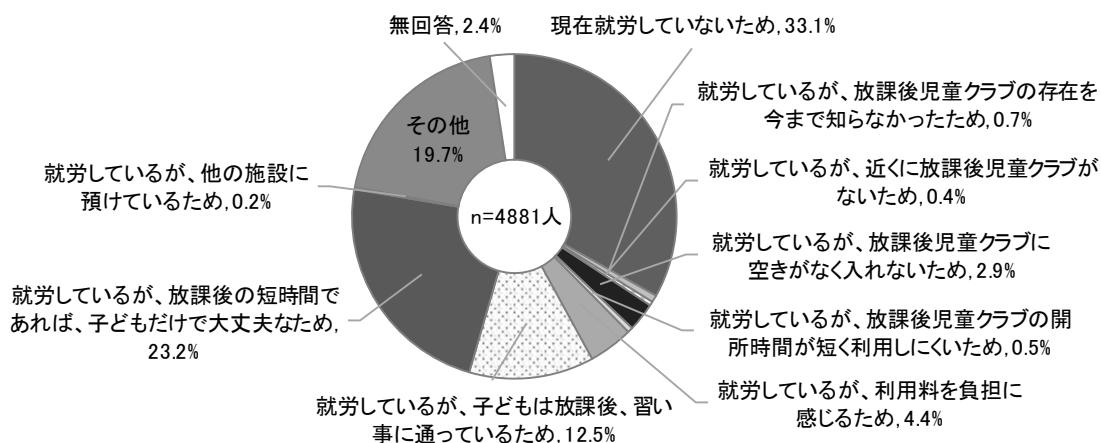
放課後児童クラブを今後利用したくない理由は、「放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」が28.1%で最も高く、「習い事に通うため」と「利用料金がかかるため」がそれぞれ12.3%となっています。



問11で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問16 現在、利用していない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

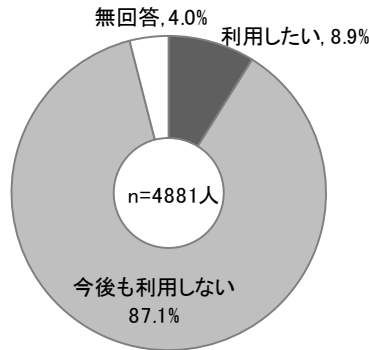
放課後児童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないため」が33.1%で最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」が23.2%となっています。





問 17 今後は、利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

放課後児童クラブの今後の利用については、「今後も利用しない」が 87.1%で、約 9 割の方が利用希望がないと回答しています。

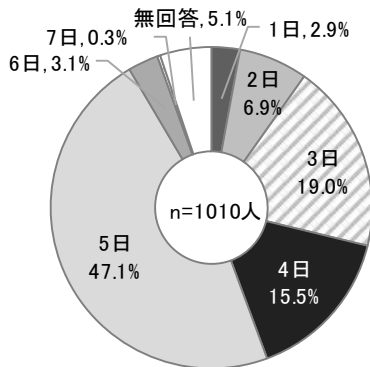


問 14 または問 17 で「1. 利用したい」と回答した方にうかがいます。

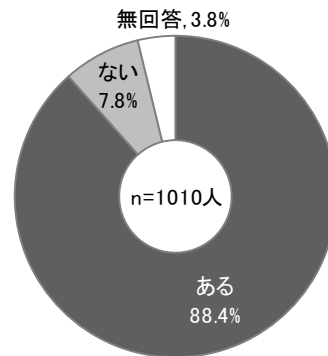
問 18 利用希望日数はどのくらいですか。口内に数字を記入してください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

放課後児童クラブの今後の利用希望日数は、週当たり「5 日」が 47.1%と最も高く、土曜・長期休業日の利用希望は、「ある」が 88.4%となっています。

■ 利用希望日数（週当たり）

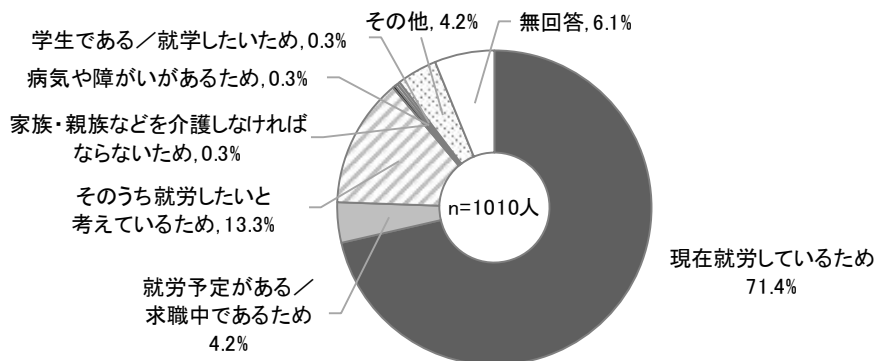


■ 土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望



問 19 今後、放課後児童クラブを利用したい主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

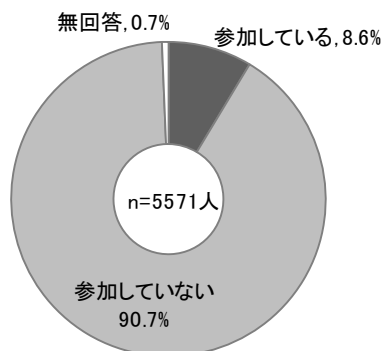
今後の放課後児童クラブを利用したい理由は、「現在就労しているため」が 71.4%と最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えているため」が 13.3%となっています。



## 6 放課後チャレンジスクール（放課後子ども教室）についてうかがいます。

問20 お子さんは、現在、放課後チャレンジスクール（放課後子ども教室）に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後チャレンジスクールへの参加については、「参加していない」が90.7%と高くなっています。

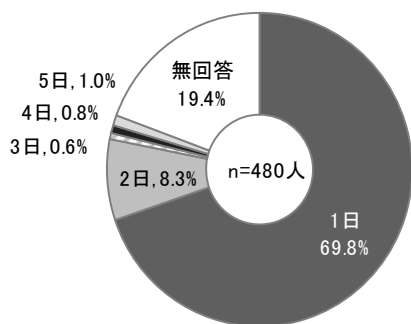


問20で「1.参加している」と回答した方にうかがいます。

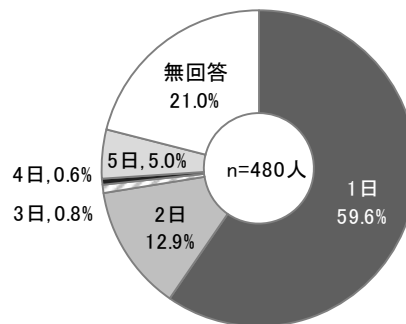
問21 お子さんについて、放課後チャレンジスクールの参加日数はどのくらいですか。また、その放課後チャレンジスクールの開催日数はどのくらいですか。それぞれ、口内に数字でご記入ください。

放課後チャレンジスクールの参加日数と開催日数については、いずれも週当たり「1日」が最も高く、それぞれ69.8%、59.6%となっています。

■参加日数（週当たり）



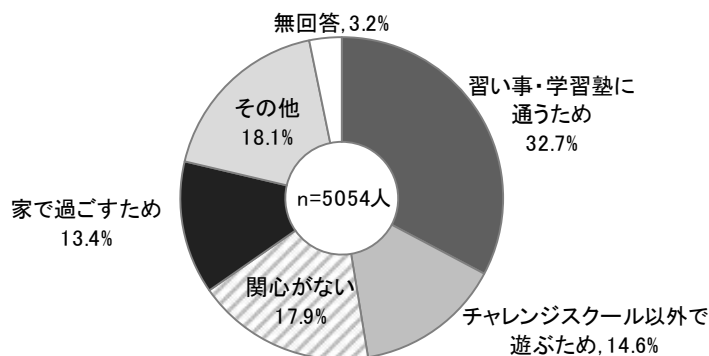
■開催日数（週当たり）



問20で「2.参加していない」と回答した方にうかがいます。

問22 参加していない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

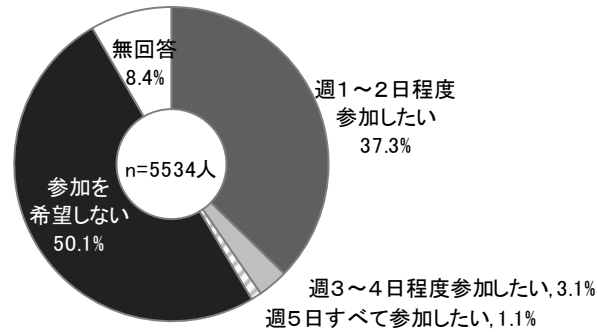
参加していない理由は、「習い事・学習塾に通うため」が32.7%と高く、次いで「関心がない」が17.9%、「チャレンジスクール以外で遊ぶため」が14.6%となっています。



問 20 で「1. 参加している」、「2. 参加していない」と回答した方、全員にうかがいます。

問 23 お子さんについて、今後、放課後チャレンジスクールに参加する場合、1週間（月～金）に何日くらい参加したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

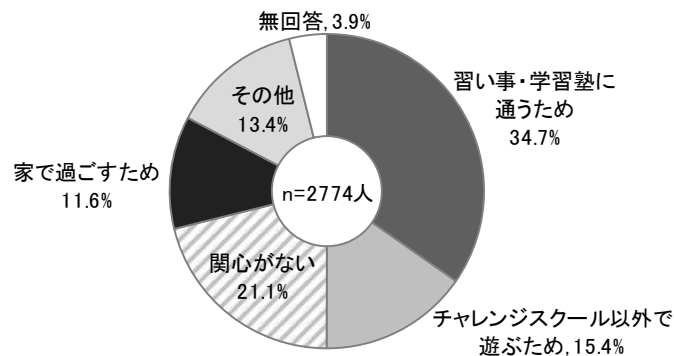
放課後チャレンジスクールの希望参加日数については、「参加を希望しない」が50.1%と高く、次いで「週1～2日程度参加したい」が37.3%となっています。



問 23 で「4. 参加を希望しない」と回答した方にうかがいます。

問 24 今後、参加を希望しない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

参加を希望しない理由は、「習い事・学習塾に通うため」が34.7%と高く、次いで「関心がない」が21.1%、「チャレンジスクール以外で遊ぶため」が15.4%となっています。



## 7 家庭教育などについてうかがいます。

**共通設問** 問25 あなたは、今後の子どもに対する家庭での教育について、どのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

→48 ページ 未就学児保護者調査 問37 参照

**共通設問** 問26 子どもの教育やしつけについて、あなたがこころがけている（こころがけたい）ことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

→49 ページ 未就学児保護者調査 問38 参照

**共通設問** 問27 あなたはどのような子どもの姿が望ましいと考えますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

→50 ページ 未就学児保護者調査 問39 参照

## 8 子どもの健康に関することについてうかがいます。

**共通設問** 問28 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などの脳機能障害のことです。あなたは発達障害について知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→45 ページ 未就学児保護者調査 問30 参照

**共通設問** 問29 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→45 ページ 未就学児保護者調査 問32 参照

**共通設問** 問30 さいたま市子ども急患電話相談（電話番号：048-825-5252 ファックス：03-3776-0120）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→42 ページ 未就学児保護者調査 問24 参照

**共通設問** 問31 埼玉県救急電話相談（#7119）を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→43 ページ 未就学児保護者調査 問25 参照

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見を集約しています。

- サッカーや野球が自由にできる公園が欲しい。遊具が撤去され、安全重視で公園が楽しくない。アスレチック的要素がある公園が子どもには必要。
- 最近の子どもたちの体力の低下が気になる。近所の公園はボール遊びは禁止な所ばかりで体力をつける遊びをさせたくてもできない。
- 地域の子どもの数によって、放課後児童クラブが定員オーバーだったり定員に満たず、いつでも受け入れている場所があると聞いた。共働き世帯が増えているので、せめて低学年のうちほどの子どもたちも安心して放課後児童クラブを利用できるようになればいい。
- 放課後、小学校庭で行われているふれあいプレイランドが大変ありがたい存在で毎日のように家族で利用させていただき感謝している。
- パートで就労している親の為に、学校の夏休みとかの期間だけ、預かってくれる場所が欲しい。
- 通学路、学区内の道路環境が悪い（交通量が多い、歩道がない、あってもせまい）。放課後、子どもだけで遊びに行かせるのが不安。
- 小学校の設備をきれいにしたい。
- 乳幼児期の相談は支援センターなどでできたが、小学生になってからの悩みなどはどこに相談すればよいかわからない。具体的に「こんな事でもOK」と案内があれば判断しやすい。
- 三人の子育ては教育費、生活費共に経済的負担が重い。所得制限や子どもの年齢による制限等を撤廃していただくとありがたい。
- 核家族が多い中、母親の母親的存在である地域の方々ともっと触れ合ったり地域の中で交流をもっと深めたい。何世代もの方々と一緒に過ごす中で子育ての意見を聞けたり安心したりきっと同世代以上に得るものがあると思う。
- 発達障害の子どもに対する対応が、遅れていると感じる。

#### ■意見の分類

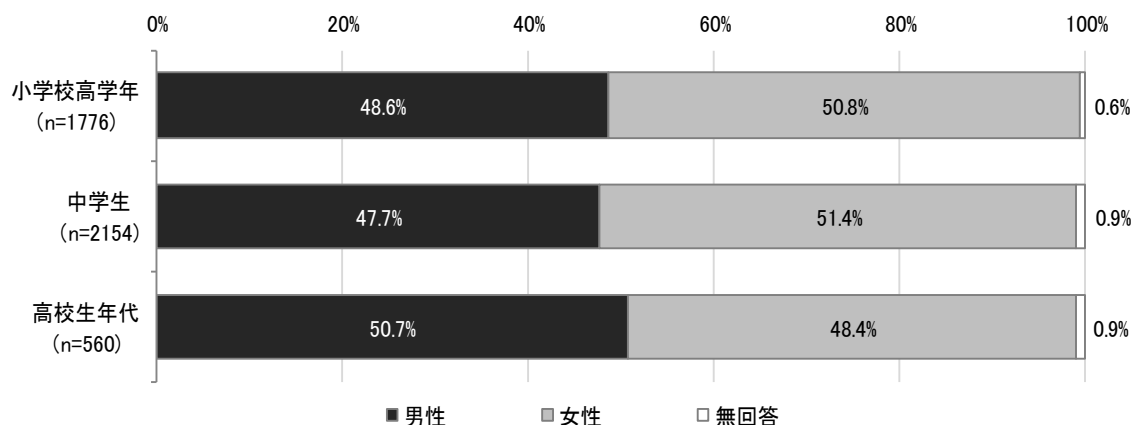
意見	件数
長期休暇の際の保育サービス充実、放課後児童クラブの量的拡大・質的向上、放課後チャレンジスクール等の充実	397
学力等教育内容の充実、学校施設の改善、教職員の能力向上、PTA活動等保護者負担の軽減	357
子どもがのびのびと遊べる公園づくり、安全安心な地域環境、地域の人々とのふれあい	325
全市的視点からの子育てのあり方、地域格差の是正、学区割の適正化	88
フルタイムで働くことの困難さ、子どもを預かる施設等の必要性	42
合計	1209

### 3) 18歳未満調査

#### 1 あなたのことについておたずねします。

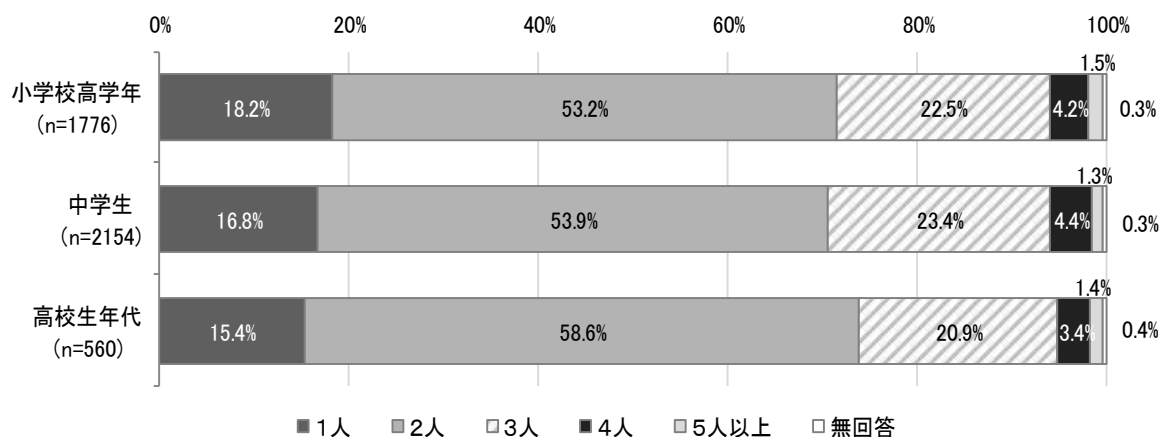
問1 あなたの性別を選んでどちらかに○をしてください。

性別については、小学校高学年（小学校5、6年生）、中学生（中学校1～3年生）、高校生年代（15～17歳）でそれぞれ約半々の回答となっています。



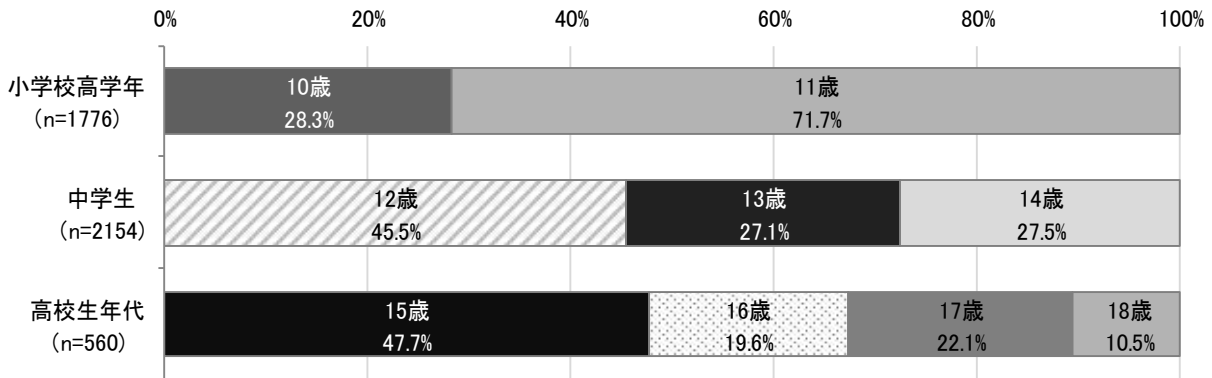
問2 あなたは、何人きょうだいですか。あなたをふくめた人数を選んで1つに○をしてください。5人以上の場合は「5」に○をして、具体的な人数を書いてください。

きょうだいについては、小学校高学年、中学生、高校生年代ともに「2人」が多く5割を超えています。



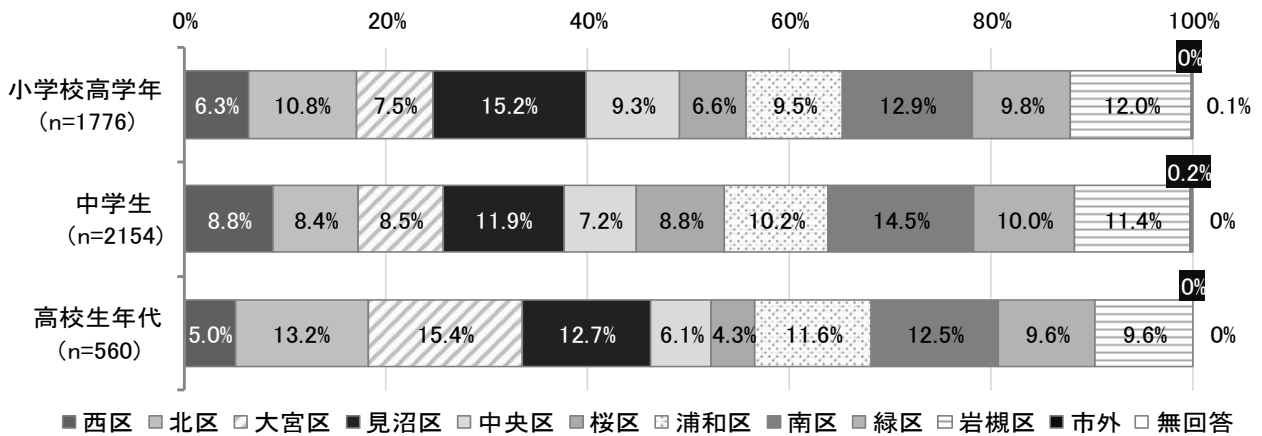
**問3 あなたは何歳(なんさい)ですか。口内に数字で書いてください。(数字は1つの口に1字。)**

年齢については、小学校高学年で11歳、中学生で12歳、高校生年代で15歳が最も多くなっています。



**問4 あなたは、どこに住んでいますか。1つに○をしてください。**

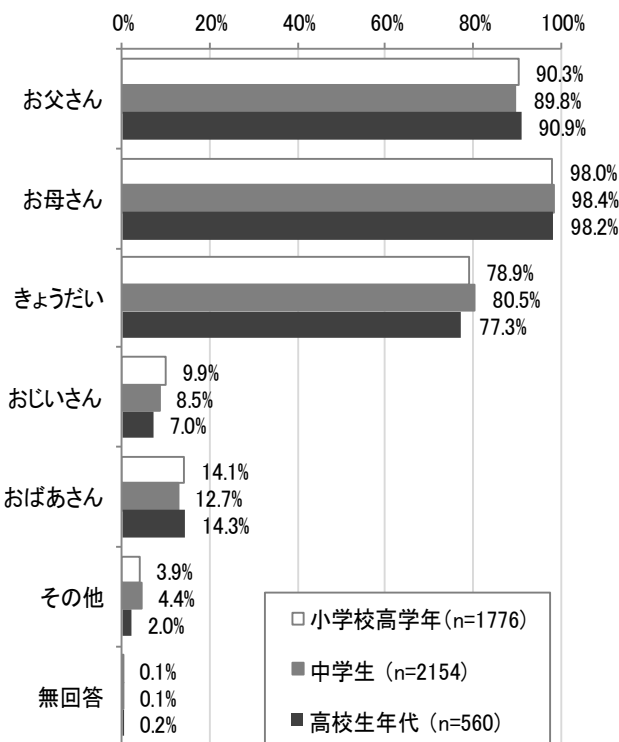
居住地区については、小学校高学年で「見沼区」、中学生で「南区」、高校生年代で「大宮区」の割合が最も高くなっています。



## 2 家庭や家族のことについておたずねします。

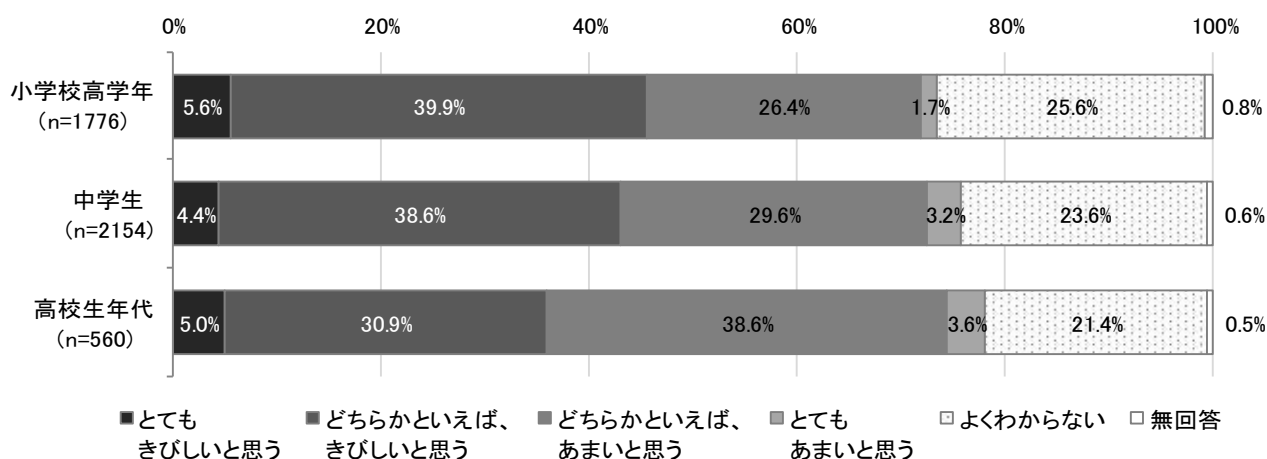
問5 あなたは、だれと一緒にくらしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

各年代の多くが、保護者及びきょうだいと一緒に暮らしています。



問6 あなたは、おうちのひとのしつけについてどう感じていますか。1つに○をしてください。

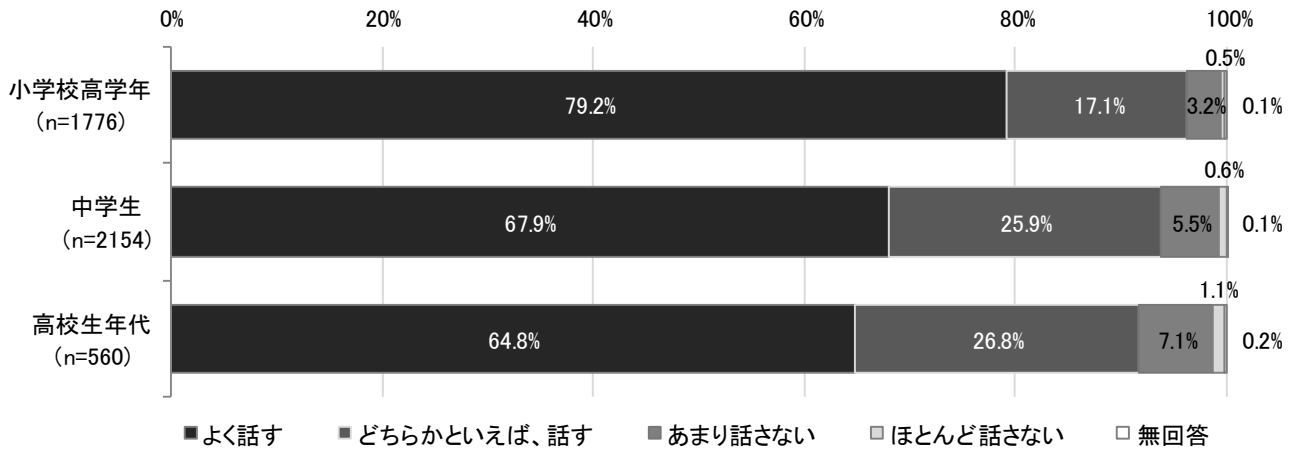
家の人のしつけについては、「とてもきびしいと思う」と「どちらかといえば、きびしいと思う」を合わせると、小学校高学年で45.5%、中学生で43.0%、高校生年代で35.9%となっています。





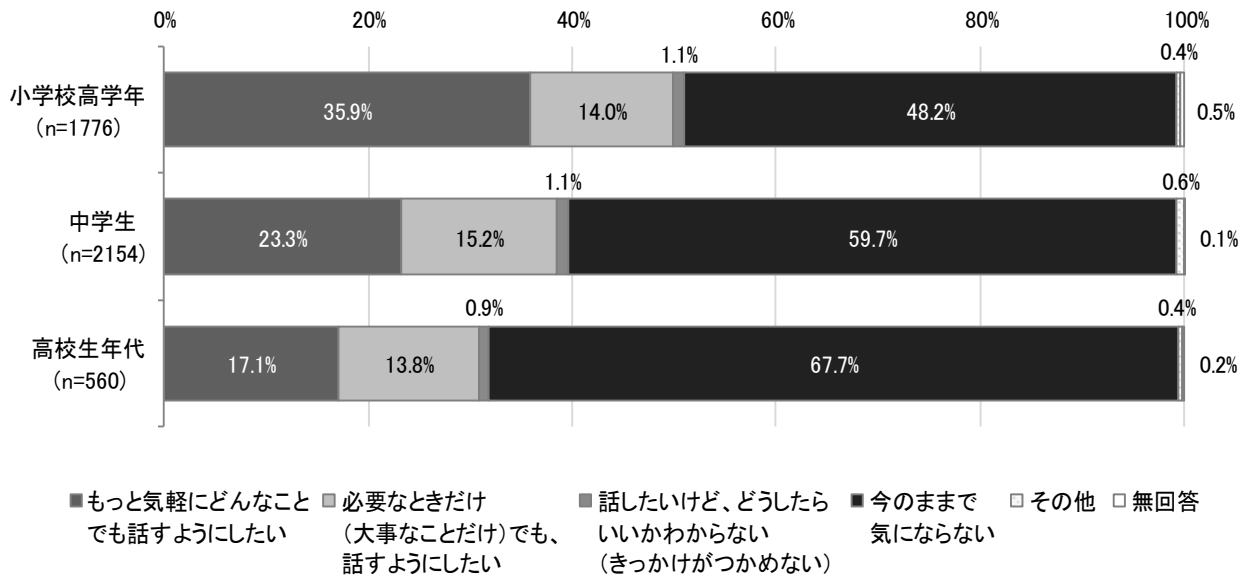
**問7 あなたは、おうちのひとと話をしますか。1つに○をしてください。**

家の人との会話については、「よく話す」の割合で見ると、小学校高学年で79.2%、中学生で67.9%、高校生年代で64.8%と年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。



**問8 あなたは、おうちのひとと話す機会をもっと持ちたいと思いますか。1つに○をしてください。**

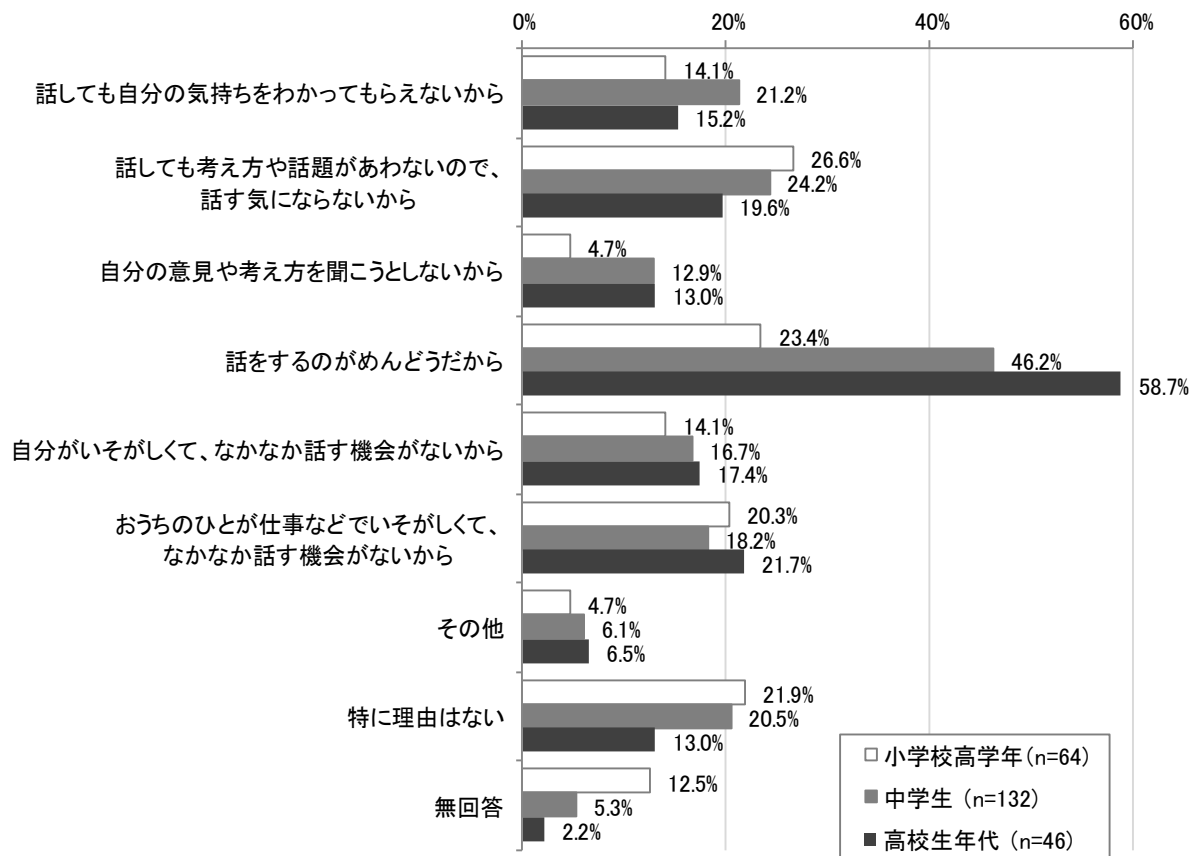
話す機会をもっと持ちたいかについては、すべての年代で「今のままで気にならない」が最も高く、小学校高学年で48.2%、中学生で59.7%、高校生年代で67.7%と年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。小学校高学年では「もっと気軽にどんなことでも話すようにしたい」も35.9%と高くなっています。



問7で「3 あまり話さない」または「4 ほとんど話さない」に○をした人が答えてください。

問9 あなたがおうちのひととあまり話さなかったり、ほとんど話さなかったりする理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

話さない理由については、小学校高学年で「話しても考え方や話題があわないので、話す気にならないから」が26.6%で最も高く、次いで「話をするのがめんどうだから」が23.4%となっています。中学生、高校生年代では「話をするのがめんどうだから」が最も高く、それぞれ46.2%、58.7%となっています。

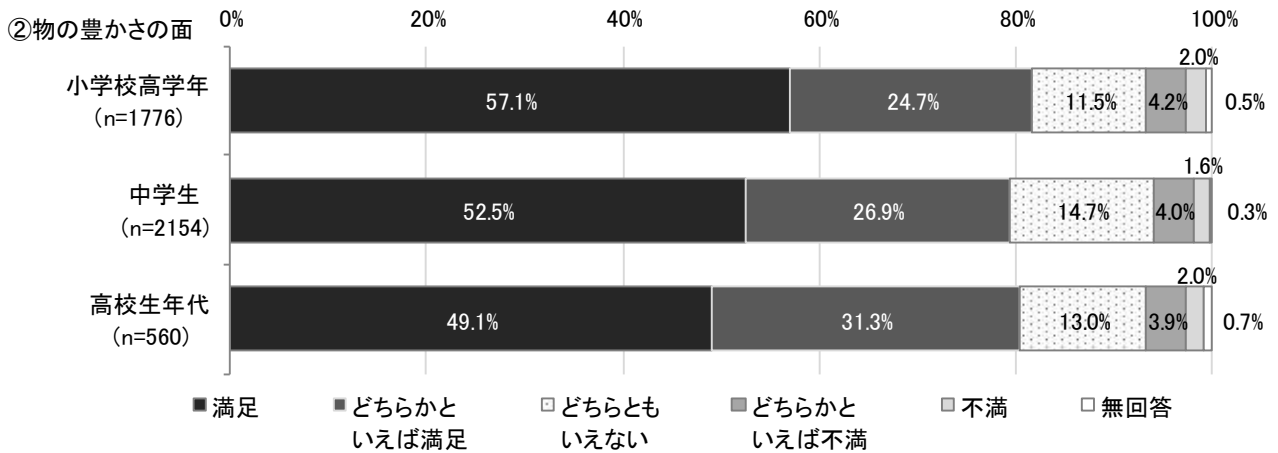
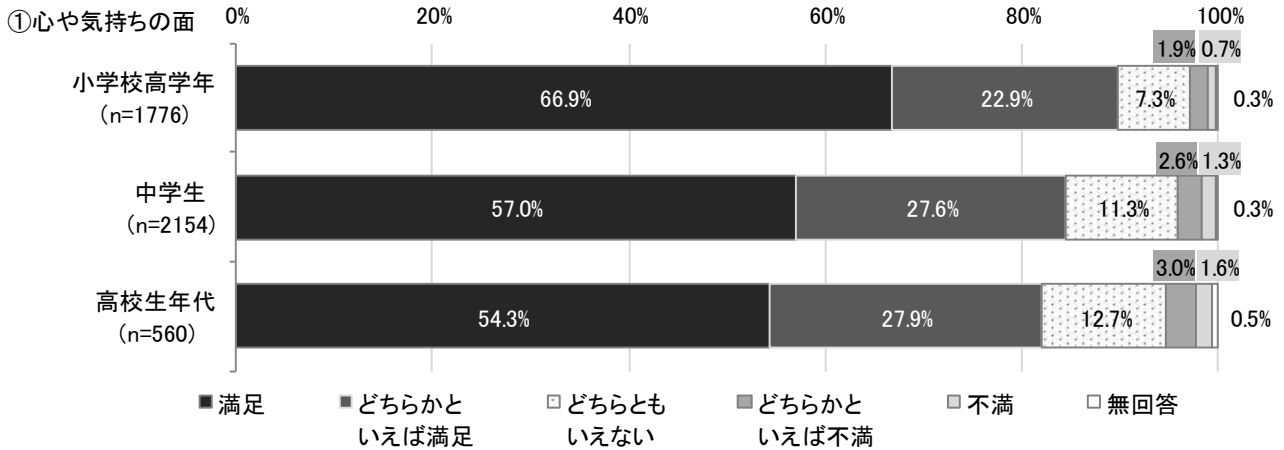


すべての人が答えてください。

問 10 あなたは、家庭や家族のことに満足していますか。①「心や気持ちの面」と②「ものの豊かさの面」のそれぞれについて1つに○をしてください。

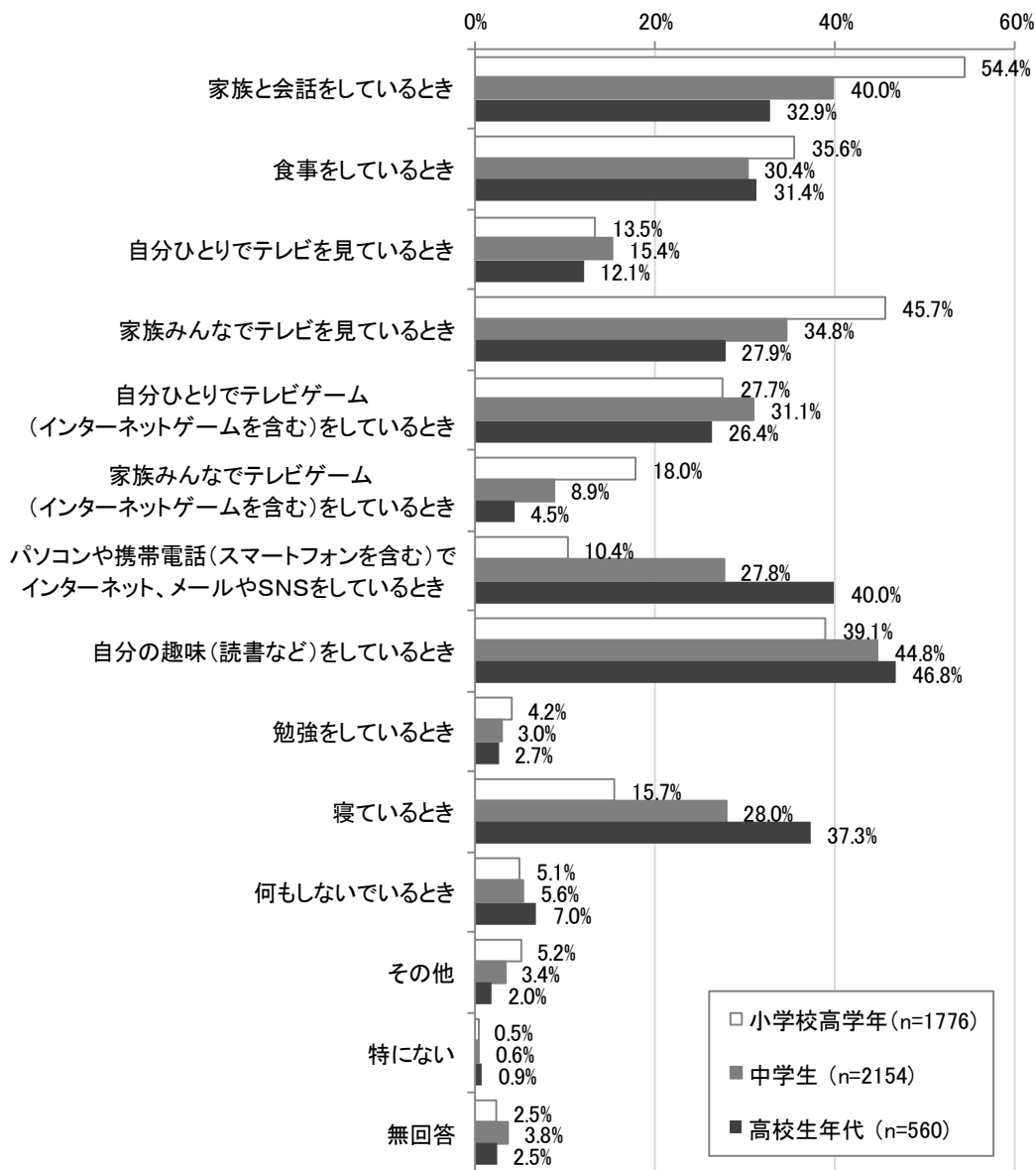
家族や家庭のことについての満足度は、「ゆったりしたり、心が落ち着いたりするなど、心や気持ちの面」の「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は、小学校高学年で89.8%、中学生で84.6%、高校生年代で82.2%となっています。

「ほしい物を買ってもらったり、おこづかいをもらったりするなど、物の豊かさの面」の「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は、小学校高学年で81.8%、中学生で79.4%、高校生年代で80.4%となっています。



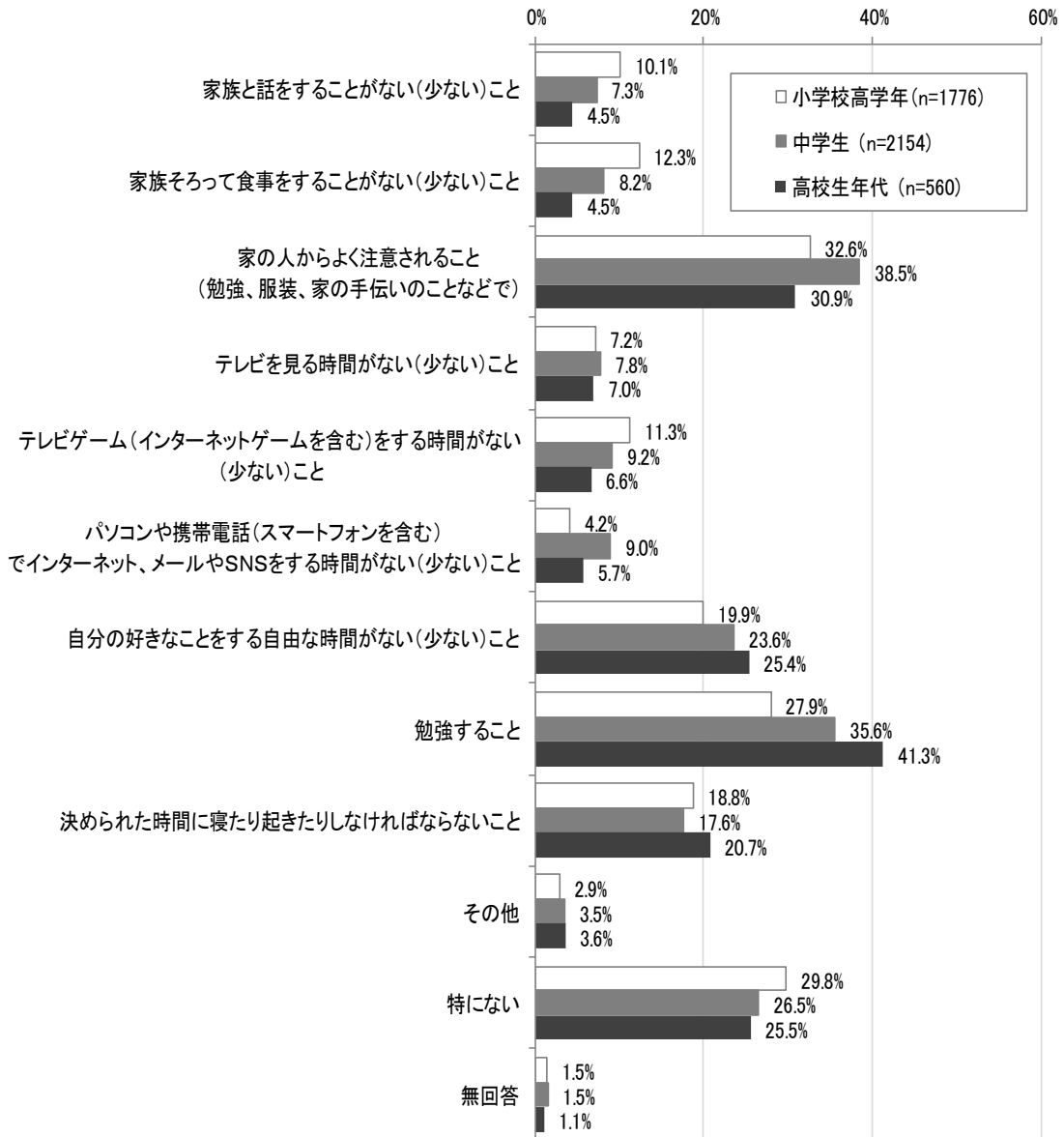
問11 家にいるとき、楽しいと感じるのはどんなときですか。主なもの3つまでに○をしてください。

家にいるとき楽しいと感じるときについては、小学校高学年で「家族と会話をしているとき」が54.4%で最も高く、次いで「家族みんなでテレビを見ているとき」が45.7%となっています。中学生では「自分の趣味（読書など）をしているとき」が44.8%で最も高く、次いで「家族と会話をしているとき」が40.0%となっています。高校生年代では「自分の趣味（読書など）をしているとき」が46.8%で最も高く、次いで「パソコンや携帯電話でインターネット、メールやSNSをしているとき」が40.0%となっています。



**問12 家にいて楽しくないと思うことはどんなことですか。主なもの3つまでに○をしてください。**

家にいるとき楽しくないと感じることについては、小学校高学年では「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いなどで）」が32.6%で最も高く、次いで「特にない」が29.8%となっています。中学生では「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いなどで）」が38.5%で最も高く、次いで「勉強すること」が35.6%となっています。高校生年代では「勉強すること」が41.3%で最も高く、次いで「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いなどで）」が30.9%となっています。

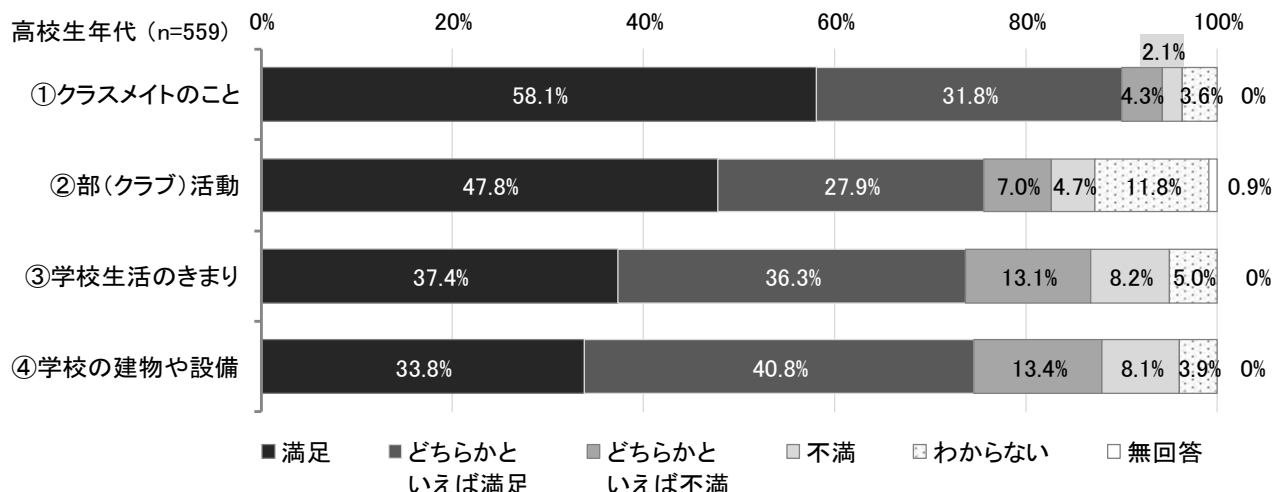
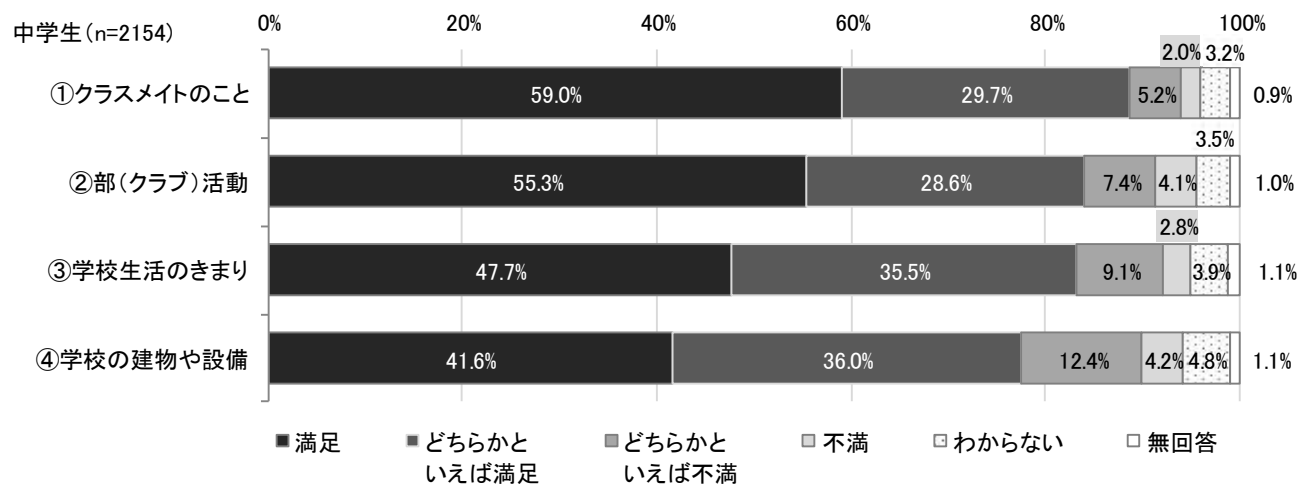
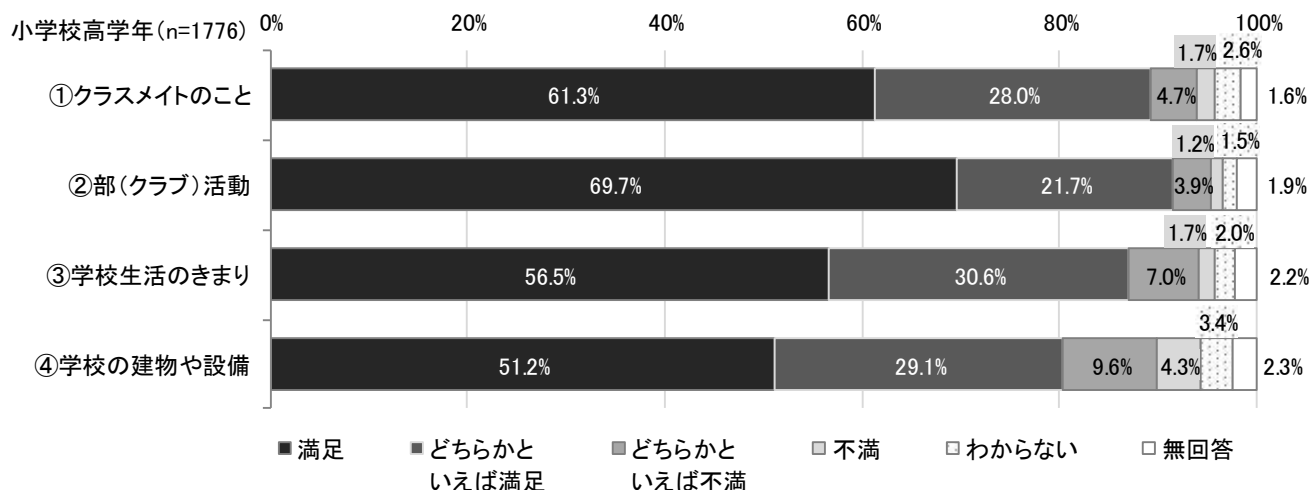


### 3 学校生活についておたずねします。

学校に通っている人におたずねします。

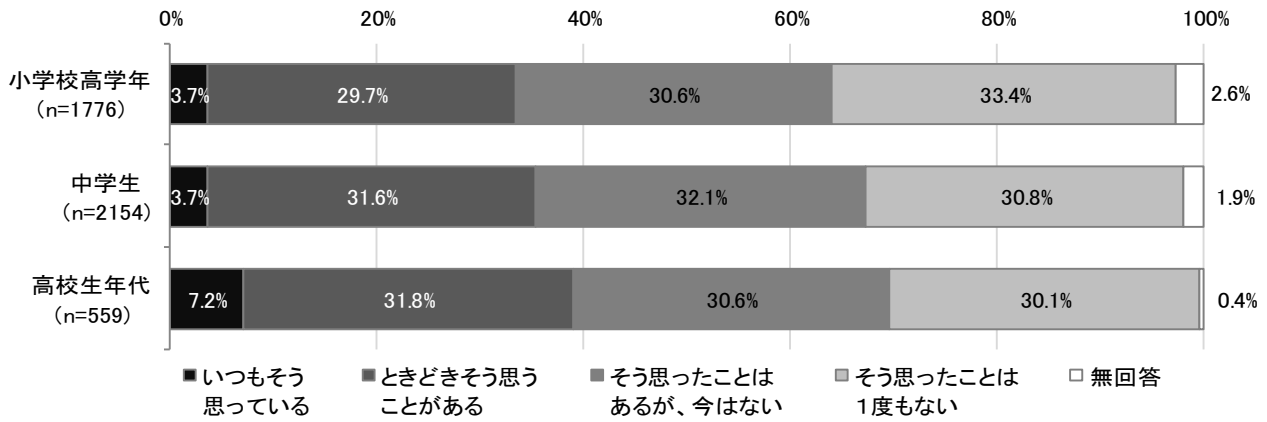
問13 あなたは、学校での生活についてどのように感じていますか。①～④のそれぞれ1つに○をしてください。

学校生活の満足度は、小学校高学年では「②部（クラブ）活動」が69.7%、中学生、高校生年代では「①クラスメイトのこと」がそれぞれ59.0%、58.1%で「満足」の割合が最も高くなっています。



**問 14 あなたは、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。1つに○をしてください。**

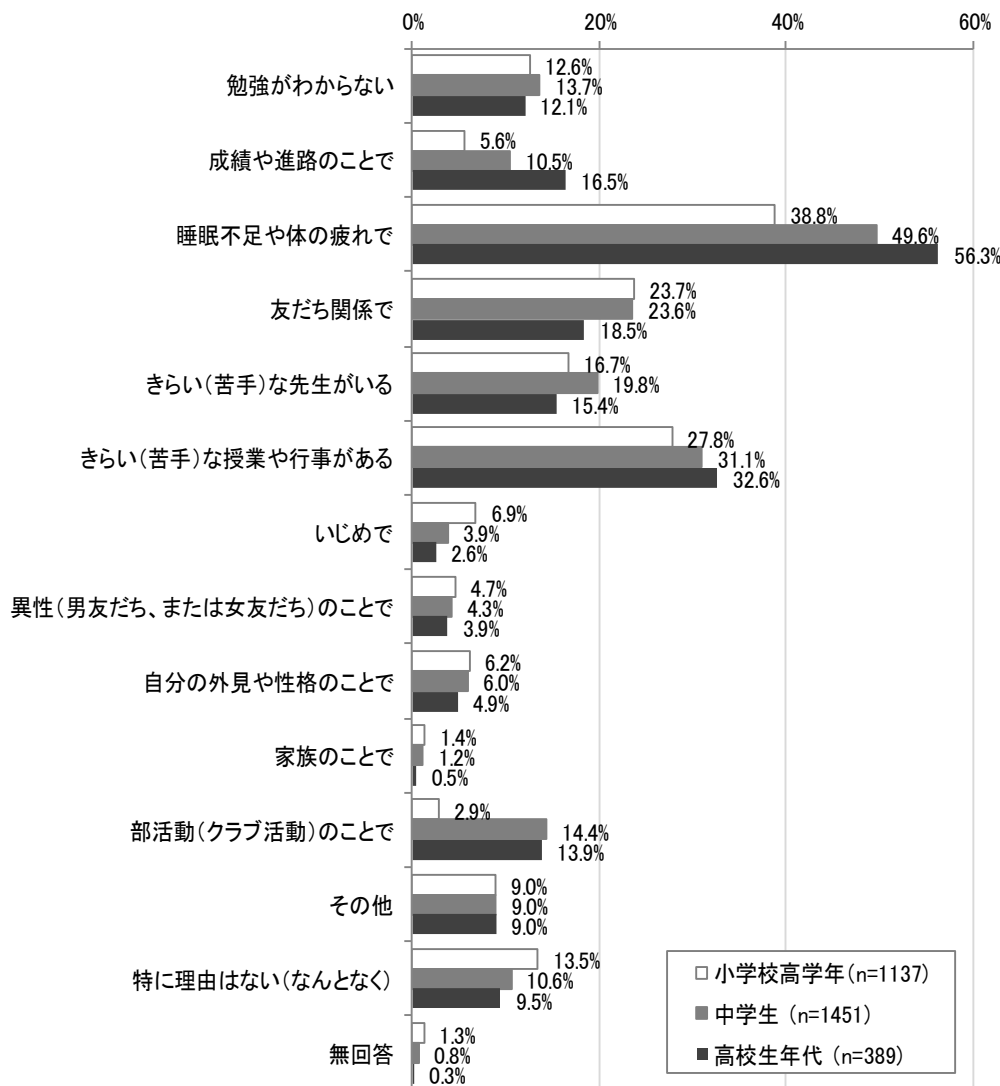
学校に行きたくないと思ったことがあるかについては、「いつもそう思っている」と「ときどきそう思うことがある」を合わせると、小学校高学年で33.4%、中学生で35.3%、高校生年代では39.0%となっています。



問14で「1 いつもそう思っている」「2 ときどきそう思うことがある」、「3 そう思ったことはあるが、今はない」のいずれかに○をした人が答えてください。

問15 「学校に行きたくない」と感じた理由は何ですか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

学校に行きたくない理由は、すべての年代で「睡眠不足や体の疲れで」が最も高く、小学校高学年で38.8%、中学校で49.6%、高校生年代で56.3%となっており、次いで「きらい（苦手）な授業や行事がある」が小学校高学年で27.8%、中学校で31.1%、高校生年代で32.6%となっています。



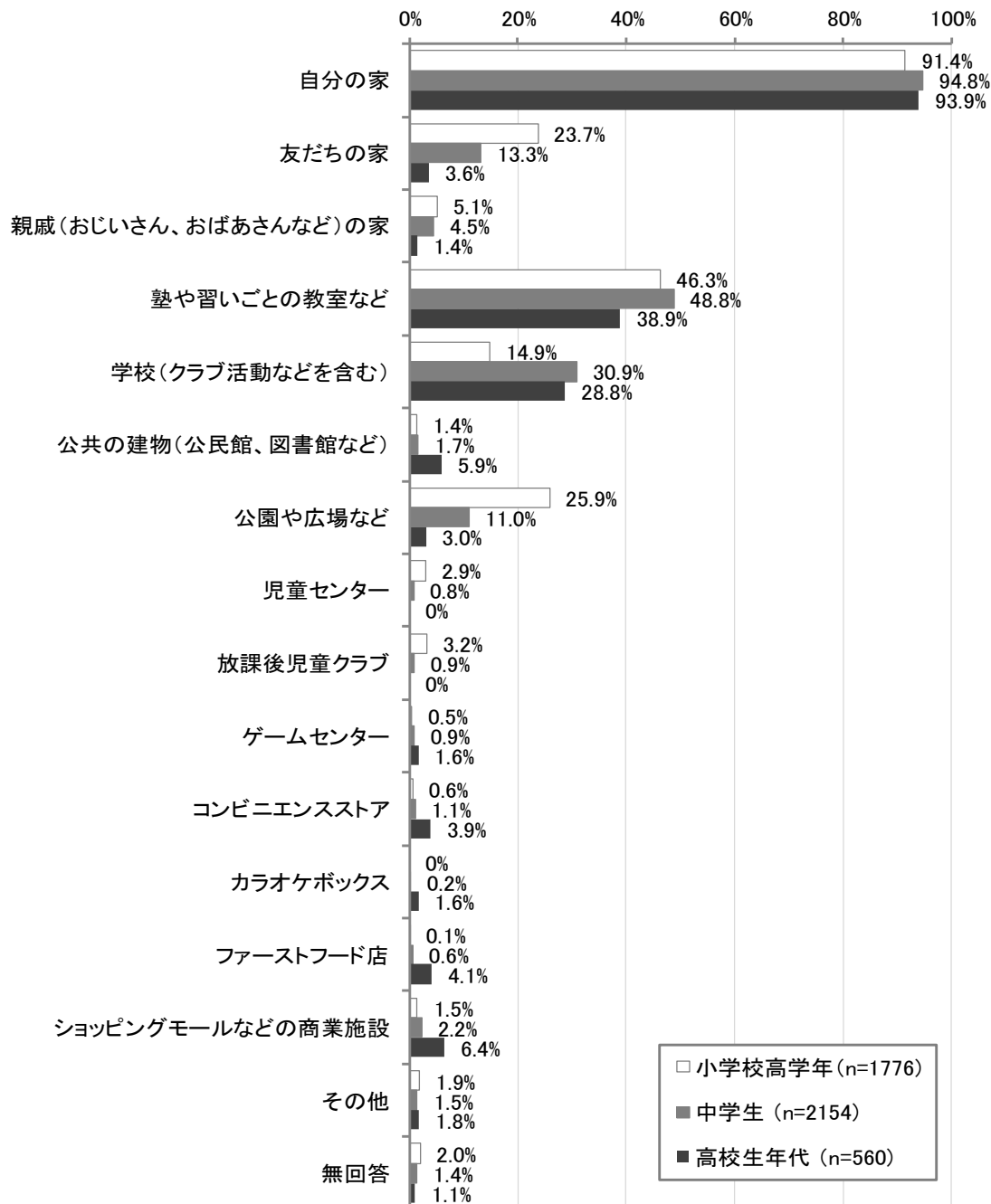


## 4 休日などの過ごし方と、友だちとの関係についておたずねします。

すべての人が答えてください。

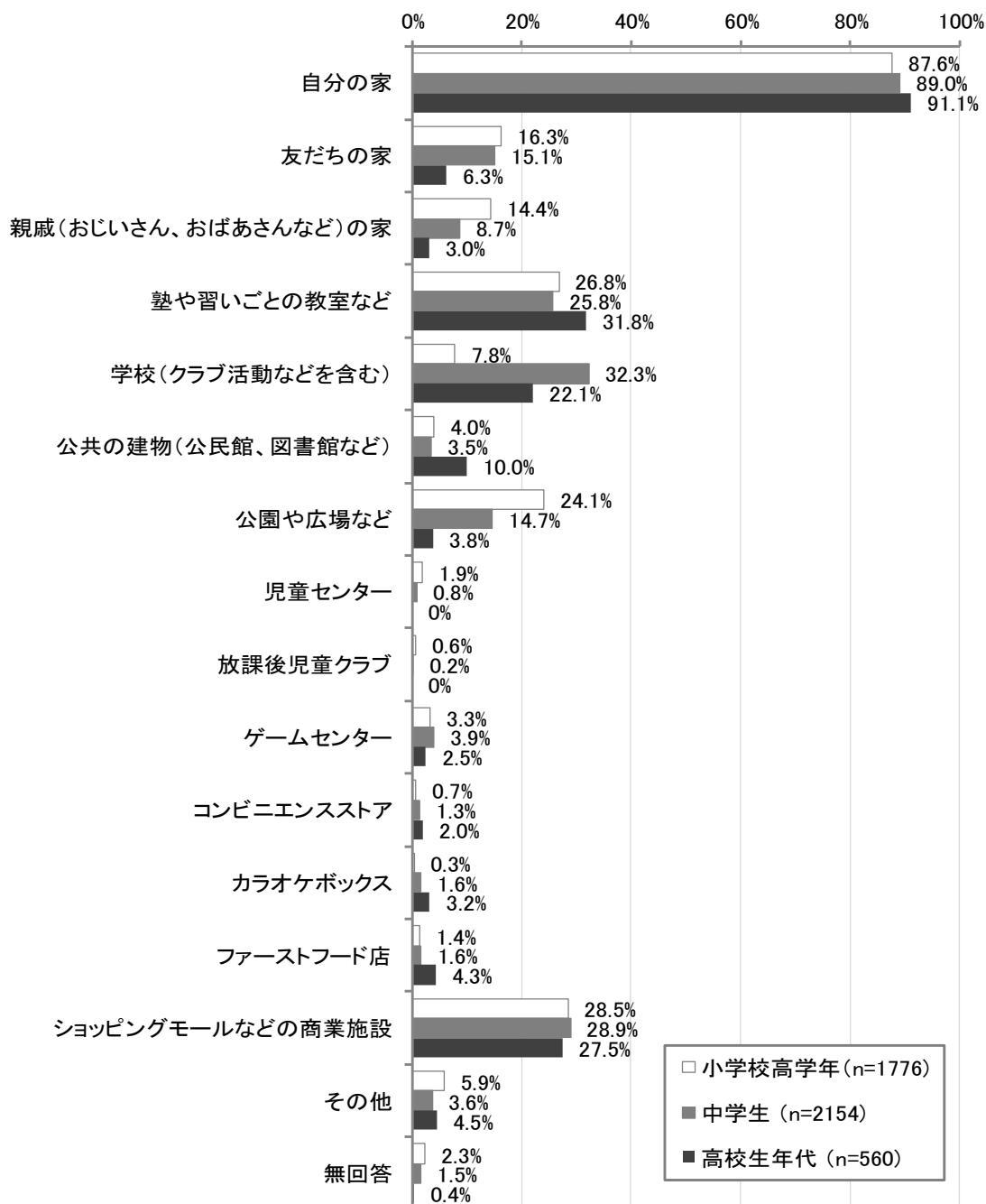
問16 あなたは、学校（仕事）が終わった後、どこで過ごしていることが多いですか。主なもの3つまでに○をしてください。

放課後で過ごす場所については、「自分の家」がどの年代も9割以上で最も高く、次いで「塾や習いごとなどの教室など」が小学校高学年で46.3%、中学校で48.8%、高校生年代で38.9%となっています。また、小学校高学年では「公園や広場など」、中学生、高校生年代では「学校（クラブ活動などを含む）」も高くなっています。



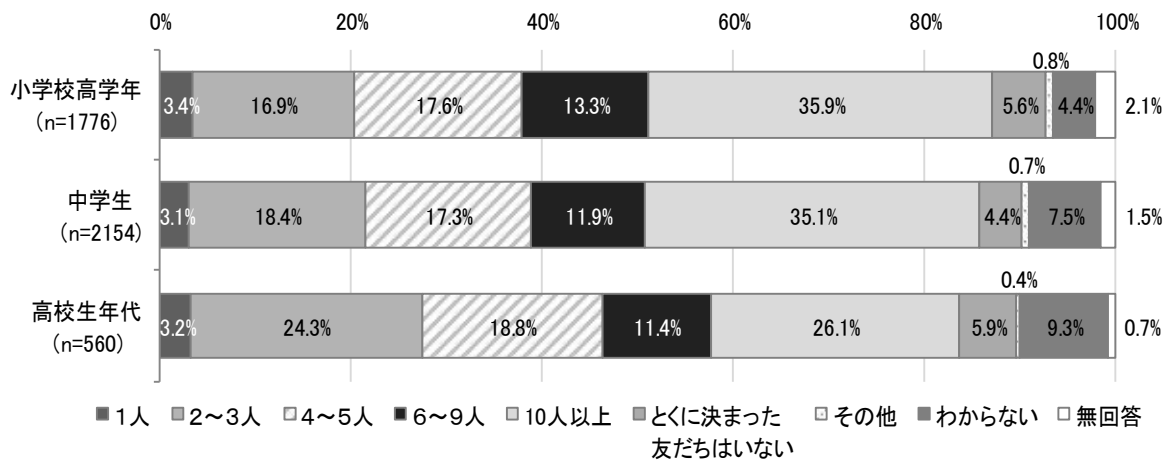
問17 あなたは、学校（仕事）が休みの日には、どこにすることが多いですか。主なもの3つまでに○をしてください。

学校（仕事）が休みの日に過ごす場所については、「自分の家」がどの年代も約9割で最も高く、次いで、「塾や習いごとなどの教室など」や「ショッピングモールなどの商業施設」が3割前後となっています。また、小学校高学年では「公園や広場など」、中学生、高校生年代では「学校（クラブ活動などを含む）」も高くなっています。



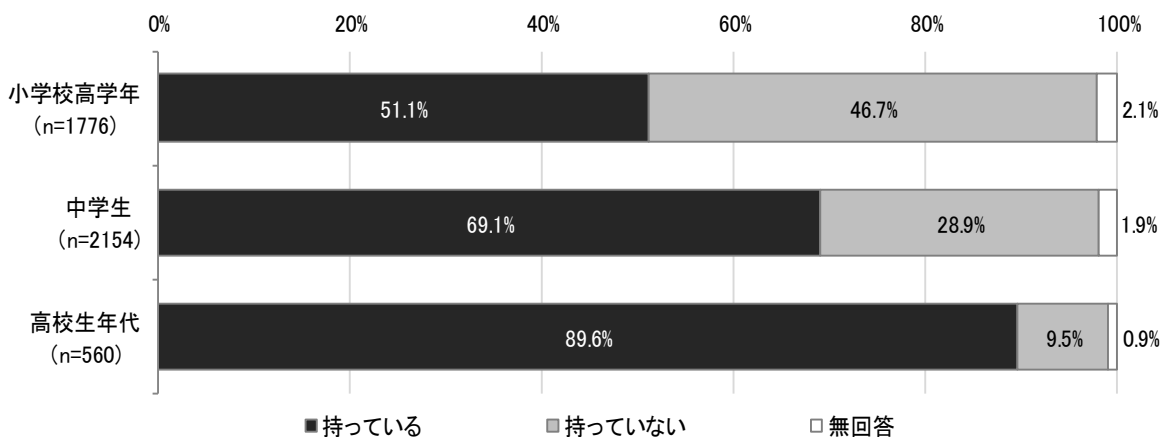
**問 18 あなたには、なんでも話せるような仲のよい友だちがいますか。1つに○をしてください。**

何でも話せるような仲の良い友達の数、どの年代も「10人以上」の割合が最も高く、小学校高学年で35.9%、中学校で35.1%、高校生年代で26.1%となっています。



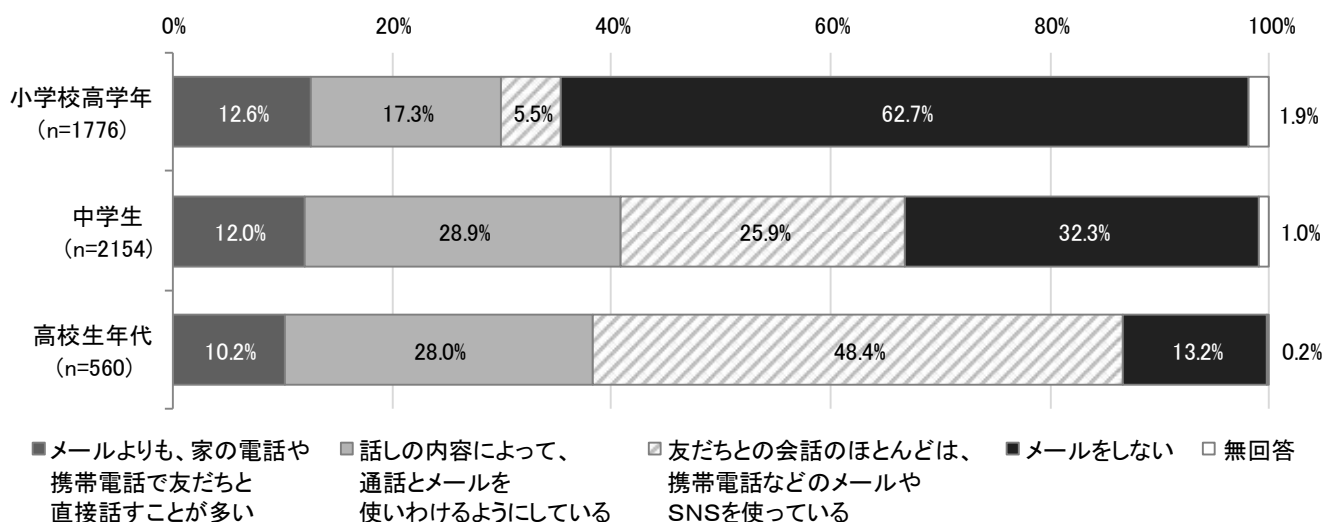
**問 19 あなたは、自分専用の携帯電話（スマートフォンを含む）を持っていますか。1つに○をしてください。**

携帯電話の所持については、小学校高学年で51.1%、中学校で69.1%、高校生年代で89.6%と年齢が上がるほど「持っている」の割合が高くなっています。



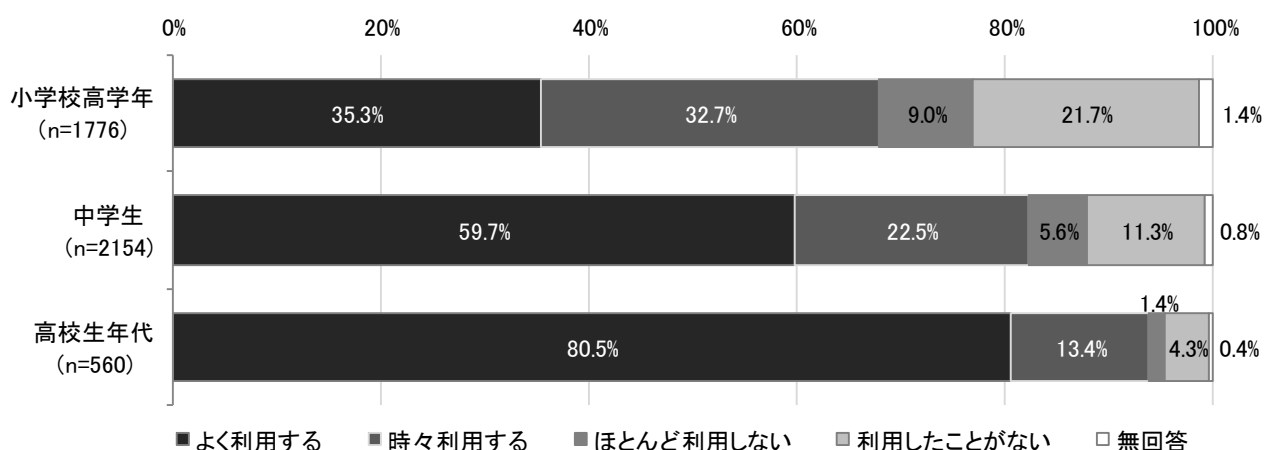
**問 20 あなたは、ふだん友だちとの会話で、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンをどれくらい使っていますか。1つに○をつけてください。**

友達との会話での携帯電話などの使用頻度については、「メールをしない」でみると小学校高学年で62.7%、中学生で32.3%、高校生年代で13.2%となっています。一方、「友だちとの会話のほとんどは、携帯電話（スマートフォンを含む）などのメールやSNSを使っている」は、小学校高学年で5.5%、中学生で25.9%、高校生年代で48.4%となっており、年齢が上がるにつれて頻度が高くなっています。なお、「メールよりも、家の電話や携帯電話で友だちと直接話すことが多い」と「話しの内容によって、通話とメールを使いわけるようにしている」の合計は、小学校高学年で約3割、中学生、高校生年代では約4割となっています。



**問 21 あなたは、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンで、インターネットを利用したことがありますか。1つに○をしてください。**

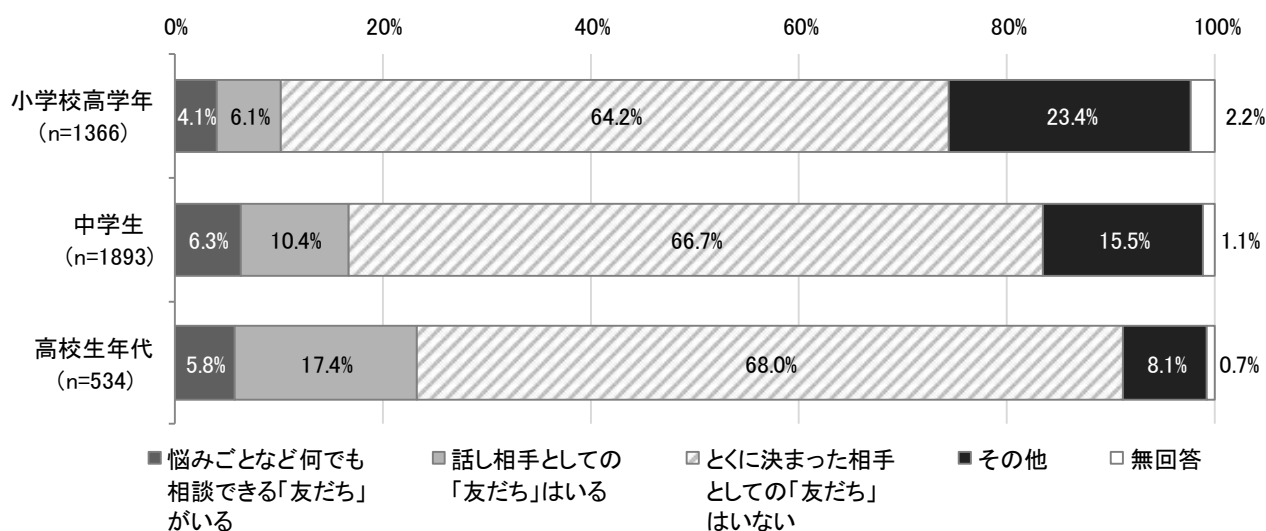
インターネットの利用については、「よく利用する」でみると小学校高学年で35.3%、中学生で59.7%、高校生年代で80.5%と年齢が上がるほど割合が高くなっています。



問21で「1 良く利用する」、「2 時々利用する」、「3 ほとんど利用しない」のいずれかに○をした人が答えてください。

問22 あなたは、SNSやインターネットの中だけで付きあっているような“友だち”がいますか。1つに○をしてください。

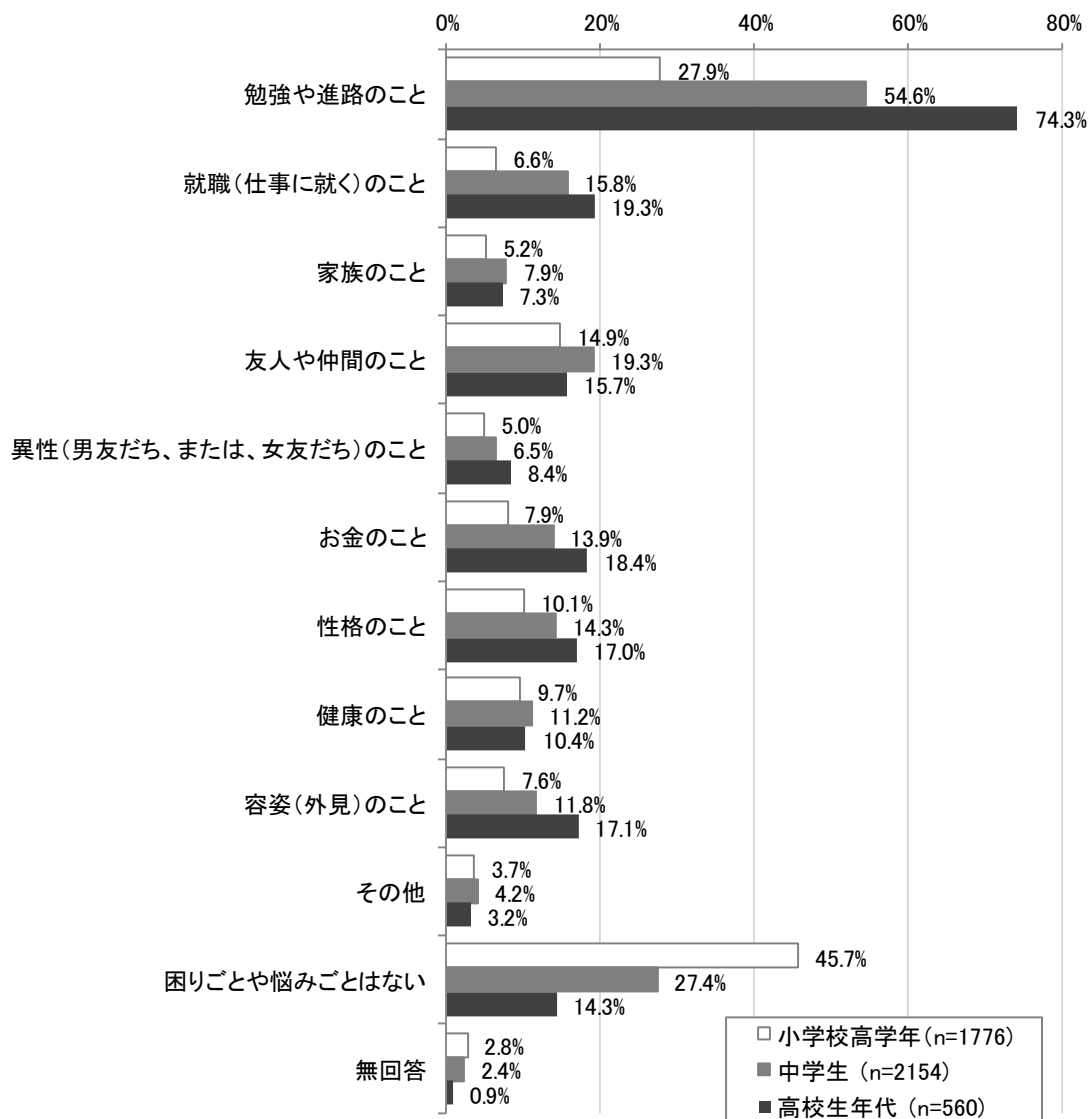
インターネットの中だけで付き合うような友達の有無は、どの年代も「とくに決まった相手としての『友だち』はいない」が最も高く、小学校高学年で64.2%、中学生で66.7%、高校生年代で68.0%となっていますが、一方で、年齢が上がるほど「話し相手としての『友だち』はある」の割合が高くなっています。



5 悩みごとや相談相手などについておたずねします。

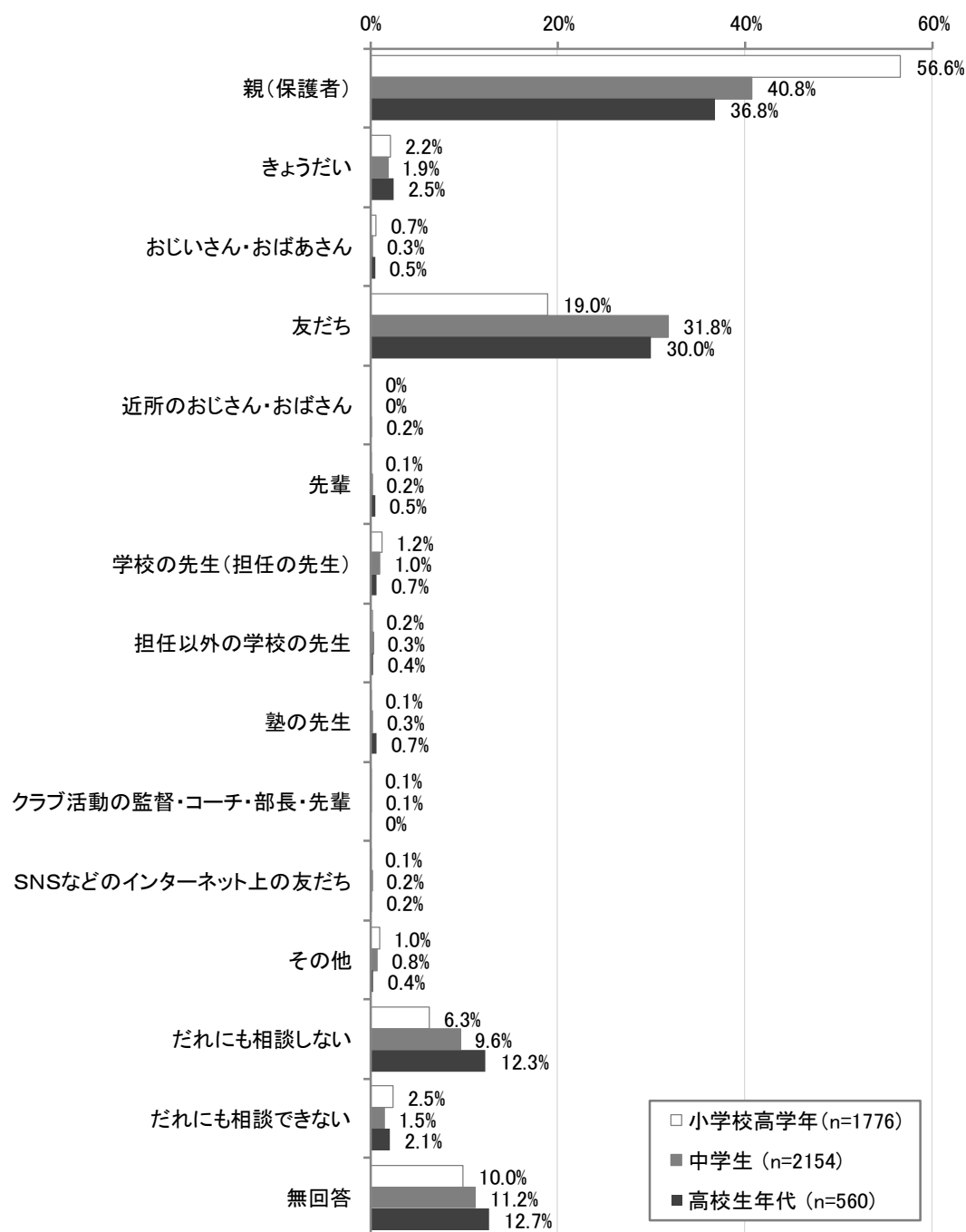
問 23 あなたには、困りごとや悩みごとがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

困りごとや悩みごとについては、小学校高学年では「困りごとや悩みごとはない」が45.7%で最も高く、中学生、高校生年代では「勉強や進路のこと」がそれぞれ54.6%、74.3%で最も高くなっています。



問24 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、だれにもっとも相談しますか。1つに○をしてください。

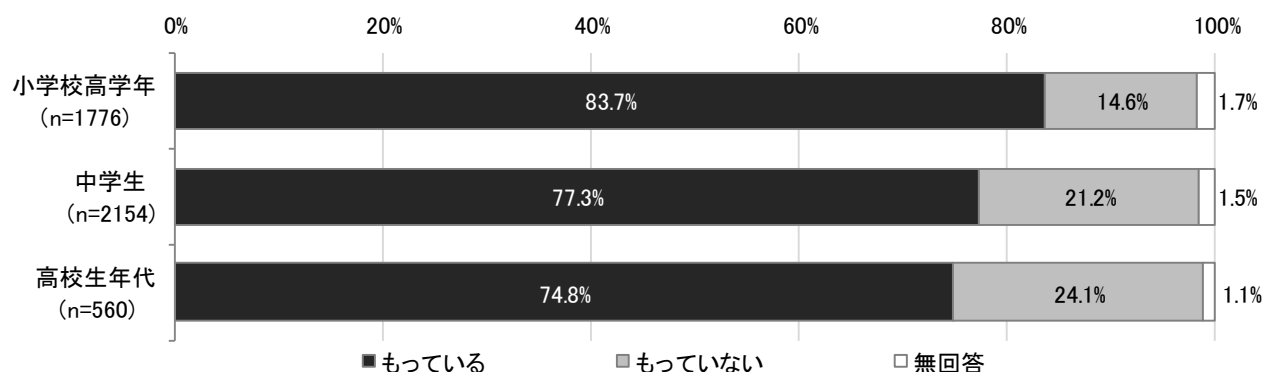
困ったり、悩んだりしたときの相談相手は、小学校高学年では「親（保護者）」が56.6%で最も高く、次いで「友だち」が19.0%となっています。中学生では「親（保護者）」が40.8%、「友だち」が31.8%、高校生年代でも「親（保護者）」が36.8%、「友だち」が30.0%とそれぞれ高くなっています。



## 6 あなたの将来の「ゆめ」や「目標」についておたずねします。

問 25 あなたは、将来の「ゆめ」や「目標」をもちていますか。どちらかに○をしてください。

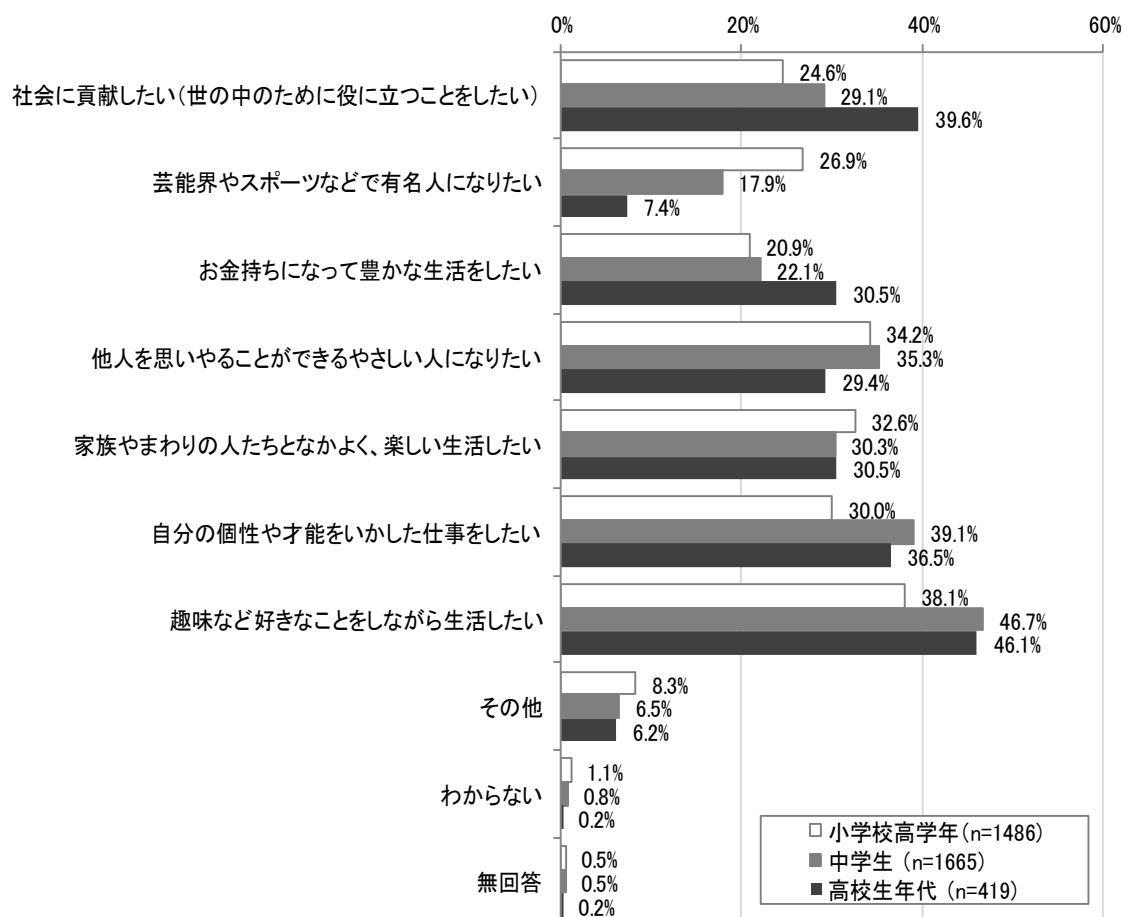
将来の「ゆめ」や「目標」については、「もっている」でみると、小学校高学年で83.7%、中学生で77.3%、高校生年代で74.8%となっています。年齢が上がるほど「もっている」の割合が低くなる傾向にあります。



問 25 で「1 もっている」に○をした人だけ教えてください。

問 26 あなたは、どのような「ゆめ」や「目標」をもちていますか。3つまでに○をしてください。

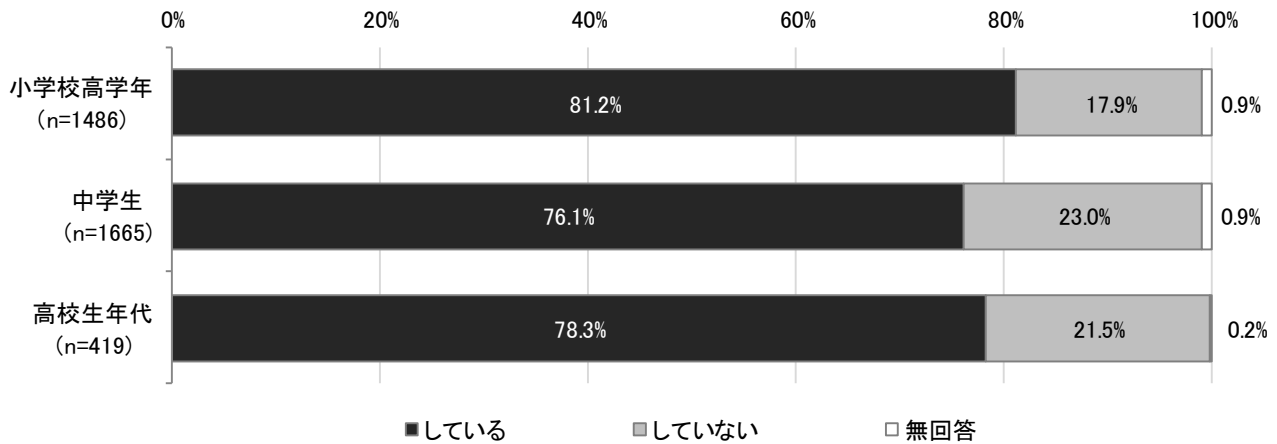
「ゆめ」や「目標」の内容については、どの年代も「趣味など好きなことをしながら生活したい」が最も高く、小学校高学年で38.1%、中学生で46.7%、高校生年代で46.1%となっています。次いで、小学校高学年では「他人を思いやることができるやさしい人になりたい」が34.2%、中学生では「自分の個性や才能を生かした仕事をしたい」が39.1%、高校生年代では「社会に貢献したい（世の中のために役に立つことをしたい）」が39.6%とそれぞれ高くなっています。





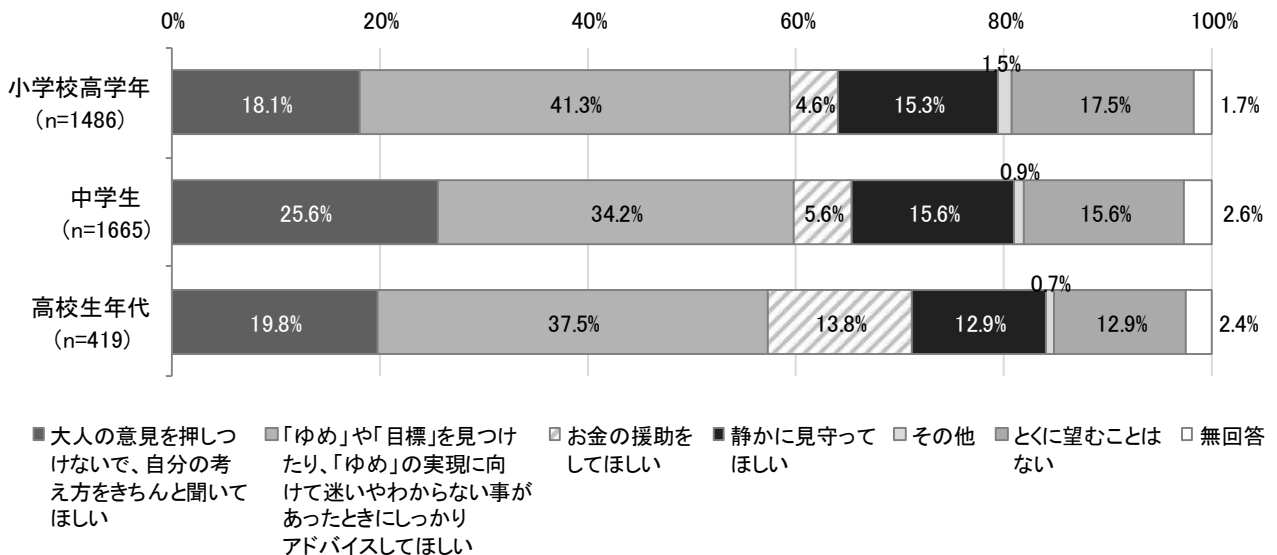
問 27 あなたは、「ゆめ」や「目標」の実現に向けて努力をしていますか。どちらかに○をしてください。

「ゆめ」や「目標」の実現に向けた努力については、「している」でみると小学校高学年で81.2%、中学生で76.1%、高校生年代で78.3%となっています。



問 28 将来の「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周(まわ)りの大人にどのような手助けをしてもらいたいと思いますか。1つに○をつけてください。

将来の「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周りの大人から受けてほしい手助けの内容については、どの年代も『「ゆめ」や「目標」を見つけたり、『ゆめ』の実現に向けて迷いやわからない事があったときにしっかりアドバイスしてほしい』が最も高く、小学校高学年で41.3%、中学生で34.2%、高校生年代で37.5%となっています。次いで「大人の意見を押しつけないで、自分の考えをきちんと聞いてほしい」が小学校高学年で18.1%、中学生で25.6%、高校生年代で19.8%となっています。

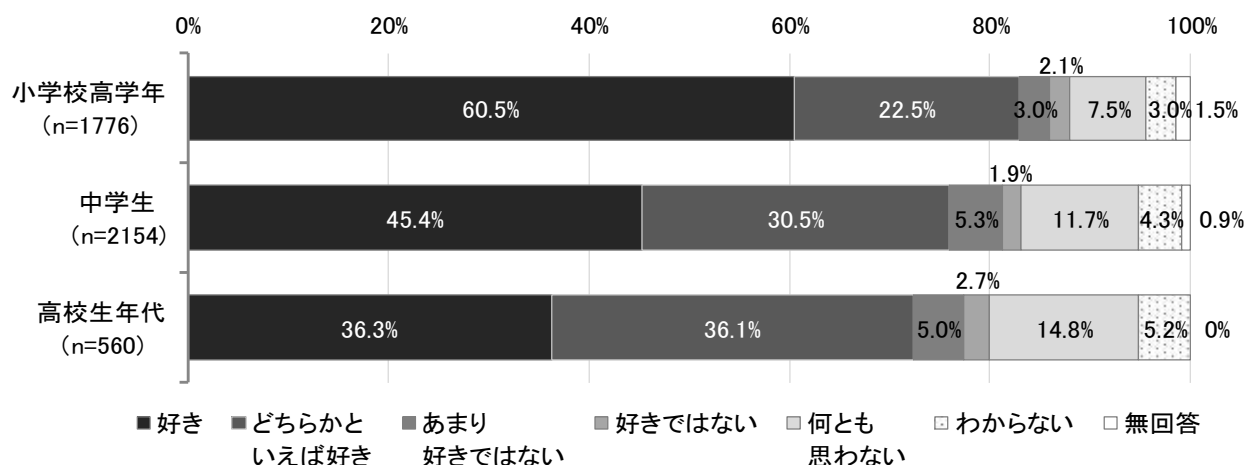


## 7 地域や地域の活動についておたずねします。

すべての人が答えてください。

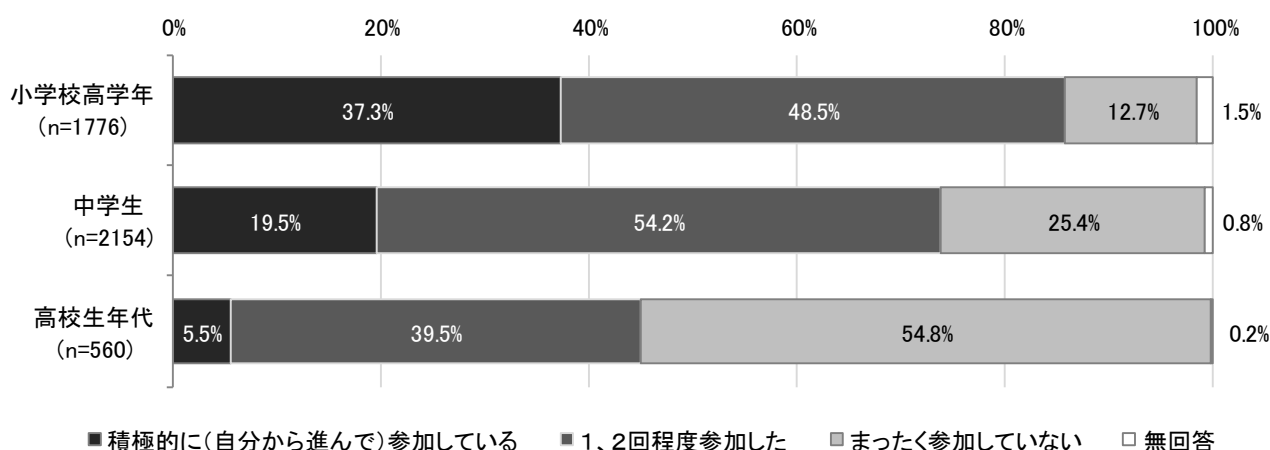
問 29 あなたが住んでいる地域（家のまわりの人や自然など）のことは好きですか。1つに○をしてください。

住んでいる地域への愛着については、「好き」の割合がそれぞれ高く、小学校高学年で60.5%、中学生で45.4%、高校生年代で36.3%となっています。「どちらかといえば好き」と合わせると7割から8割が好きと回答しており、年齢が低いほど割合が高くなっています。



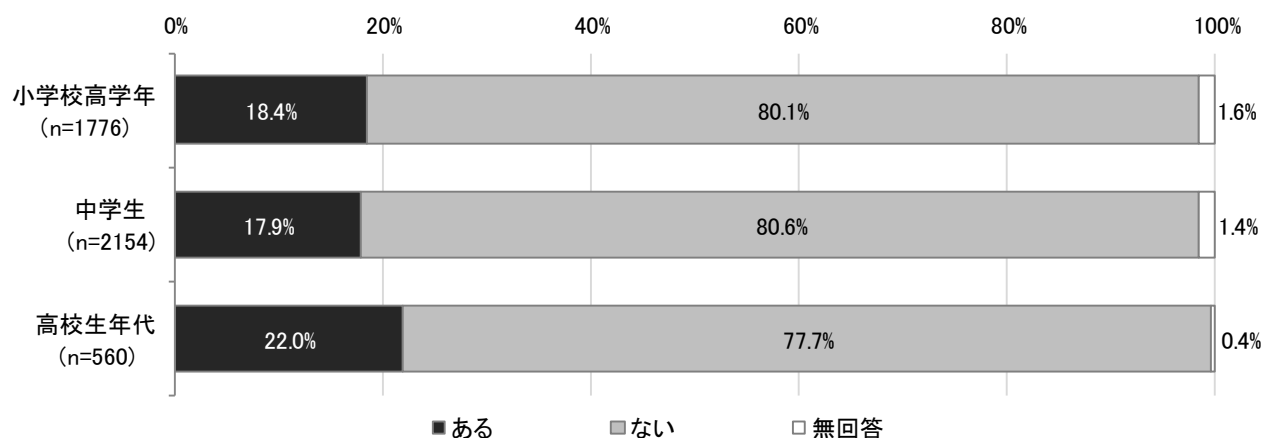
問 30 あなたは、最近1年間に地域の行事や活動（地域のお祭りや清掃など）に参加したことがありますか。1つに○をしてください。

最近1年間の地域の行事や活動への参加状況については、小学校高学年と中学生では「1、2回程度参加した」がそれぞれ48.5%、54.2%と最も高く、高校生年代では「まったく参加していない」が54.8%で最も高くなっています。年齢が上がるにつれて、参加の度合いが低くなっています。



問31 あなたは、自分の住む地域（家や学校以外の場）に対する希望や要望がありますか。どちらかに○をしてください。

自分の住む地域に対する希望や要望については、「ある」でみると、小学校高学年で18.4%、中学生で17.9%、高校生年代で22.0%となっています。



問31で「1 ある」に○をした人だけ答えてください。

問32 自分の住む地域に対して、「こうあってほしい」とか、「こうなったらいいな」というような希望や要望があったら1つ書いてください。

主な意見を集約しています。

- スマホやPCなどで気軽に予約ができるフリースペースの多い大型図書館がほしい。
- 映画館やショッピングセンターをつかってほしい。
- 公園などがもっとあった方が、小さい子どもたちがのびのび遊べると思う。
- ボールが使える公園が近くにあるといい。
- 住宅街で死角が多かったり、人通りもあまり多くなく夜は暗いのでミラーや街灯が増えたら嬉しい。
- もっとしっかり道の整備をしてほしい。
- ごみのポイ捨てをなくして、ごみのリサイクルをしっかりしてほしい。
- 歩きタバコをしている人やタバコのポイ捨てをしている人が多いから、喫煙所をつかってほしい。
- 自然をもっと増やしてほしい。緑が少なく、田舎のように空気がきれいじゃない。
- 学生も楽しめるような地域の行事を増やしてほしい。

#### ■意見の分類

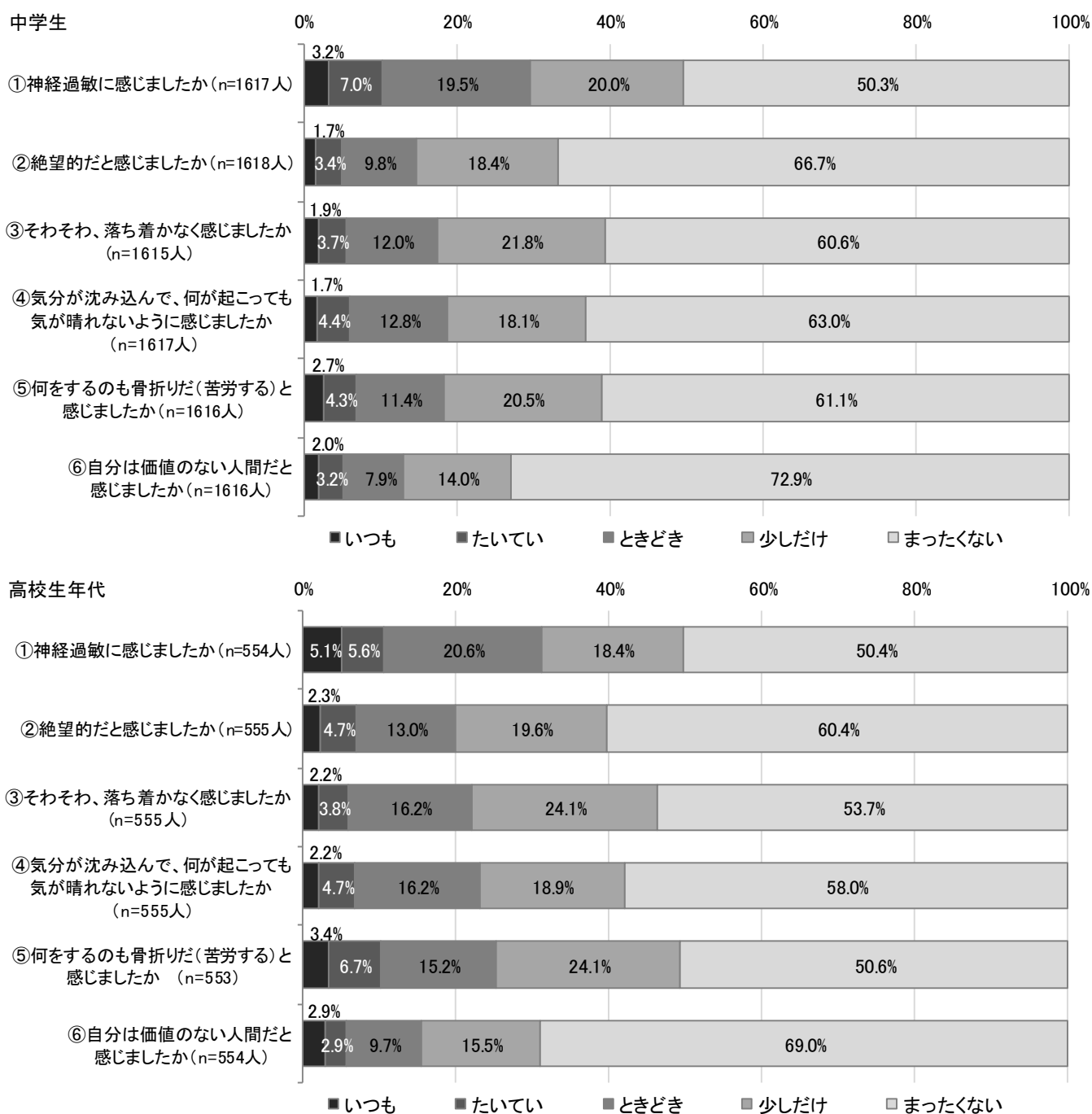
意見	件数
地域の環境（ハード）：遊ぶ公園の整備、商業施設の誘致、交通利便性の向上	471
地域の環境（ソフト）：交通安全環境の改善、防犯灯の増設等防犯環境の整備	282
地域活動：地域の活動の活性化、楽しめるイベントの開催	90
学校：学校施設の改善、学区の適正化	44
家庭：各家庭の連携、親・子の地域参画	4
合計	891

## 8 健康などについておたずねします。（以降、中学生以上の方のみ回答）

※問 33 以降については、中学生以上の方のみ回答しています。また、無回答を除いて集計しているため、設問ごとに母数が異なります。

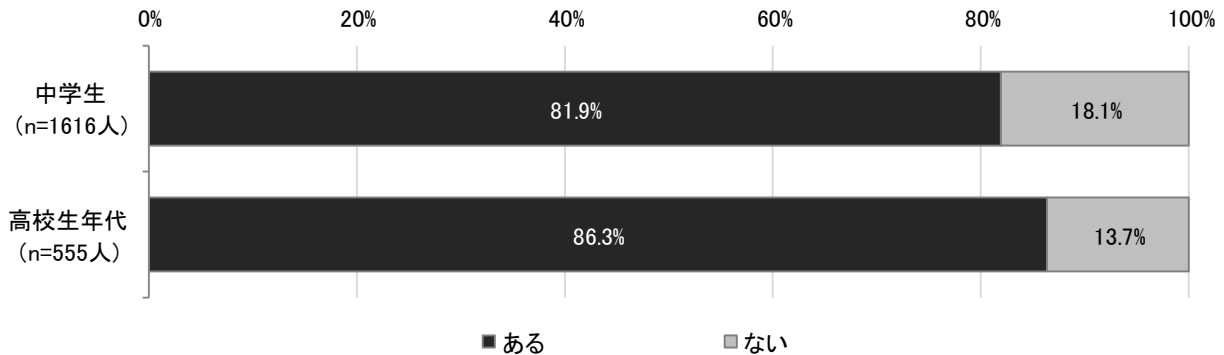
問 33 この1か月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。①～⑥のそれぞれ1つに○をしてください。

最近1か月間のこころの状態については、感じた頻度で「いつも」「たいてい」を合わせた割合をみると、中学生、高校生年代ともに「神経過敏に感じた」がそれぞれ10.2%、10.7%と最も高くなっています。全体的に高校生年代の方が頻度が高い傾向にあります。



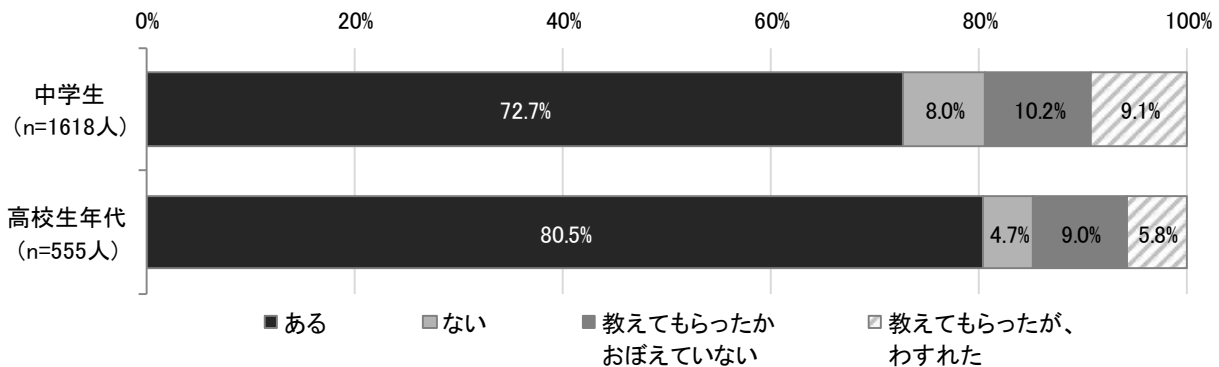
**問 34** 自分の将来（たとえば、どんな仕事をしたいか、結婚するかしらないか、子どもを持ちたいか等）について考えたことがありますか。どちらかに○をしてください。

自分の将来について考えた経験については、「ある」でみると、中学生が81.9%、高校生年代が86.3%と高くなっています。



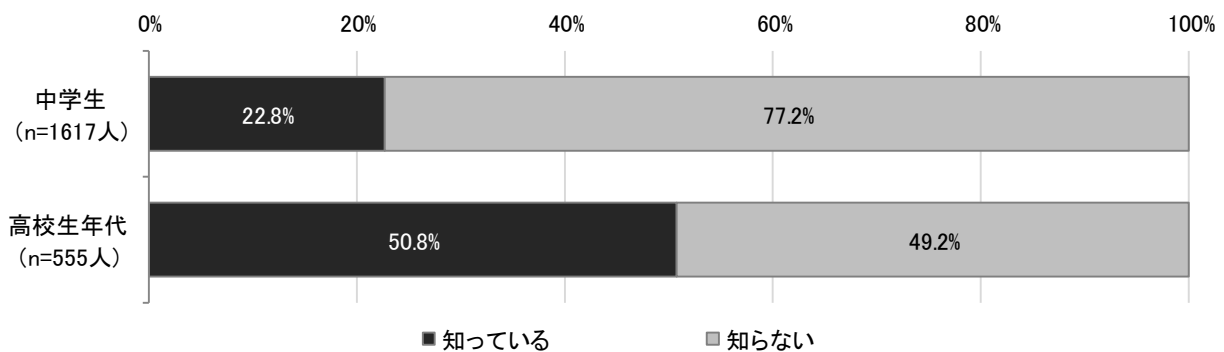
**問 35** 性やからだのしくみについて、学校や家庭で教えてもらったことはありますか。1つに○をしてください。

性やからだのしくみについて学校や家庭で教えてもらった経験は、「ある」でみると、中学生で72.7%、高校生年代で80.5%と高くなっています。



**問 36** 35歳ごろを過ぎると妊娠のしやすさに変化があることを知っていますか。どちらかに○をしてください。

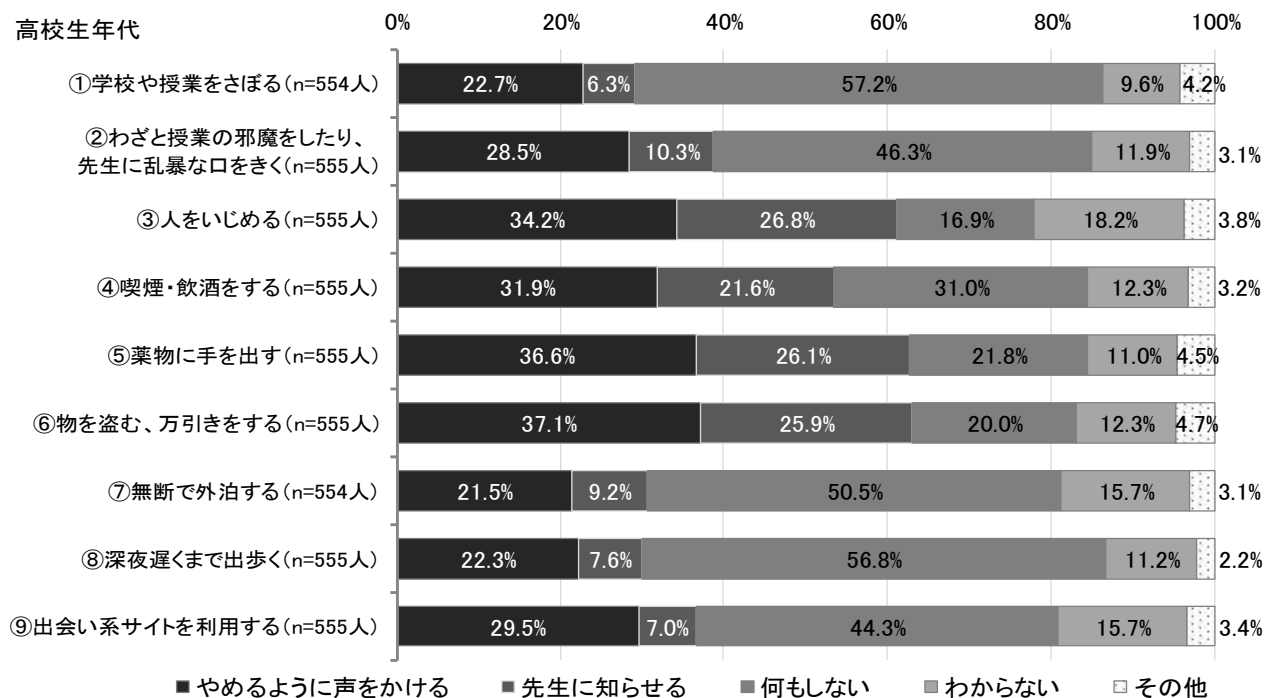
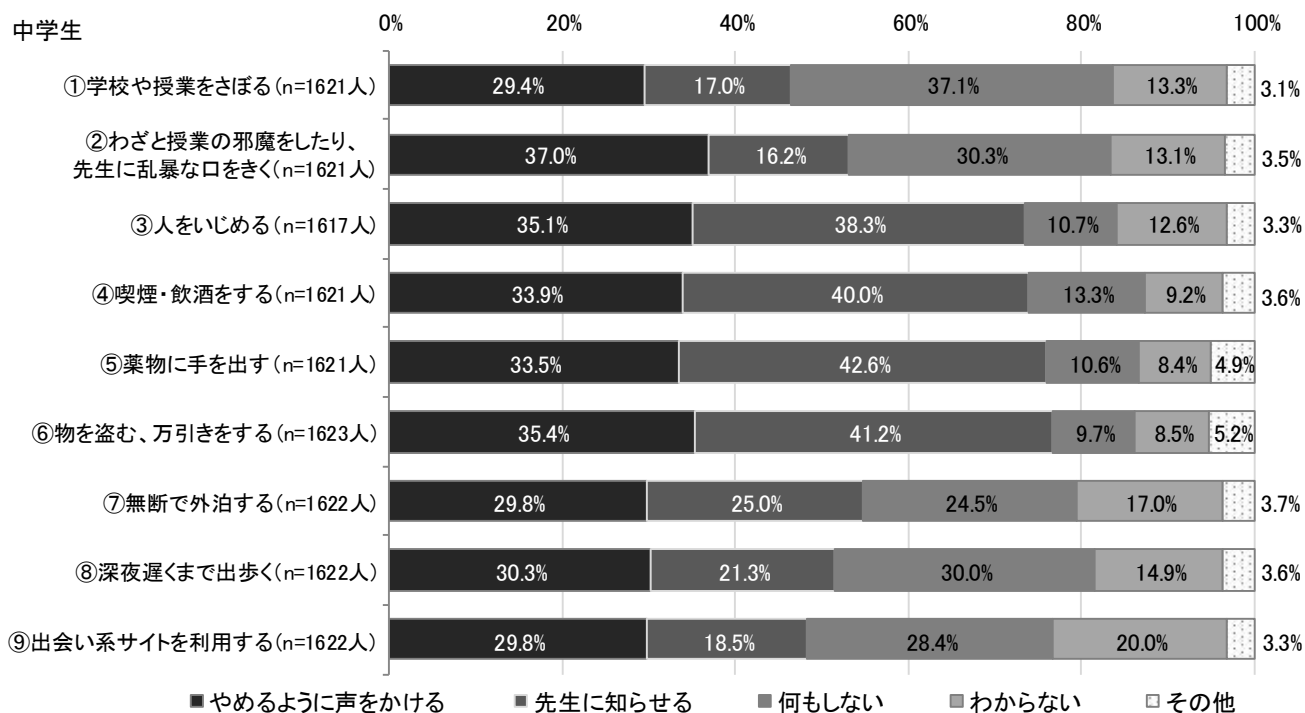
35歳ごろ以降の妊娠のしやすさの変化について、中学生では「知らない」が77.2%と高く、高校生年代では「知っている」と「知らない」がほぼ同率となっています。



9 非行についておたずねします。

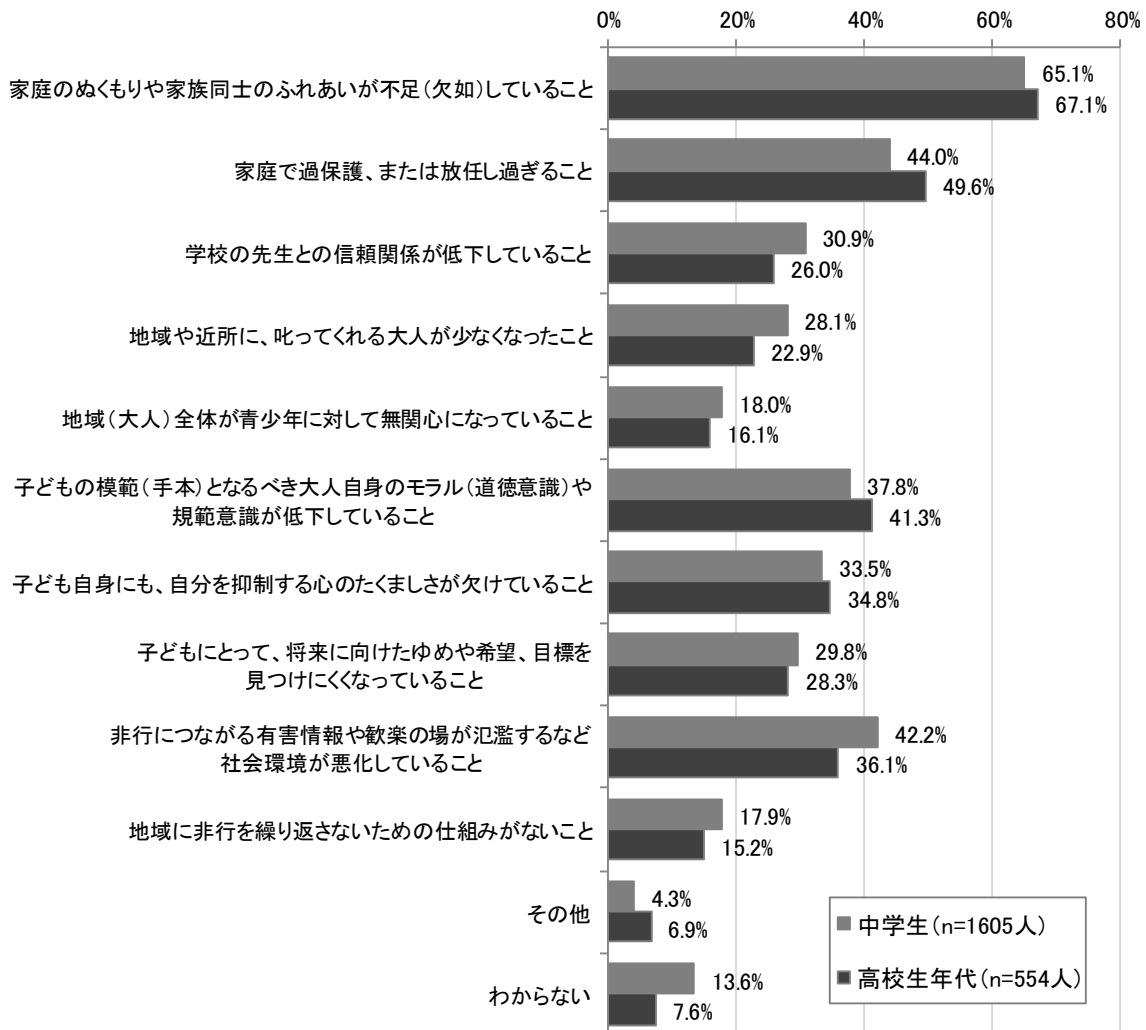
問 37 次のことを行っている同級生がいたら、あなたはどのように行動しますか。それぞれについて1つに○をしてください。

非行に対する行動では、「やめるように声をかける」と「先生に知らせる」を合わせて何らかの行動をする割合は、「③ 人をいじめる」、「④ 喫煙・飲酒をする」、「⑤ 薬物に手を出す」、「⑥ 物を盗む、万引きをする」において中学生で7割、高校生年代で5割を超えています。また、その他の項目については、「何もしない」が中学生では2割～3割台であるのに対し、高校生年代では4割～5割台と高くなっています。



問38 あなたは、未成年者が非行に走る原因（背景）にはどんなことがあると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

未成年が非行に走る原因については、「家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること」が中学生で65.1%、高校生年代で67.1%と最も高く、次いで「家庭で過保護、または放任し過ぎること」が中学生で44.0%、高校生年代で49.6%となっています。また、中学生では「非行につながる有害情報や歓楽の場が氾濫するなど社会環境が悪化していること」が42.2%、高校生年代では「子どもの模範（手本）となるべき大人自身のモラル（道徳意識）や規範意識が低下していること」が41.3%と高くなっています。

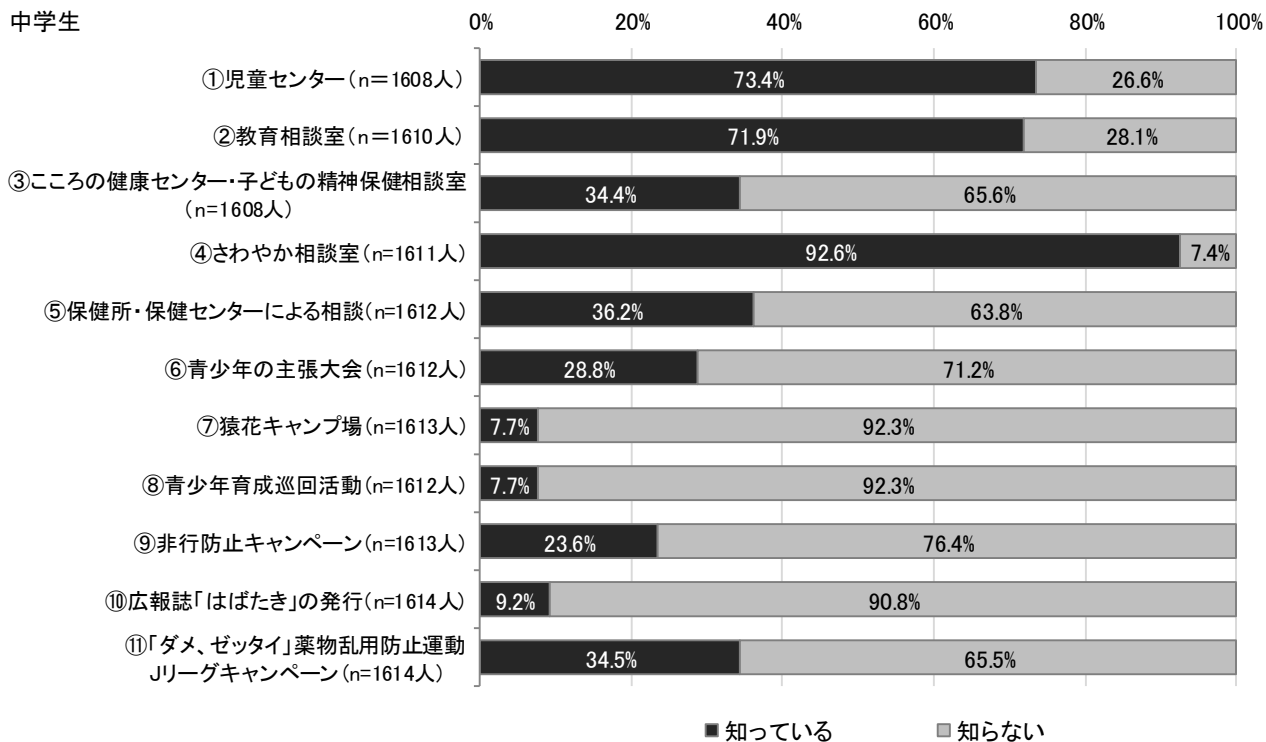


問 39 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて1つに○をしてください。

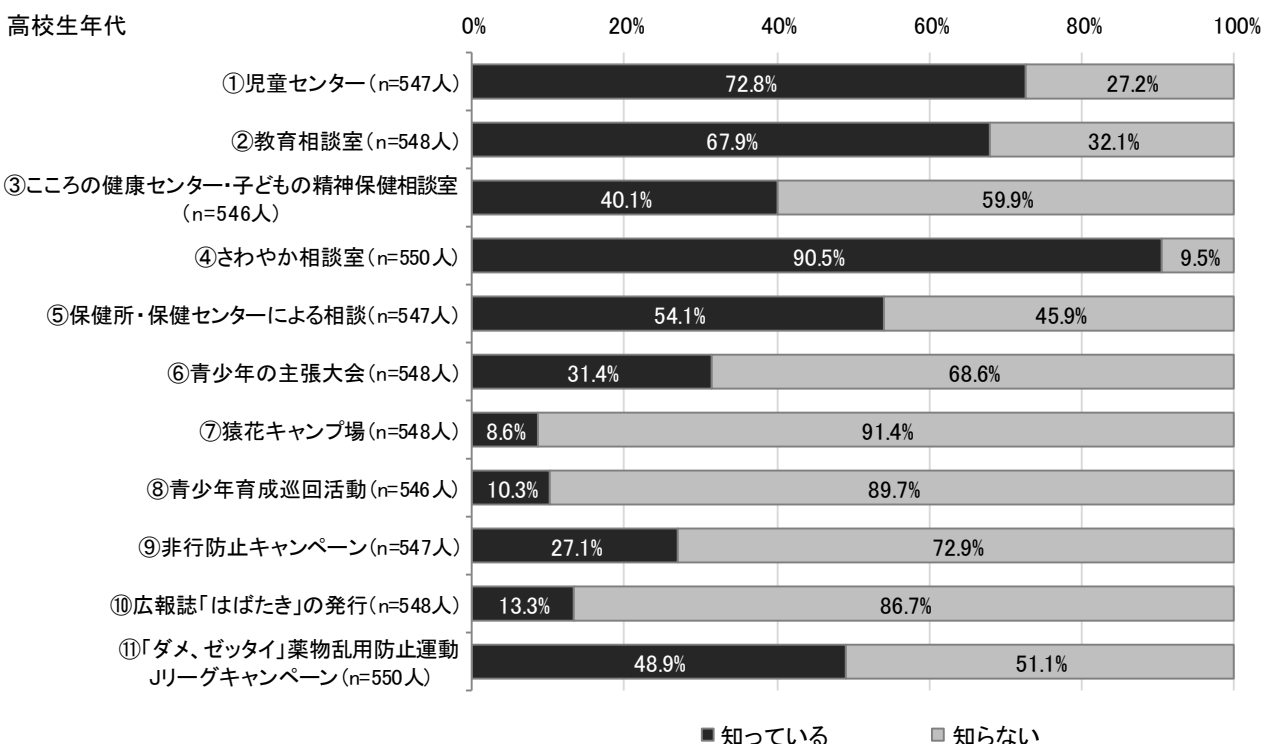
サービスや施設の認知度は、中学生で「④さわやか相談室」が92.6%で最も高く、次いで「①児童センター」が73.4%、「②教育相談室」が71.9%となっています。高校生年代でも「④さわやか相談室」が90.5%で最も高く、次いで「①児童センター」が72.8%、「②教育相談室」が67.9%となっています。

■ 認知度

中学生



高校生年代

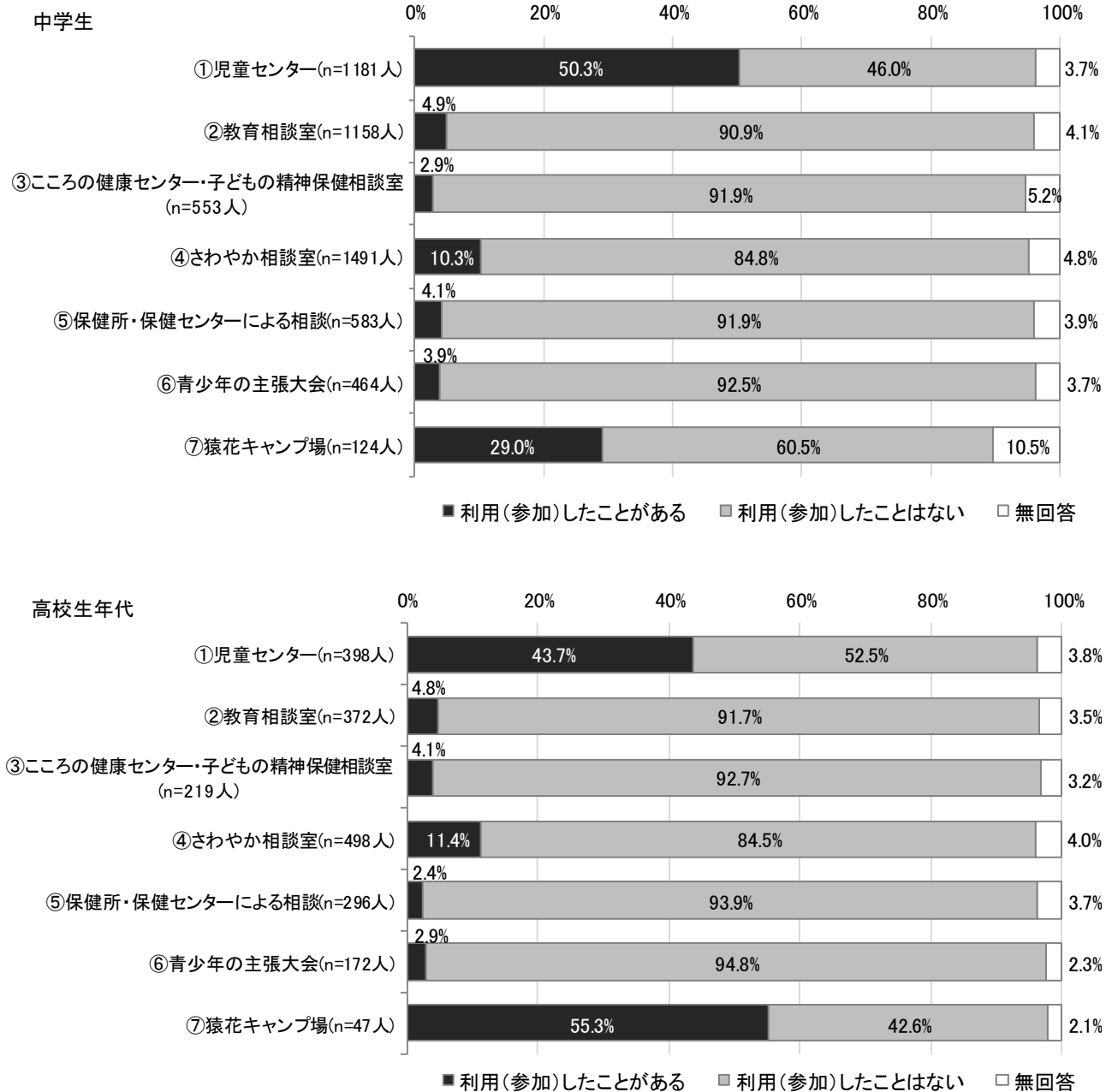




## ■ 利用(参加)状況

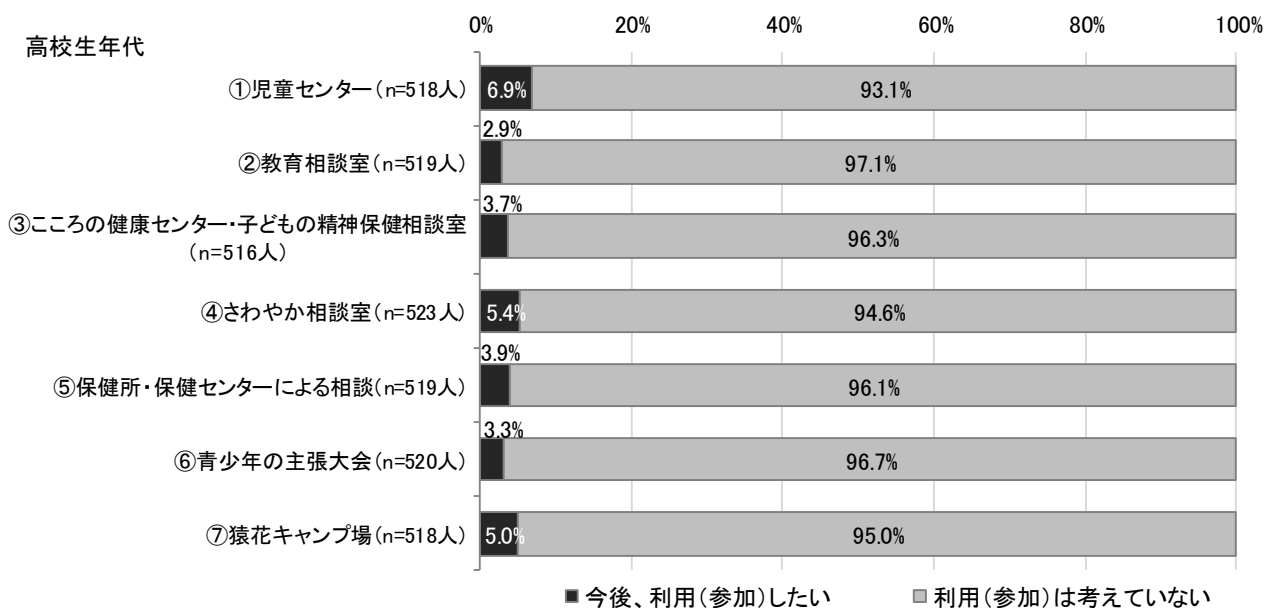
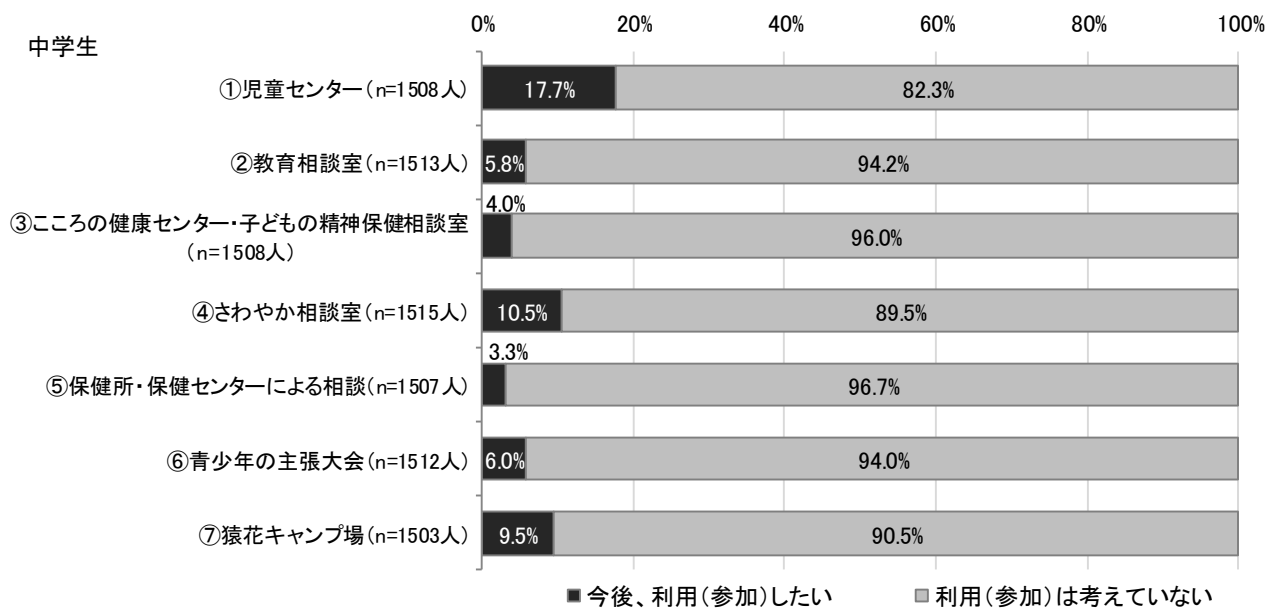
※認知度の設問において、「知っている」と答えた方を母数にしています。

各サービスや施設を知っていると答えた人のうち、利用(参加)したことがある割合は、中学生では「①児童センター」が50.3%、「⑦猿花キャンプ場」が29.0%と割合が高くなっています。高校生年代では「⑦猿花キャンプ場」が55.3%、「①児童センター」が43.7%と割合が高くなっています。



■利用（参加）意向

サービスや施設の今後の利用意向については、いずれも「利用（参加）は考えていない」の割合が高くなっています。

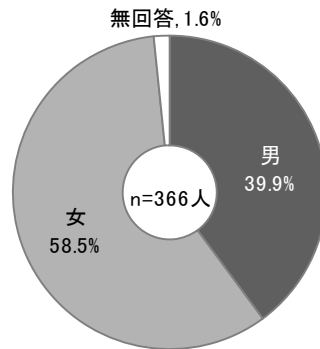


## 4) 青年調査

### 1 はじめに、あなたのことについておたずねします。

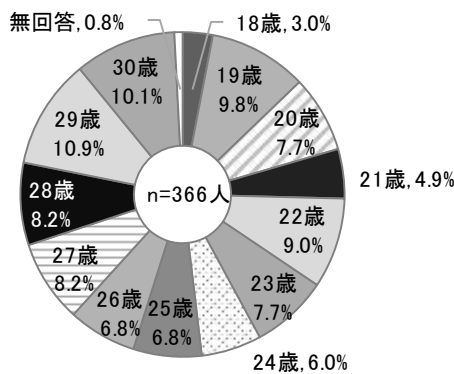
#### 問1 あなたの性別を選んでどちらかに○をつけてください。

回答者の性別については、「男性」が39.9%、「女性」が58.5%と女性の割合が高くなっています。



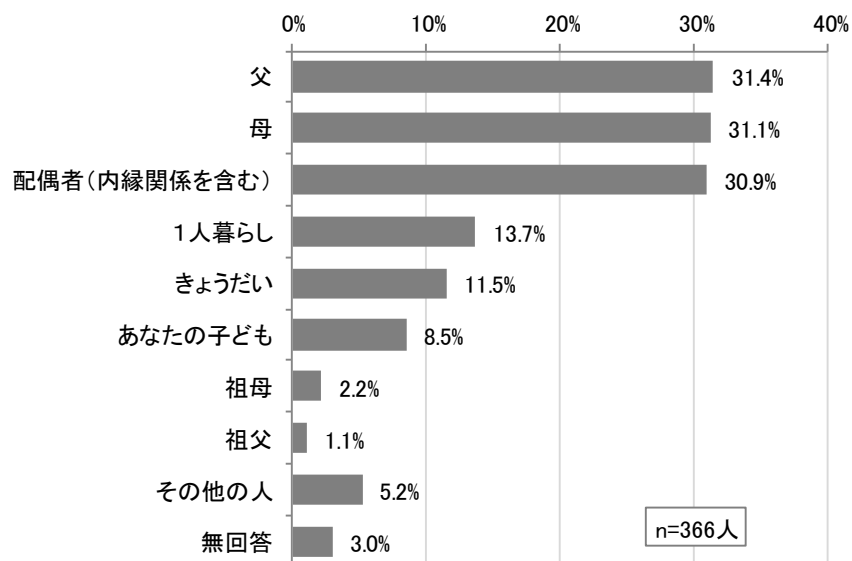
#### 問2 あなたの年齢について当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「29歳」が10.9%、「30歳」が10.1%、「19歳」が9.8%となっています。



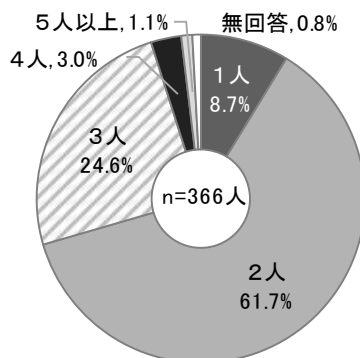
#### 問3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。

一緒に住んでいる人については、「父」「母」「配偶者（内縁関係を含む）」が約3割と高くなっています。また、「一人暮らし」「きょうだい」が約1割となっています。



問4 あなたは、何人きょうだいですか。あなた自身を含めたきょうだいの人数について、当てはまる番号1つに○をつけてください。5人以上の場合は「5」に○をして、具体的な人数を記入してください。

きょうだいの数については、「2人」が61.7%で最も高く、次いで「3人」が24.6%となっています。



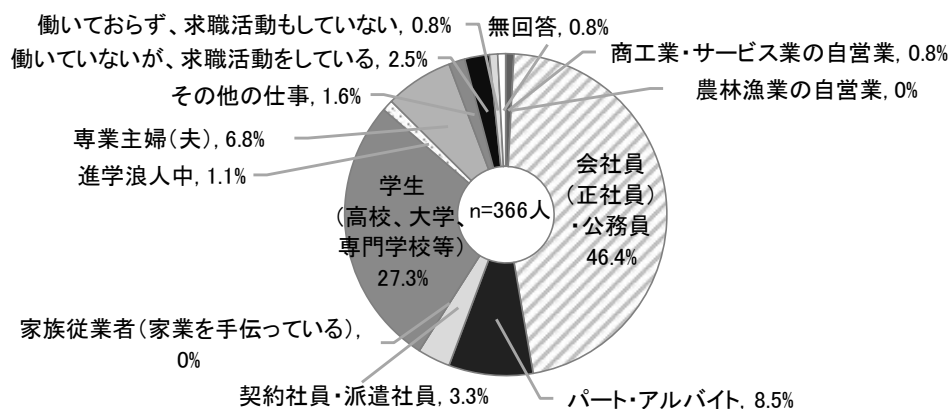
■5人以上の内訳

項目	度数	構成比
5人	1	25.0%
6人	2	50.0%
無回答	1	25.0%

n=4人

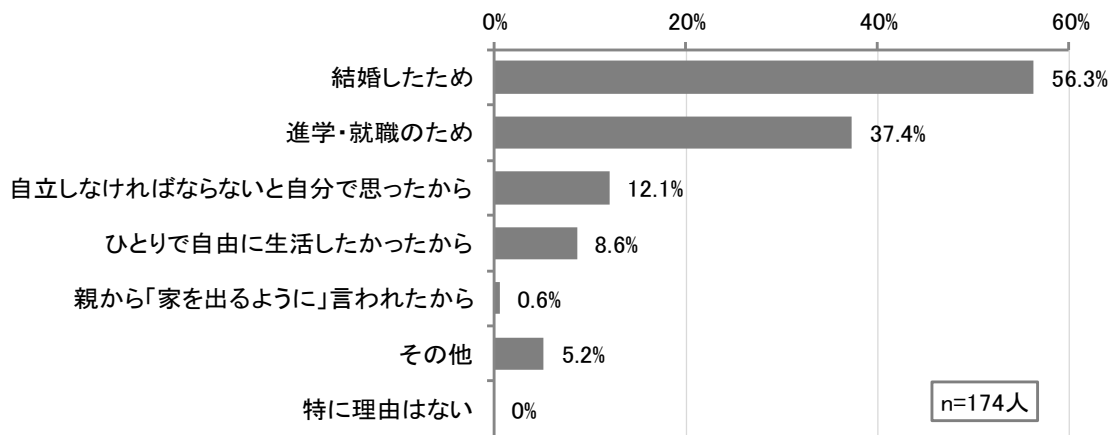
問5 あなたの職業は次のどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職業については、「会社員（正社員）・公務員」が46.4%で最も高く、次いで「学生（高校、大学、専門学校等）」が27.3%となっています。



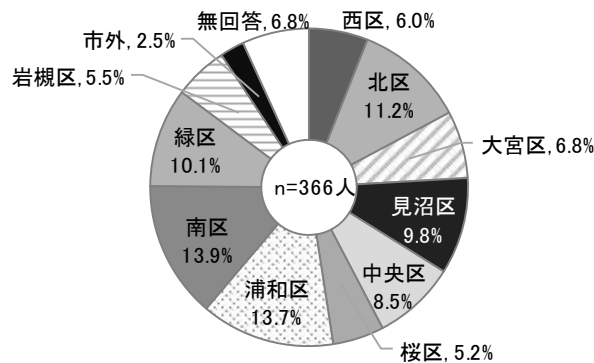
問6 親元から離れて暮らしている方にお聞きします。親元を離れて生活している理由を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

親元から離れて生活している理由は、「結婚したため」が56.3%で最も高く、次いで「進学・就職のため」が37.4%、「自立しなければならぬと自分で思ったから」が12.1%となっています。



問7 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お住まいの地区は、「南区」が13.9%で最も高く、次いで「浦和区」が13.7%、「北区」が11.2%となっています。

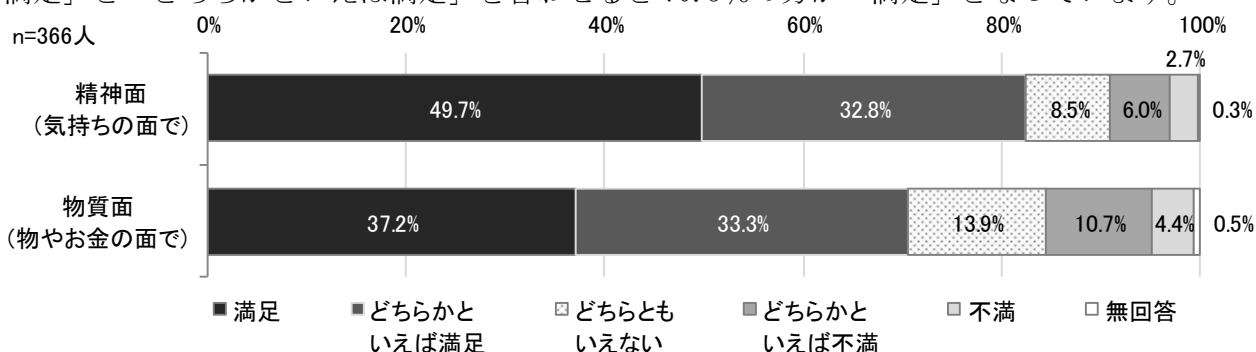


## 2 家庭やご家族のことについておたずねします。

すべての方にお聞きします。

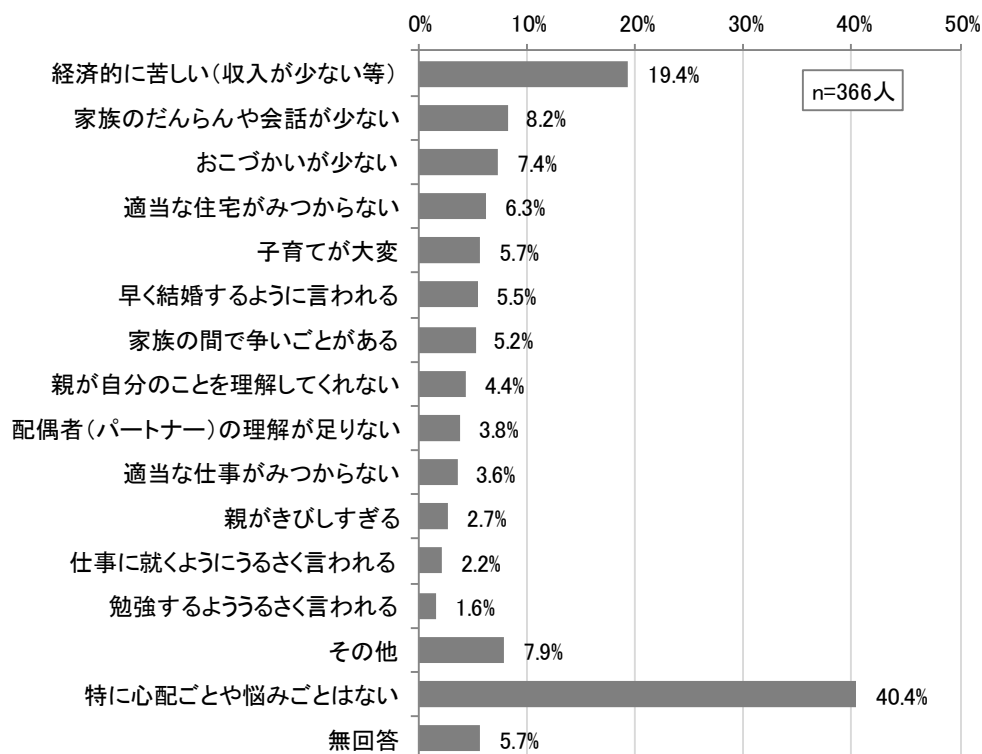
問8 あなたは、家庭や家族のことで満足していますか。①と②の当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

家庭や家族のことについては、「①精神面（気持ちの面で）」は「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると82.5%の方が「満足」となっています。また、「②物質面（物やお金の面で）」は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると70.5%の方が「満足」となっています。



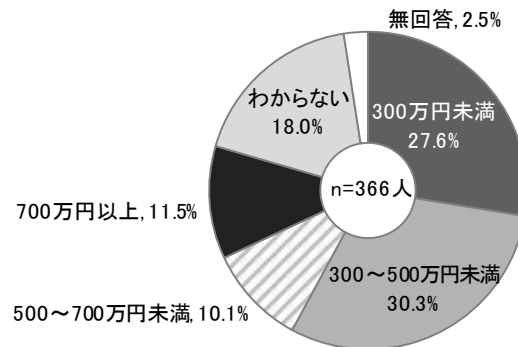
問9 あなたは、あなた自身や家族のことで心配ごとや悩みごとがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

本人や家族のことで心配ごとや悩みごとについては、「特に心配ごとや悩みごとはない」が40.4%と最も高くなっていますが、心配ごとや悩みごとの中では、「経済的に苦しい（収入が少ない等）」が19.4%で最も高く、次いで「家族のだんらんや会話が少ない」が8.2%となっています。



問10 差し支えなければ、あなた自身またはあなたの家庭の年収をお聞かせください。働いている方はご自身の年収のみ、働いていない方や学生の方はご家族全員の年収の合計について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

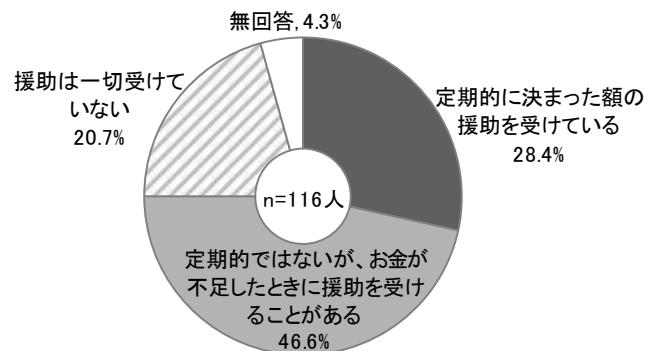
本人の年収や家族の年収については、「300～500万円未満」が30.3%で最も高く、次いで「300万円未満」で27.6%となっています。



現在、働いていない方や学生の方にお聞きします。

問11 あなたは、こづかいや仕送りなど親から経済的な援助（学費を除く）を受けていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

働いていない方や学生の方の経済的な援助については、「定期的ではないが、お金が不足したときに援助を受けることがある」が46.6%と最も高く、次いで「定期的に決まった額の援助を受けている」が28.4%となっています。

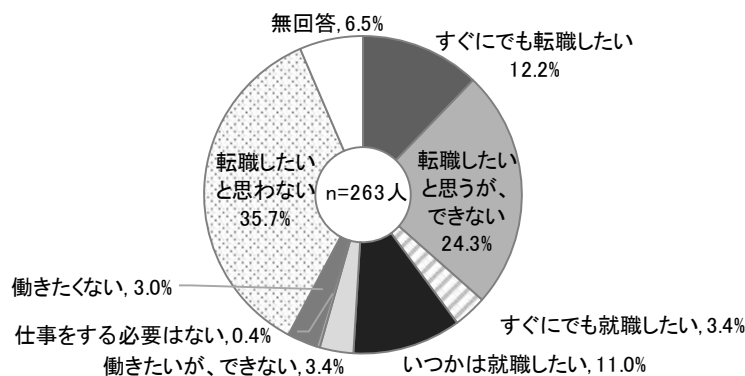


### 3 職場や職業についておたずねします。

「学生」以外の方にお聞きします。

問12 あなたは、転職または就職したいと思っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

転職または就職の希望については、「転職したいと思わない」が35.7%で最も高く、次いで「転職したいと思うが、できない」が24.3%となっています。



問12-1 問12で「1 すぐにも転職したい」または「2 転職したいと思うが、できない」に○をつけた方にお聞きします。あなたが転職したいと思う理由は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

転職したいと思う理由については、「労働条件（賃金や就労時間など）に不満があるため」が62.5%で最も高く、次いで「自分の能力をもっと生かせる職場に移りたいため」が36.5%となっています。

項目	度数	構成比
自分の能力をもっと生かせる職場に移りたいため	35	36.5%
現在の仕事は自分に向いていないと思うから	19	19.8%
労働条件（賃金や就労時間など）に不満があるため	60	62.5%
職場での人間関係がうまくいかないため	17	17.7%
健康上の問題や心身に障がいがあるため	11	11.5%
会社に将来性がないため	21	21.9%
職種に将来性がないため	7	7.3%
自分の地位や身分が高くなる見込みがないため	12	12.5%
家業を継ぐため	0	0.0%
リストラなどやむを得ない理由から	1	1.0%
その他	14	14.6%
特に理由はない	1	1.0%
無回答	2	2.1%



問 12-2 問 12 で「3 すぐにでも就職したい」、「4 いつかは就職したい」、「5 働きたいが、できない」、「6 仕事をする必要はない」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。あなたが今、就職していない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

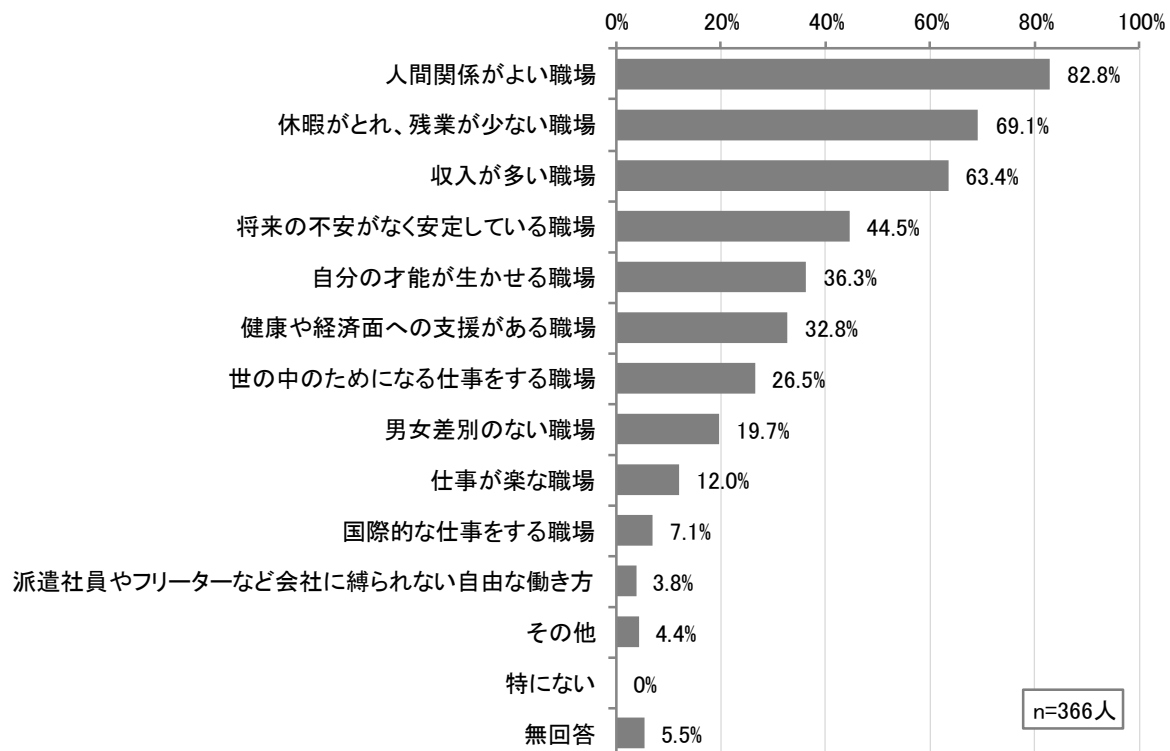
今、就職していない理由については、「育児や介護などのため」が39.6%で高く、次いで「希望する仕事の資格試験や採用試験に合格できないため」が12.5%となっています。

n=48人		
項目	度数	構成比
自分にあった仕事が見つからないため	2	4.2%
希望する求人がないため	3	6.3%
希望する仕事の資格試験や採用試験に合格できないため	6	12.5%
仕事をする気にならないため	2	4.2%
定職につく必要性を感じないため	1	2.1%
育児や介護などのため	19	39.6%
健康上の問題や心身の障がいのため	4	8.3%
その他	7	14.6%
特に理由はない	0	0%
無回答	4	8.3%

すべての方にお聞きします。

問 13 あなたは、どのような職場や働き方を望みますか。当てはまる番号5つまでに○をつけてください。

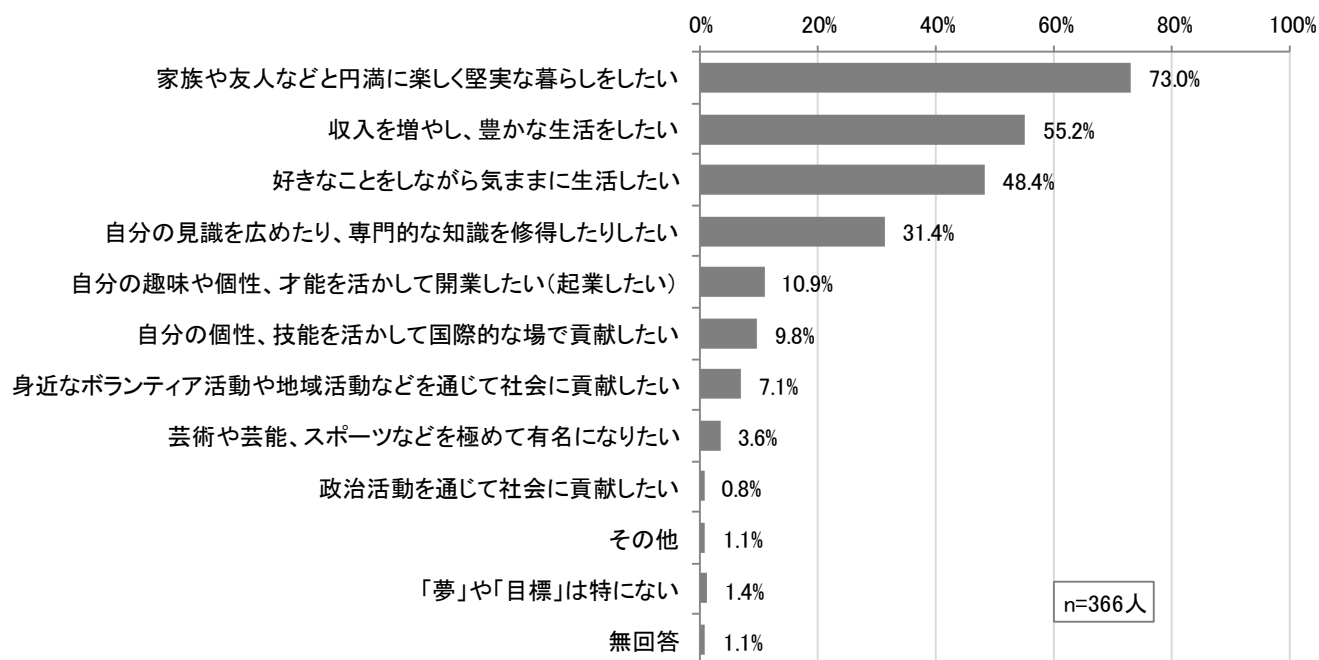
職場や働き方の希望については、「人間関係がよい職場」が82.8%で最も高く、次いで「休暇がとれ、残業が少ない職場」が69.1%、「収入が多い職場」が63.4%、「将来の不安がなく安定している職場」が44.5%となっています。



## 4 将来の希望などについて

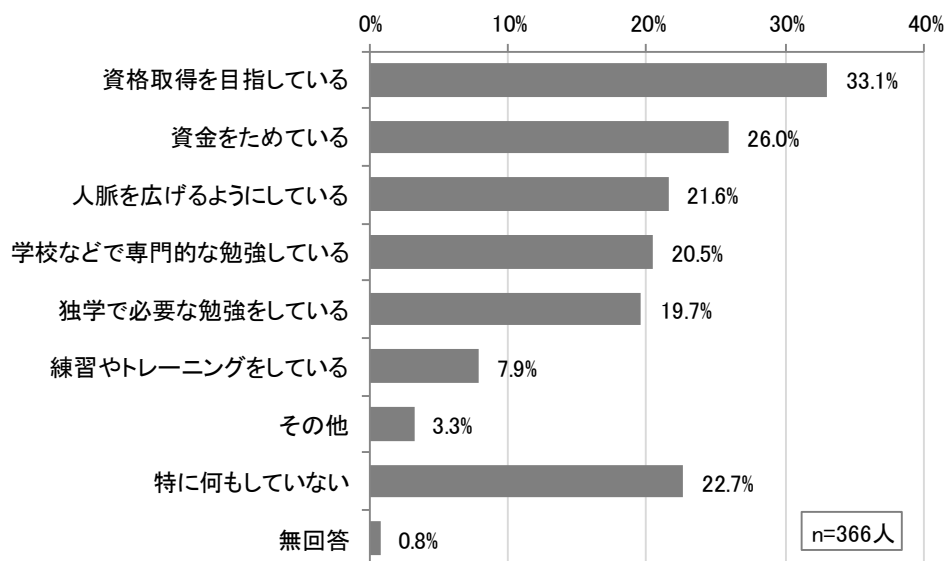
問 14 あなたは、将来に向けて何か「夢」や「目標」を持っていますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

将来の「夢」や「目標」については、「家族や友人などと円満に楽しく堅実な暮らしをしたい」が73.0%で最も高く、次いで「収入を増やし、豊かな生活をしたい」が55.2%、「好きなことをしながら気ままに生活したい」が48.4%となっています。



問 14-1 あなたは、将来の夢や目標を実現するために何か実行していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

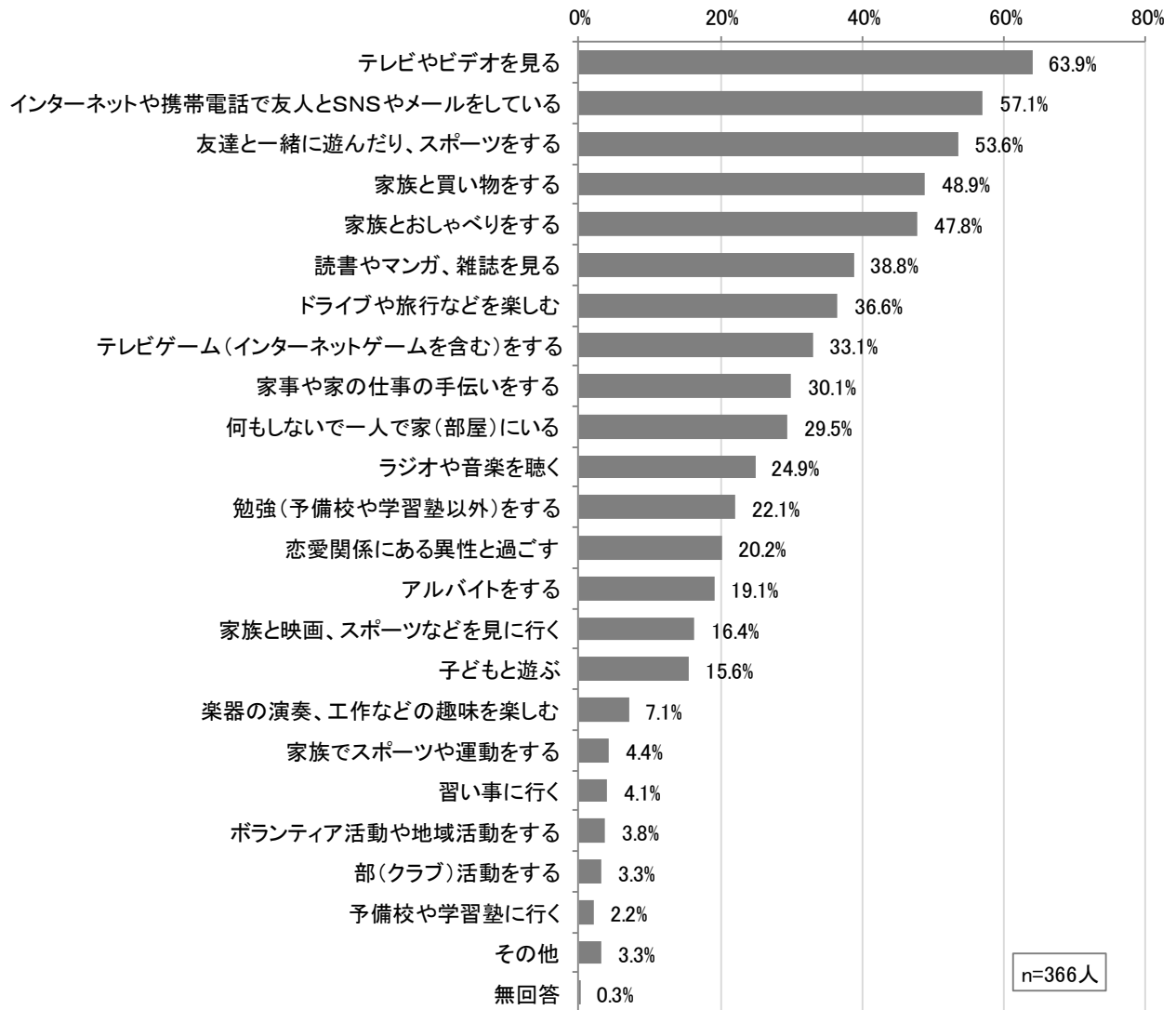
将来の夢や目標を実現するための行動については、「資格取得を目指している」が33.1%で最も高く、次いで「資金をためている」が26.0%、「特に何もしていない」が22.7%となっています。



## 5 余暇の過ごし方や友人関係について

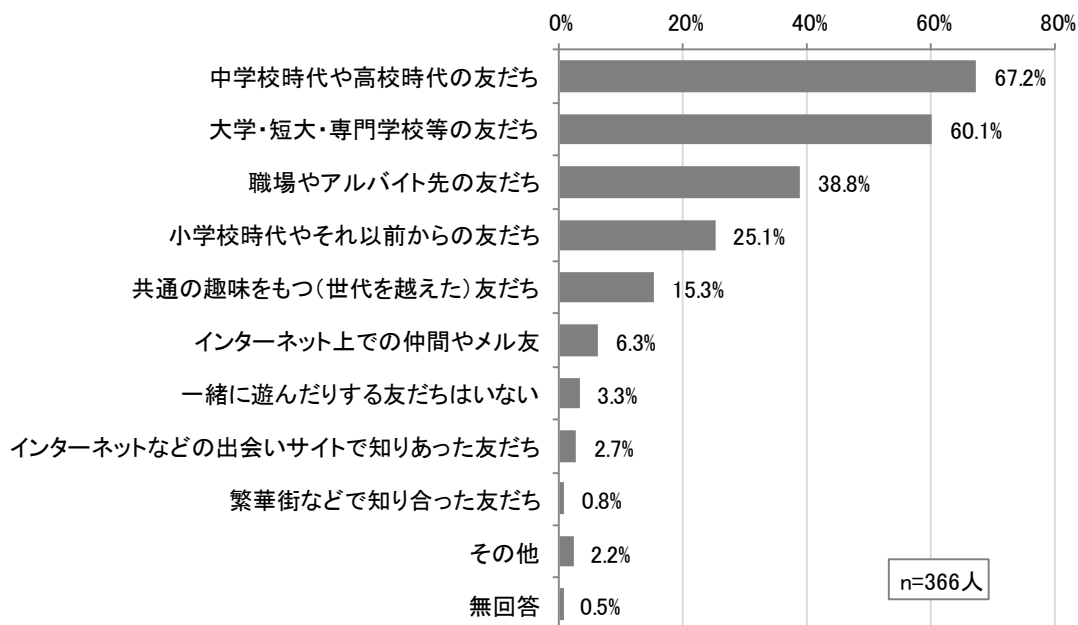
問 15 あなたは、休日をどのように過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

休日の過ごし方については、「テレビやビデオを見る」が63.9%で最も高く、次いで「インターネットや携帯電話で友人とSNSやメールをしている」が57.1%、「友達と一緒に遊んだり、スポーツをする」が53.6%、「家族と買い物をする」が48.9%と続いています。



**問 16 あなたがふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人（グループ）はだれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

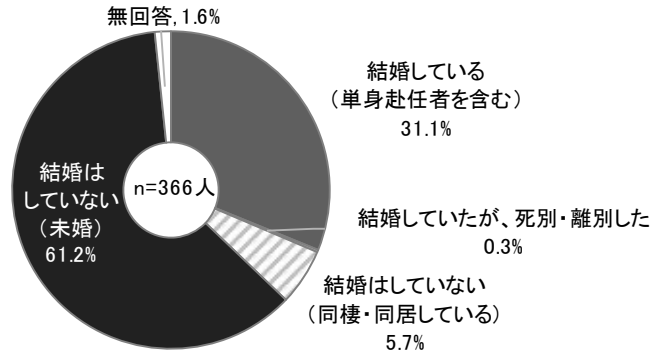
ふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人については、「中学校時代や高校時代の友だち」が67.2%で最も高く、次いで「大学・短大・専門学校等の友だち」が60.1%となっています。



## 6 結婚観について

問 17 あなたは現在、結婚していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

結婚については、「結婚はしていない（未婚）」が 61.2%となっています。



問 17 で「1 結婚している（単身赴任者を含む）」または「2 結婚していたが、死別・離別した」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

問 17-1 あなたが結婚をしたのは何歳の時ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

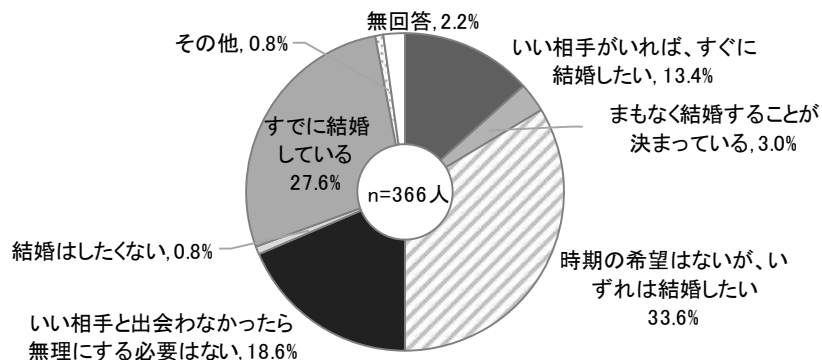
結婚した年齢は、「25～30歳」が 67.8%と最も高くなっています。

n=115人

項目	度数	構成比
18歳未満	0	0%
18～19歳	3	2.6%
20～21歳	6	5.2%
22～24歳	27	23.5%
25～30歳	78	67.8%
無回答	1	0.9%

問 18 あなたは、結婚についてどう考えていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

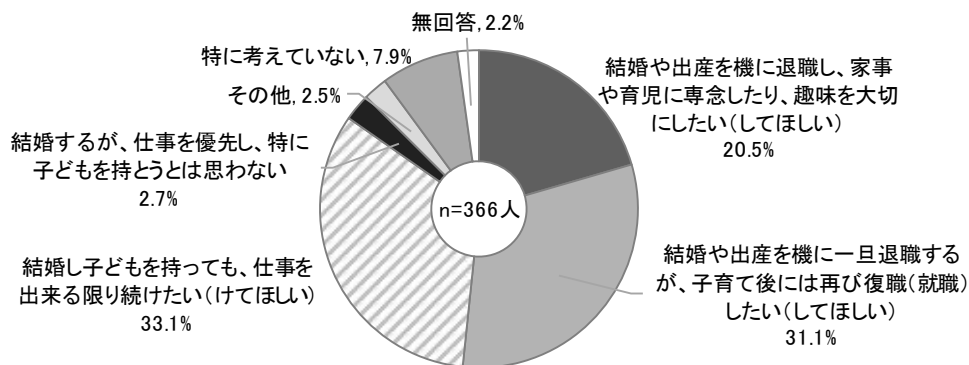
結婚に対する考えについては、「時期の希望はないが、いずれは結婚したい」が 33.6%で最も高く、次いで「すでに結婚している」が 27.6%、「いい相手と出会わなかったら無理にする必要はない」が 18.6%となっています。



問 19 結婚後の女性の生き方について、希望する考え方に近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

男性の方は、結婚相手の女性に対する希望としてお答えください。

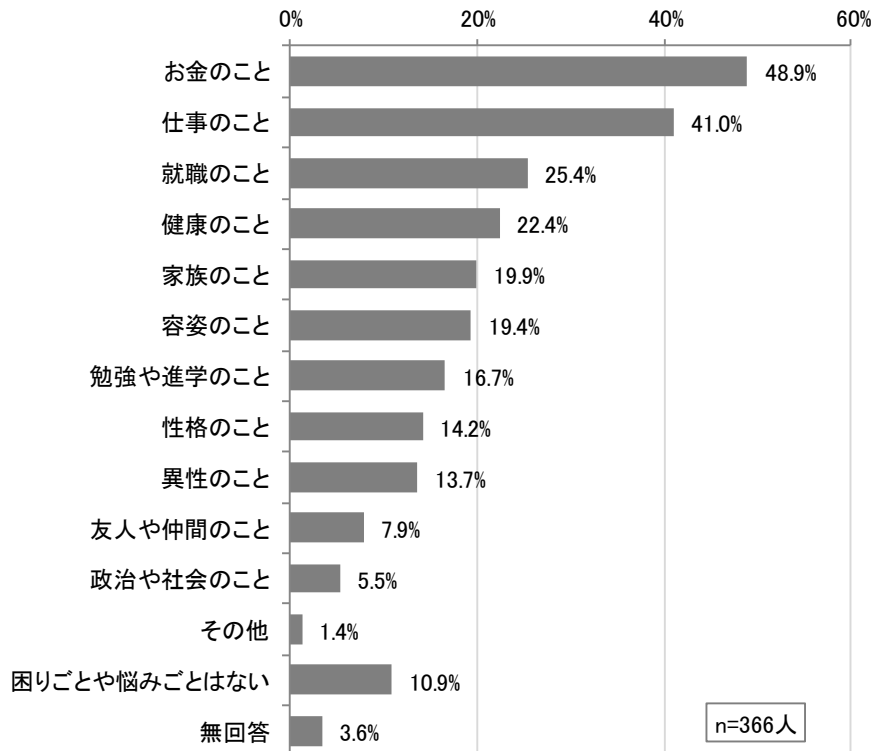
結婚後の女性の生き方について、「結婚し子どもを持っても、仕事を出来る限り続けたい(けてほしい)」が33.1%、「結婚や出産を機に一旦退職するが、子育て後には再び復職(就職)したい(してほしい)」が31.1%で高く、「結婚や出産を機に退職し、家事や育児に専念したり、趣味を大切にしたい(してほしい)」が20.5%となっています。



## 7 悩みごとなどについて

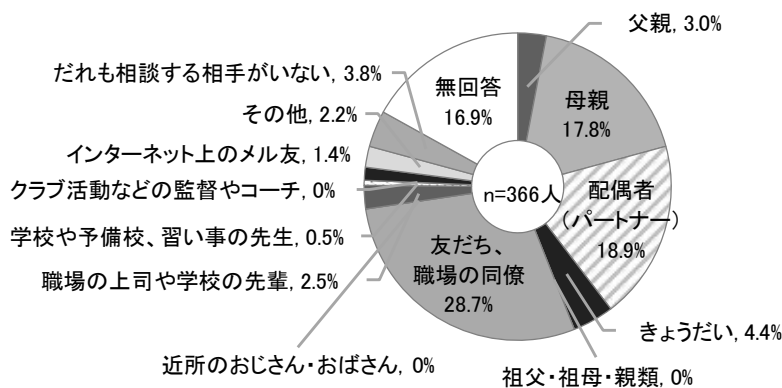
問 20 あなたには、困りごとや悩みごとがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

困りごとや悩みごとについては、「お金のこと」が48.9%で最も高く、次いで「仕事のこと」が41.0%、「就職のこと」が25.4%となっています。



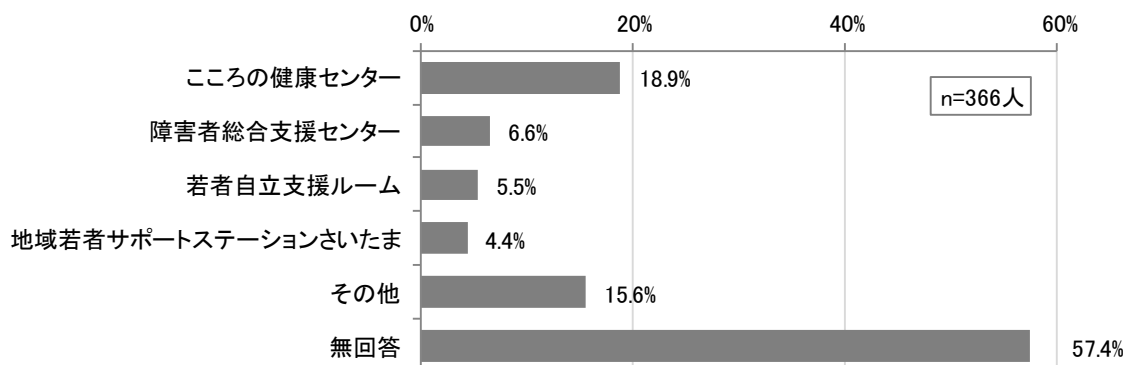
問 21 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、だれにもっとも相談しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

困ったり、悩んだりした時の相談先については、「友だち、職場の同僚」が28.7%で最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」が18.9%、「母親」が17.8%となっています。



問 22 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、どんな相談場所を知っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

困ったり、悩んだりした時に知っている相談場所については、選択肢の中では「こころの健康センター」が18.9%と高くなっています。

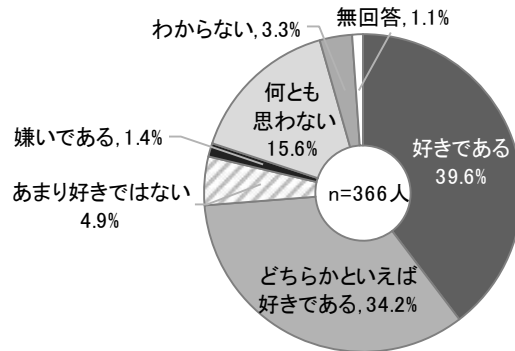




## 8 地域のことや地域活動、ボランティア活動について

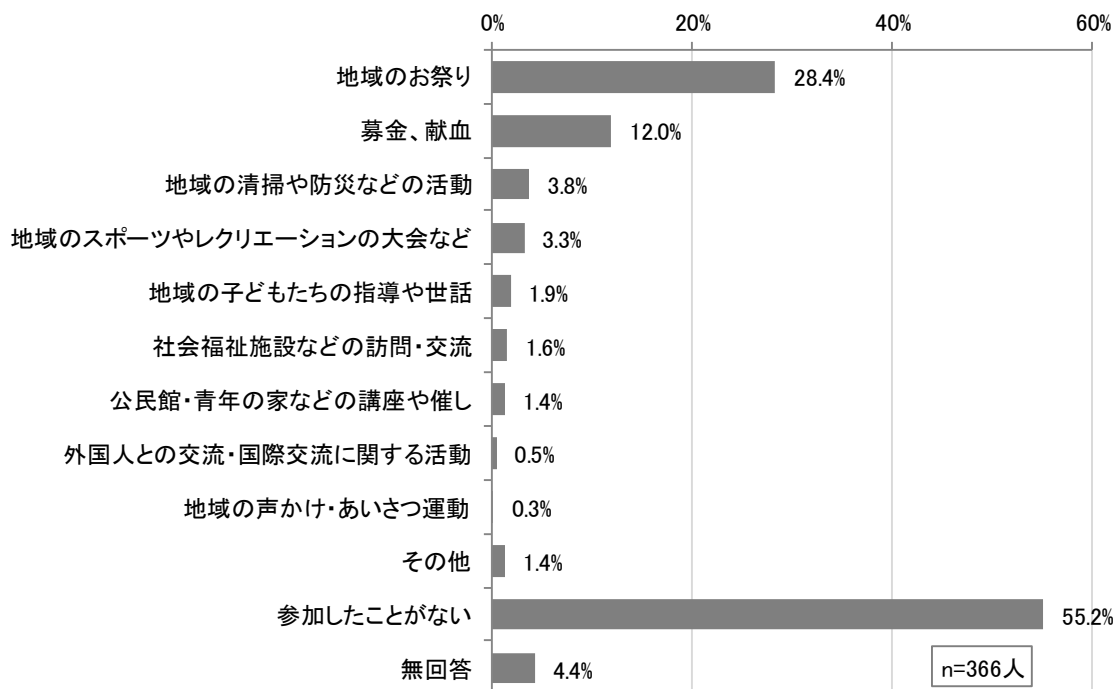
問 23 あなたは、住んでいる地域が好きですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

住んでいる地域が好きかについては、「好きである」と「どちらかといえば好きである」を合わせると 73.8%の方が好きと回答しています。



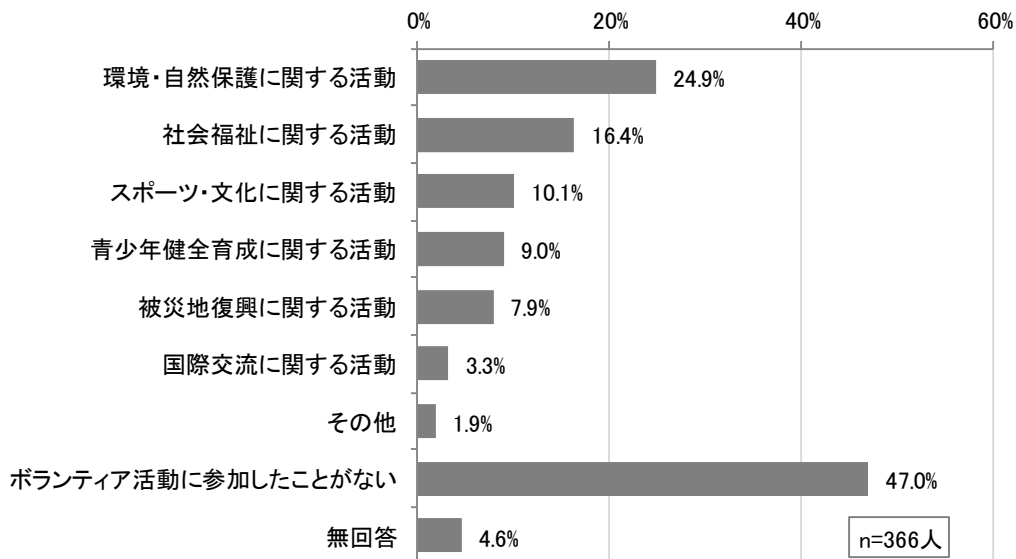
問 24 あなたは、最近 1 年間で、次のような地域活動に参加した経験がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

最近 1 年間の地域活動の参加経験については、「参加したことがない」が 55.2%で最も高くなっています。また、参加している方では、「地域のお祭り」が 28.4%で最も高く、次いで「募金、献血」が 12.0%となっています。



問 25 あなたがこれまでに参加したことがあるボランティア活動は、次のどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

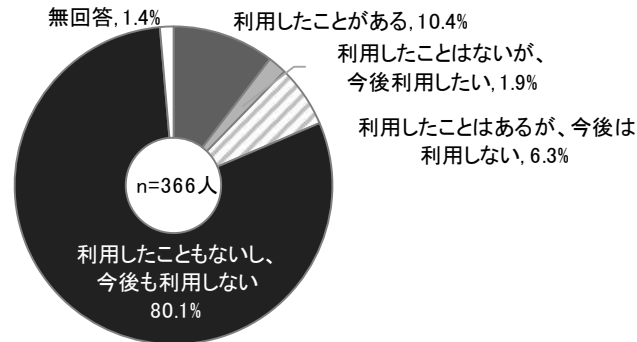
参加したことがあるボランティア活動については、「ボランティア活動に参加したことがない」が47.0%となっていますが、参加したことがある方では、「環境・自然保護に関する活動(森林保護やリサイクル運動、地域での清掃活動など)」が24.9%で高く、次いで「社会福祉に関する活動(高齢者や障がい者などに対する介護、世話、給食サービスなど)」が16.4%となっています。



## 9 青少年の非行について

問 26 あなたは、「出会い系サイト」を利用したこと又は利用したいと思ったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「出会い系サイト」の利用については、「利用したこともないし、今後も利用しない」が80.1%で最も高くなっています。



問 27 問 26 で「1 利用したことがある」又は「3 利用したことはあるが、今後は利用しない」に○をつけた方にお聞きします。あなたは、「出会い系サイト」を利用する中でトラブルにあったことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

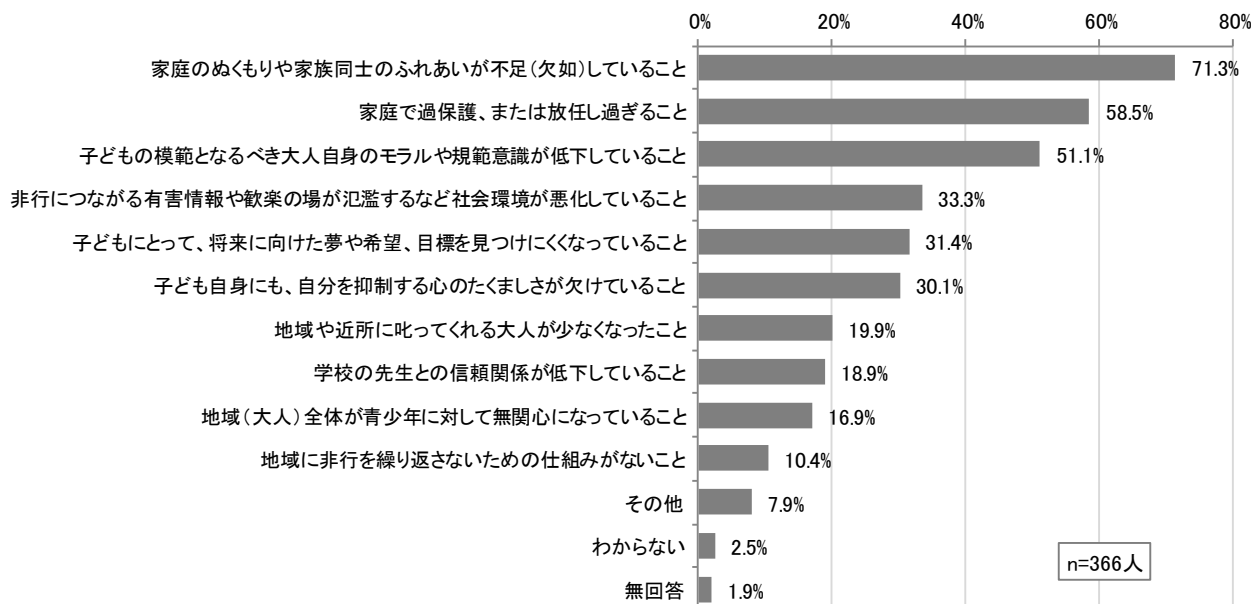
出会い系サイトを利用したことによるトラブルについては、「トラブルにあったことはない」が36件で最も多くなっていますが、トラブルにあったことのある方は「迷惑メールが頻繁に届くようになった」が15件で多く、次いで「性的行為を要求された」が9件となっています。

n=61人

項目	度数	構成比
迷惑メールが頻繁に届くようになった	15	24.6%
しつこくつきまとわれた	5	8.2%
金品を要求された	4	6.6%
性的行為を要求された	9	14.8%
その他	1	1.6%
トラブルにあったことはない	36	59.0%

問 28 あなたは、青少年が非行に走る原因（背景）にはどんなことがあると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

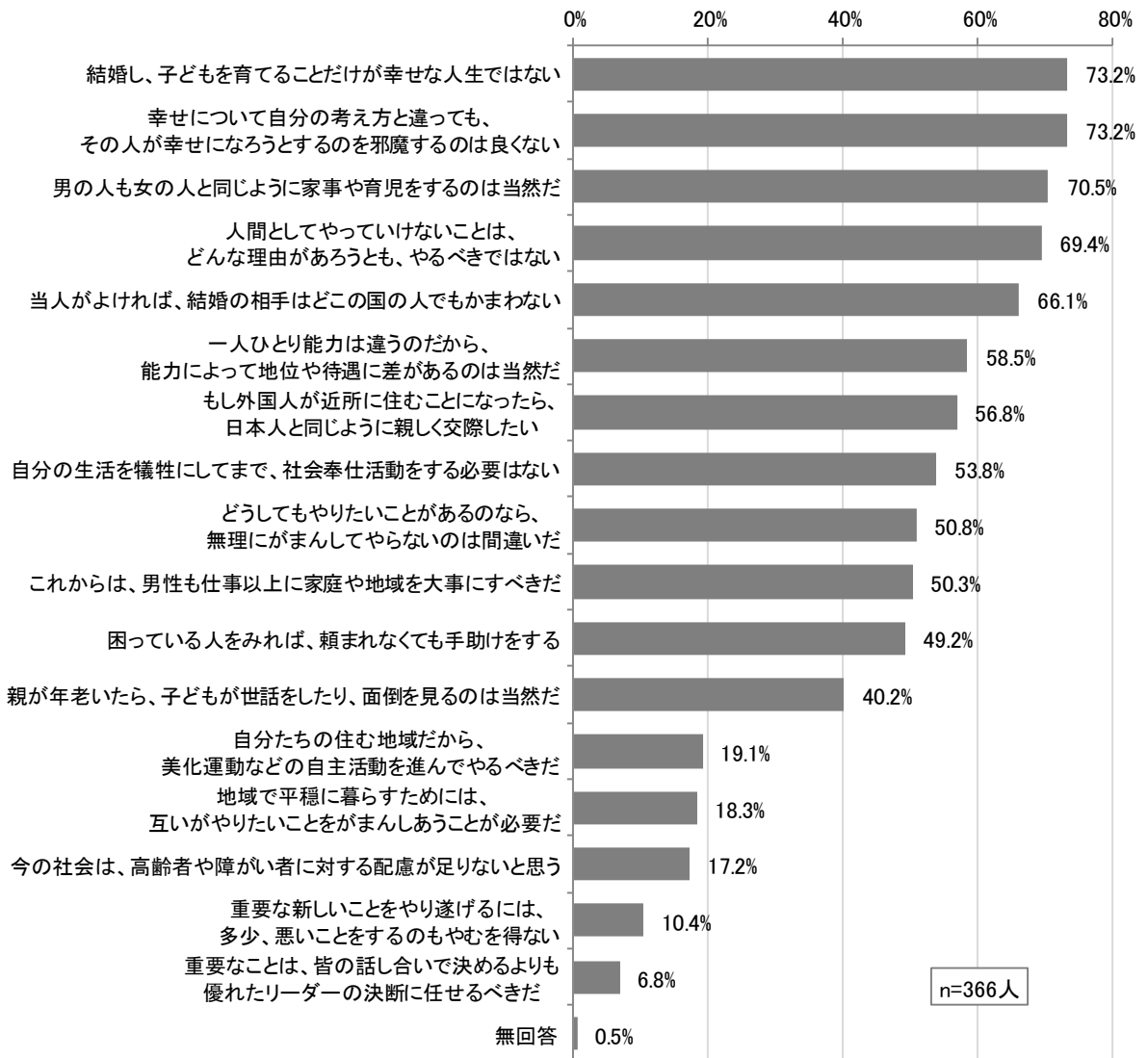
青少年が非行に走る原因については、「家族のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること」が71.3%で最も高く、「家庭で過保護、または放任し過ぎること」が58.5%、「子どもの模範となるべき大人自身のモラルや規範意識が低下していること」が51.1%とそれぞれ5割を超えています。



## 10 社会一般のことについて

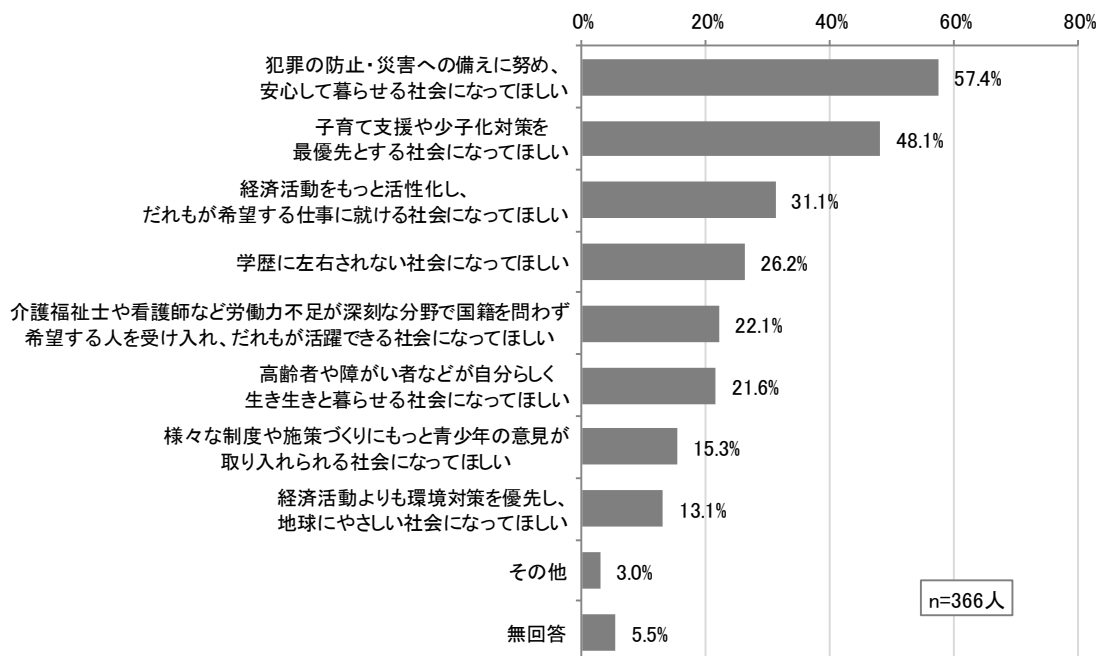
問 29 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

本人の考え方については、「結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」と「幸せについて自分の考え方と違って、その人が幸せになろうとするのを邪魔するのは良くない」がそれぞれ73.2%で最も高く、次いで「男の人も女の人と同じように家事や育児をするのは当然だ」が70.5%、「人間としてやっていけないことは、どんな理由があろうとも、やるべきではない」が69.4%となっています。また、「重要なことは皆の話し合いで決めるよりも優れたリーダーの決断に任せるべきだ」では、6.8%と最も低くなっています。



問 30 あなたは、今の社会がどのようになることを最も希望しますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

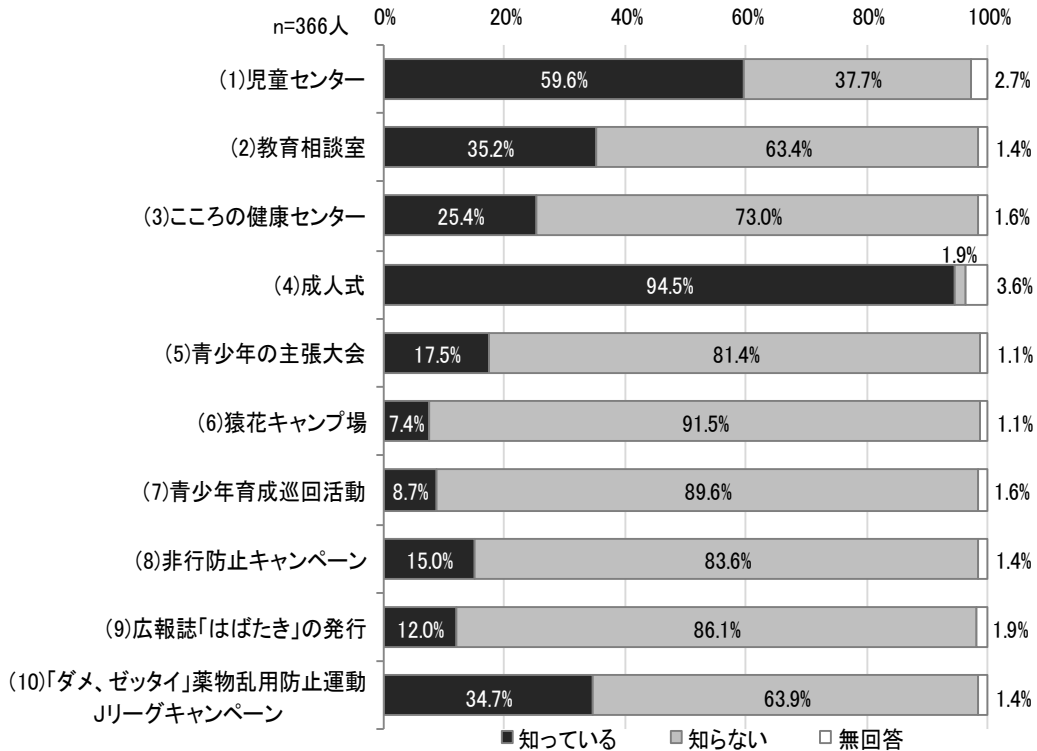
最も希望する今の社会の状態については、「犯罪の防止・災害への備えに努め、安心して暮らせる社会になってほしい」が57.4%で最も高く、次いで「子育て支援や少子化対策を最優先とする社会になってほしい」が48.1%、「経済活動をもっと活性化し、だれもが希望する仕事に就ける社会になってほしい」が31.1%、「学歴に左右されない社会になってほしい」が26.2%となっています。



問31 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

### ■ 認知度

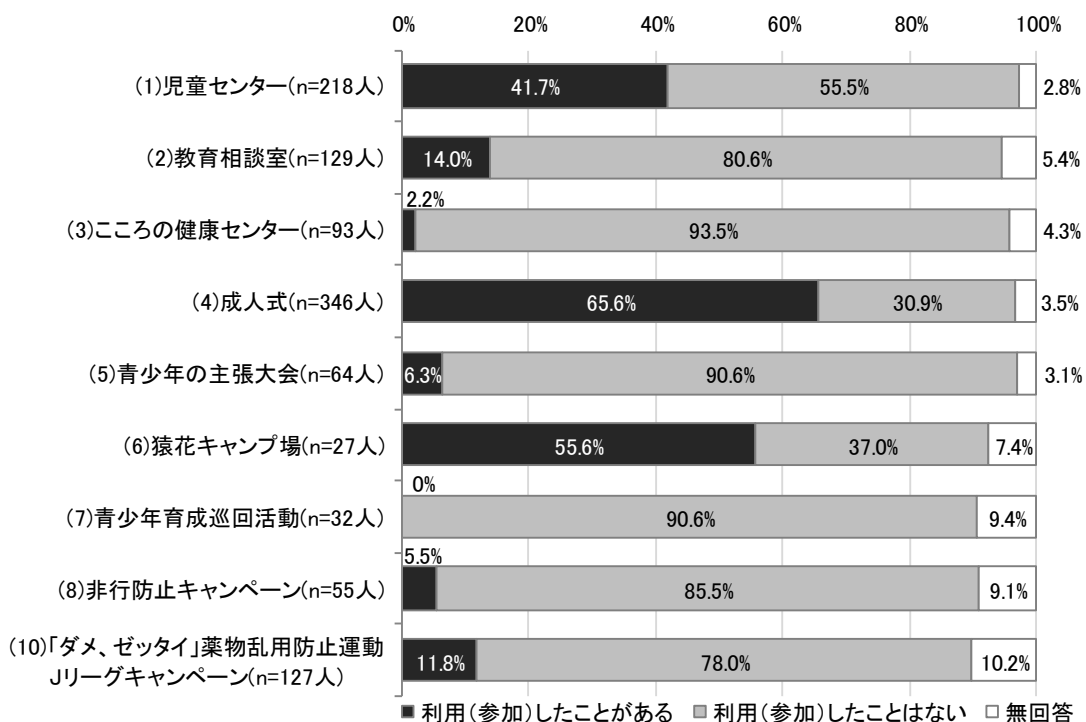
サービスや施設の認知度については、「(4)成人式」が94.5%で最も高く、次いで「(1)児童センター」が59.6%、「(2)教育相談室」が35.2%、「(10)「ダメ、ゼッタイ」薬物乱用防止運動」Jリーグキャンペーン」が34.7%となっています。



### ■ 利用（参加）状況

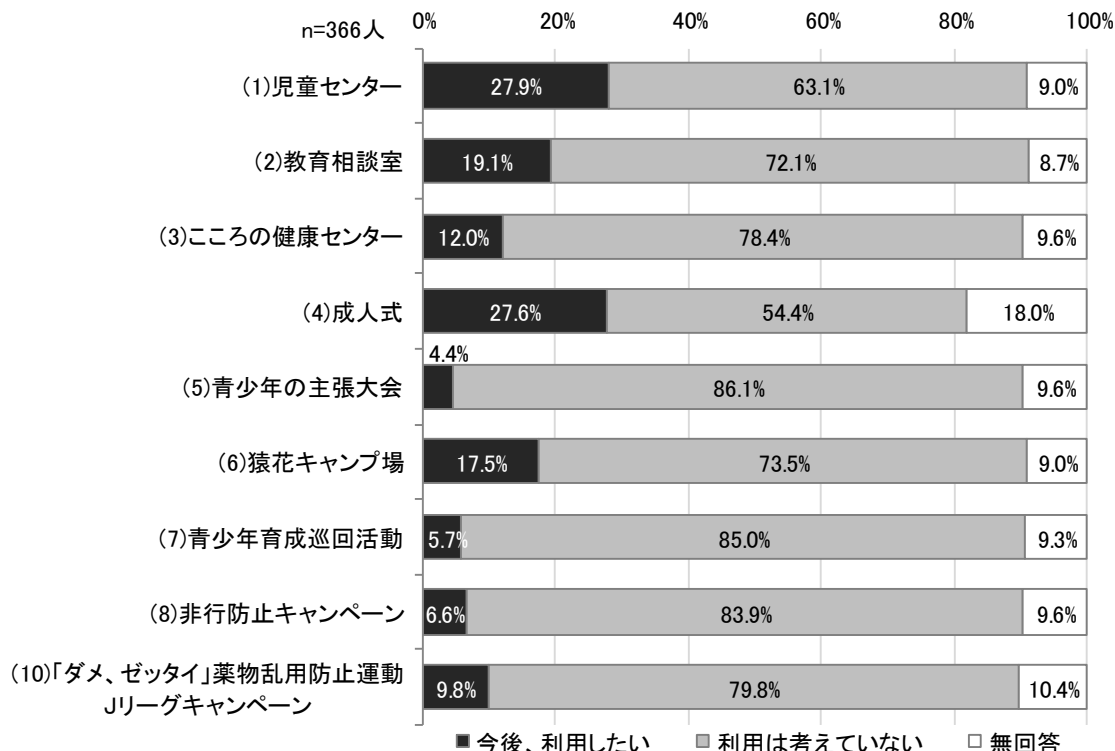
※認知度の設問において、「知っている」と答えた方を母数にしています。

各サービスや施設を知っていると答えた人のうち、利用（参加）したことがある割合は、「(4)成人式」が65.6%と最も高く、次いで「(6)猿花キャンプ場」が55.6%となっています。



■利用(参加)意向

サービスや施設の今後の利用意向については、いずれも「利用(参加)は考えていない」の割合が高くなっていますが、「今後、利用(参加)したい」との回答の中では「(1)児童センター」が27.9%、「(4)成人式」が27.6%で高くなっています。



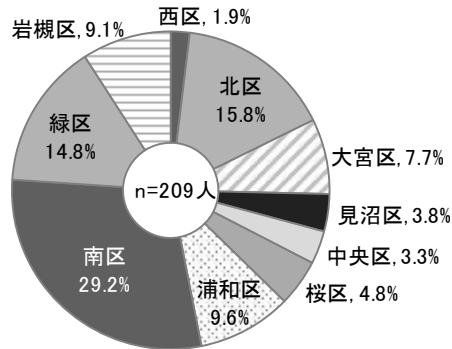


## 5) 妊婦調査

### 1 あなたとご家族についてうかがいます。

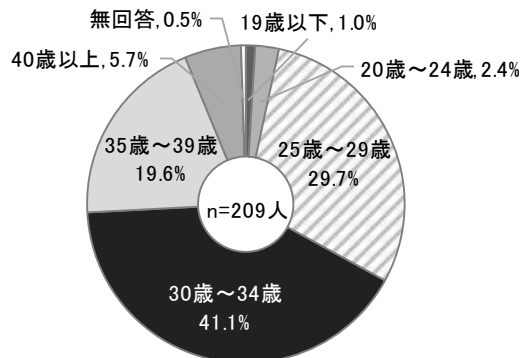
問1 あなたのお住まいはどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お住まいについては、「南区」が29.2%で最も高く、次いで「北区」が15.8%、「緑区」が14.8%となっています。



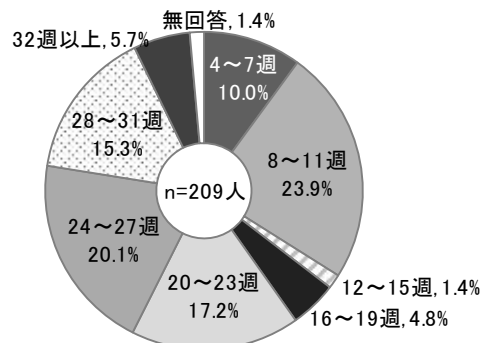
問2 あなたの年齢はおいくつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「30歳～34歳」が41.1%で最も高く、次いで「25歳～29歳」が29.7%、「35歳～39歳」が19.6%となっています。



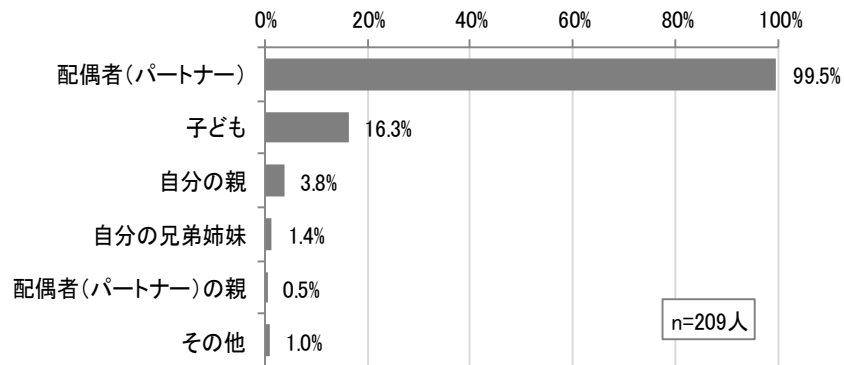
問3 現在の妊娠週数は何週ですか。( )内に数字でご記入ください。

現在の妊娠週数は、「8～11週」が23.9%、「24～27週」が20.1%、「20～23週」が17.2%となっています。



問4 家族構成について伺います。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

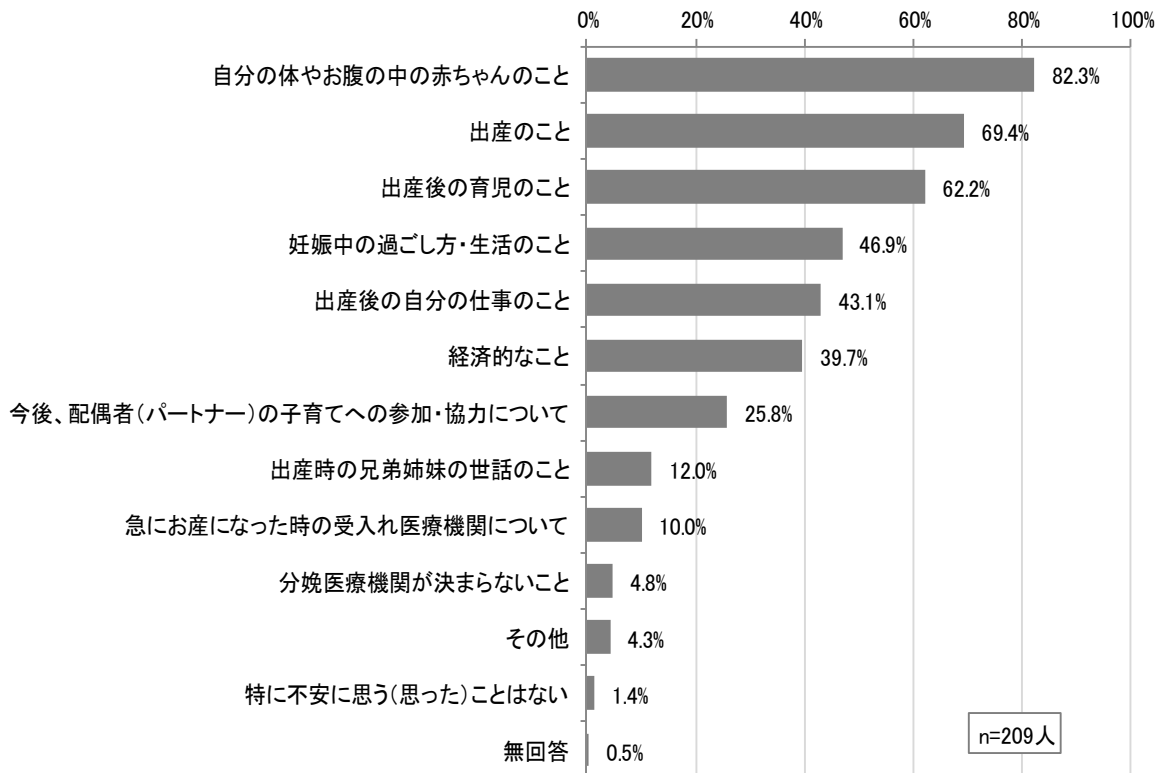
家族構成については、「配偶者（パートナー）」が99.5%でほとんどの方となっています。また、「子ども」で16.3%となっています。



## 2 妊娠中の状況についてうかがいます。

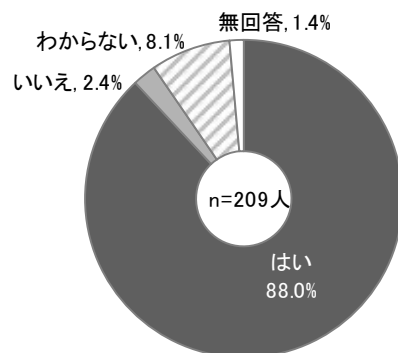
問5 妊娠中、不安に思う（思った）ことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠中、不安に思う（思った）ことは、「自分の体やお腹の中の赤ちゃんのこと」が82.3%で最も高く、次いで「出産のこと」が69.4%、「出産後の育児のこと」が62.2%となっています。



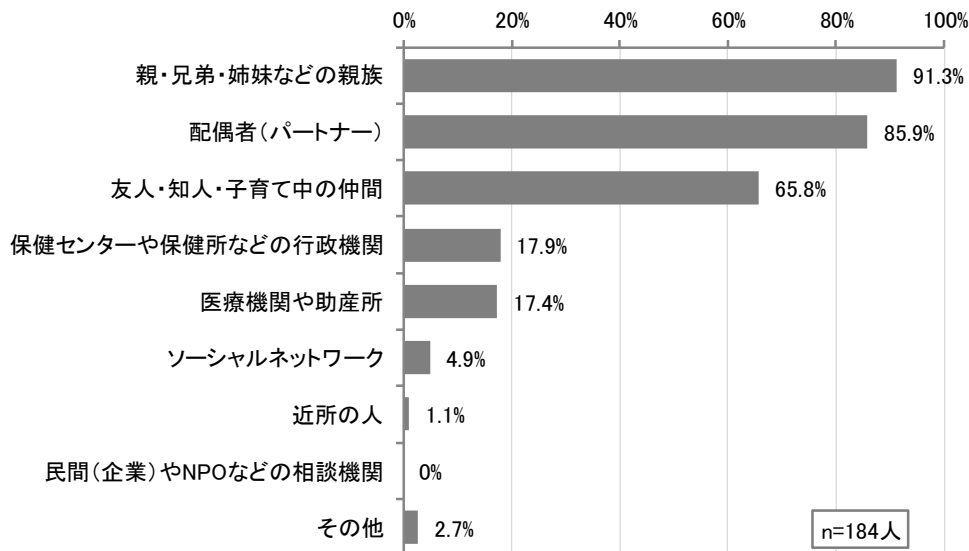
問6 妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるとき相談するところがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠や出産に関して不安や悩みがあるとき相談するところについては、「はい」（ある）が88.0%となっています。



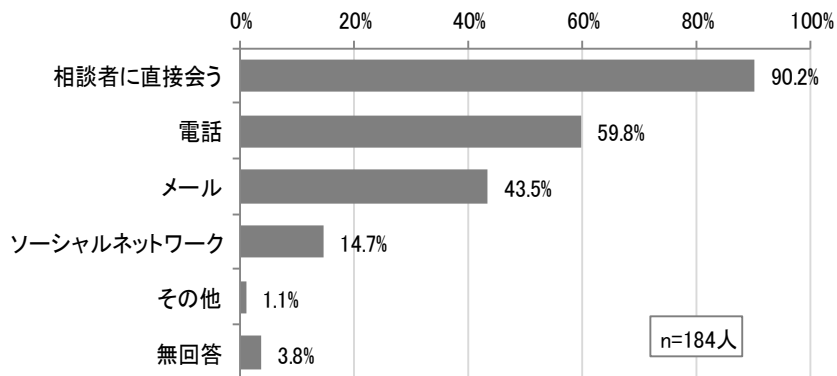
問6-1 （問6で「1. はい」と回答した方にお伺いします。）妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるとき、誰またはどこに相談します（しました）か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるときの相談先については、「親・兄弟・姉妹などの親族」が91.3%で最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」が85.9%、「友人・知人・子育て中の仲間」が65.8%となっています。



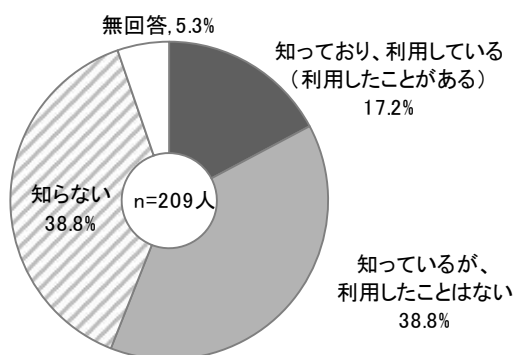
問6-2 どのような方法で相談します（しました）か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠や出産に関して相談する方法については、「相談者に直接会う」が90.2%と最も高く、次いで「電話」が59.8%、「メール」が43.5%となっています。



問7 妊娠・出産包括支援センターをご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

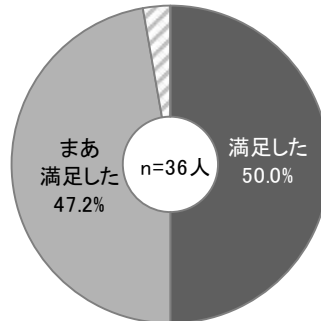
妊娠・出産包括支援センターの認知度については、「知っているが、利用したことはない」と「知らない」がそれぞれ38.8%と高く、「知っており、利用している（利用したことがある）」が17.2%となっています。



問7-1 (問7で「知っており、利用している(利用したことがある)」と回答した方にお伺いします。) 妊娠・出産包括支援センターを利用して、どのように感じましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

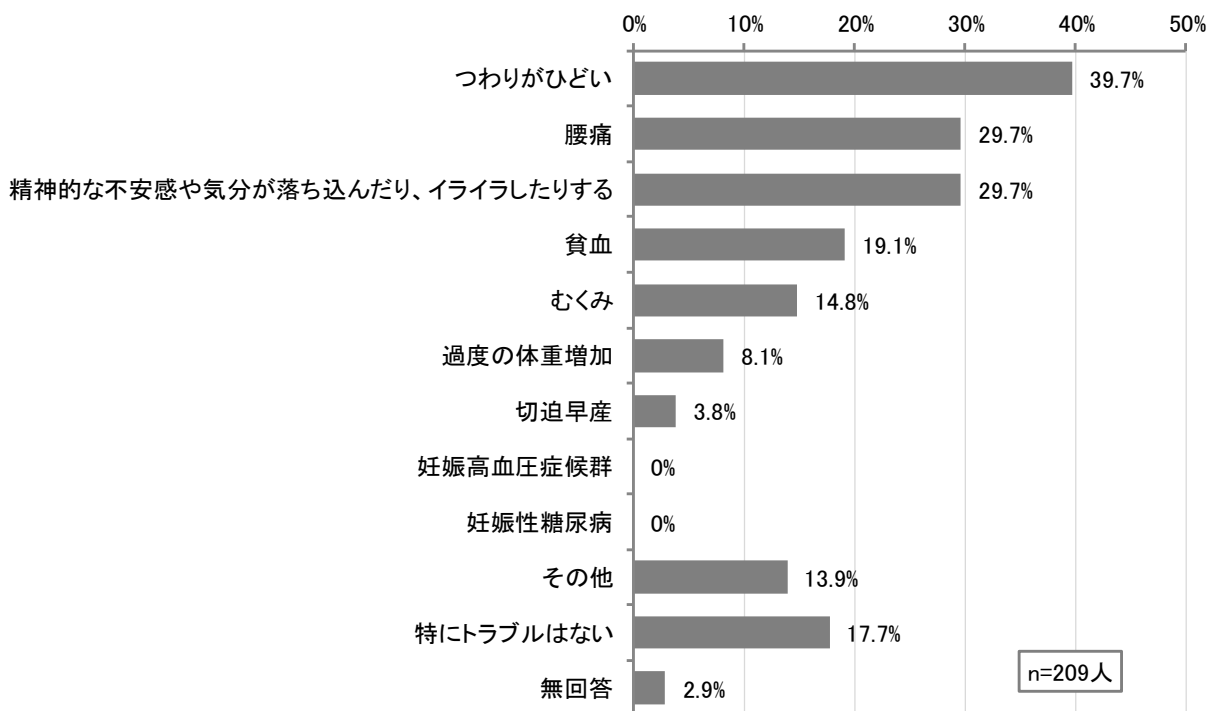
妊娠・出産包括支援センターの利用満足度については、「満足した(50.0%)」と「まあ満足した(47.2%)」を合わせるとほとんどの方が満足しています。

あまり満足できなかった, 2.8%



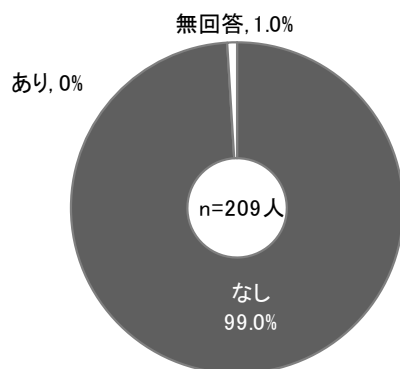
問8 今回の妊娠中で、これまでどのようなトラブルがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

今回の妊娠中でどのトラブルについては、「つわりがひどい」が39.7%で最も高く、次いで「腰痛」と「精神的な不安感や気分が落ち込んだり、イライラしたりする」がそれぞれ29.7%となっています。



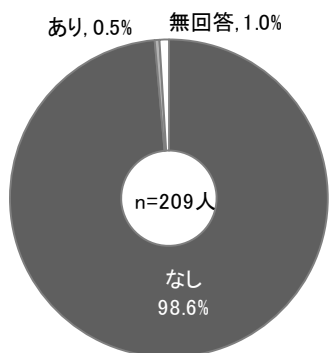
問9 あなたは、現在、喫煙をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在の喫煙については、「なし」（喫煙していない）が99.0%となっています。



問10 あなたは、現在、飲酒をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在の飲酒については、「なし」（飲酒していない）が98.6%となっています。



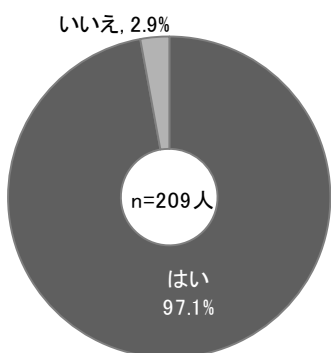
問10-1 （問10で「2 あり」と回答した方にお伺いします。）どのくらいお酒を飲みますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

飲酒の頻度については、「週に1~2回」が1件となっています。

n=1人		
項目	度数	構成比
妊娠中に10回未満	0	0%
週に1~2回	1	100.0%
月に1~2回	0	0%
週3回以上	0	0%

問11 あなたは、今回の妊娠で妊婦健康診査を受ける予定ですか、またはすでに受けていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

今回の妊娠での妊婦健康診査の受診については、「はい」の受ける予定（受けている）が97.1%でほとんどの方となっています。



問 11-1 (問 11 で「2 いいえ」と回答した方にお伺いします。) 理由をお聞かせください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

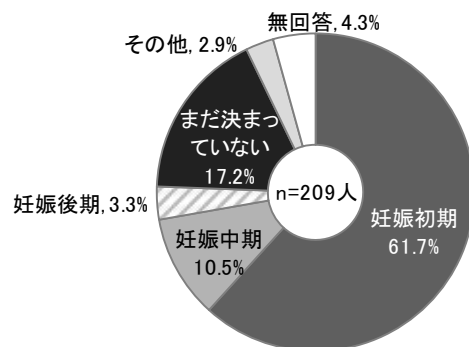
妊婦健康診査を受けていない理由は、次のとおりです。

項目	度数	構成比
妊娠週数がまだ早いため	2	33.3%
時間がない、忙しい	1	16.7%
必要性を感じない	0	0%
健診費用の支払いに不安がある	0	0%
その他	2	33.3%
無回答	1	16.7%

n=6人

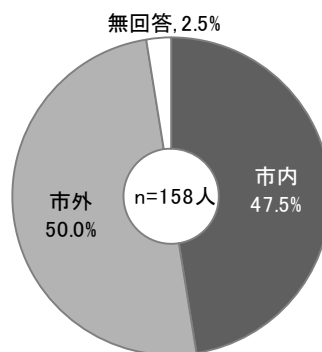
問 12 分娩予約はいつ頃されましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

分娩予約の時期については、「妊娠判定～妊娠 15 週ころ (妊娠初期)」が 61.7%となっています。



問 12-1 (問 12 で「1 妊娠初期」、「2 妊娠中期」、「3 妊娠後期」と回答した方にお伺いします。) 分娩予約施設は市内ですか。市外ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

分娩予約施設の場所 (市内/市外別) については、「市外」が 50.0%、「市内」が 47.5%となっています。



問 12-2 （問 12-1 で「2 市外」と回答した方にお伺いします。）市外にしたのはなぜですか。当てはまる番号にすべてに○をつけてください。

市外の分娩予約施設を選んだ理由については、「里帰り出産のため」が 57 件と多く、次いで「市外でも近い病院だから」が 12 件となっています。

n=79人

項目	度数	構成比
里帰り出産のため	57	72.2%
市外でも近い病院だから	12	15.2%
近くに産院がない・分娩予約が取れない	4	5.1%
以前から通っていたから	9	11.4%
その他	8	10.1%

問 13 母親学級や父親学級（両親学級）などの、出産前教室に参加する予定ですか。または、すでに参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親学級や父親学級などの出産前教室への参加については、初産婦の方では「さいたま市で行う教室に参加予定（している）」が 126 件で最も多くなっています。次いで「分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定（している）」が 89 件となっています。

経産婦の方では「分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定（している）」が 13 件と多くなっています。

#### ■初産婦の方

n=170人

項目	度数	構成比
分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定(している)	89	52.4%
さいたま市で行う教室に参加予定(している)	126	74.1%
まだ決めていないが参加したいと思っている	28	16.5%
参加しない	2	1.2%
その他	2	1.2%

#### ■経産婦の方

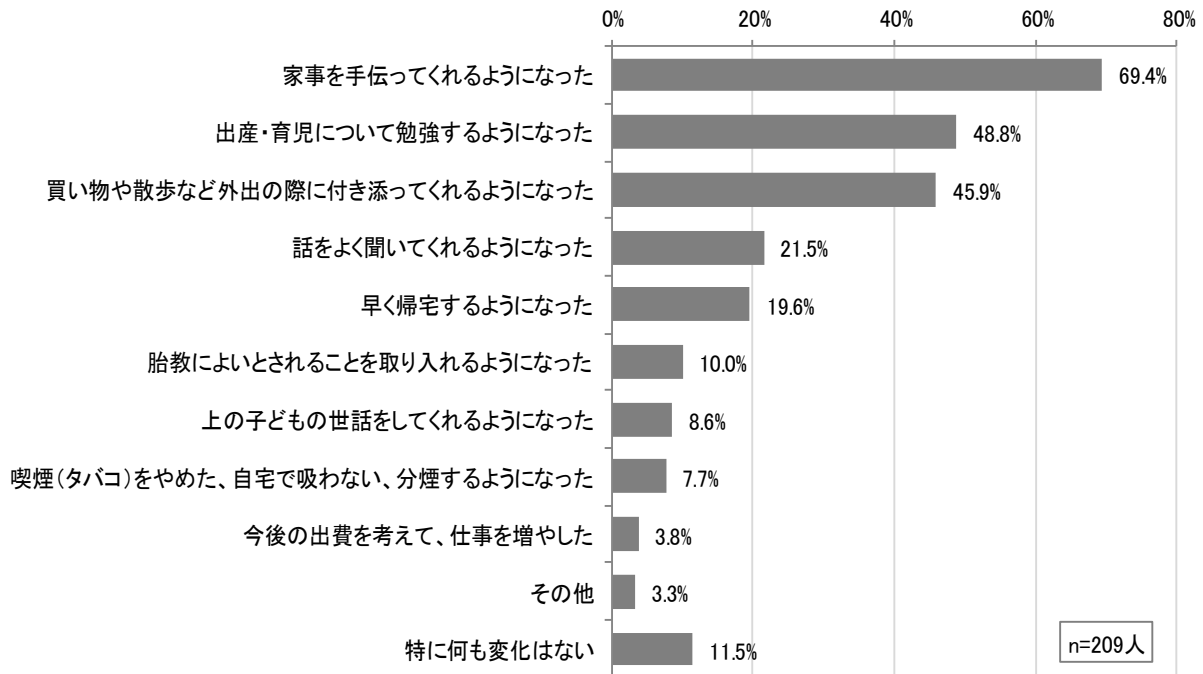
n=33人

項目	度数	構成比
初産の時に参加済なので参加しない	9	27.3%
分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定(している)	13	39.4%
まだ決めていないが参加したいと思っている	9	27.3%
今まで参加したことはないが、今回も参加しない	3	9.1%
その他	1	3.0%



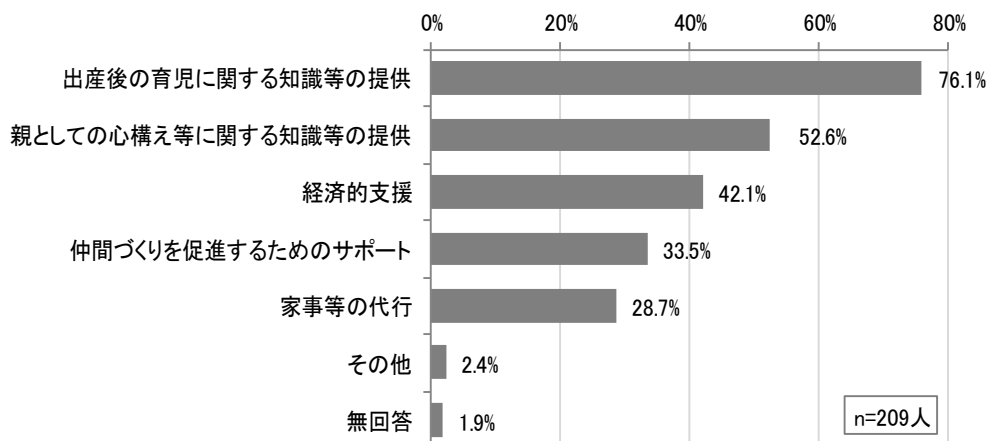
問 14 あなたが妊娠したことで、家族（主に配偶者・パートナー）の対応に変化はありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠したことでの家族の対応の変化については、「家事を手伝ってくれるようになった」が69.4%で最も高く、次いで「出産・育児について勉強するようになった」が48.8%、「買い物や散歩など外出の際に付き添ってくれるようになった」が45.9%となっています。



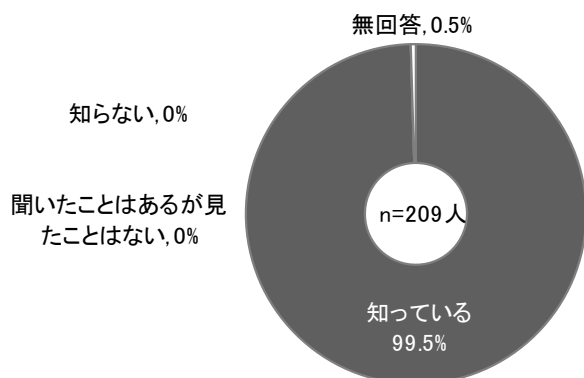
問 15 妊娠期間中はどのようなサポートが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠期間中に必要なサポートについては、「出産後の育児に関する知識等の提供」が76.1%と最も高く、次いで「親としての心構え等に関する知識等の提供」が52.6%、「経済的支援」が42.1%となっています。



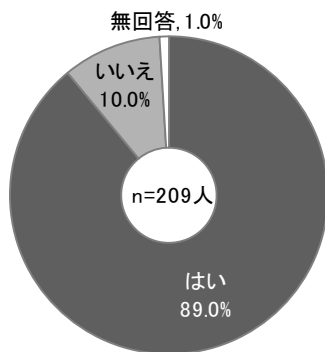
問 16 マタニティ・マークをご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

マタニティ・マークの認知度は、「知っている」が99.5%でほとんどの方となっています。



問 16-1 マタニティ・マークを使用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

マタニティ・マークの使用については、「はい」（利用したい）が89.0%となっています。



問 16-2 （問 16-1 で「2 いいえ」と回答した方にお伺いします。）使用したくない理由をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

マタニティ・マークを使用しない理由については、「周囲に気を使われたくないから」が12件で最も多くなっています。

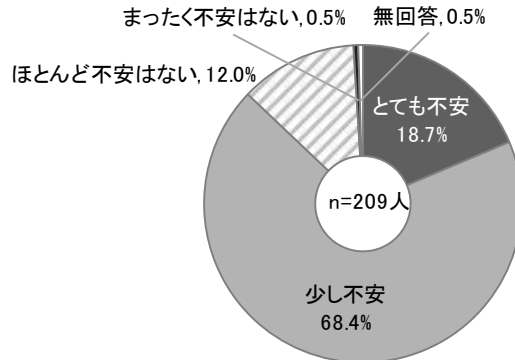
n=21人

項目	度数	構成比
周囲に気を使われたくないから	12	57.1%
邪魔だから	0	0%
必要性を感じない	1	4.8%
その他	8	38.1%

## 3 出産後の状況についてうかがいます。

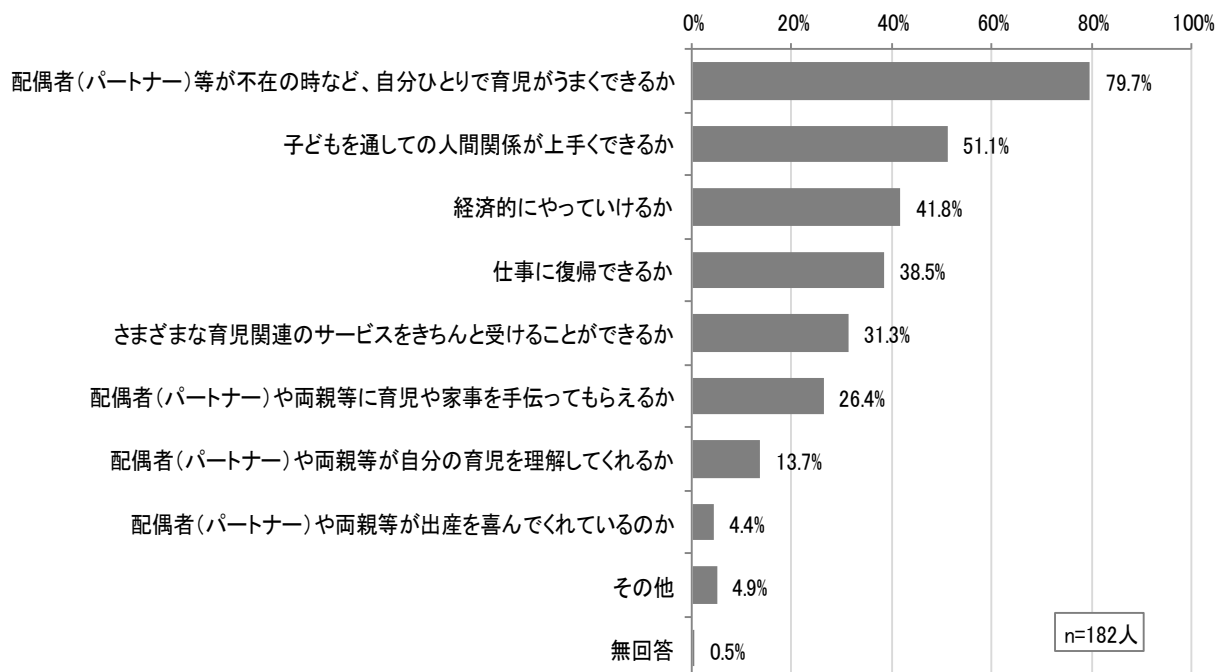
問 17 出産後について不安に思うことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

出産後については、「とても不安」と「少し不安」を合わせると 87.1%の方が不安を感じています。



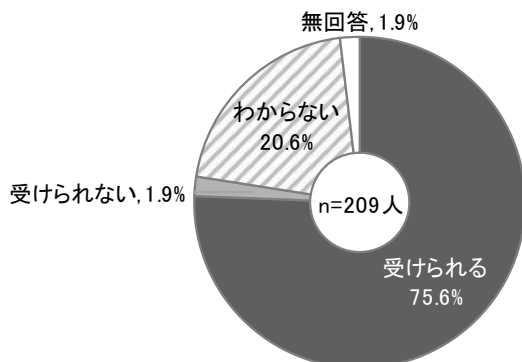
問 17-1 (問 17 で「1 とても不安」「2 少し不安」と回答した方にお伺いします。) 不安に思うのはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不安に思うことは、「配偶者(パートナー)等が不在の時など、自分ひとりで育児がうまくできるか」が 79.7%と最も高く、次いで「子どもを通しての人間関係が上手くできるか」が 51.1%、「経済的にやっていけるか」が 41.8%となっています。



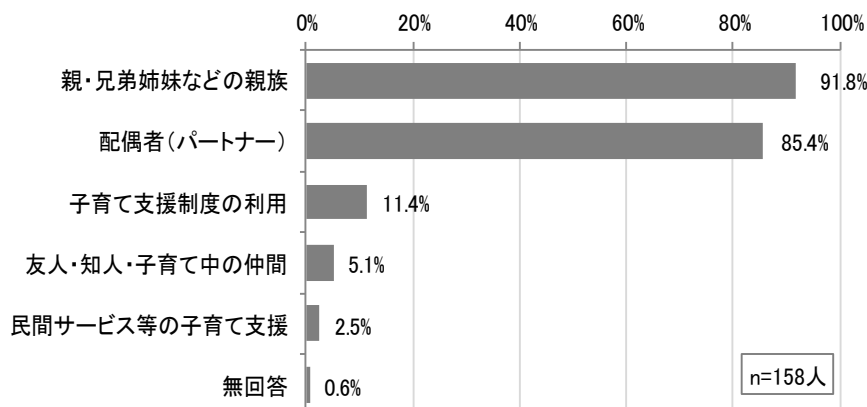
問 18 出産後、家事や育児などの支援は受けられますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

出産後の家事や育児などの支援については、「受けられる」が75.6%となっています。



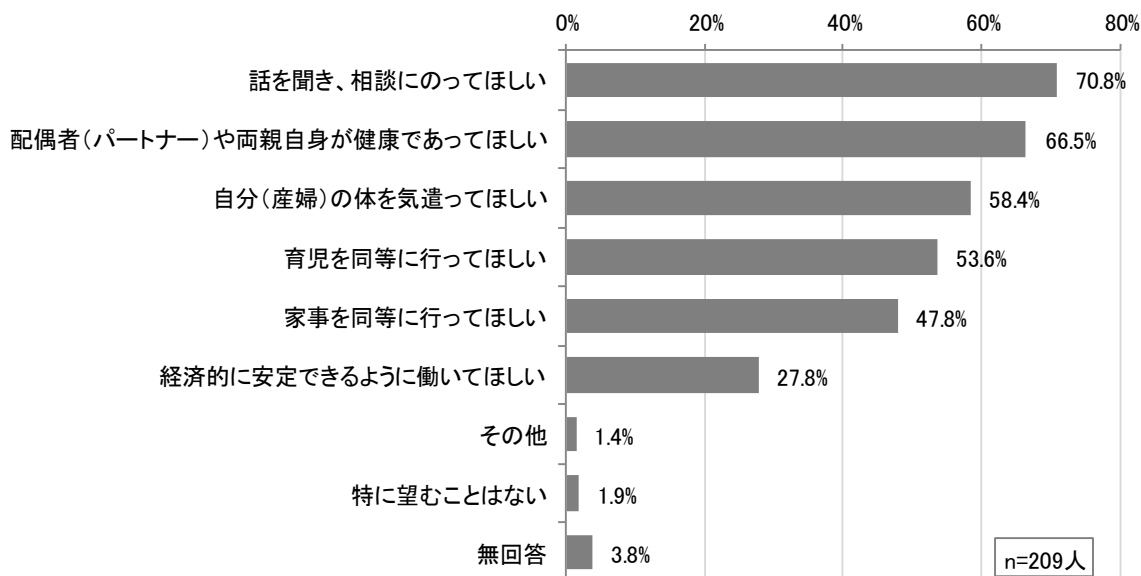
問 18-1 問 18で「1 受けられる」と回答した方にお伺いします。主に支援してくれる方、または利用するサービスに当てはまる番号すべてに○をつけてください。

主に支援してくれる方、利用するサービスについては、「親、兄弟姉妹などの親族」が91.8%、「配偶者（パートナー）」が85.4%と高くなっています。



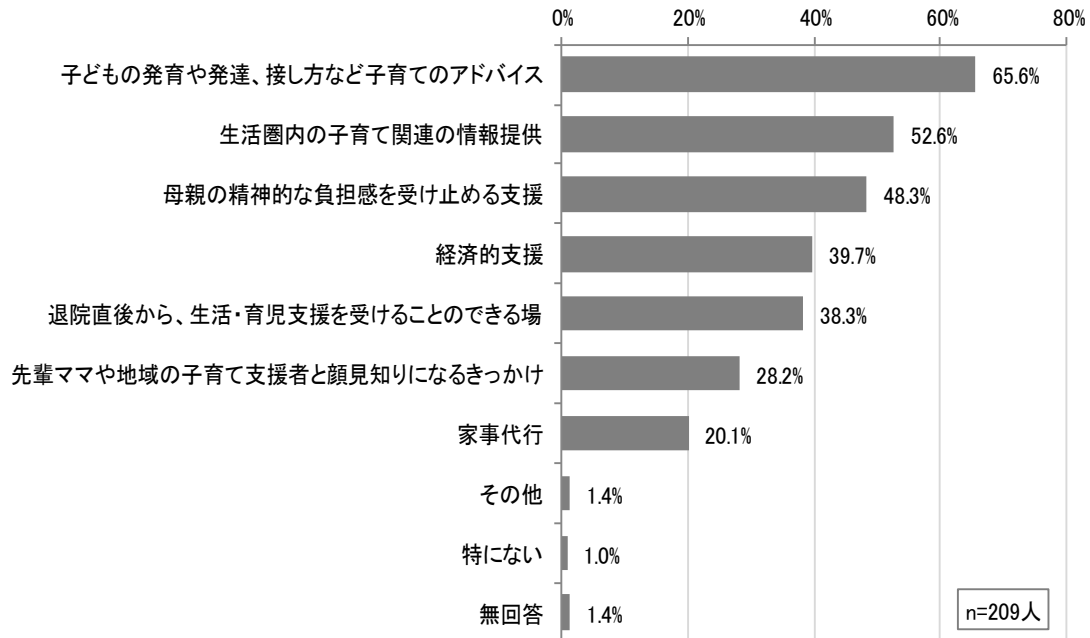
問 19 出産後、配偶者（パートナー）や両親等に望むものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

出産後、配偶者や両親等に望むものについては、「話を聞き、相談にのってほしい」が70.8%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）や両親自身が健康であってほしい」が66.5%、「自分（産婦）の体を気遣ってほしい」が58.4%となっています。



問 20 出産後、家族以外からのどのようなサポートが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

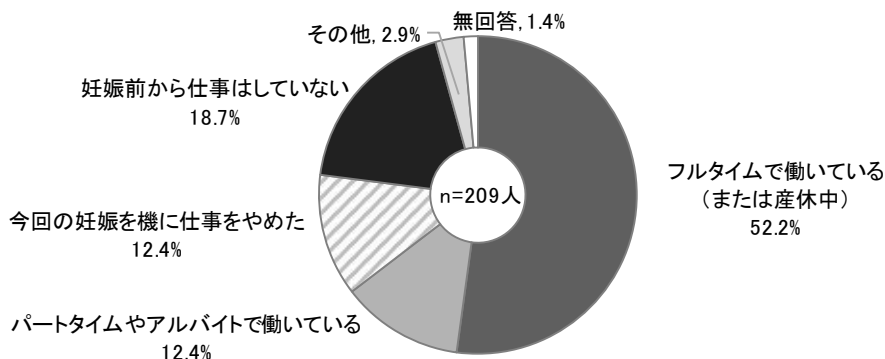
家族以外からのサポートについては、「子どもの発育や発達、接し方など子育てのアドバイス」が65.6%で最も高く、次いで「生活圏内の子育て関連の情報提供」が52.6%、「母親の精神的な負担感を受け止める支援」が48.3%となっています。



## 4 就労についてうかがいます

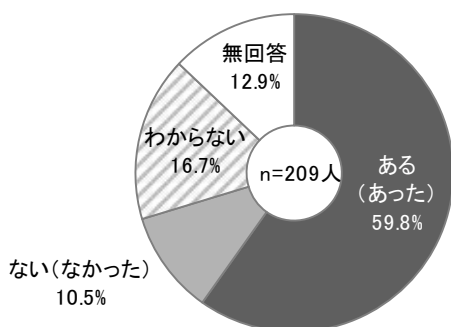
問 21 あなたは、現在、働いていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在の就労については、「フルタイムで働いている（または産休中）」が52.2%で最も高く、次いで「妊娠前から仕事はしていない」が18.7%となっています。



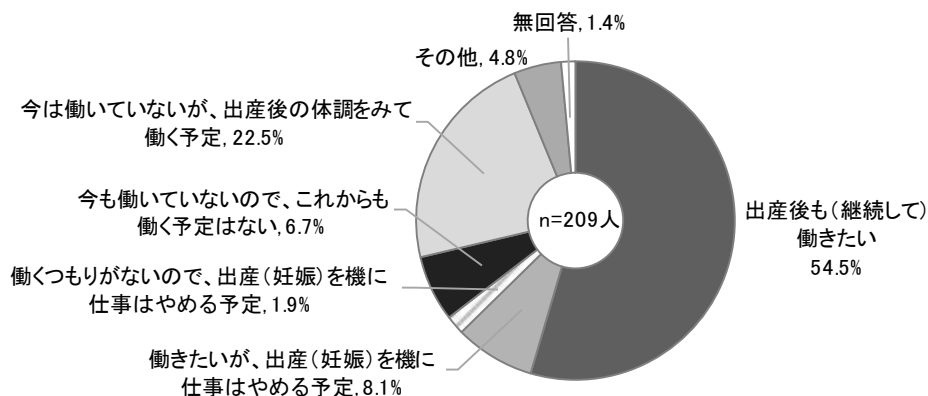
問 22 妊娠中、安心して仕事ができるよう職場の配慮はあります（した）か。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠中の職場の配慮については、「ある（あった）」が59.8%となっています。



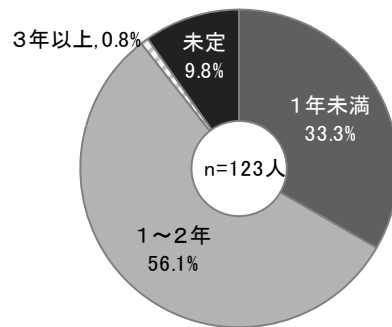
問 23 あなたは、出産後も働き続けたい、または、働き始めたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

出産後の働き方について、「出産後も（継続して）働きたい」が54.5%で高く、次いで「今は働いていないが、出産後の体調をみて働く予定」が22.5%となっています。



問 24 育児休業を利用する方にお伺いします。取得期間はどのくらいを予定していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

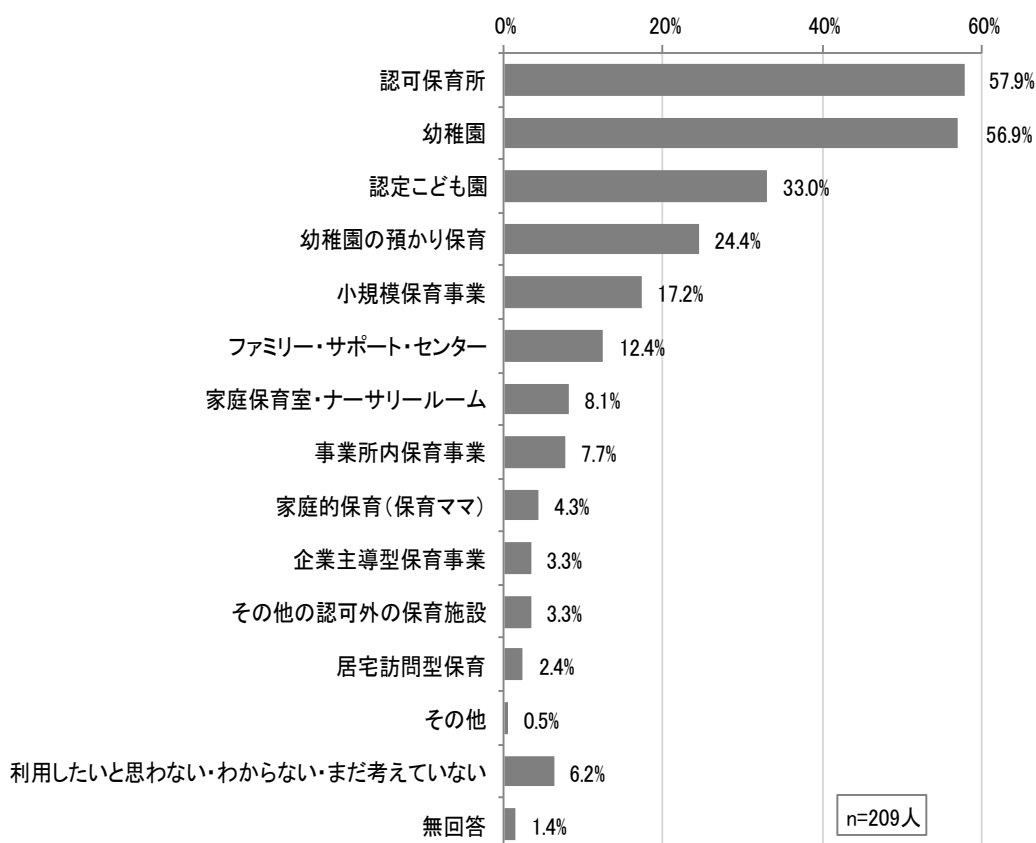
育児休業の取得期間の予定については、「1～2年」が56.1%、「1年未満」が33.3%となっています。



5 お子さんの定期的な教育・保育の利用希望についてうかがいます。

問 25 出産後、幼稚園や保育園などを定期的にご利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

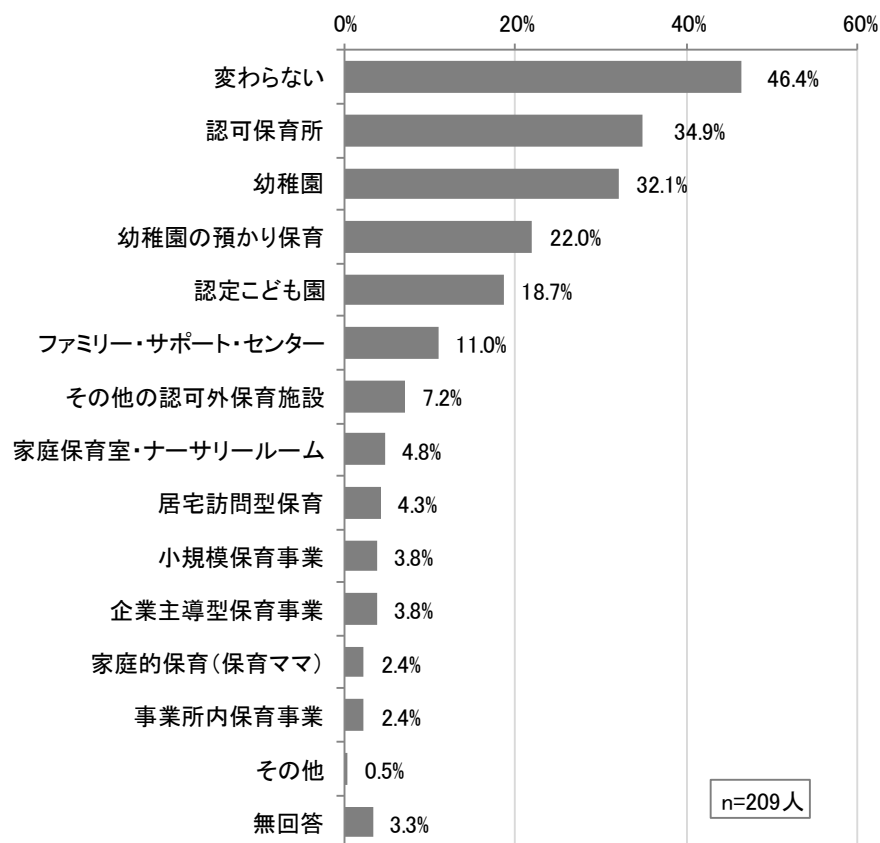
定期的な幼稚園や保育園などの利用希望については、「認可保育所」が 57.9%、「幼稚園」が 56.9% と高く、次いで「認定こども園」が 33.0%、「幼稚園の預かり保育」が 24.4%となっています。





問 26 平成 31 年 10 月から「幼児教育・保育の無償化」の実施が予定されていますが、幼児教育・保育が無償化された場合、今後利用したいと考える教育・保育（問 25 の回答）の種類は変わりますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

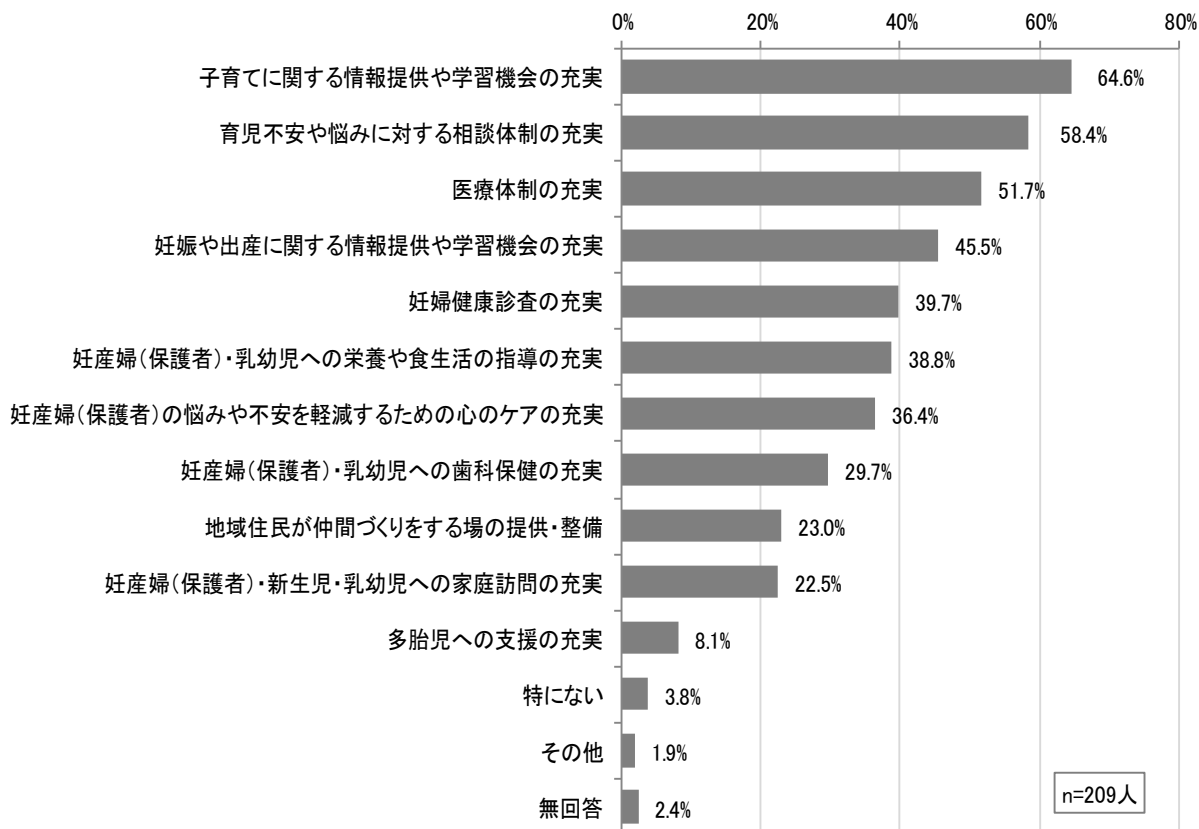
幼児教育・保育が無償化された場合の今後利用したいと考える教育・保育の種類については、「変わらない」が 46.4%と最も高く、「認可保育所」が 34.9%、「幼稚園」が 32.1%、「幼稚園の預かり保育」が 22.0%となっています。



## 6 母子保健サービスや取り組みについてうかがいます

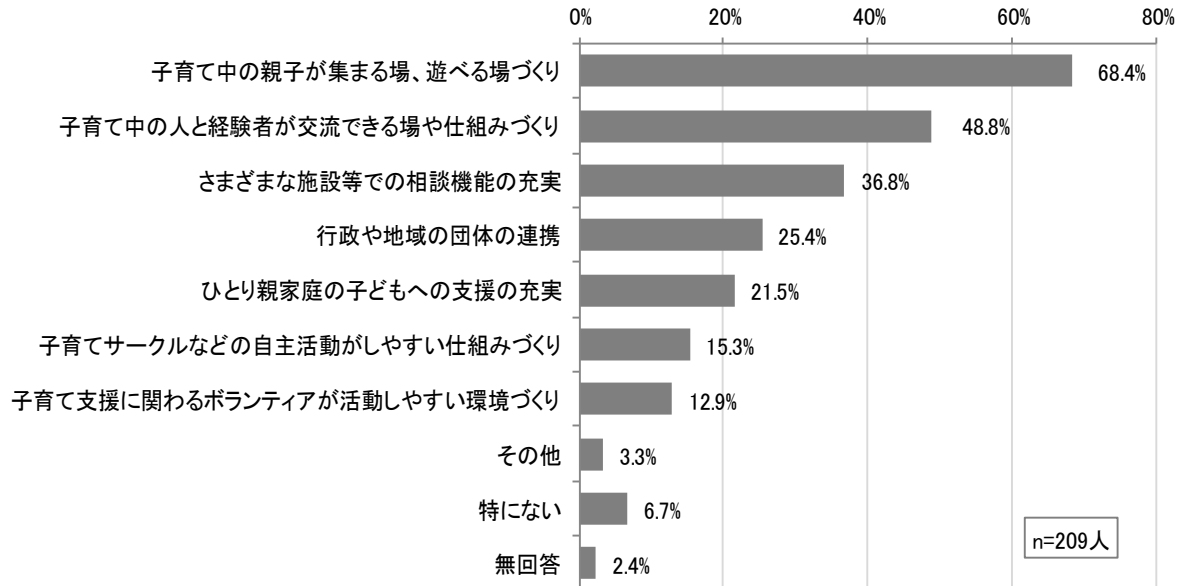
問 27 どのような母子保健サービスが行政や民間等であると良いと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

行政や民間等の母子保健サービスについては、「子育てに関する情報提供や学習機会の充実」が64.6%と最も高く、次いで「育児不安や悩みに対する相談体制の充実」が58.4%、「医療体制の充実」が51.7%、「妊婦や出産に関する情報提供や学習機会の充実」が45.5%となっています。



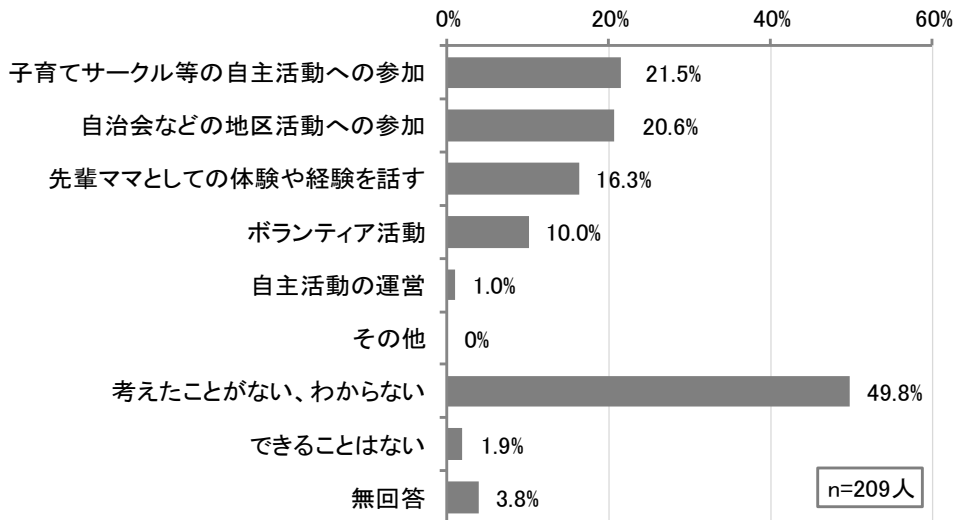
問 28 安心・安全に子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てを安心・安全にするための地域での必要な取り組みについては、「子育て中の親子が集まる場、遊べる場づくり」が68.4%で最も高く、次いで「子育て中の人と経験者が交流できる場や仕組みづくり」が48.8%となっています。



問 29 あなたが今後、地域の中でできることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

今後、地域の中でできることについては、「考えたことがない、わからない」が49.8%と最も高くなっていますが、「ある」の回答の中では「子育てサークル等の自主活動への参加」が21.5%、「自治会などの地区活動への参加」が20.6%と高くなっています。



## 問 30 子ども・子育てのための施策について、自由にご意見などをお書きください。

主な意見を集約しています。

- 妊娠を機に仕事を辞めたので、再就職・保育所探しにはとても大きな不安がある。
- 待機児童が出ないよう保育所、保育士の増加。そのために保育士への待遇を良くする必要がある。
- もっと簡単に、数時間でも見てもらえる施設等があれば（既にあるのであれば、もっとわかりやすい情報発信）ありがたい。
- 第1子を出産した病院（さいたま市外）では、マタニティビクスやマタニティヨガをワンコイン（500円）で受けることができた。病院独自だけでなく、自治体主催で同様のプログラムが受けられると、すごくありがたい。
- 子どもが遊ぶ公園の整備をもっと充実させて欲しい。きれいな所もあるが、まだまだ整備（遊具など）がされていない所や古い所があるので、子どもが安全に遊べる環境が欲しい。
- 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担がとても大きい。児童手当だけでは支援のもの足りなさを感じている。
- 不妊治療をしている夫婦のケアにもっと力を入れてほしい。
- 妊娠～出産～育児～保育園入園までの一連の流れや手続き、様々な制度についてどうしたら良いのかわからないので、HP等で教えていただけると助かる。特に保育園に入れるために、どういった流れになるのか、どこに聞けば情報を提供していただけるのか知りたい。
- 自治会に加入しているが、回覧板なども回ってこないの地域のことあまりよく分からない。
- 地元ではないので、妊娠、子育て中の方と知り合うきっかけ等、地域に根差した支援があると心強い。SNS等でつながっている人数、友人は多いが、身近なところに知り合いがいらないのはさびしく、心細い。
- 公園で泣く子どもをあやしていた時に「お母さん大丈夫？」と声をかけて下さったお母さんがいた。とてもホッとしたのを覚えている。
- 地域で気軽に参加でき、話ができると思える所があるだけで気持ちが楽になることもある。場所の提供や補助金などで行政の支援があると活動しやすい。
- 子どもを産みたい、産める、安心して育てる事ができるようになってほしい。

## ■意見の分類

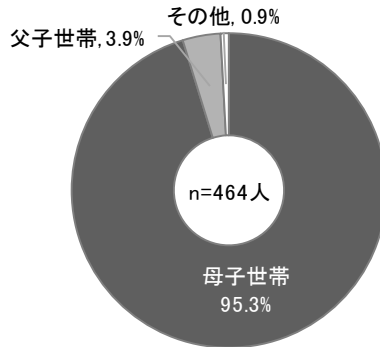
意見	件数
保育園入園に関する不安、子ども・子育てをめぐる経済的不安、子育て環境に関する不安	33
待機児童の解消に向けた取り組みの推進、保育人材の確保	13
気軽に参加できる機会づくり、情報収集・選択の困難さ	7
育児休業制度の充実促進、復職支援	4
合計	57

## 6) ひとり親調査

### 1 あなたの家族構成・お住まい・仕事の状況などについてうかがいます。

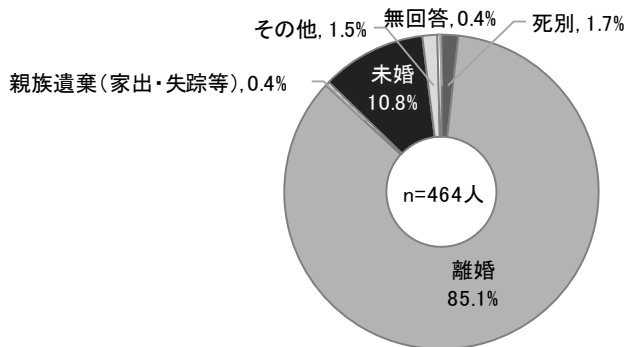
問1 あなたの世帯はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

世帯については、「母子世帯」が95.3%、「父子世帯」が3.9%となっています。



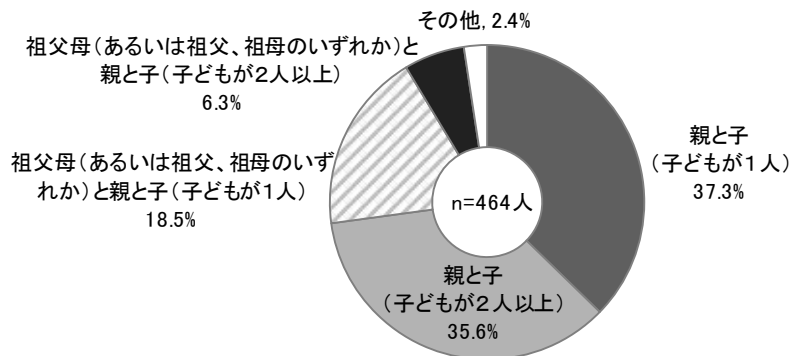
問2 ひとり親世帯になられた理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。)

ひとり親世帯になった理由は、「離婚」が85.1%で最も高くなっています。また、「未婚」が10.8%となっています。



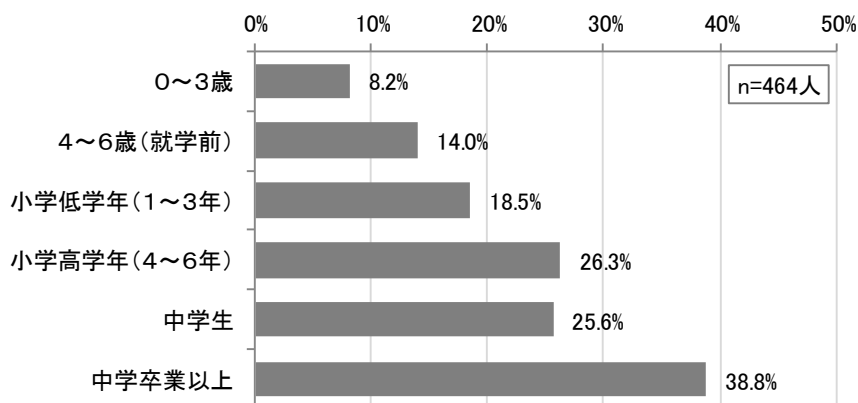
問3 現在同居されているご家族の構成は次のどれになりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

同居している家族構成は、「親と子（子どもが1人）」が37.3%で高く、次いで「親と子（子どもが2人以上）」が35.6%と、親と子どもだけの世帯が72.9%となっています。



問4 あなたのお子さんの年齢と人数をお答えください。当てはまるものすべてに○をつけ、□内に人数を記入してください。

お子さんの年齢については、「中学卒業以上」が38.8%で最も高く、次いで「小学校高学年（4～6年）」が26.3%、「中学生」が25.6%となっています。



■人数

【0～3歳】 n=38人

項目	度数	構成比
1人	38	100.0%
2人	0	0%
3人	0	0%

【4～6歳(就学前)】 n=65人

項目	度数	構成比
1人	63	96.9%
2人	2	3.1%
3人	0	0%

【小学低学年(1～3年)】 n=86人

項目	度数	構成比
1人	82	95.3%
2人	4	4.7%
3人	0	0%

【小学高学年(4～6年)】 n=122人

項目	度数	構成比
1人	113	92.6%
2人	9	7.4%
3人	0	0%

【中学生】 n=119人

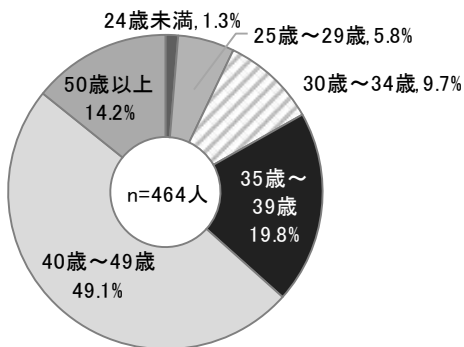
項目	度数	構成比
1人	112	94.1%
2人	7	5.9%
3人	0	0%

【中学卒業以上】 n=180人

項目	度数	構成比
1人	119	66.1%
2人	49	27.2%
3人	12	6.7%

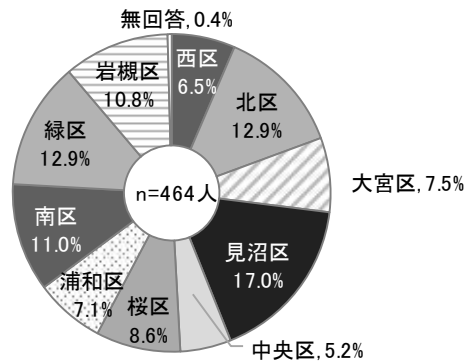
問5 あなたは現在、何歳ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「40歳～49歳」が49.1%で約5割の回答となっています。



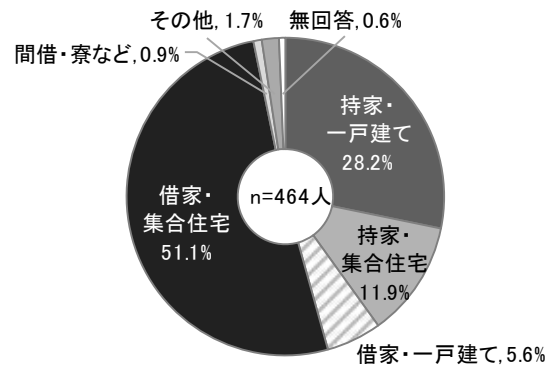
**問6 市内の何区にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

お住まいの地区は、「見沼区」が17.0%で最も高く、次いで「北区」と「緑区」がそれぞれ12.9%となっています。



**問7 現在お住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

お住まいの住宅は、「借家・集合住宅」が51.1%で最も高く、次いで「持家・一戸建て」が28.2%となっています。

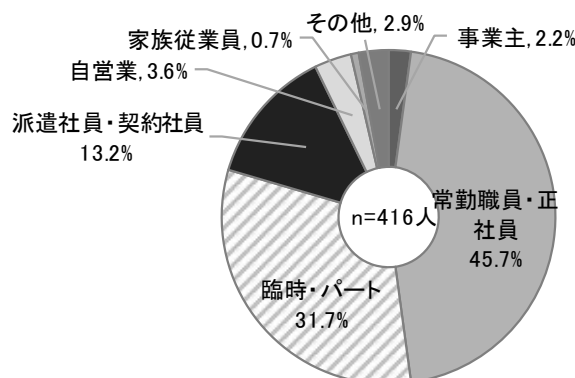


現在就業している方にうかがいます。それ以外の方は問9にお進みください。

**問8 あなたの現在の就業上の地位についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

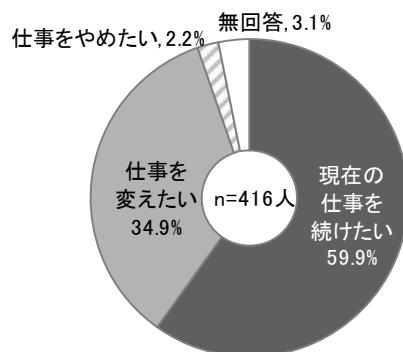
※無回答を集計から省いています。

現在の就業上の地位については、「常勤職員・正社員」が45.7%で最も高く、次いで「臨時・パート」が31.7%となっています。



**問9-1 あなたは転職する希望がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。）**

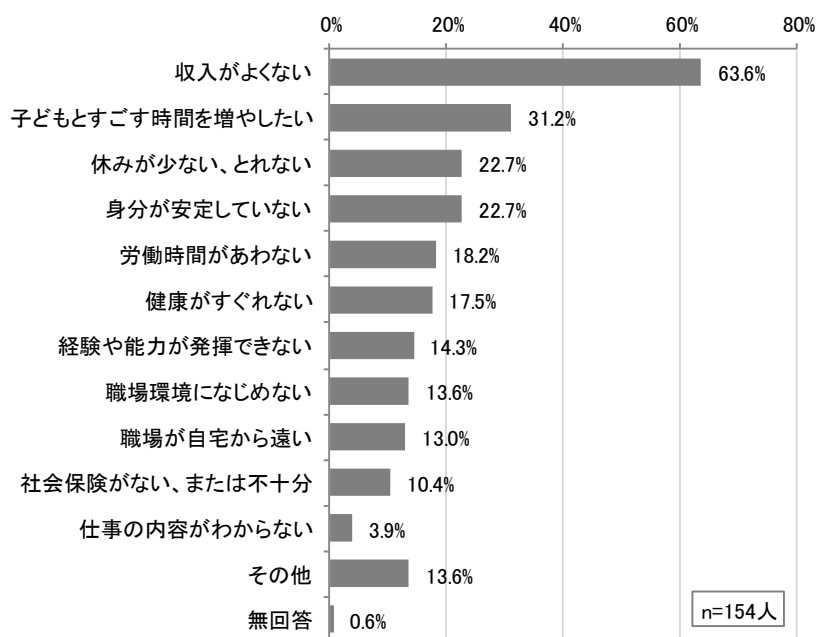
転職の希望については、「現在の仕事を続けたい」が59.9%で最も高くなっています。次いで、「仕事を変えたい」が34.9%となっています。



「2 仕事を変えたい」、「3 仕事をやめたい」と回答した方にうかがいます。

**問9-2 その理由をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

仕事を変えたい、やめたい理由については、「収入がよくない」が63.6%で最も高く、次いで「子どもと過ごす時間を増やしたい」が31.2%、「休みが少ない、とれない」と「身分が安定していない」がそれぞれ22.7%となっています。



現在就業していない方にうかがいます。

**問10 働いていない理由をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

就業していない理由については、「病気で働けない」が17件と最も高く、次いで「求職中」が13件となっています。

n=41人

項目	度数	構成比
子どもを世話してくれる人がいない	4	9.8%
病気で働けない	17	41.5%
休職中	0	0%
技術を習得中、資格を取得中	3	7.3%
収入面であわない	0	0%
時間があわない	2	4.9%
求職中	13	31.7%
その他	2	4.9%

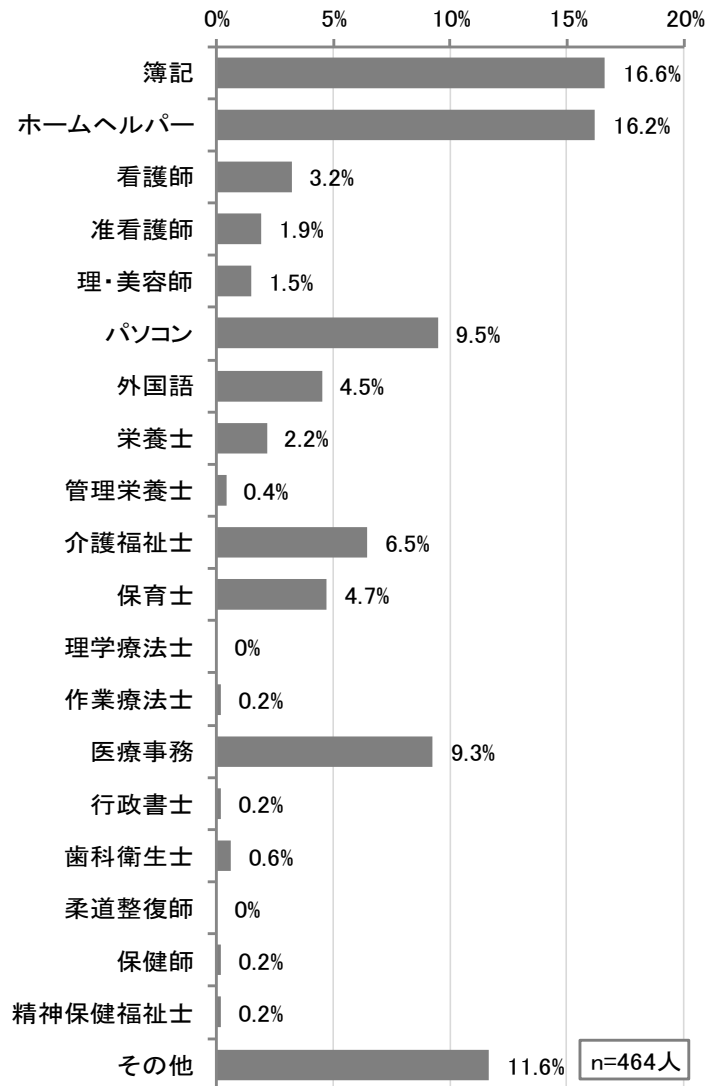


## 2 あなたの資格取得状況についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

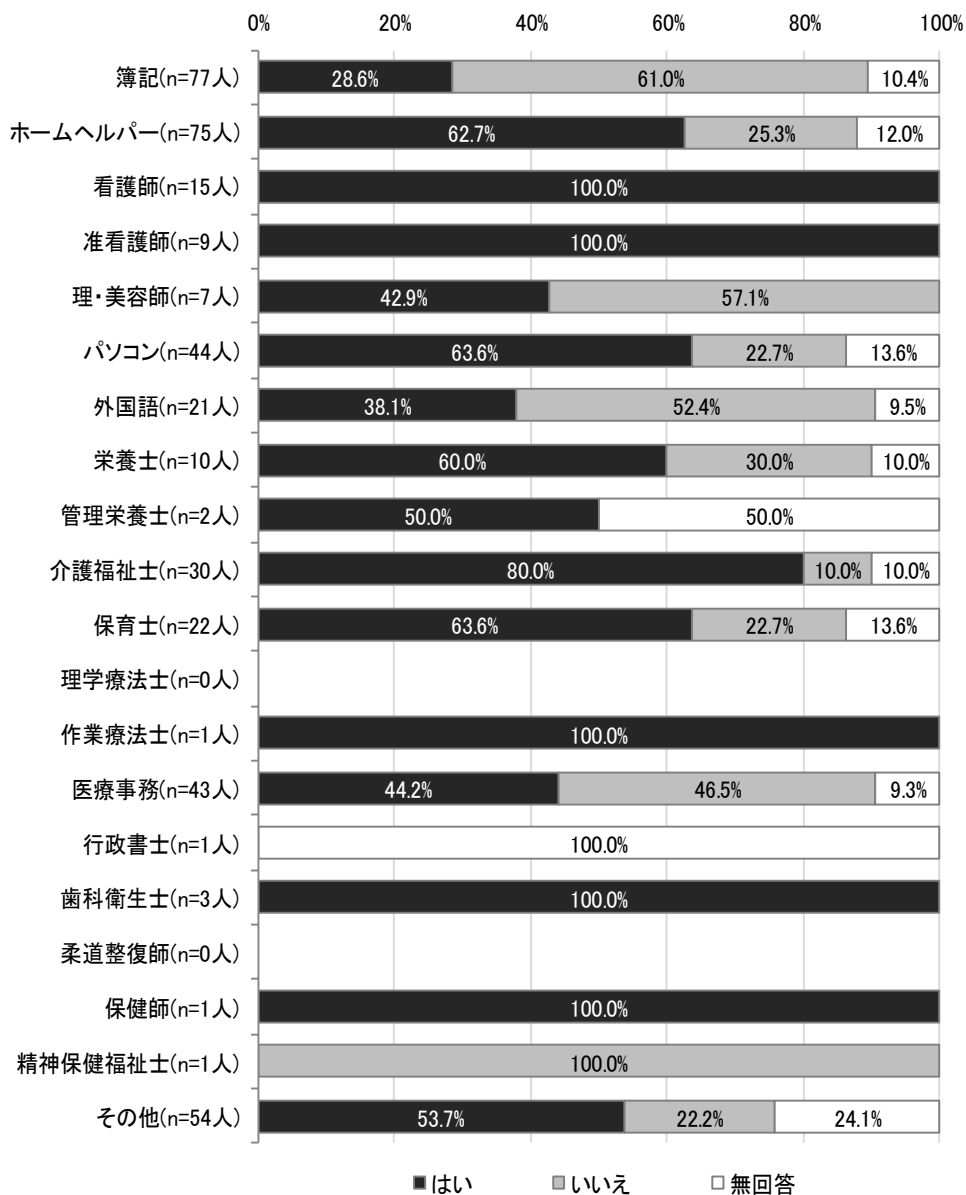
問11 A：1. ～20. の資格を取得している場合、「はい」に○をつけてください。

取得している資格については、「簿記」が16.6%で最も高く、次いで「ホームヘルパー」が16.2%、「パソコン」が9.5%、「医療事務」が9.3%となっています。



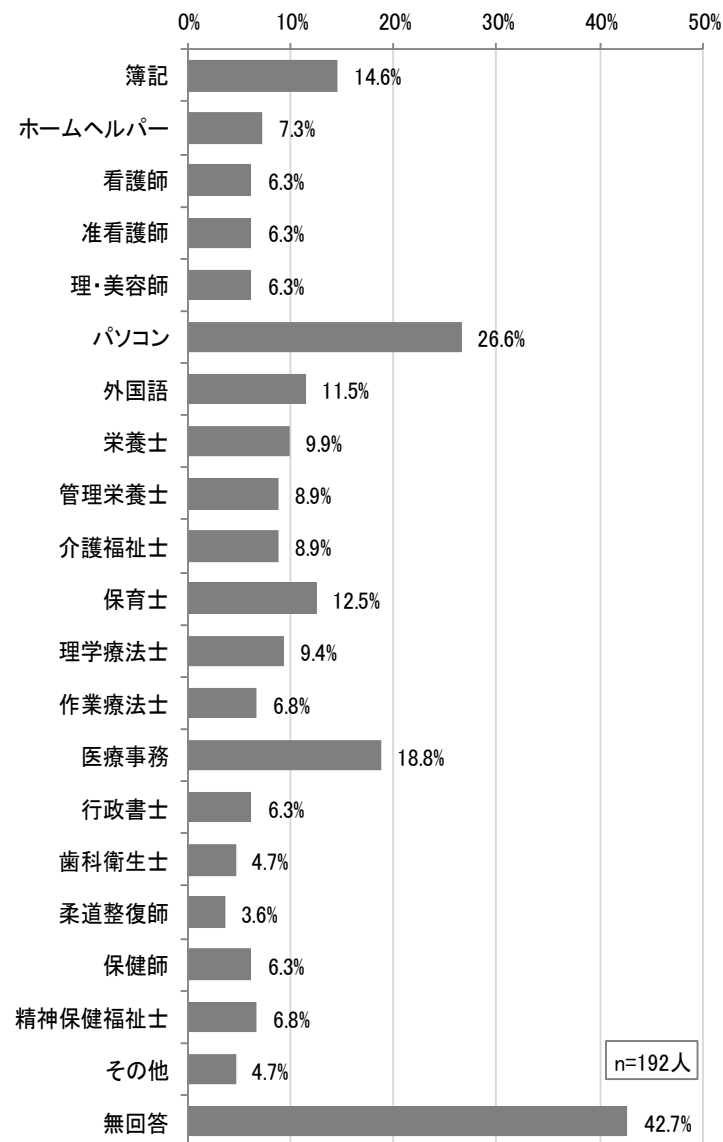
問11 B: 1. ~20. の資格を取得している場合、その資格が直接仕事に役に立っている（または役に立っていた）か、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

取得している資格が仕事に役立っているかについては、取得者が多い「簿記」で「はい」が28.6%、「いいえ」が61.0%、「ホームヘルパー」では「はい」が62.7%、「いいえ」が25.3%、「パソコン」では「はい」が63.6%、「いいえ」が22.7%、「医療事務」では「はい」が44.2%、「いいえ」が46.5%となっています。



問11 C：1. ～20. の資格を取得していない場合、資格取得の希望がある場合は「はい」に○をつけてください。

今後の資格取得の希望については、「パソコン」が26.6%で最も高く、次いで「医療事務」が18.8%となっています。

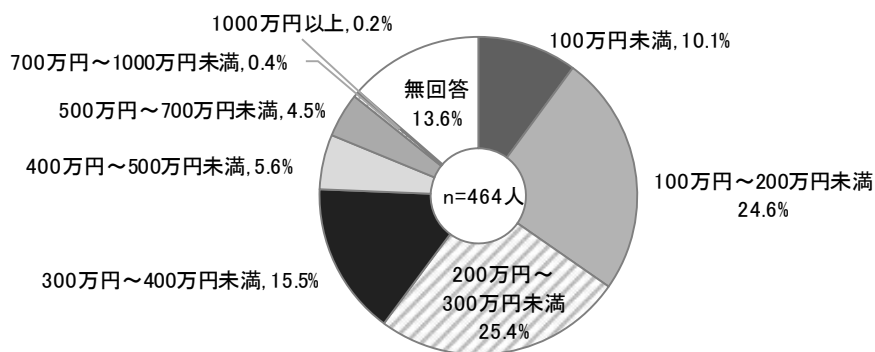


### 3 あなたの経済や生活の状況についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

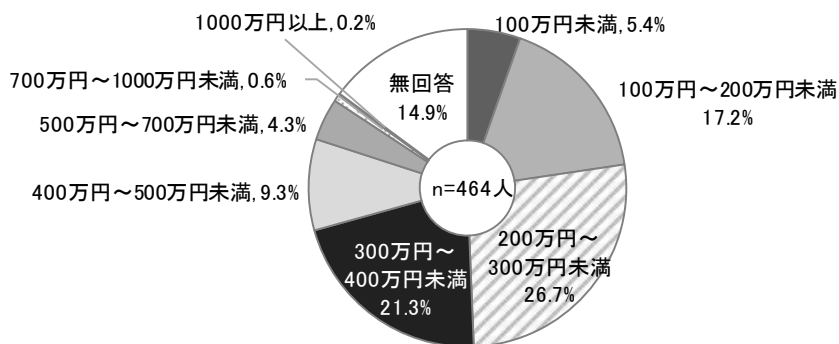
問 12-1 あなたの昨年の1年間の就労によって得た収入は、税込みでおよそいくらでしたか。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

昨年の1年間の就労によって得た収入は、「200万円～300万円未満」が25.4%で最も高く、次いで「100万円～200万円未満」が24.6%、「100万円未満」が10.1%、「300万円～400万円未満」が15.5%、「400万円～500万円未満」が5.6%、「500万円～700万円未満」が4.5%、「700万円～1000万円未満」が0.4%、「1000万円以上」が0.2%、「無回答」が13.6%となっています。



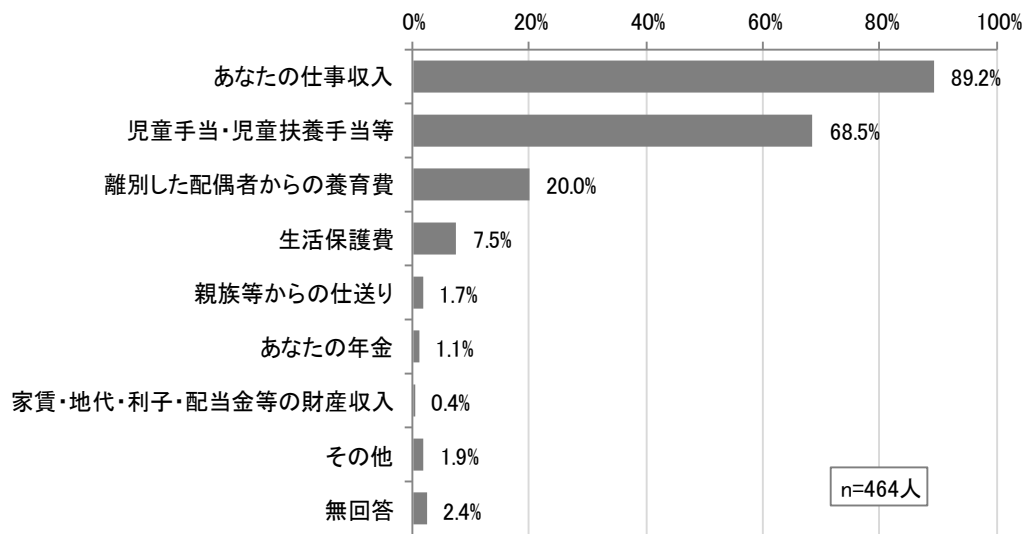
問 12-2 (1) あなたの昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。

昨年の1年間の総収入は、「200万円～300万円未満」が26.7%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が21.3%、「100万円～200万円未満」が17.2%、「400万円～500万円未満」が9.3%、「500万円～700万円未満」が4.3%、「700万円～1000万円未満」が0.6%、「1000万円以上」が0.2%、「無回答」が14.9%となっています。



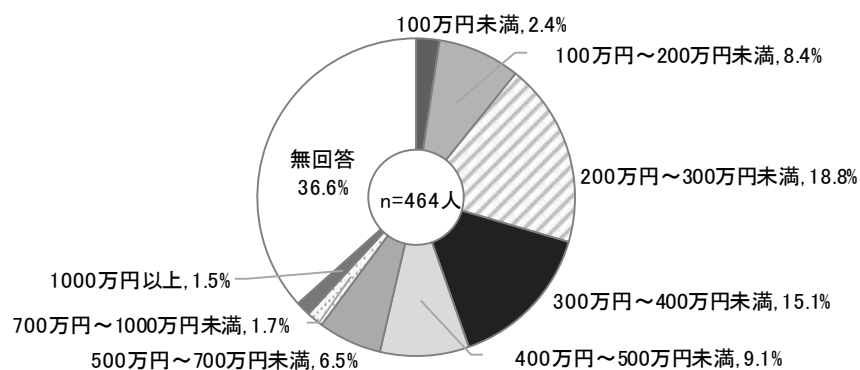
問 12-2 (2) あなたの昨年の1年間の総収入の収入源は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

昨年の総収入の収入源については、「あなたの仕事収入」が89.2%で最も高く、次いで「児童手当・児童扶養手当等」が68.5%となっています。



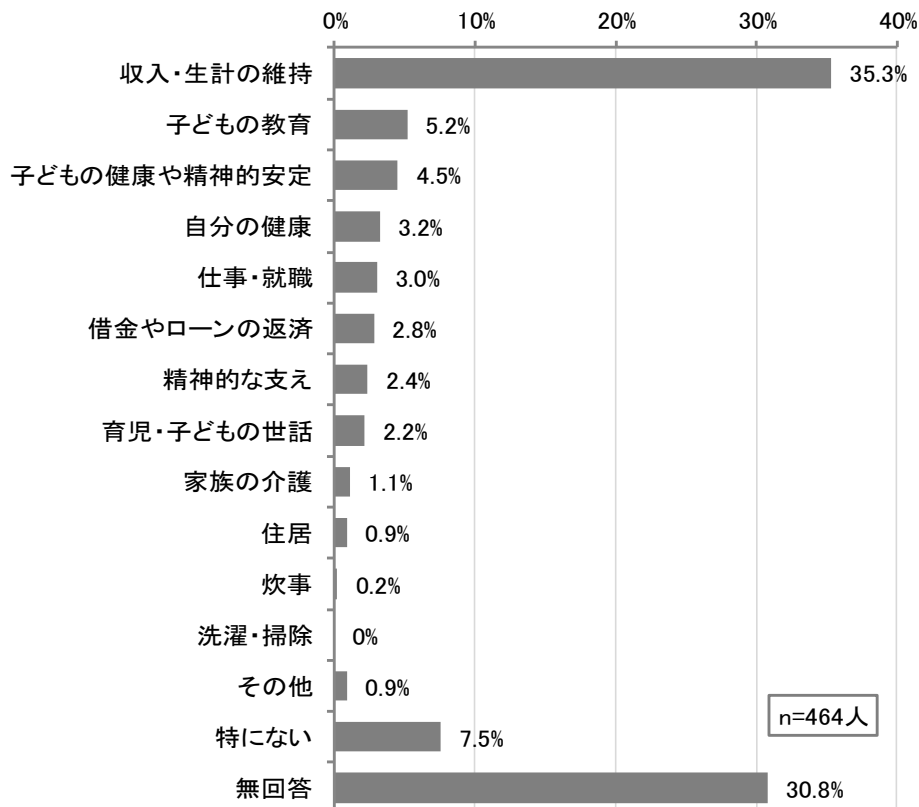
問 12-3 あなたとあなたの同居親族の昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。

同居親族を含めた昨年の総収入については、「200万円～300万円未満」が18.8%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が15.1%となっています。



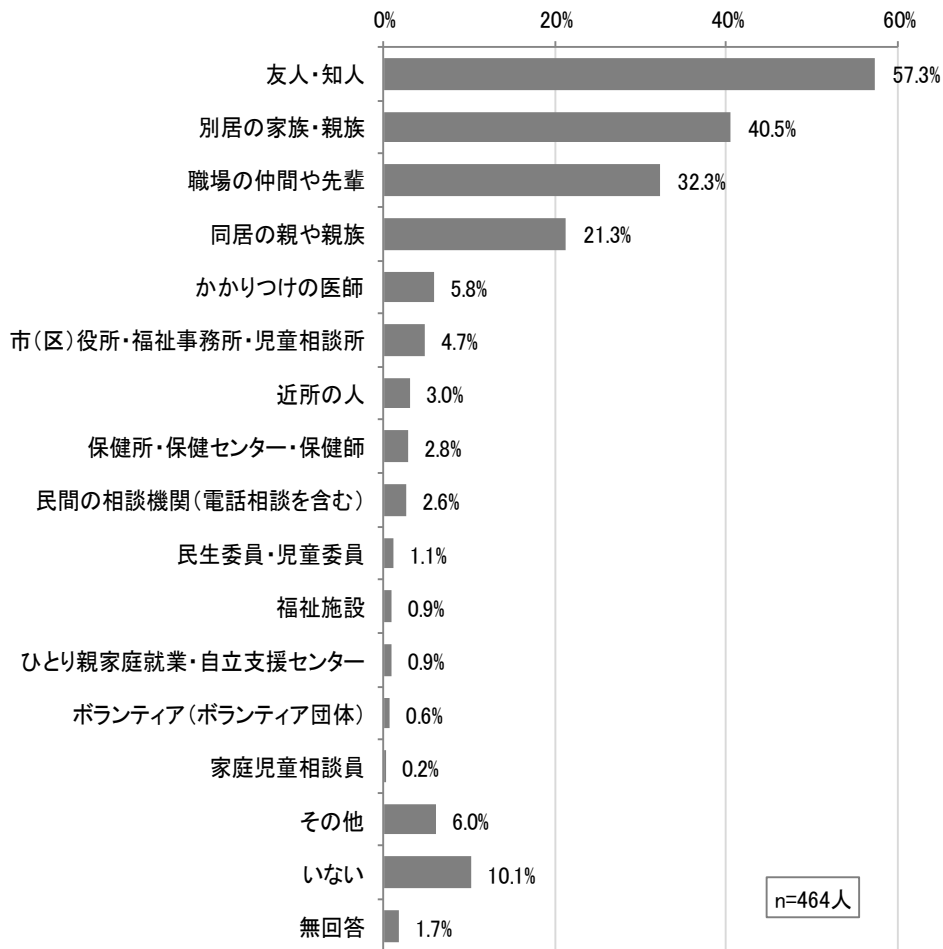
問 13 現在、あなたが特に困っていることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在特に困っていることについては、「収入・生計の維持」が35.3%で最も高くなっています。また、「特にない」が7.5%、「子どもの教育」が5.2%となっています。



問 14 あなたは、育児や子育てなどお子さんのことで困っていることを相談する相手はいますか。また、相談している場合、誰に相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

育児や子育てなどお子さんのことで困っていることを相談する相手は、「友人・知人」が57.3%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が40.5%、「職場の仲間や先輩」が32.3%となっています。また、「いない」が10.1%となっています。



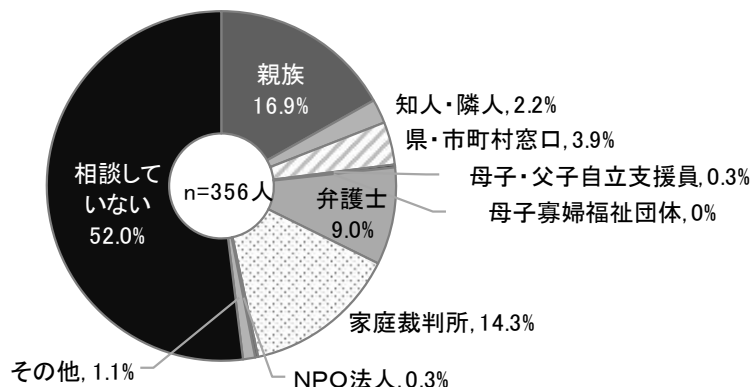
#### 4 養育費についてうかがいます。

あなたが、離婚によりひとり親家庭となった場合と、未婚の母で、お子さんの父から認知を受けている場合のみご回答ください。

問 15 あなたは、お子さんの養育費のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

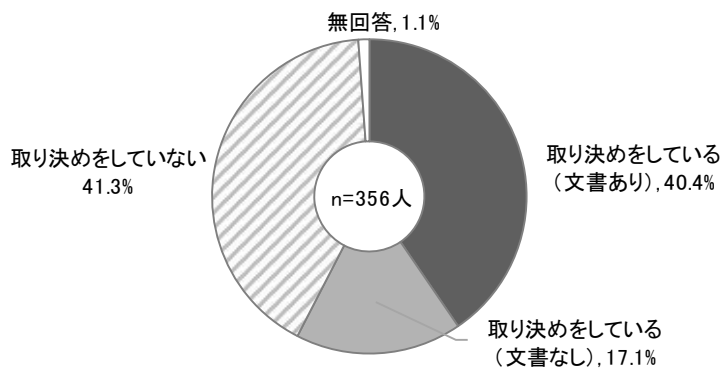
※無回答を集計から省いています。

お子さんの養育費の相談相手については、「相談していない」が52.0%と最も高くなっていますが、相談先としては、「親族」が16.9%で高く、次いで「家庭裁判所」が14.3%となっています。



問 16-1 養育費の取り決めの状況についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

養育費の取り決めの状況については、「取り決めている（文書あり）」が40.4%、「取り決めている（文書なし）」が17.1%で合わせて57.5%となっている一方で、「取り決めている（文書なし）」が41.3%となっています。

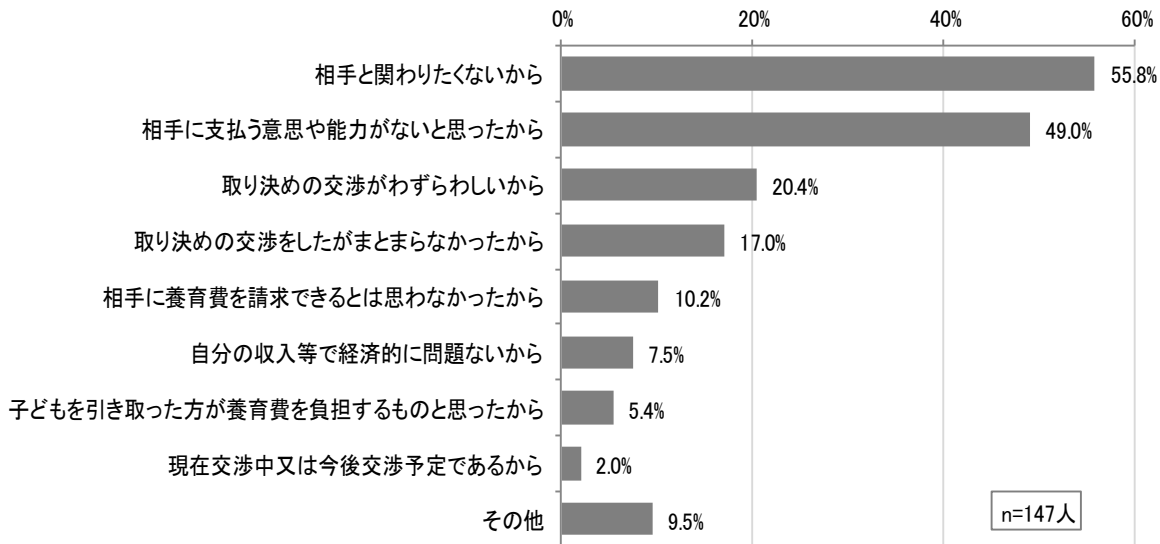




## 「3 取り決めをしていない」と回答した方におたずねします。

問 16-2 養育費の取り決めをしていないのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

養育費の取り決めをしていない理由については、「相手と関わりたくないから」が55.8%で最も高く、次いで「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が49.0%となっています。

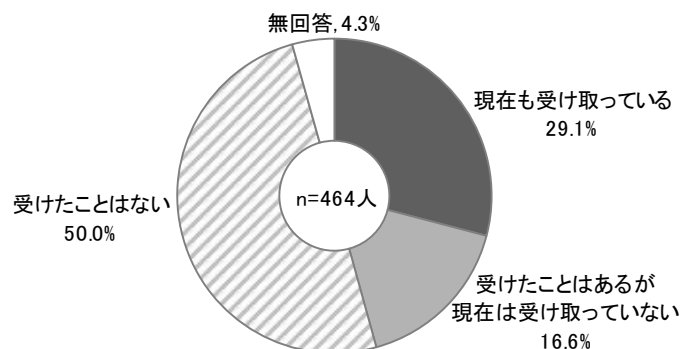


すべての方にうかがいます。

問 17-1 子どもの養育費を受け取っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「2 受けたことはあるが現在は受け取っていない」または「3 受けたことはない」と回答した方はその理由をお書きください。

子どもの養育費の受け取り状況については、「受けたことはない」が50.0%で最も高く、「現在も受け取っている」が29.1%となっています。

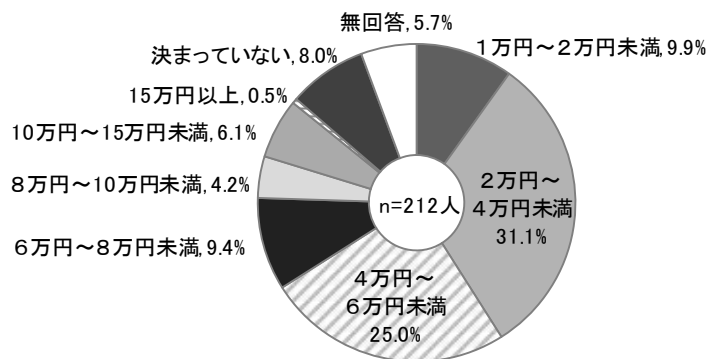
「2 受けたことはあるが現在は受け取っていない」または「3 受けたことはない」の理由として、「相手に支払う意志や能力がないから」、「相手からの支払いがなくなった」、「相手と連絡が取れないから」などがありました。



「1 現在も受け取っている」「2 受けたことはあるが現在は受け取っていない」と回答した方にうかがいます。

問 17-2 養育費は月額いくらですか（でしたか）。当てはまる番号1つに○をつけ、月額をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

養育費を受けている、受けていた方の月額については、「2万円～4万円未満」が31.1%、「4万円～6万円未満」が25.0%となっています。

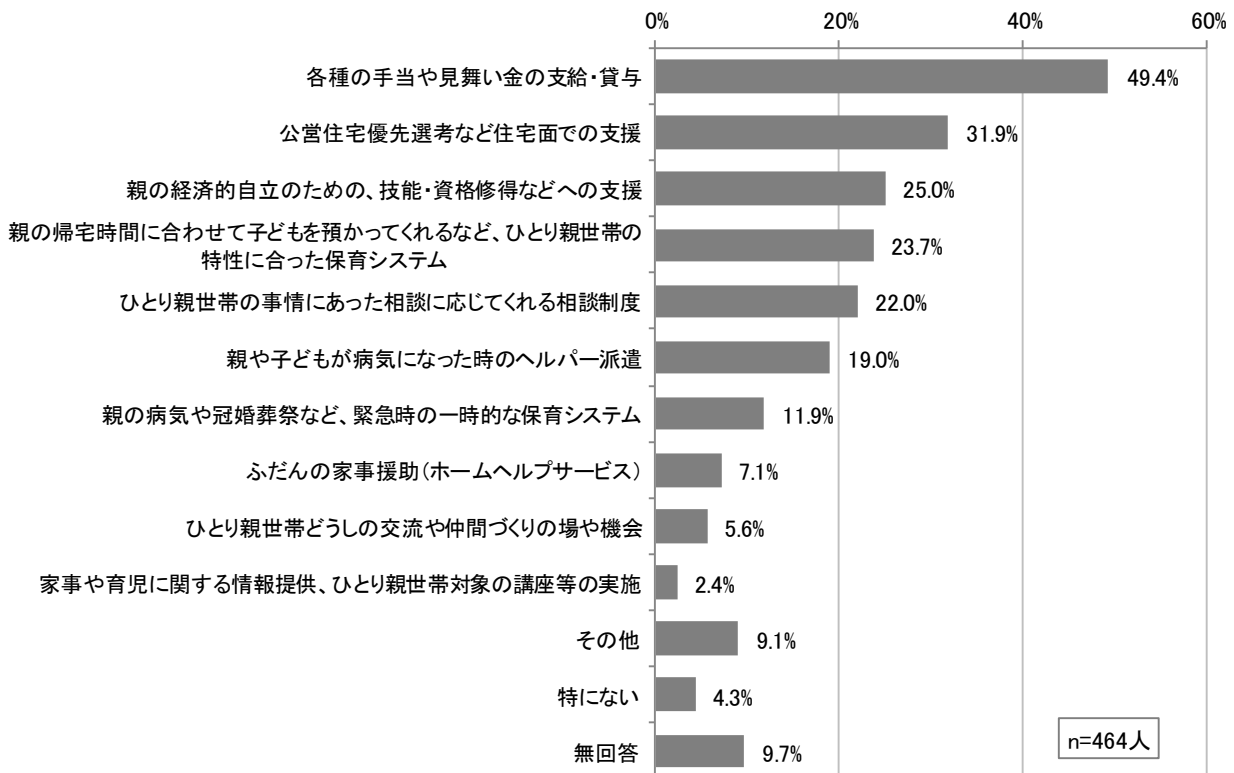


## 5 支援策についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 18 ひとり親世帯の方への支援策としては、今後特にどのようなことが必要と思いますか。当てはまる主な番号3つまでに○をつけてください。

ひとり親世帯の方への支援策として、今後特に必要と思うことについては、「各種の手当や見舞い金の支給・貸与」が49.4%で最も高く、次いで「公営住宅優先選考など住宅面での支援」が31.9%、「親の経済的自立のための、技能・資格修得などへの支援」が25.0%となっています。

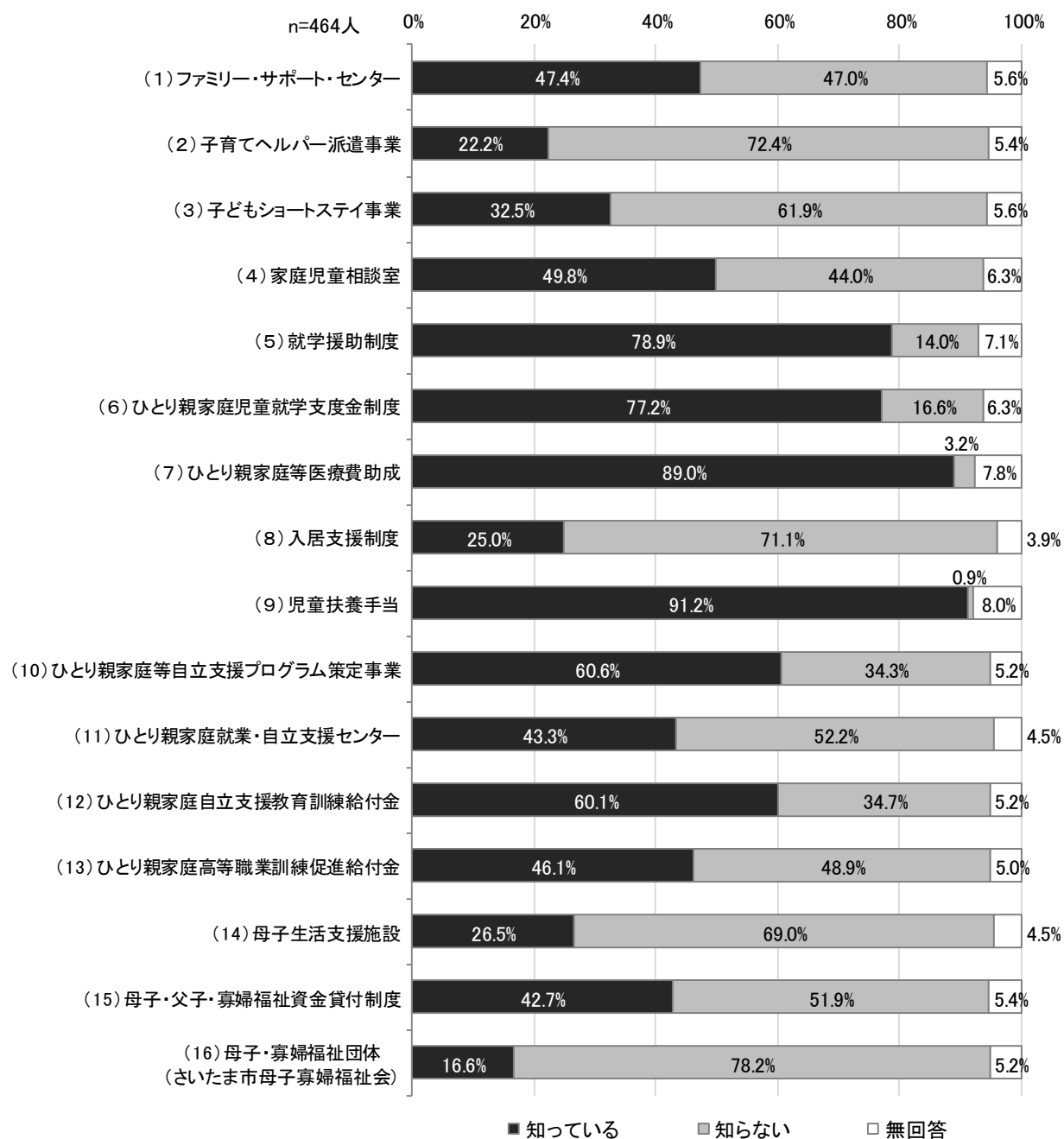


問 19-1 さいたま市では、ひとり親世帯の方を支援するために次のようなサービス（施策）や施設があります。(1)～(16)のサービスごとに、「認知度」「利用状況」「利用意向」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

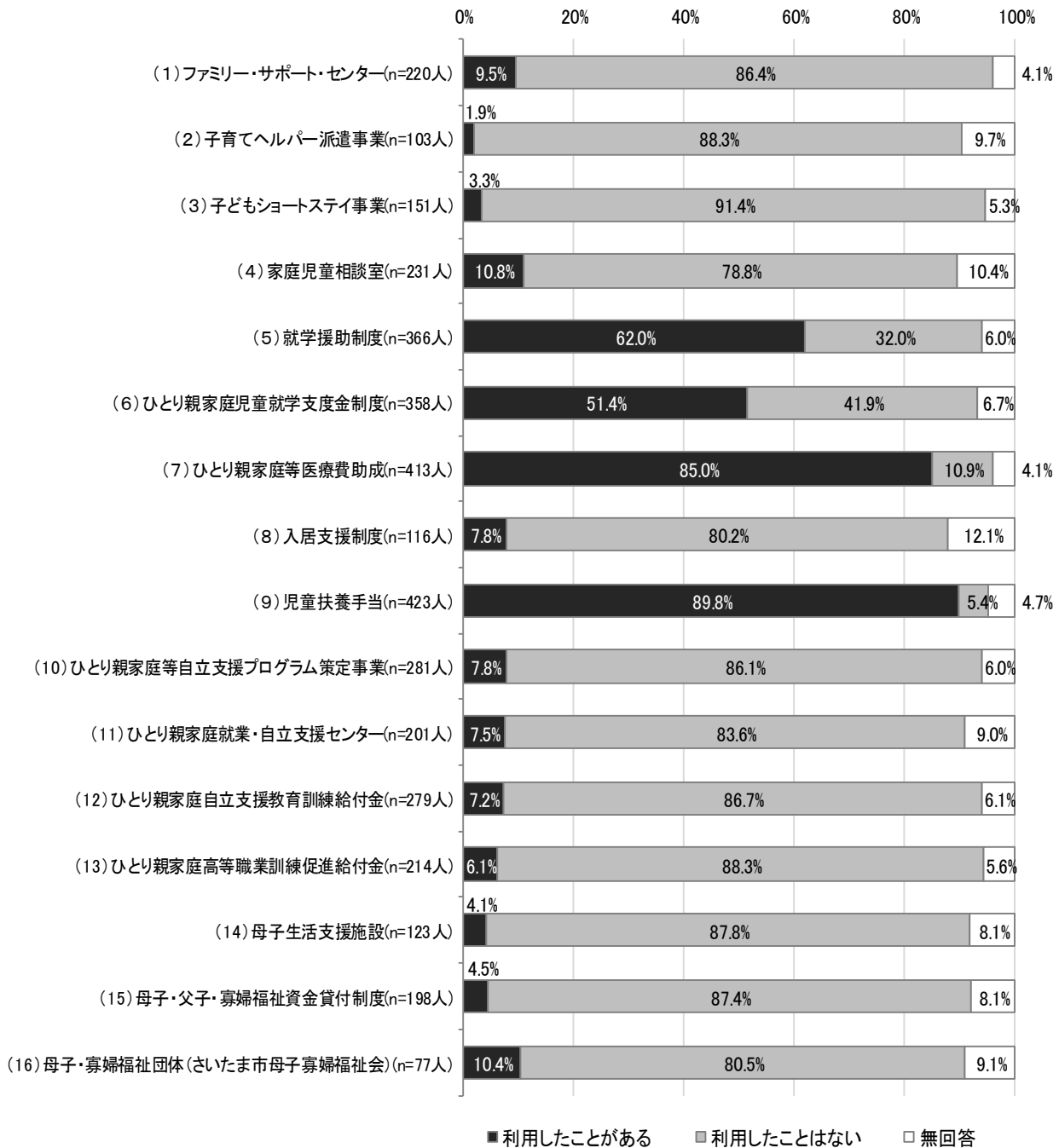
■ 認知度

サービス（施策）の認知度については、「(9)児童扶養手当」が91.2%で最も高く、次いで「(7)ひとり親家庭等医療費助成」が89.0%、「(5)就学援助制度」が78.9%、「(6)ひとり親家庭児童就学支度金制度」が77.2%となっています。



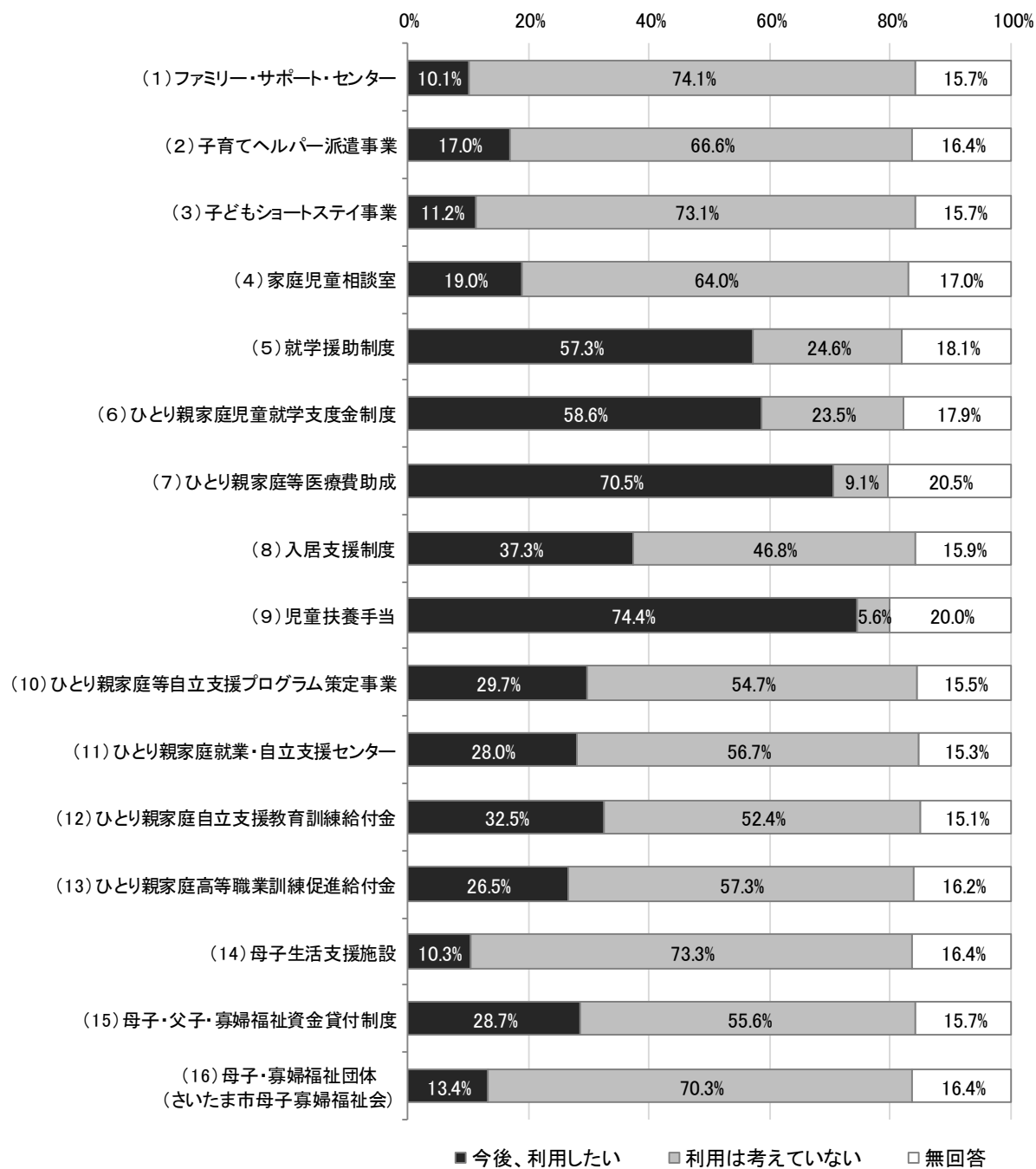
### ■ 利用状況

各サービスを知っていると答えた人のうち、利用したことがある割合は、「(9) 児童扶養手当」が 89.8%、「(7) ひとり親家庭等医療費助成」が 85.0%で高く、次いで「(5) 就学援助制度」が 62.0%となっています。



■利用意向

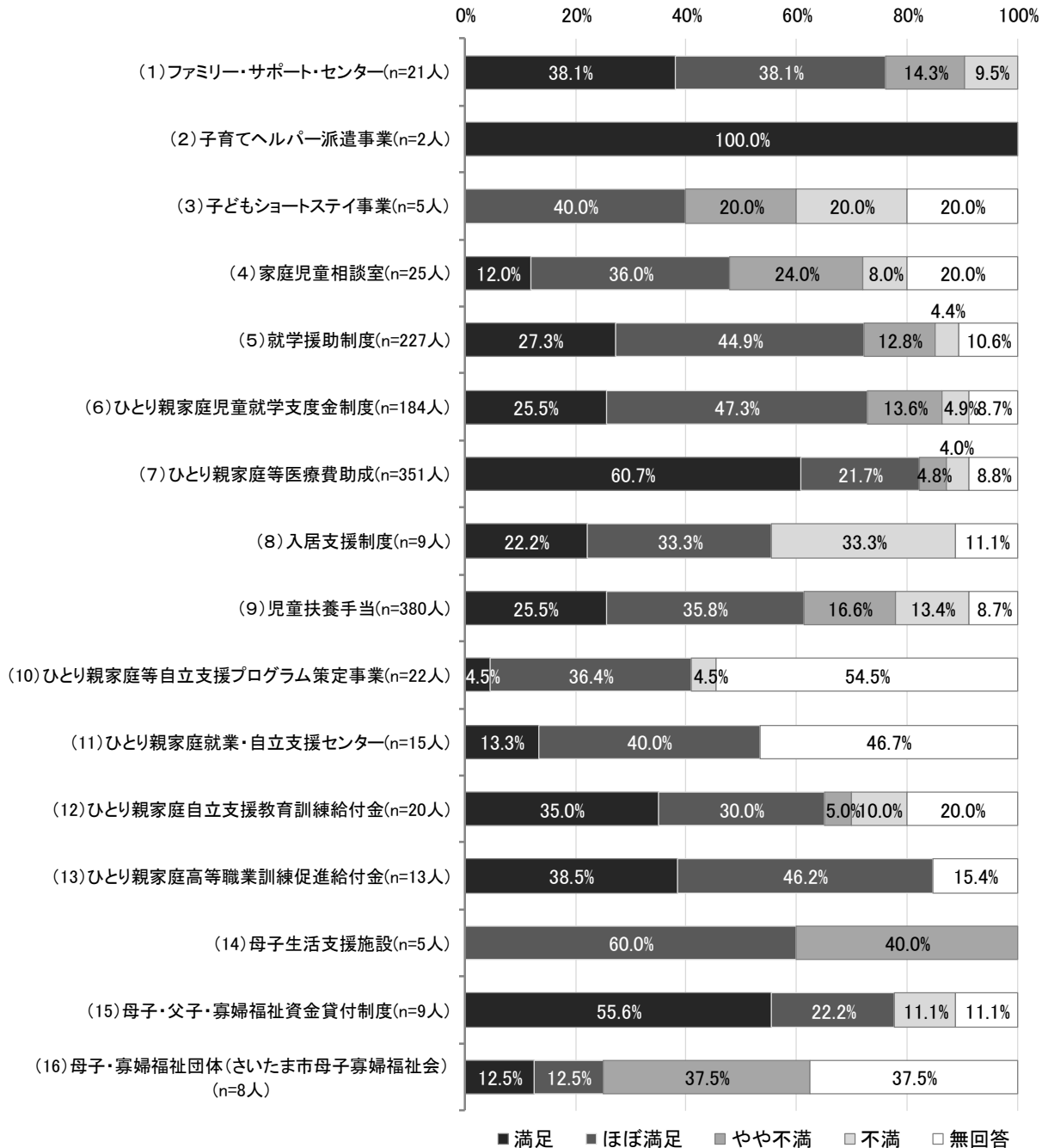
サービスの今後の利用意向は、「(9)児童扶養手当」が74.4%と最も高く、次いで「(7)ひとり親家庭等医療費助成」が70.5%、「(6)ひとり親家庭児童就学支度金制度」が58.6%、「(5)就学援助制度」が57.3%となっています。



「①利用したことがある」と回答した方にうかがいます。

問 19-2 利用したことがあるサービスについて、満足していますか。(1)～(16)のサービスごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「③やや不満」あるいは「④不満」と回答した方はその理由をお書きください。

サービスの利用についての満足度は、利用者の多いものでは、「(7)ひとり親家庭等医療費助成」では「満足」と「ほぼ満足」を合わせて82.4%の方が満足、「(5)就学援助制度」では「満足」と「ほぼ満足」を合わせて72.2%、「(6)ひとり親家庭児童就学支度金制度」では「満足」と「ほぼ満足」を合わせて72.8%の方が満足、また「(9)児童扶養手当」で「満足」と「ほぼ満足」の割合を合わせると61.3%の方が満足と回答しています。



すべての方にうかがいます。

問 20 子どもや子育て家庭のためのサービスや施設について、ご意見・ご要望がありましたら自由にご記入ください。

主な意見を集約しています。

- 労働時間が短いため放課後児童クラブに入れずにいる。長期の休み、病気の時など1日～長時間、短時間預かってくれる場が欲しい。
- 所得により、児童扶養手当や医療費助成の停止により家庭内での不安感が高まった。所得規定の見直しをお願いしたい。
- 児童扶養手当での給与所得額の上限を上げて欲しい。
- 医療費の助成期間を延ばして欲しい。子どもの助成は埼玉県内でも中学生までではなく、高校卒業までの市もあるのだから、さいたま市も変更して欲しい。
- 民間賃貸住宅に住んでいる場合の家賃補助制度があると良い。
- ひとり親になると、こういった支援がありますよといった分かりやすい冊子などがあればいい。
- 母子家庭（父子家庭）では、閉鎖的になりやすく、色々な相談をする窓口がかぎられてしまうので、そういった家庭のみのコミュニティーが欲しい。相談員とか仕事としてやっている方よりかは話しやすいのではないか。

#### ■意見の分類

意見	件数
経済的支援の充実、住宅支援の充実	100
保育サービスの量的拡大・質的向上、相談体制の強化、地域での支え合い	66
サービス内容の情報発信、手続きの簡素化	18
就労や自立に向けた支援の充実	13
全市的視点からのひとり親支援のあり方	5
合計	202



## 資料編 調査票

次ページより調査票を添付します。

---

さいたま市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定に係る  
基礎調査報告書

平成31（2019）年3月

さいたま市

編集 さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子育て支援政策課

電話 048-829-1111（代表）

---





このさいたま市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定に係る基礎調査等業務の委託に要する経費は、477万円です。